

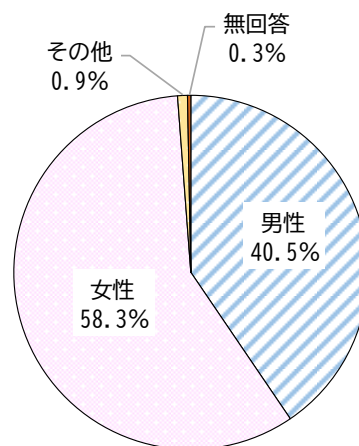
第2章 調査結果

1 回答者属性

問1 あなたの性別をお答えください。(〇は1つ)

「男性」の割合が40.5%、「女性」の割合が58.3%となっています。

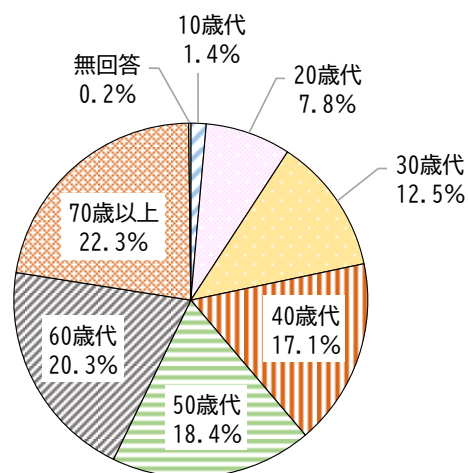
カテゴリ	件数
男性	475
女性	684
その他	11
無回答	3
全 体	1,173



問2 あなたの年齢をお答えください。(〇は1つ)

「70歳以上」の割合が22.3%と最も高く、次いで「60歳代」の割合が20.3%、「50歳代」の割合が18.4%となっています。

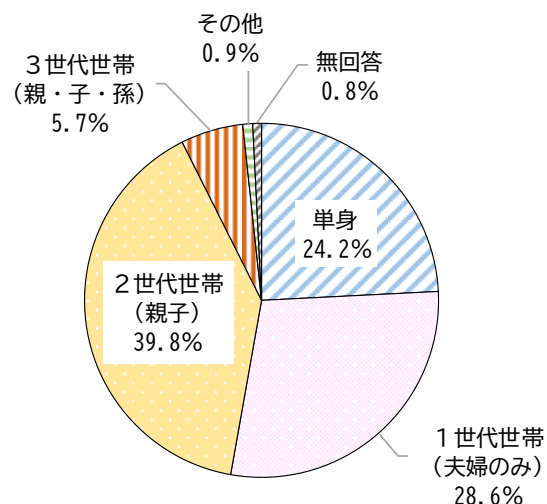
カテゴリ	件数
10歳代	16
20歳代	92
30歳代	147
40歳代	200
50歳代	216
60歳代	238
70歳以上	262
無回答	2
全 体	1,173



問3 あなたの家族構成をお答えください。(○は1つ)

「2世代世帯(親子)」の割合が39.8%と最も高く、次いで「1世代世帯(夫婦のみ)」の割合が28.6%、「単身」の割合が24.2%となっています。

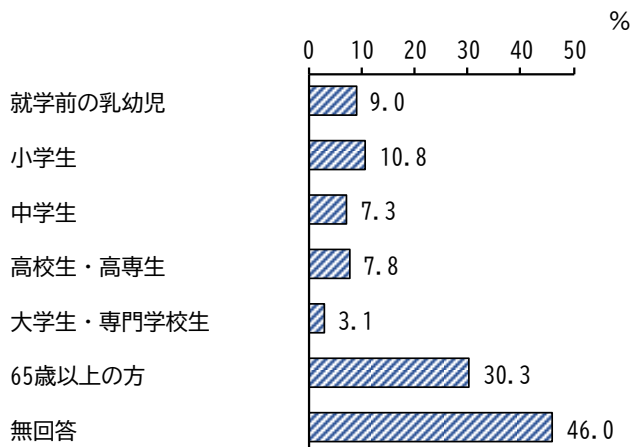
カテゴリ	件数
単身	284
1世代世帯(夫婦のみ)	335
2世代世帯(親子)	467
3世代世帯(親・子・孫)	67
その他	11
無回答	9
全 体	1,173



問4 あなたは、以下の方と同居されていますか。(該当する方がいれば、すべてに○)

「65歳以上の方」の割合が30.3%と最も高く、次いで「小学生」の割合が10.8%となっています。

カテゴリ	件数
就学前の乳幼児	106
小学生	127
中学生	86
高校生・高専生	91
大学生・専門学校生	36
65歳以上の方	356
無回答	539

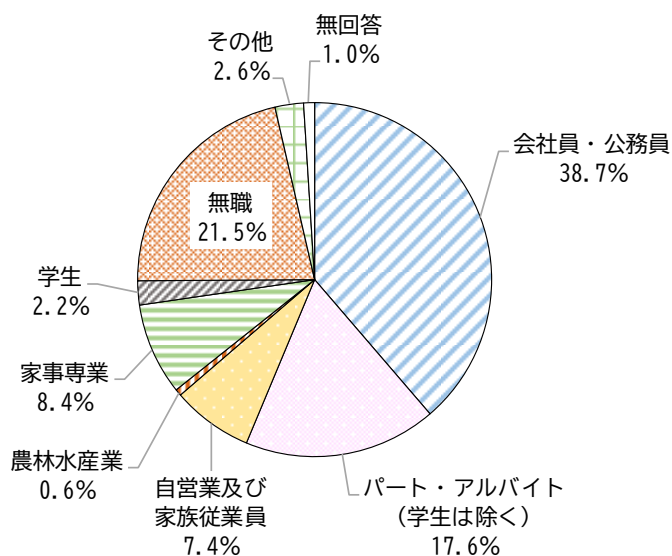


※全回答者(1,173人)のうちの割合

問5 あなたの職業をお答えください。(〇は1つ)

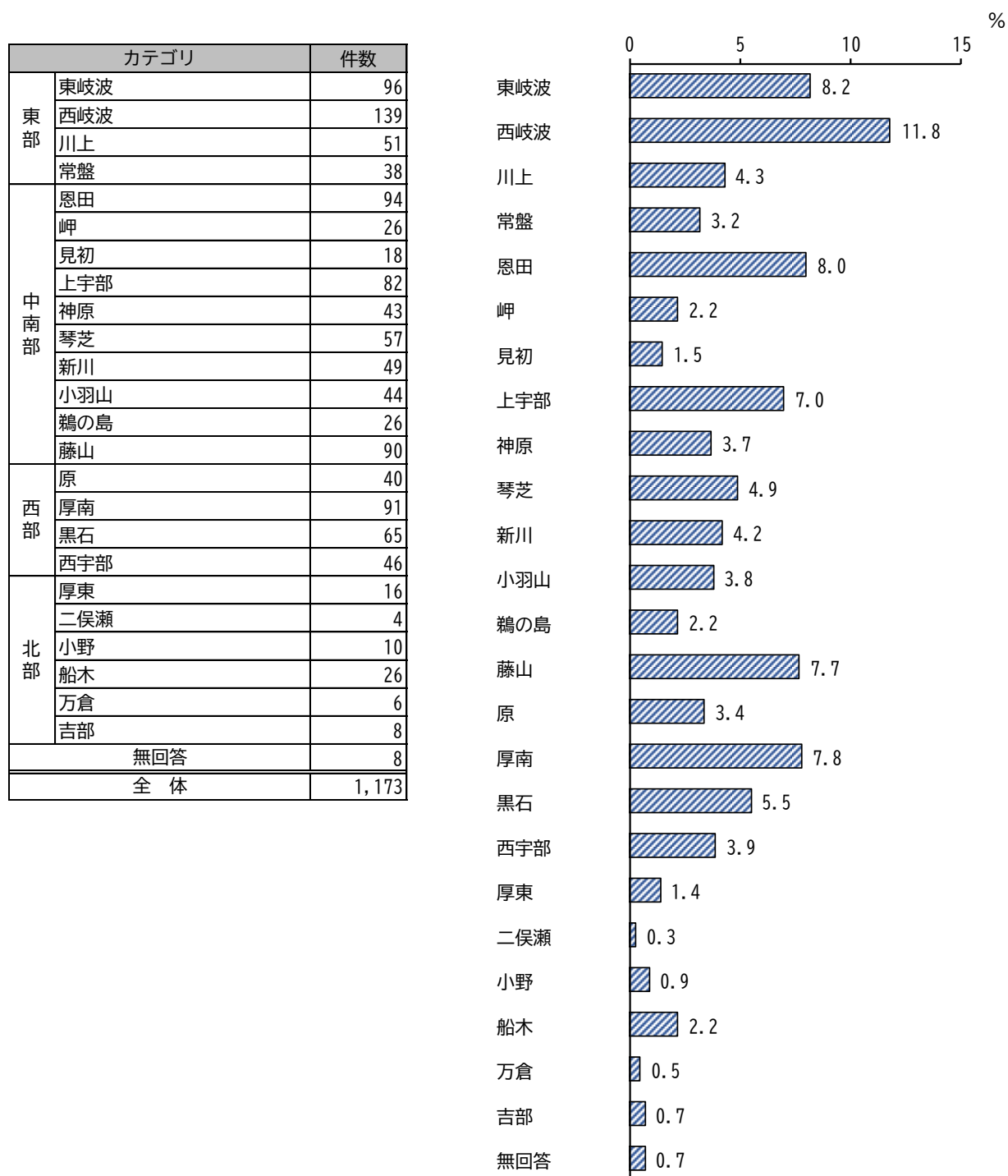
「会社員・公務員」の割合が 38.7%と最も高く、次いで「無職」の割合が 21.5%、「パート・アルバイト（学生は除く）」の割合が 17.6%となっています。

カテゴリ	件数
会社員・公務員	454
パート・アルバイト（学生は除く）	206
自営業及び家族従業員	87
農林水産業	7
家事専業	99
学生	26
無職	252
その他	30
無回答	12
全 体	1,173



問6 あなたの居住地区をお答えください。(〇は1つ)

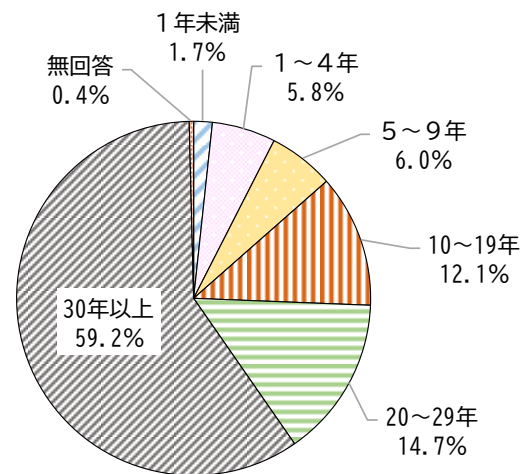
「西岐波」の割合が11.8%と最も高くなっています。



問7 あなたの宇部市（旧楠町を含む）での通算居住年数をお答えください。（○は1つ）

「30年以上」の割合が59.2%と最も高く、次いで「20～29年」の割合が14.7%、「10～19年」の割合が12.1%となっています。

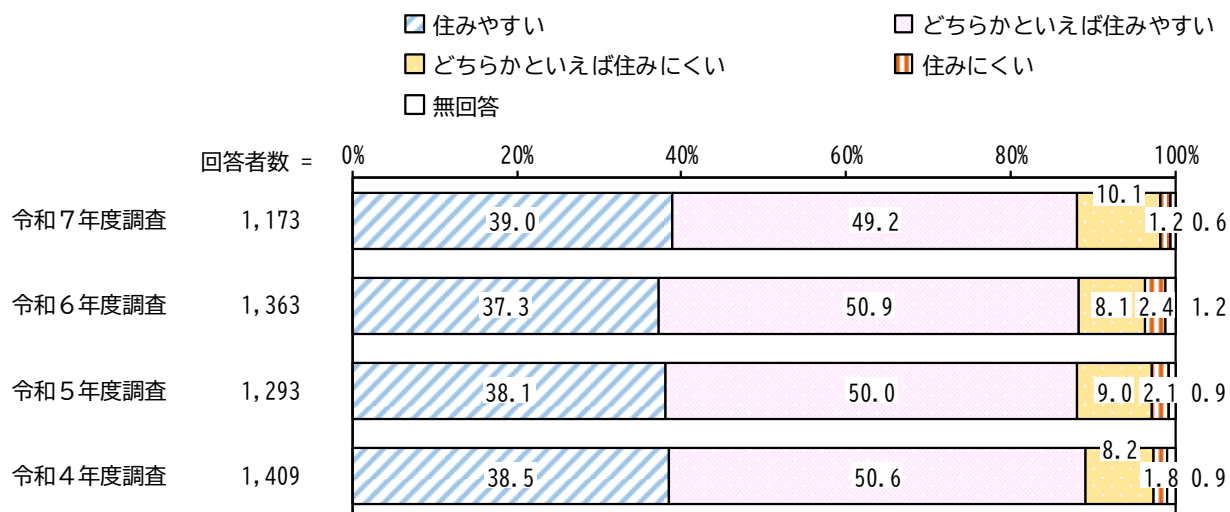
カテゴリ	件数
1年未満	20
1～4年	68
5～9年	70
10～19年	142
20～29年	173
30年以上	695
無回答	5
全 体	1,173



2 宇部市の住みやすさについて

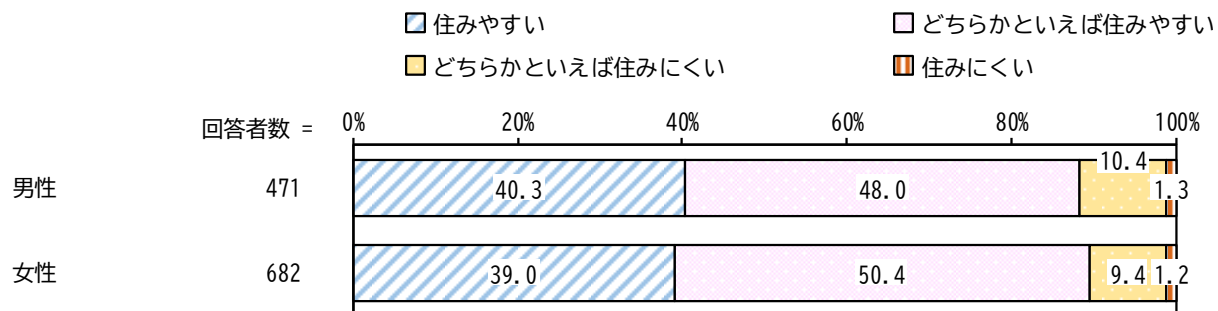
問8 宇部市は住みやすいまちだと思いますか。(○は1つ)

「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」を合わせた“住みやすい”の割合が 88.2%、「どちらかといえば住みにくい」「住みにくい」を合わせた“住みにくい”の割合が 11.3%となっています。
過去調査と比較すると、大きな変化はみられません。



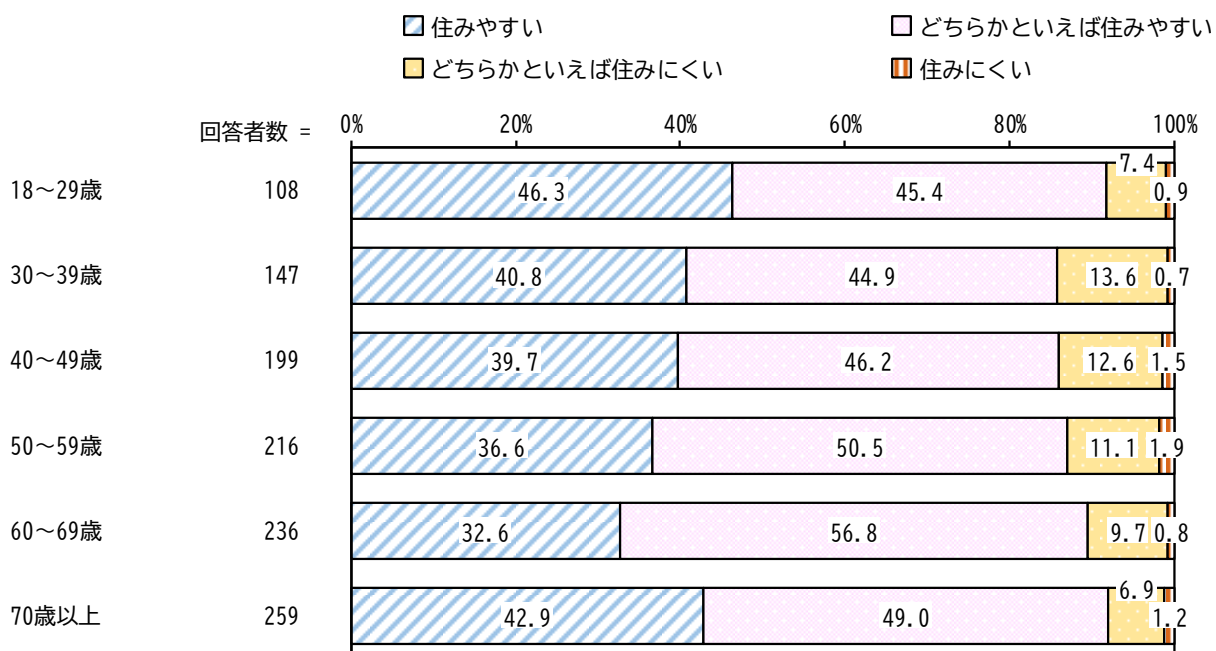
【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。



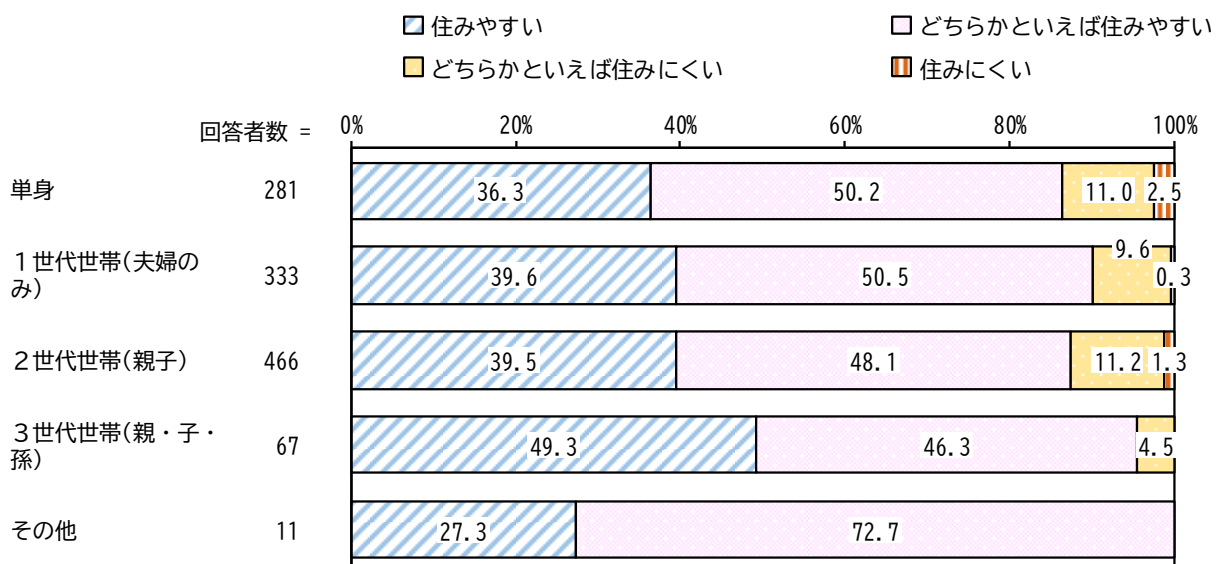
【年代別】

年代別にみると、18～29 歳から 60～69 歳まで年代が下がるほど「住みやすい」の割合が高く、30～39 歳から 60～69 歳まで年代が上がるほど「どちらかといえば住みやすい」の割合が高くなっています。



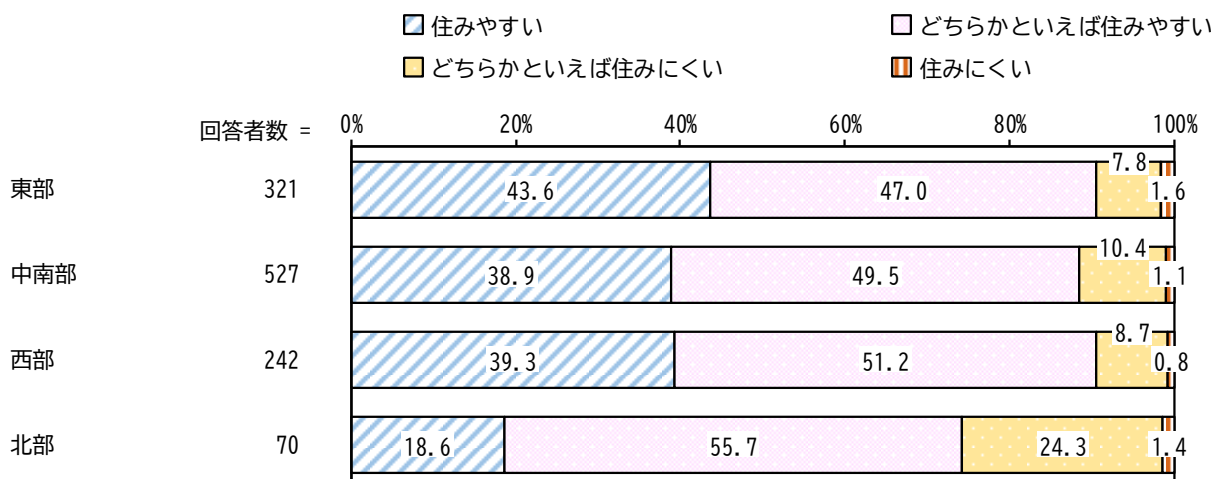
【家族構成別】

家族構成別にみると、3 世代世帯(親・子・孫)で“住みやすい”の割合が高くなっています。



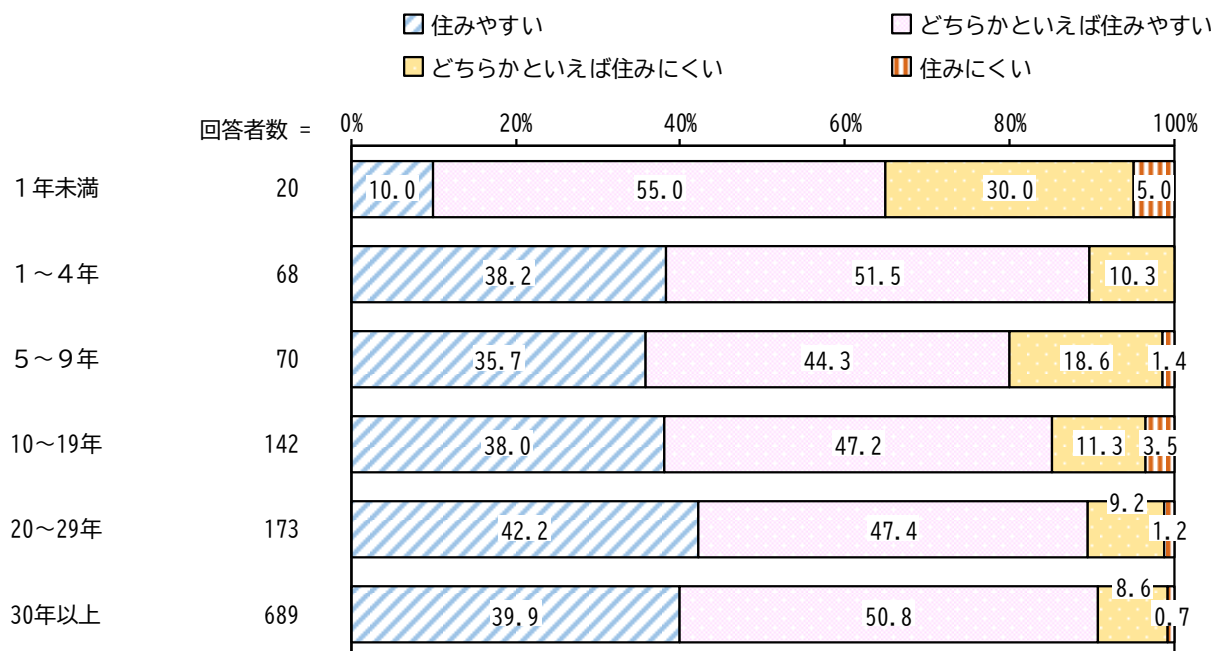
【居住地区別】

居住地区別にみると、北部で“住みにくい”の割合が高くなっています。



【居住年数別】

居住年数別にみると、1年未満で“住みにくい”の割合が高くなっています。



宇部市の住みにくいところ／住みやすいところ【項目別】

複数回答有（最大3）

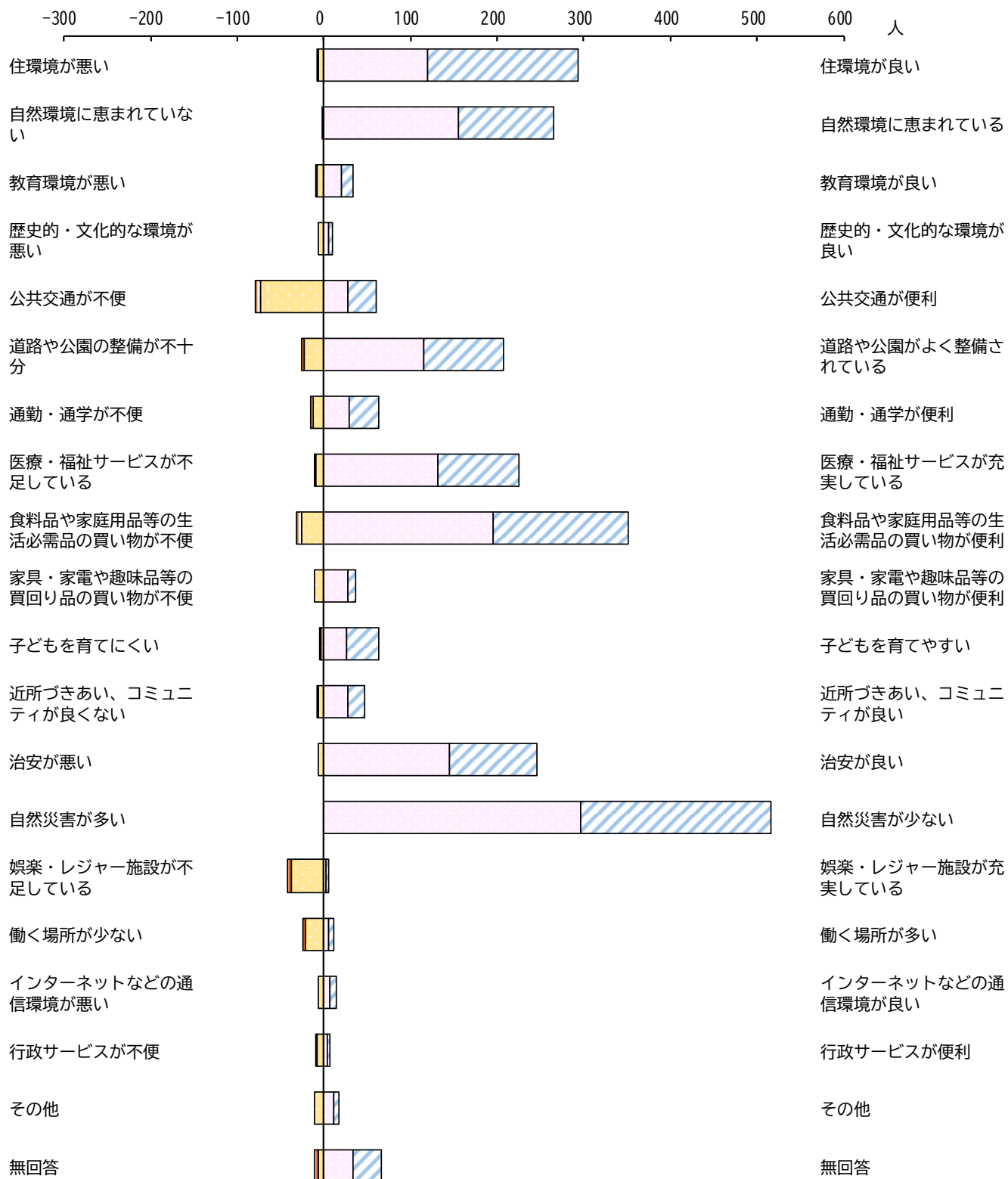
回答者数＝14

118

577

457

■ 住みにくい ■ どちらかといえば住みにくい □ どちらかといえば住みやすい ■ 住みやすい



15 ページへ



12 ページへ

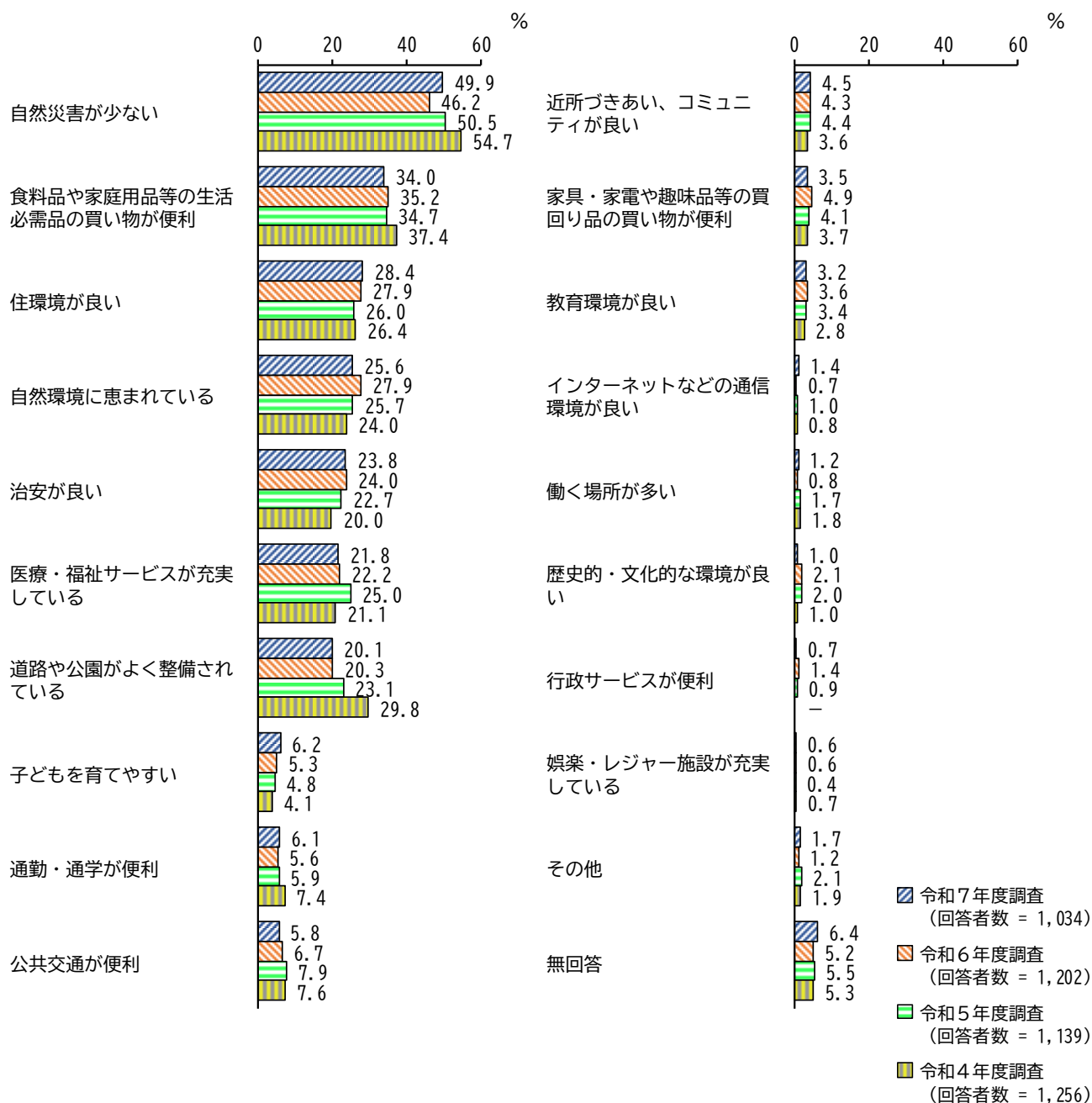
※「住みにくい」「どちらかといえば住みにくい」と回答した人については、マイナスで表示しています。

問8で「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」と答えた方にお聞きます。

問9 あなたが思う宇部市の住みやすいところを教えてください。(〇は3つまで)

「自然災害が少ない」の割合が 49.9%と最も高く、次いで「食料品や家庭用品等の生活必需品の買い物が便利」の割合が 34.0%、「住環境が良い」の割合が 28.4%となっています。

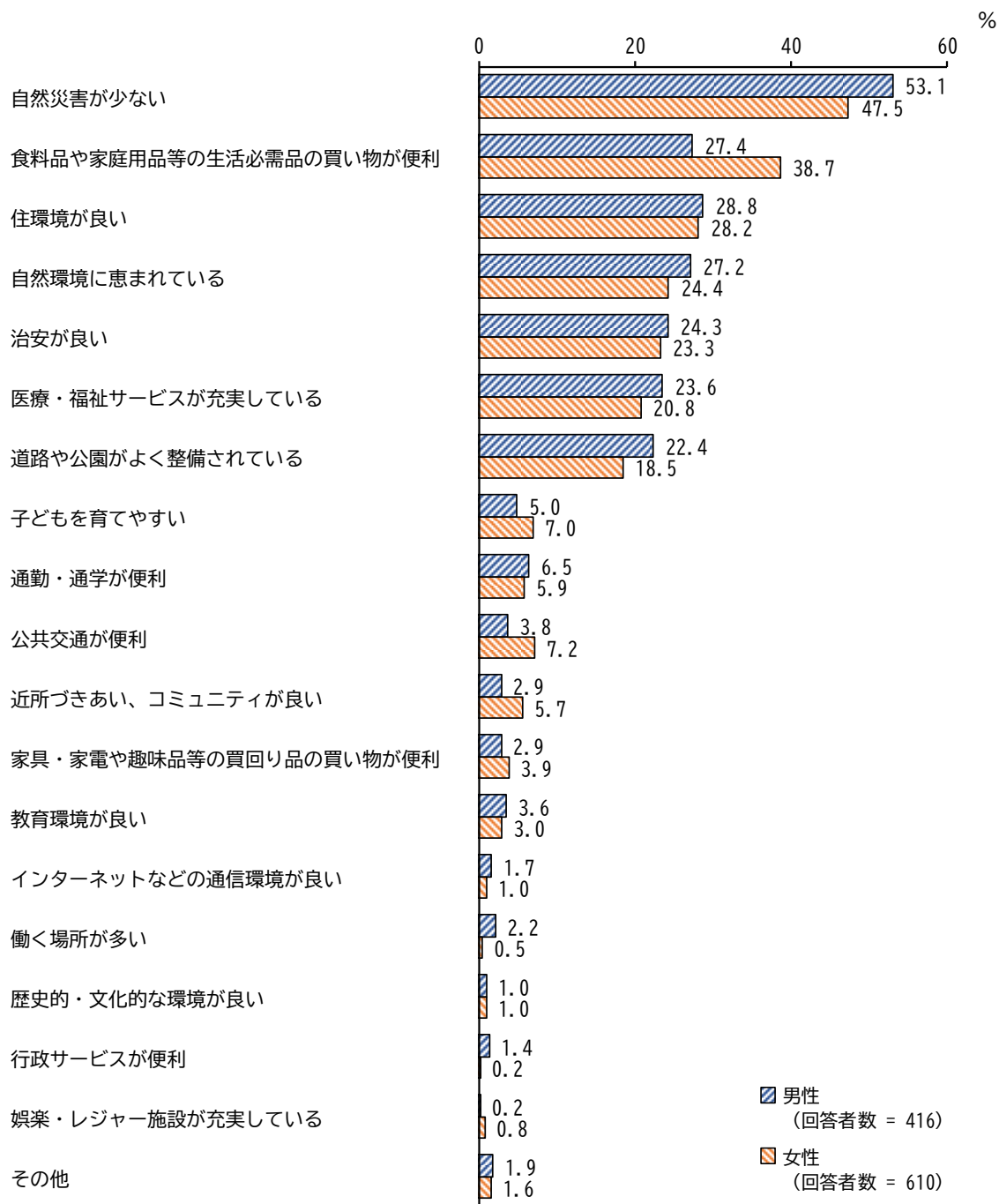
過去調査と比較すると、令和4年度調査から「道路や公園がよく整備されている」の割合が減少しています。



※令和4年度調査では、「自然環境に恵まれている」が「自然環境が良い」、「歴史的・文化的な環境が良い」が「歴史的・文化的な環境に恵まれている」、「道路や公園がよく整備されている」が「道路がよく整備されている」となっており、「行政サービスが便利」がありませんでした。

【性別】

性別にみると、男性で「自然災害が少ない」の割合が高く、女性で「食料品や家庭用品等の生活必需品の買い物が便利」の割合が高くなっています。

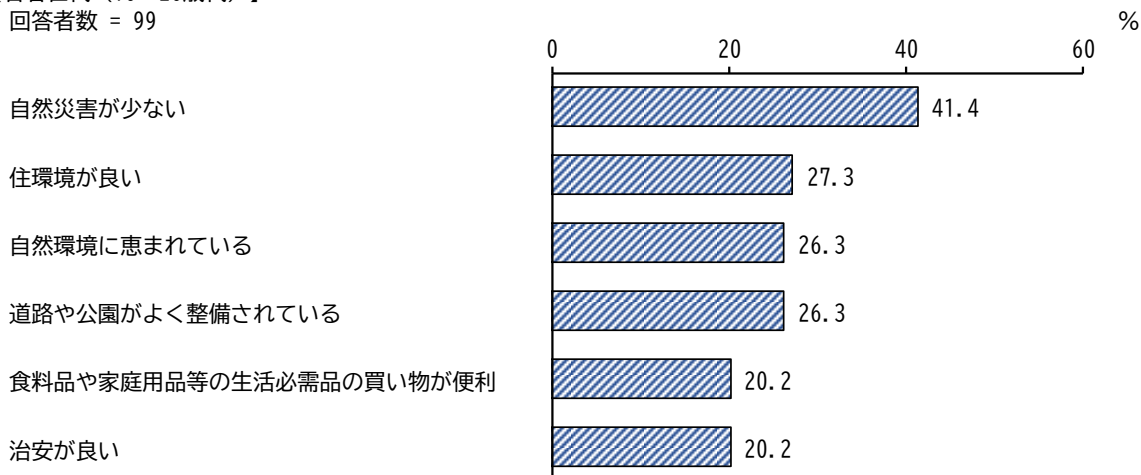


【世代別（上位5位まで）】

世代別でみると、全ての世代で「自然災害が少ない」が1位となっており、「自然環境に恵まれている」「食料品や家庭用品等の生活必需品の買い物が便利」「住環境が良い」「治安が良い」が上位5位以内に入っています。

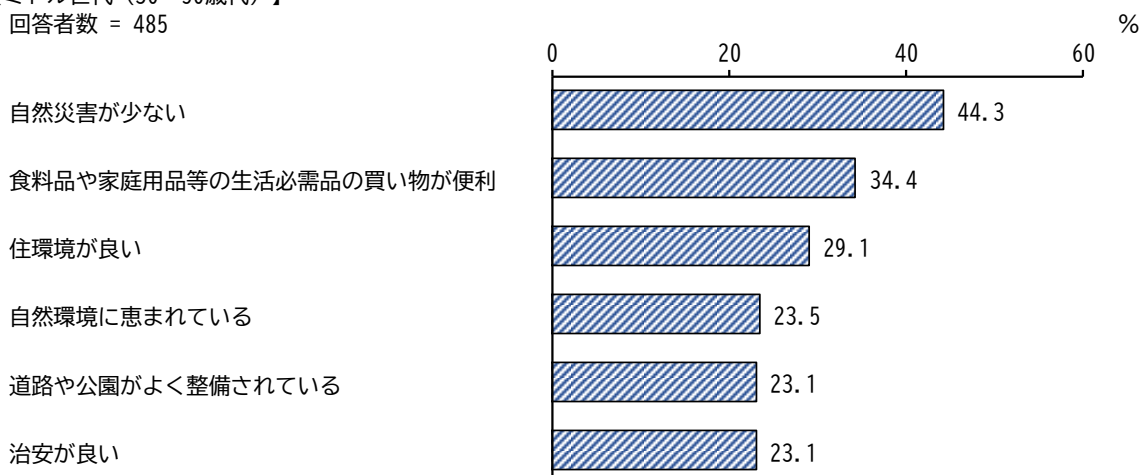
【若者世代（10～20歳代）】

回答者数 = 99



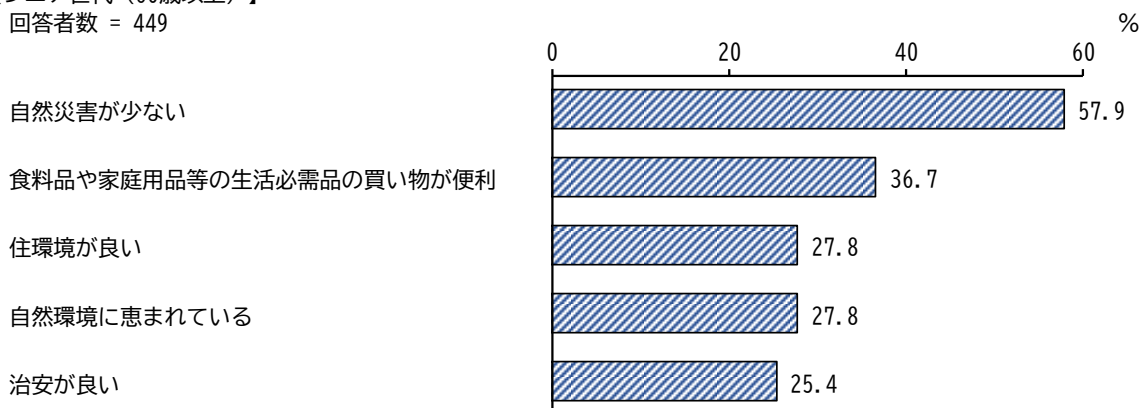
【ミドル世代（30～50歳代）】

回答者数 = 485



【シニア世代（60歳以上）】

回答者数 = 449



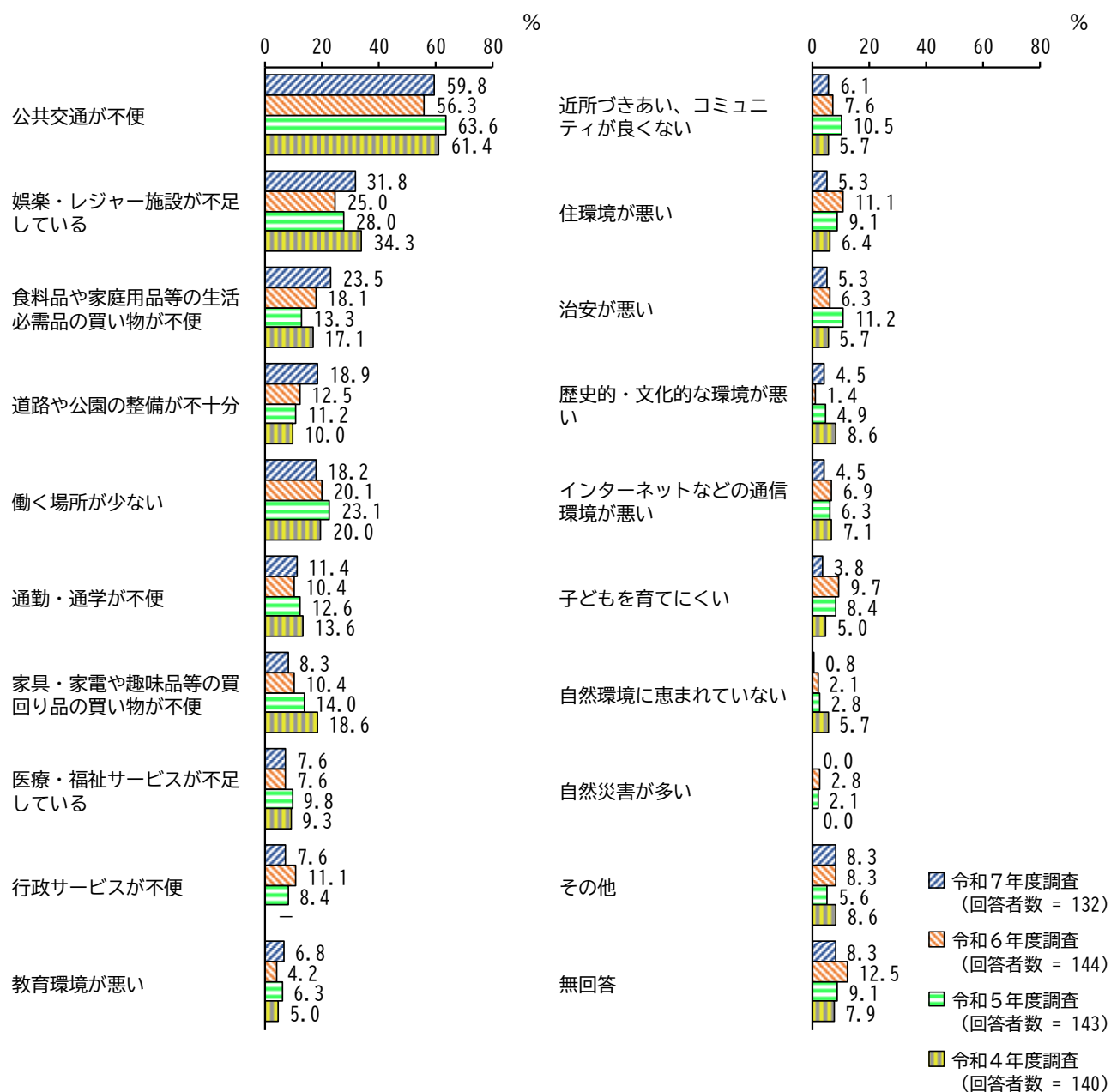
問8で「どちらかといえば住みにくい」「住みにくい」と答えた方にお聞きます。

問10 あなたが思う宇部市の住みにくいところを教えてください。(〇は3つまで)

「公共交通が不便」の割合が 59.8%と最も高く、次いで「娯楽・レジャー施設が不足している」の割合が 31.8%、「食料品や家庭用品等の生活必需品の買い物が不便」の割合が 23.5%となっています。

過去調査と比較すると、令和4年度調査から「食料品や家庭用品等の生活必需品の買い物が不便」「道路や公園の整備が不十分」の割合が増加傾向にあります。一方、「家具・家電や趣味品等の買回り品の買い物が不便」の割合が減少しています。

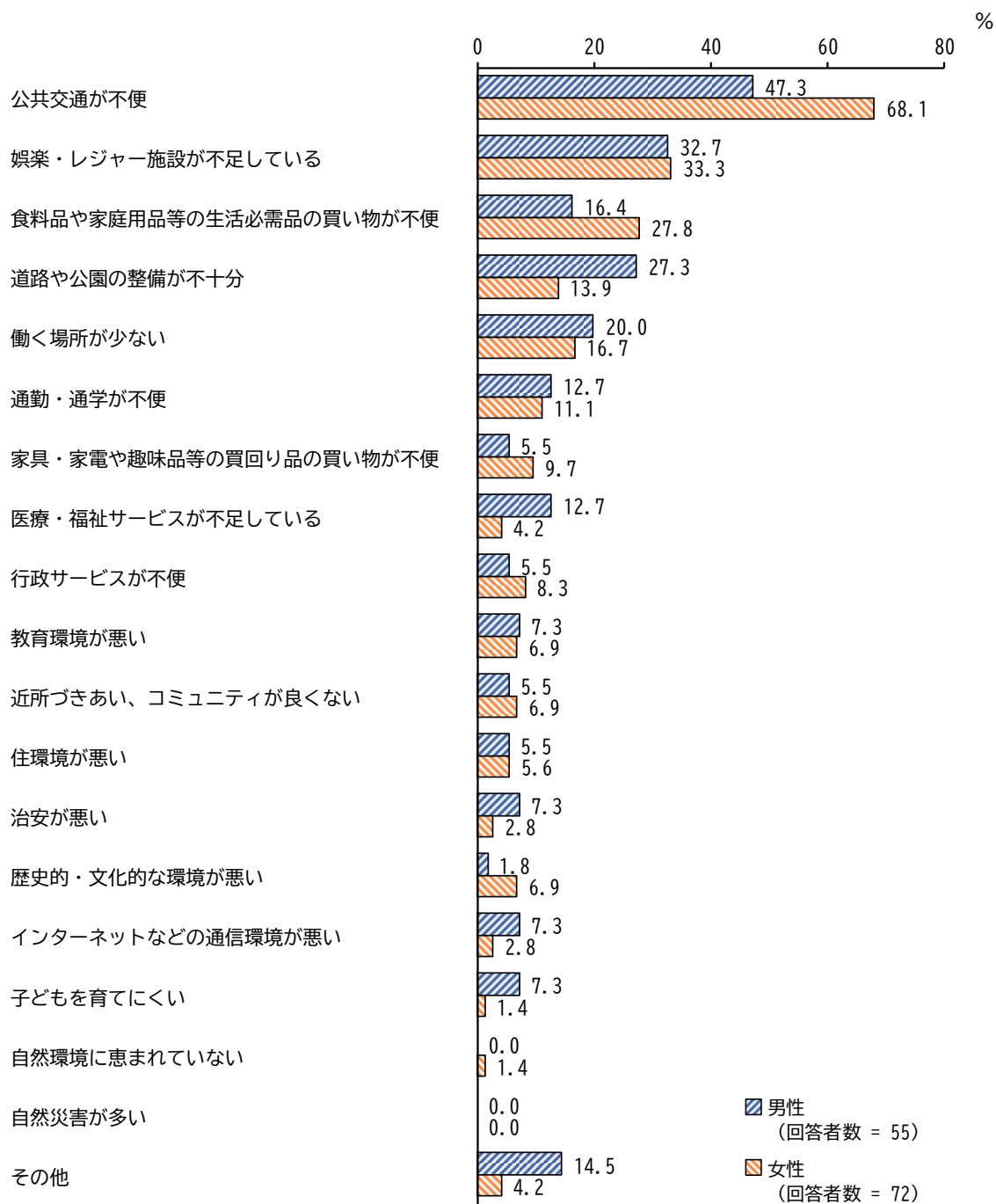
また、令和6年度調査から「娯楽・レジャー施設が不足している」の割合が増加しています。一方、「住環境が悪い」「子どもを育てにくい」の割合が減少しています。



※令和4年度調査では、「自然環境に恵まれていない」が「自然環境が悪い」、「歴史的・文化的な環境が悪い」が「歴史的・文化的な環境に恵まれていない」、「道路や公園の整備が不十分」が「道路整備が不十分」となっており、「行政サービスが不便」がありませんでした。

【性別】

性別にみると、男性で「道路や公園の整備が不十分」「医療・福祉サービスが不足している」「子どもを育てにくい」の割合が高く、女性で「公共交通が不便」「食料品や家庭用品等の生活必需品の買い物が不便」「歴史的・文化的な環境が悪い」の割合が高くなっています。

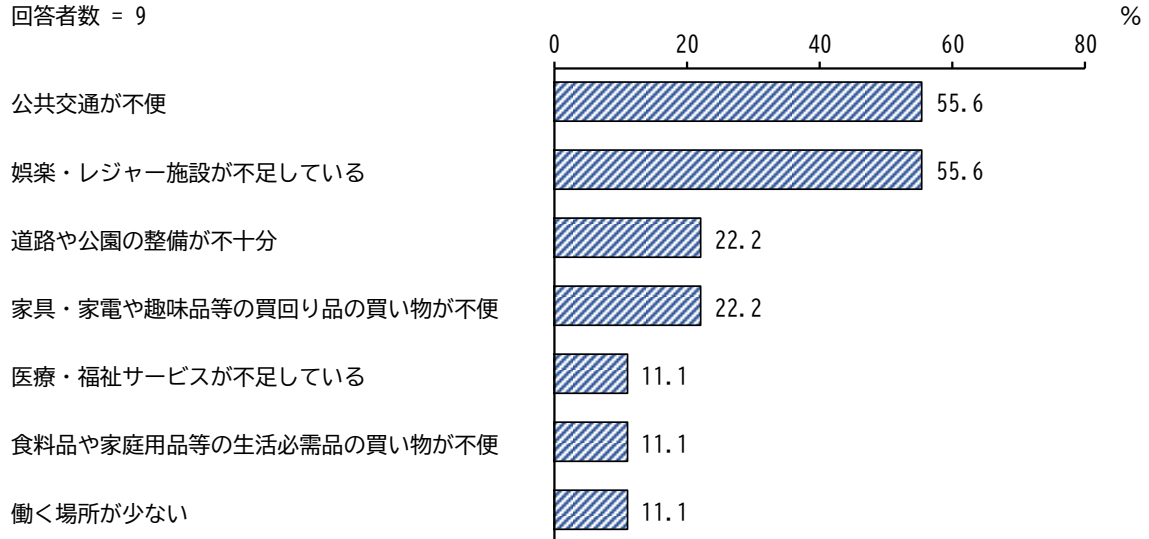


【世代別（上位5位まで）】

世代別でみると、全ての世代で「公共交通が不便」が1位となっています。また、若者～ミドル世代では「娯楽・レジャー施設が不足している」が、シニア世代では「食料品や家庭用品等の生活必需品の買い物が不便」が2位になっています。

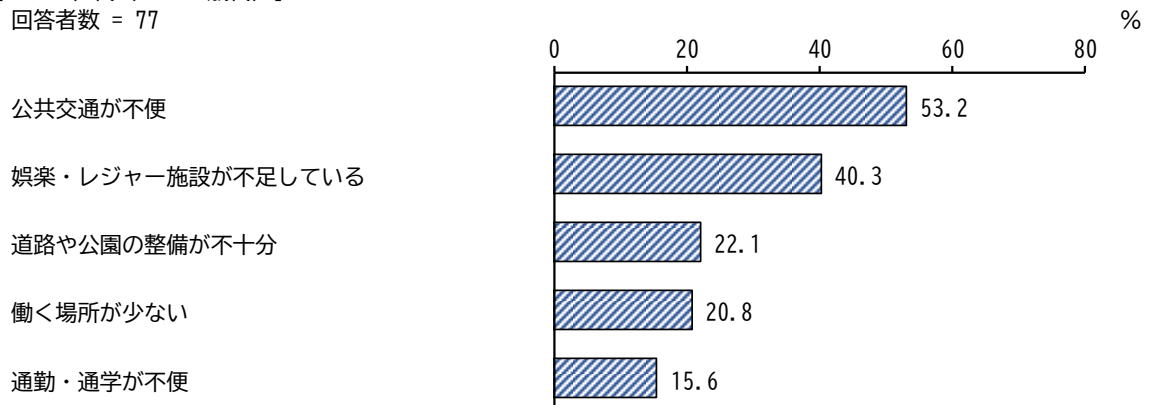
【若者世代（10～20歳代）】

回答者数 = 9



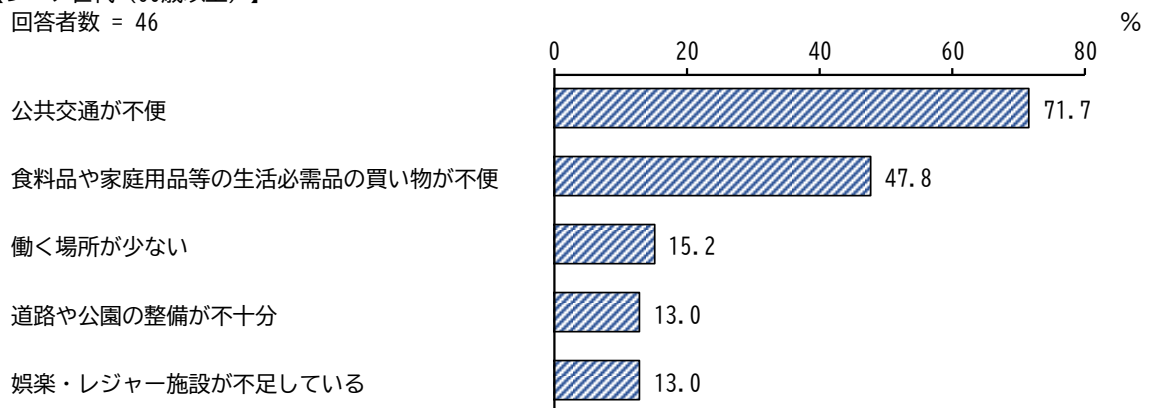
【ミドル世代（30～50歳代）】

回答者数 = 77



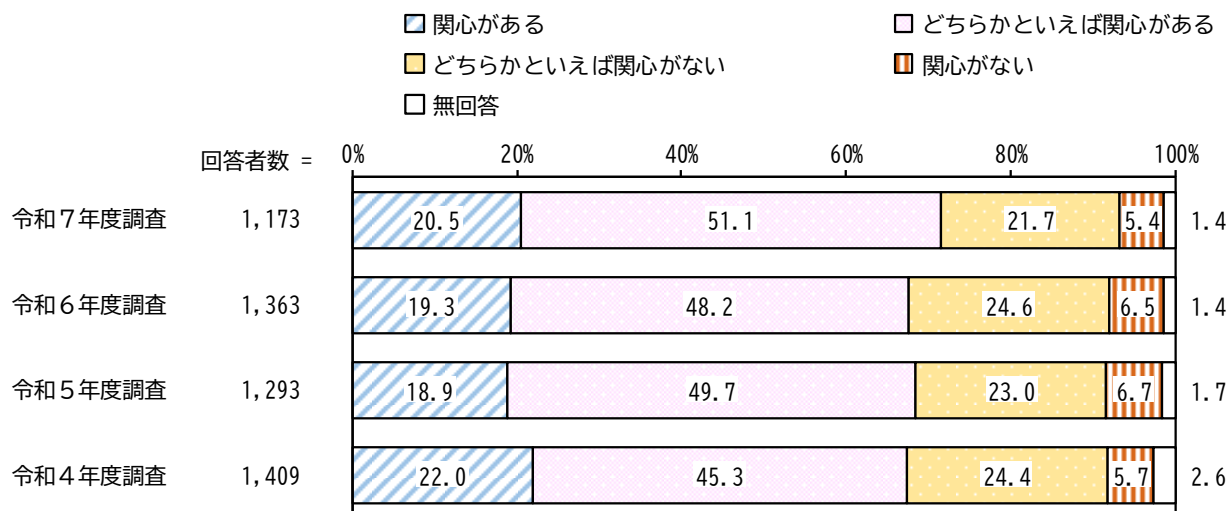
【シニア世代（60歳以上）】

回答者数 = 46



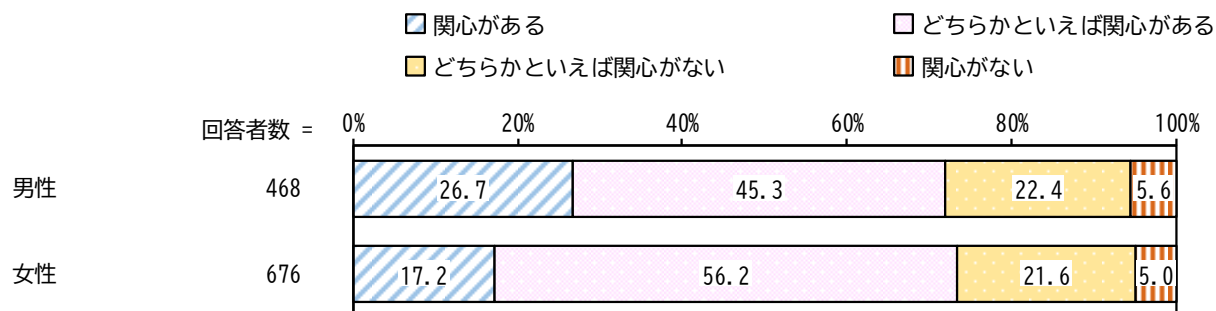
問 11 宇部市の市政（まちづくり）に関心がありますか。（○は1つ）

「関心がある」「どちらかといえば関心がある」を合わせた“関心がある”の割合が 71.6%、「どちらかといえば関心がない」「関心がない」を合わせた“関心がない”の割合が 27.1%となっています。
過去調査と比較すると、大きな変化はみられません。



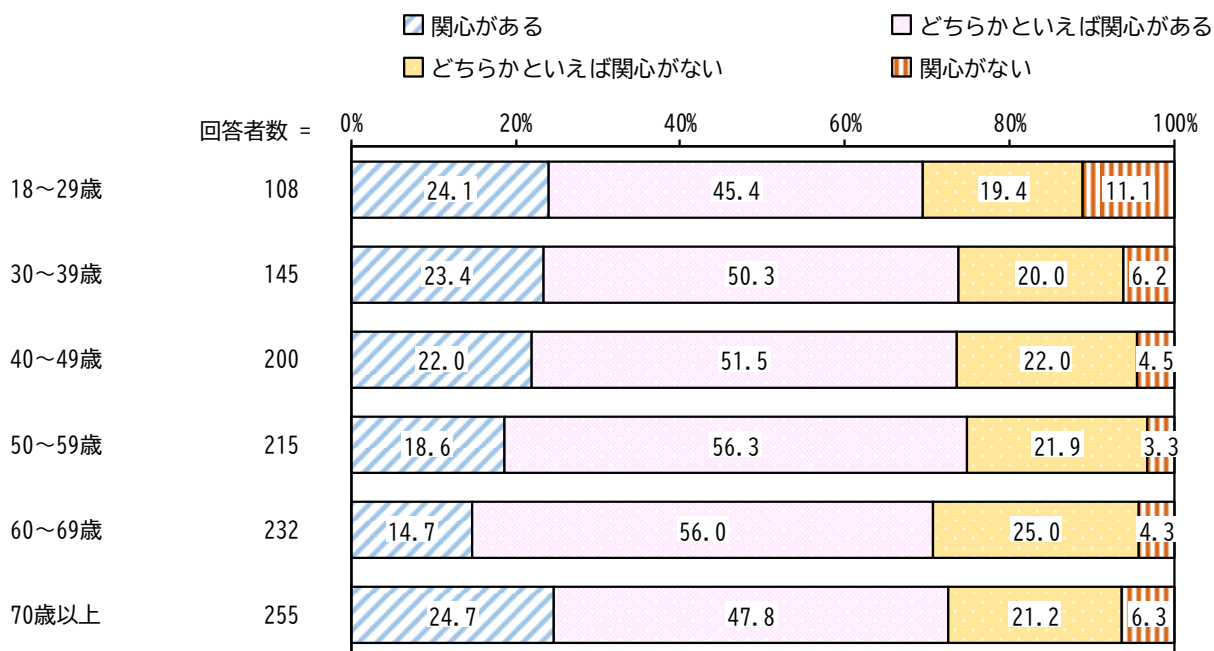
【性別】

性別にみると、男性で「関心がある」の割合が高く、女性で「どちらかといえば関心がある」の割合が高くなっています。



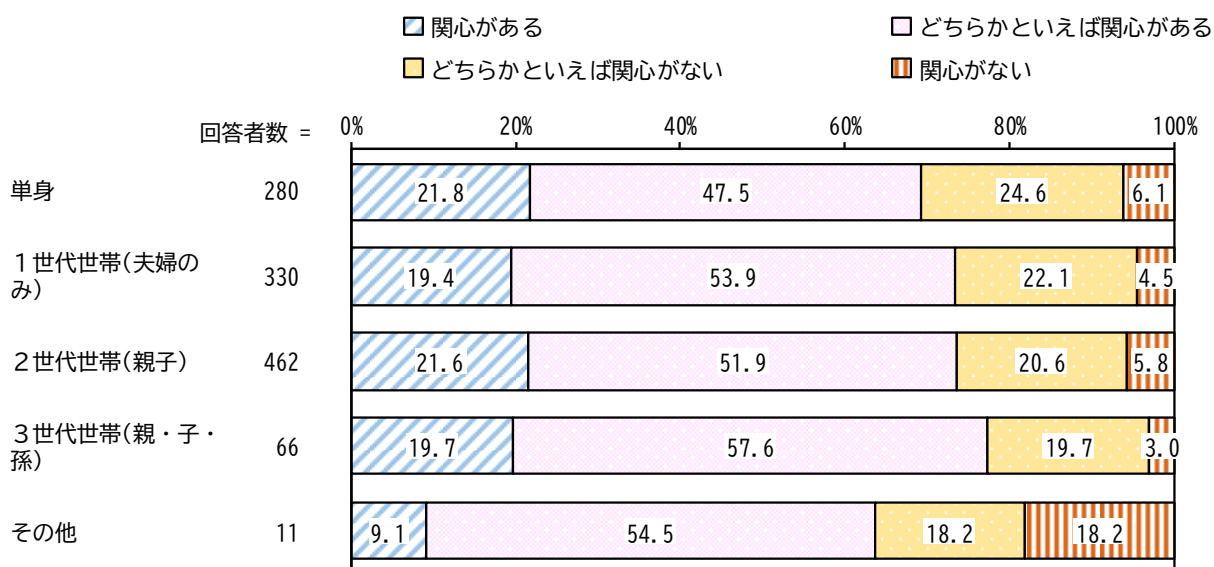
【年代別】

年代別にみると、18～29 歳から 60～69 歳まで年代が下がるほど「関心がある」の割合が高く、18～29 歳から 50～59 歳まで年代が上がるほど「どちらかといえば関心がある」の割合が高く、「関心がない」の割合が低くなっています。



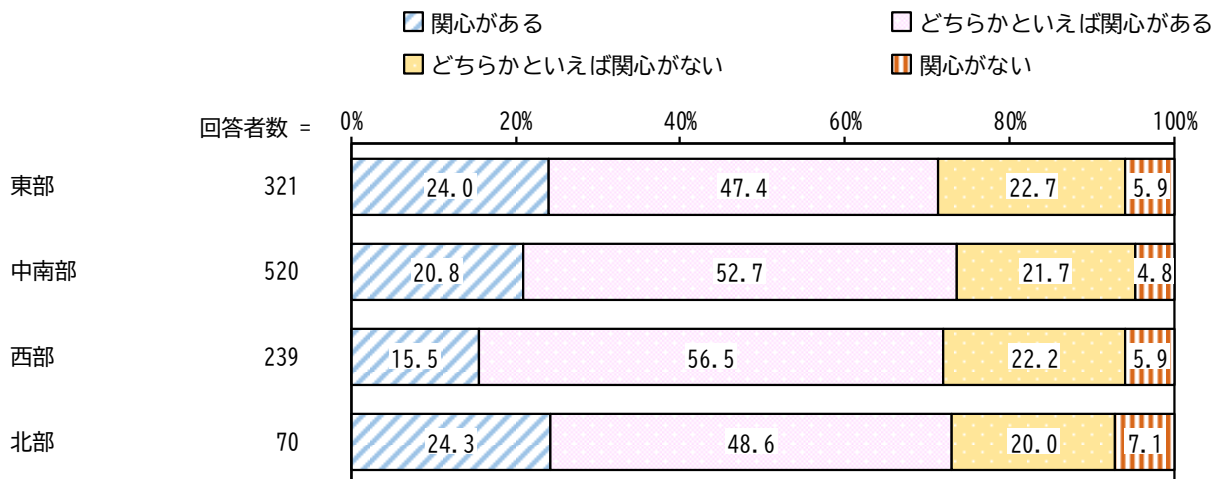
【家族構成別】

家族構成別にみると、3 世代世帯(親・子・孫)で「どちらかといえば関心がある」の割合が高くなっています。



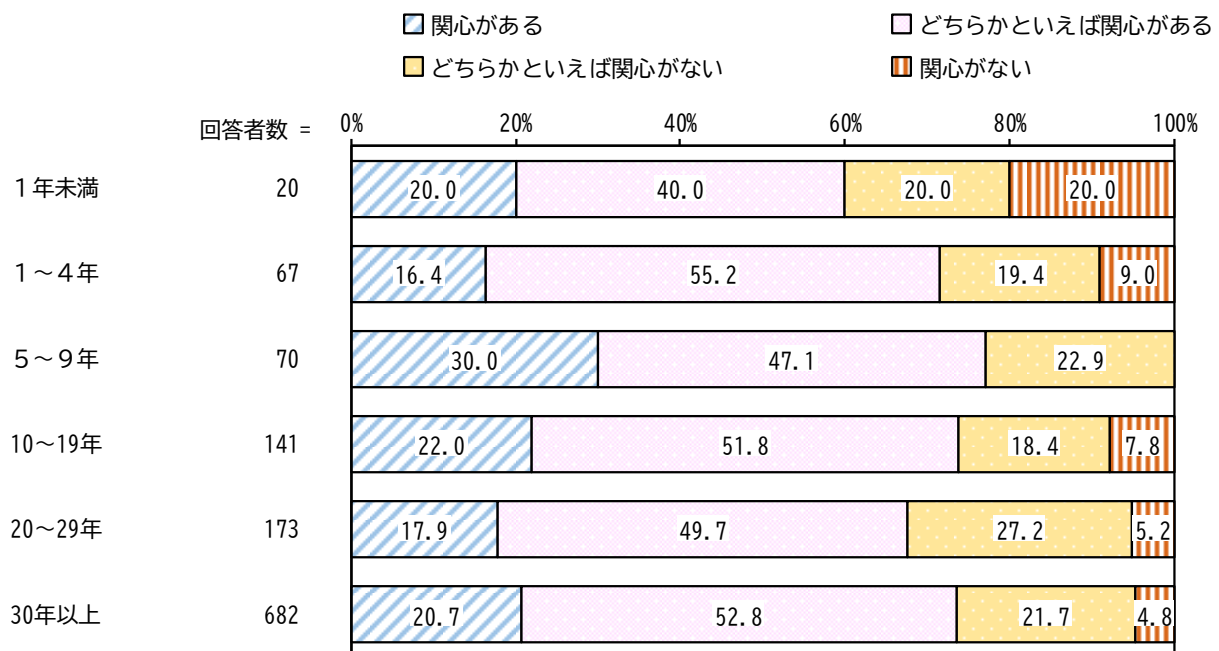
【居住地区別】

居住地区別にみると、西部で「関心がある」の割合が低くなっています。



【居住年数別】

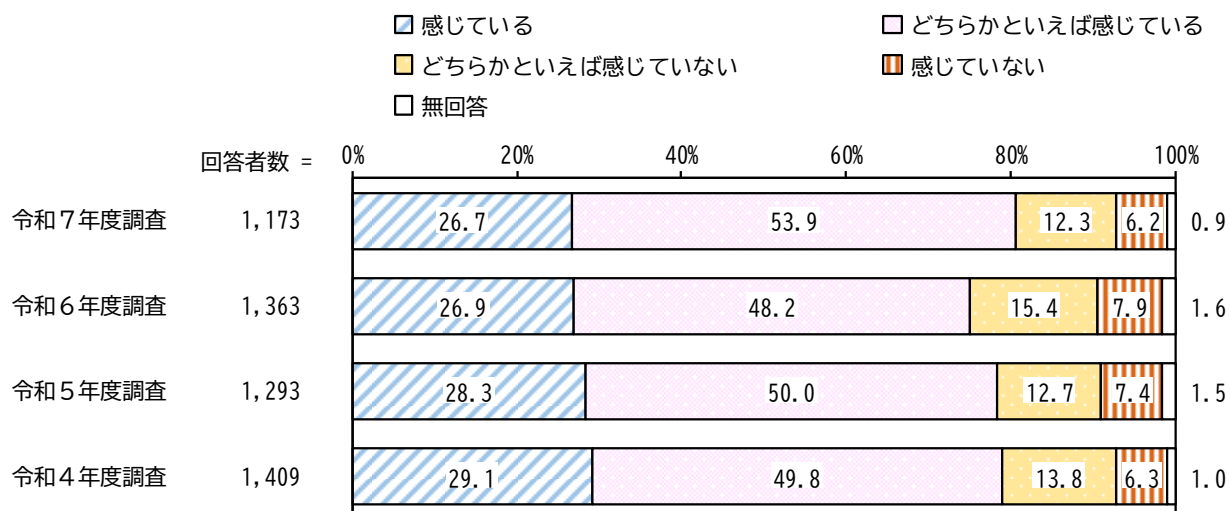
居住年数別にみると、1年未満で“関心がない”の割合が高くなっています。



問 12 宇部市に愛着(誇り)を感じていますか。(○は1つ)

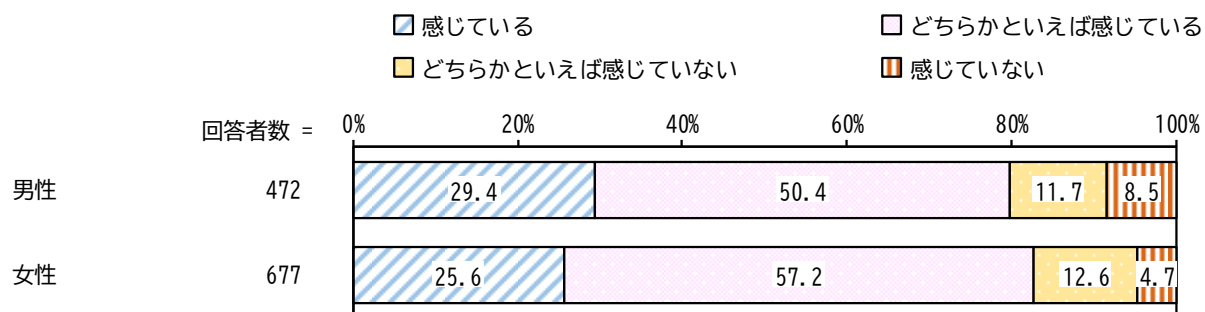
「感じている」「どちらかといえば感じている」を合わせた“感じている”の割合が 80.6%、「どちらかといえば感じていない」「感じていない」を合わせた“感じていない”の割合が 18.5%となっています。

過去調査と比較すると、令和6年度調査から“感じている”の割合が増加しています。



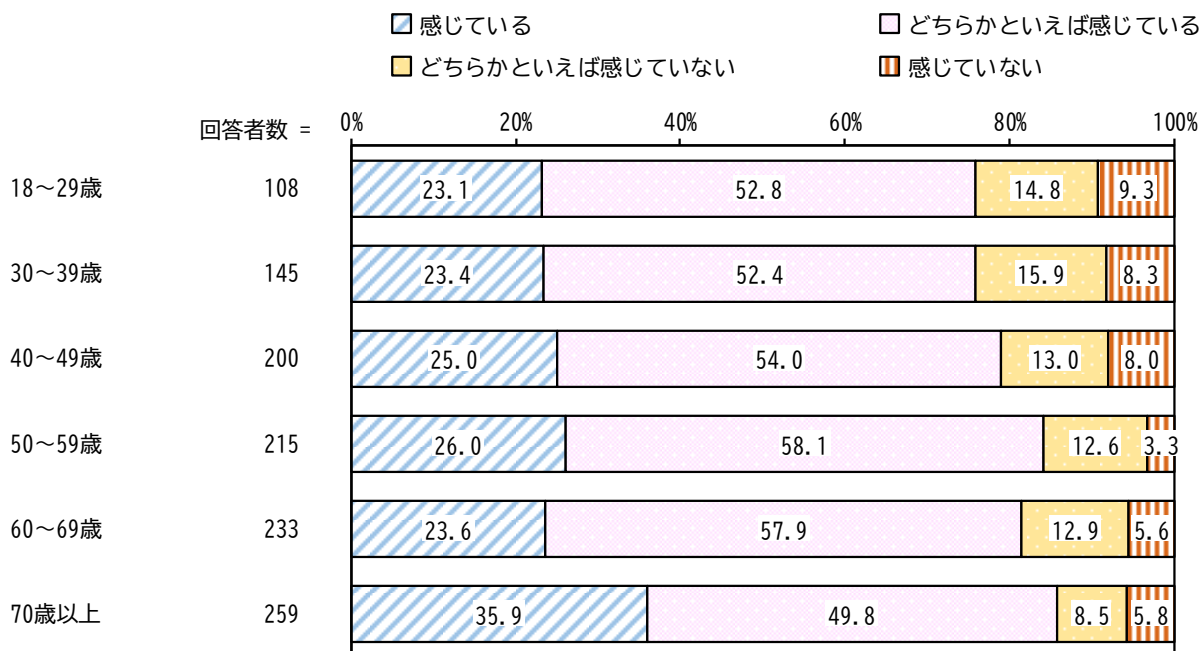
【性別】

性別にみると、女性で「どちらかといえば感じている」の割合が高くなっています。



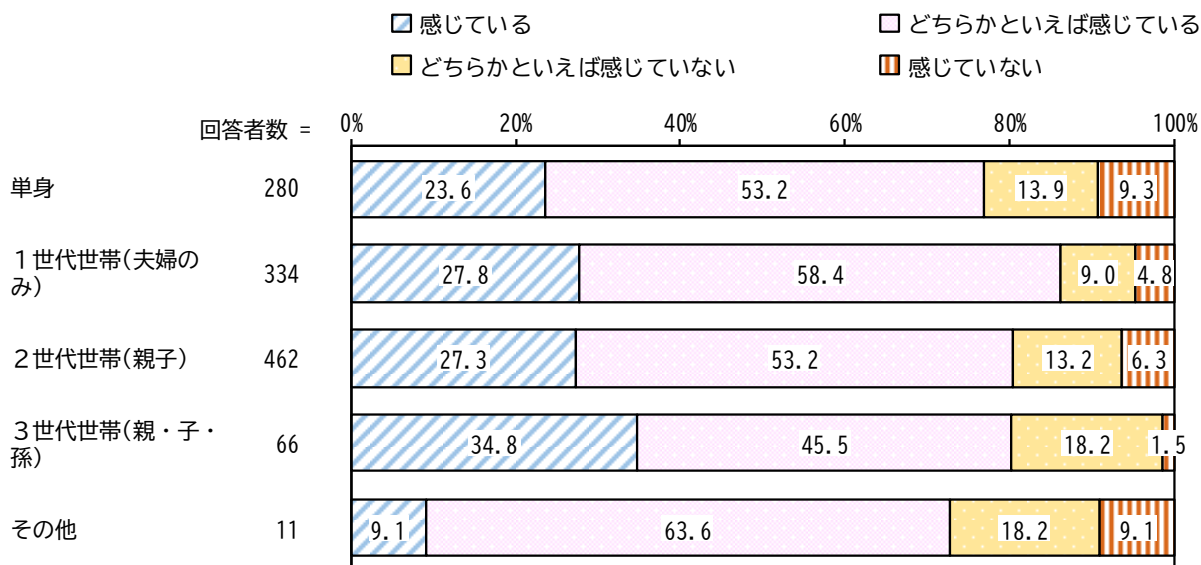
【年代別】

年代別にみると、30～39 歳から 70 歳以上まで年代が上がるほど“感じている”の割合が高い傾向にあります。



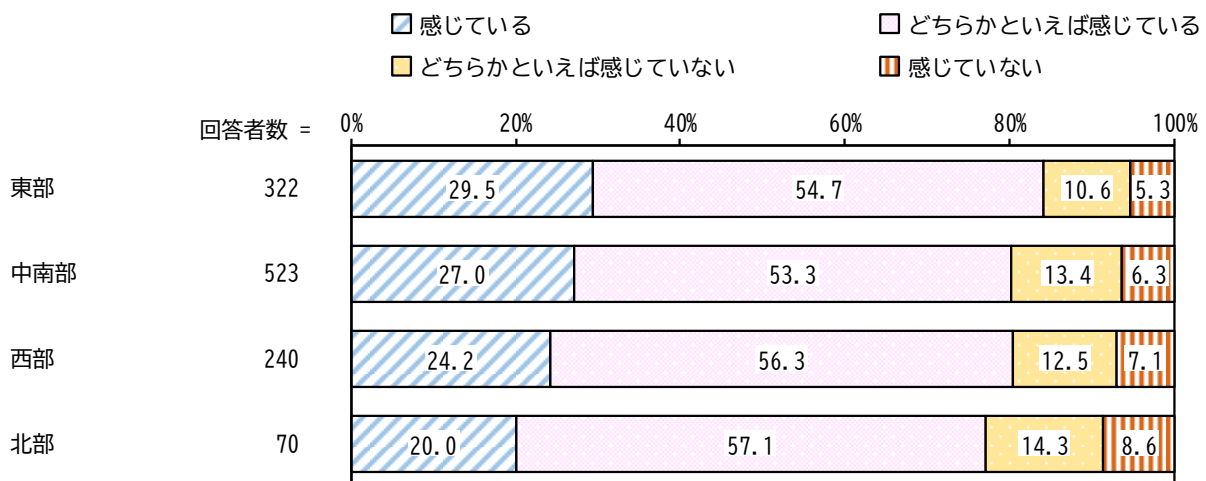
【家族構成別】

家族構成別にみると、3 世代世帯(親・子・孫)で「感じている」「どちらかといえば感じていない」の割合が高くなっています。また、3 世代世帯(親・子・孫)で「どちらかといえば感じている」の割合が低くなっています。



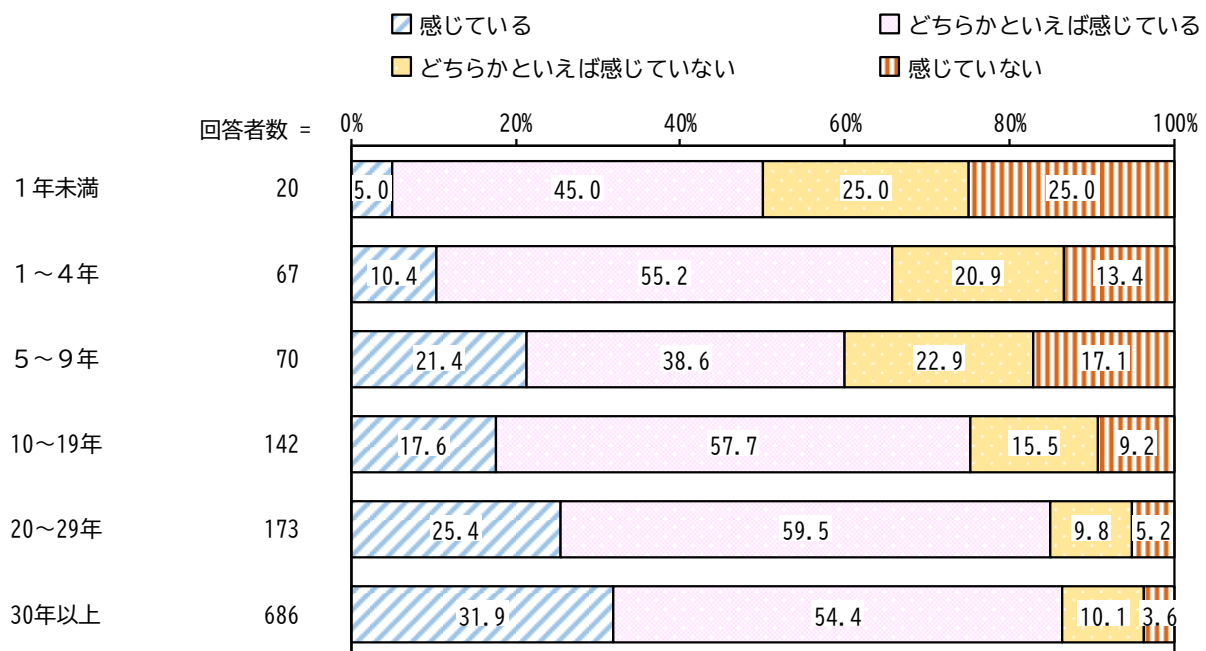
【居住地区別】

居住地区別にみると、北部で「感じている」の割合が低くなっています。



【居住年数別】

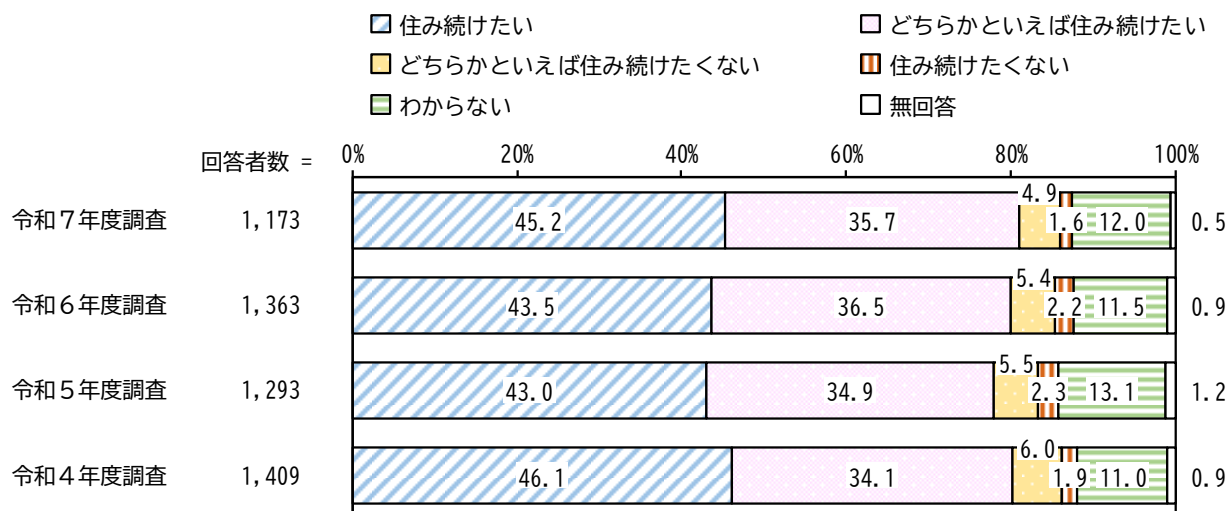
居住年数別にみると、1年未満で“感じていない”の割合が高くなっています。



問 13 これからも宇部市に住みたいですか。(○は1つ)

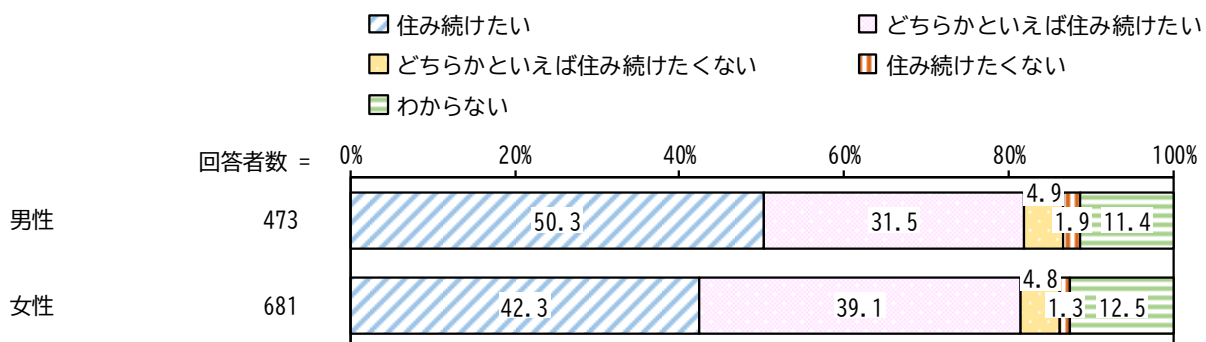
「住みたい」「どちらかといえば住みたい」を合わせた“住みたい”の割合が 80.9%、「どちらかといえば住みたくない」「住みたくない」を合わせた“住みたくない”の割合が 6.5%となっています。

過去調査と比較すると、大きな変化はみられません。



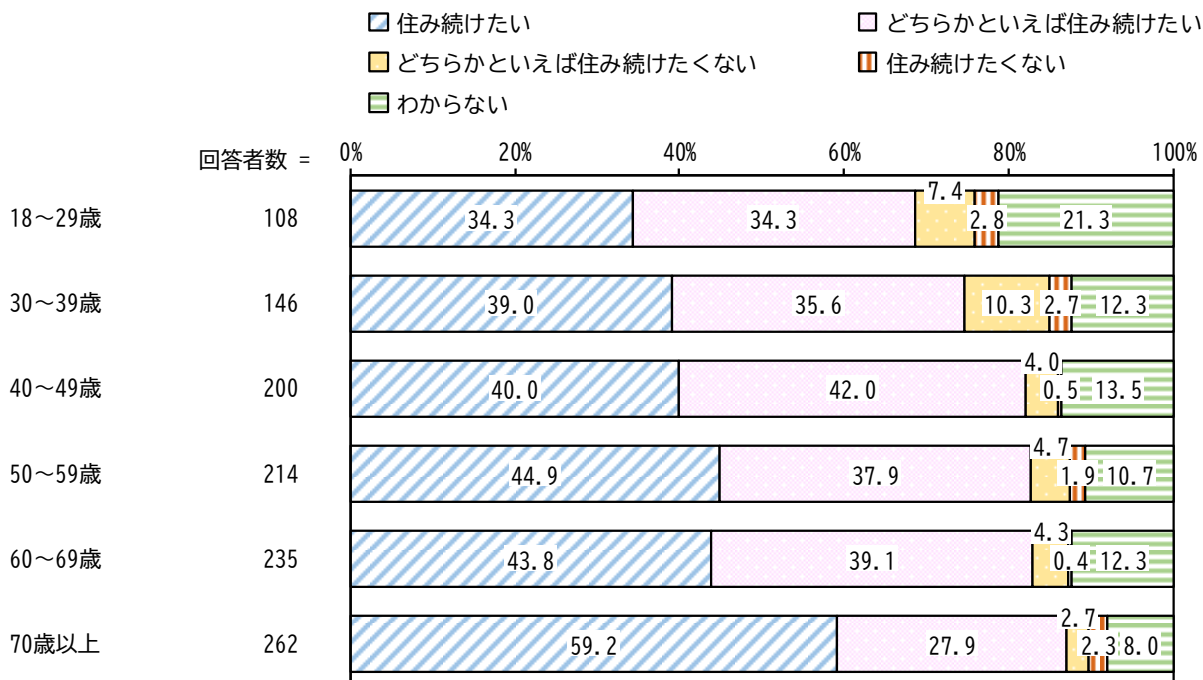
【性別】

性別にみると、男性で「住みたい」の割合が高く、女性で「どちらかといえば住みたい」の割合が高くなっています。



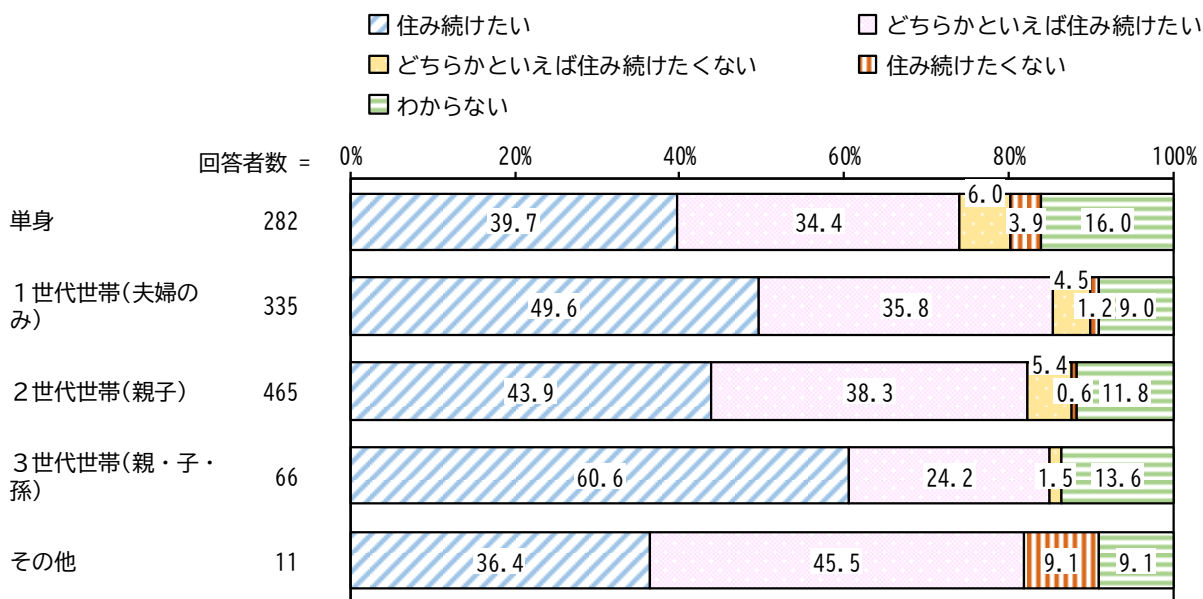
【年代別】

年代別にみると、年代が上がるほど“住みたい”の割合が高くなっています。また、70歳以上で「住みたい」の割合が高くなっています。



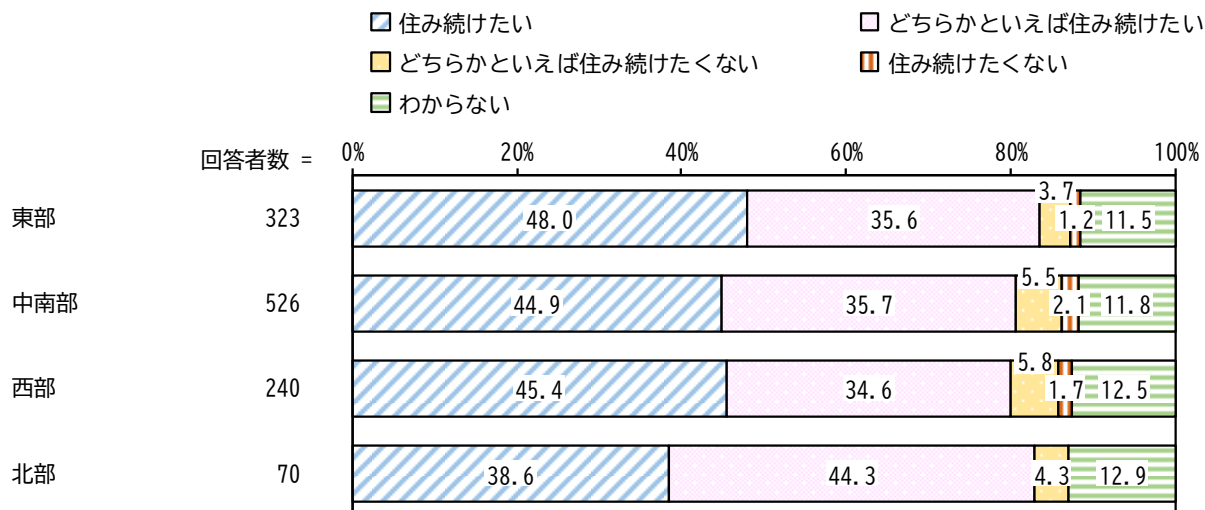
【家族構成別】

家族構成別にみると、単身で“住みたい”、3世代世帯(親・子・孫)で“住みたくない”の割合が低くなっています。



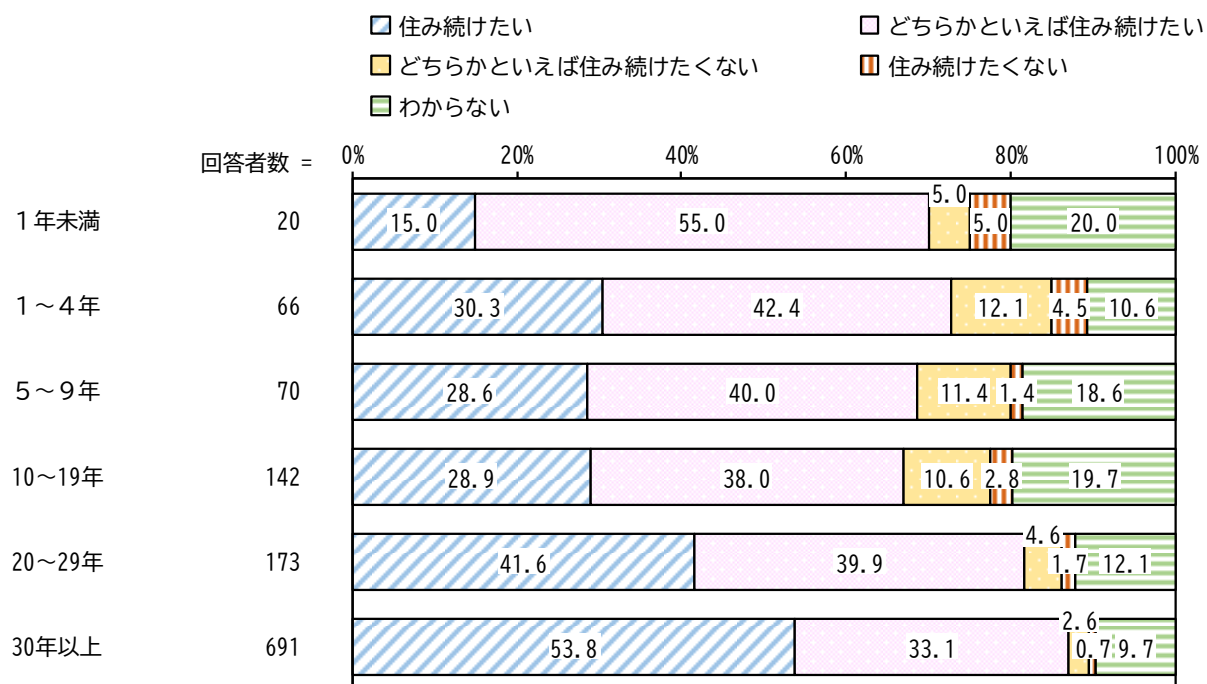
【居住地区別】

居住地区別にみると、北部で「どちらかといえば住み続けたい」の割合が高く、「住み続けたい」の割合が低くなっています。



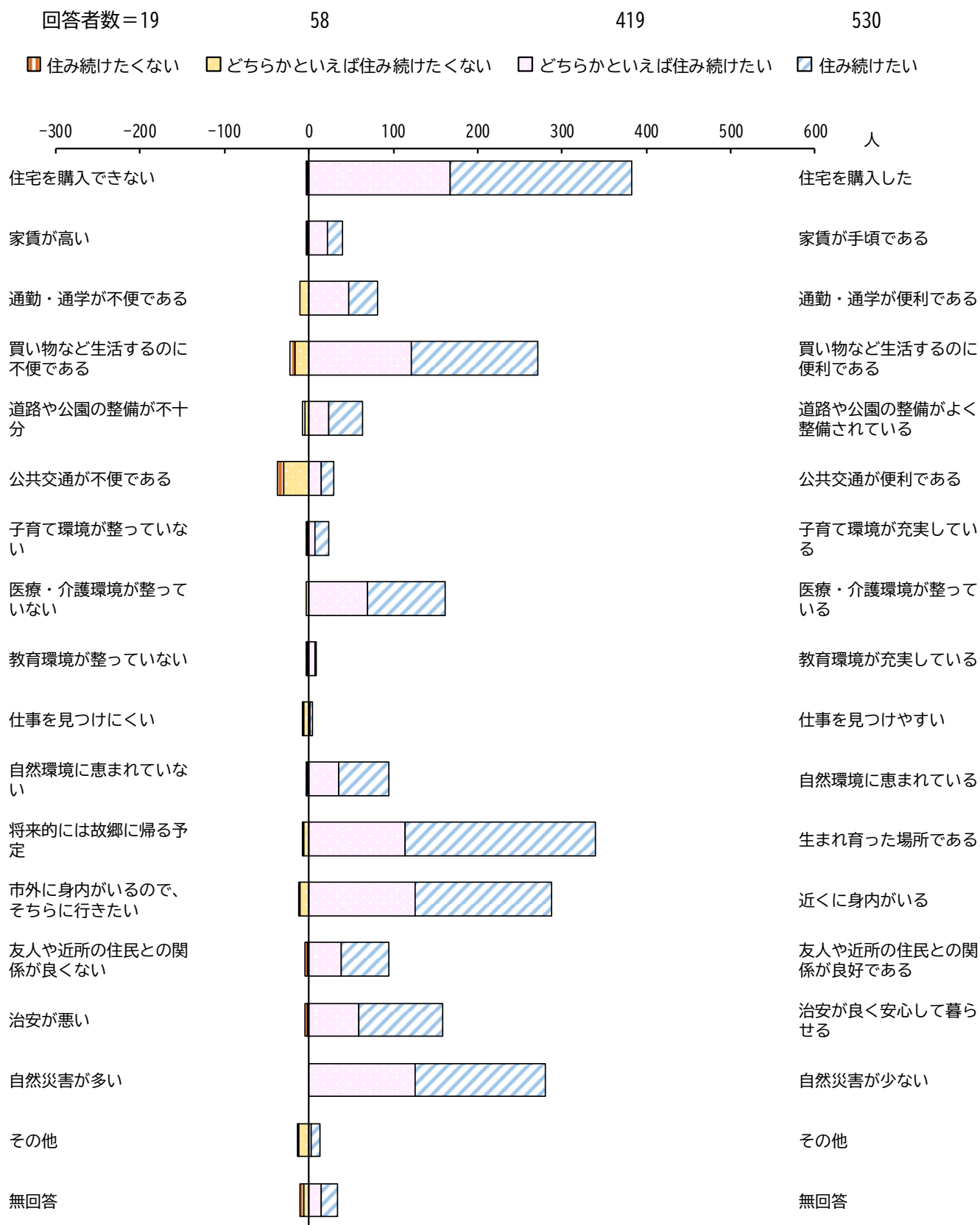
【居住年数別】

居住年数別にみると、1～4年で“住み続けたくない”の割合が高くなっています。



住み続けたくない理由／住み続けたい理由【項目別】

複数回答有（最大3）



31 ページへ



28 ページへ

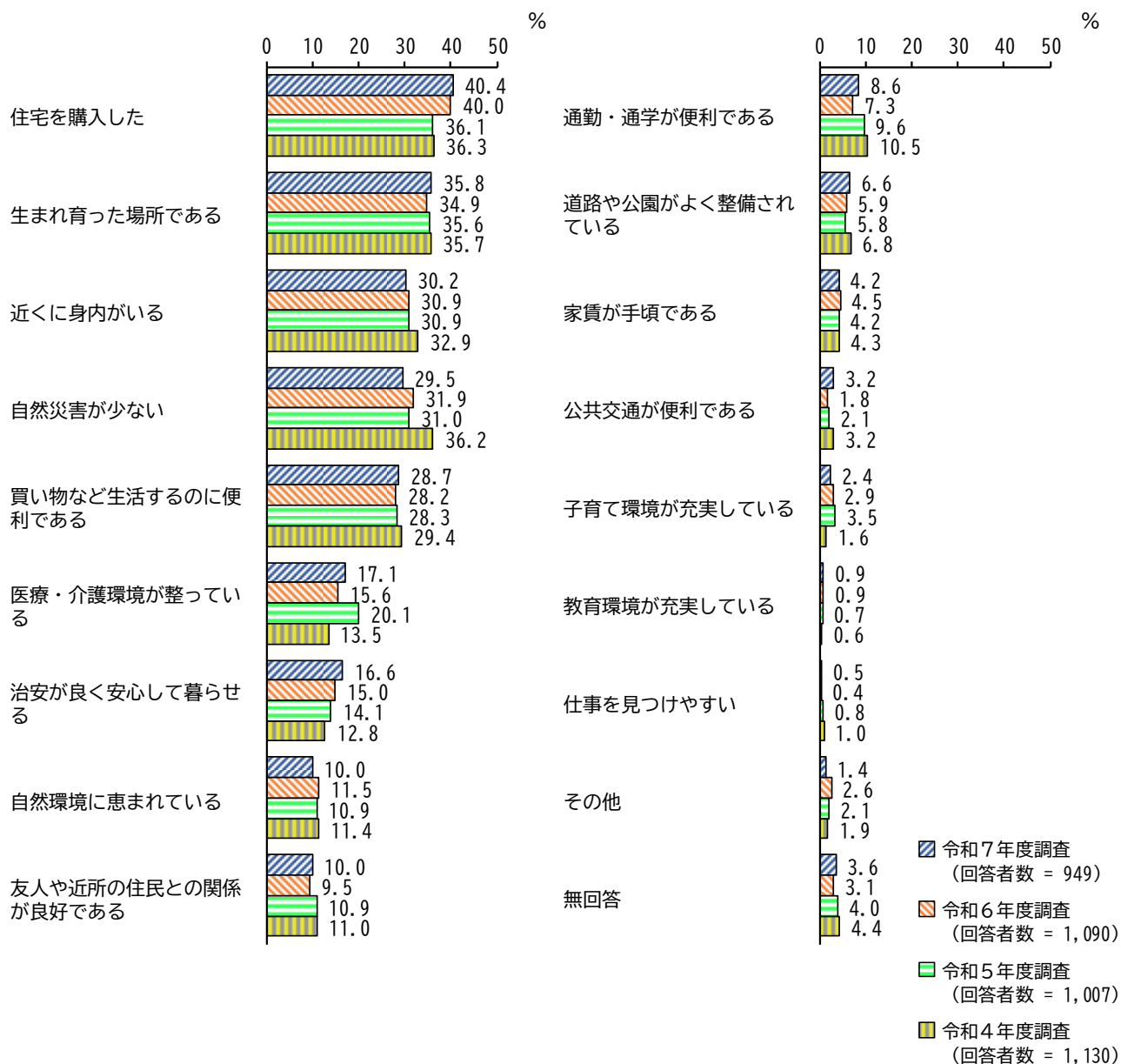
※「住み続けたくない」「どちらかといえば住み続けたくない」と回答した人については、マイナスで表示しています。

問 13 で「住み続けたい」「どちらかといえば住み続けたい」と答えた方にお聞きます。

問 14 あなたが住み続けたいと考える理由を教えてください。(○は3つまで)

「住宅を購入した」の割合が 40.4%と最も高く、次いで「生まれ育った場所である」の割合が 35.8%、「近くに身内がいる」の割合が 30.2%となっています。

過去調査と比較すると、令和 4 年度調査から「自然災害が少ない」の割合が減少傾向にあります。

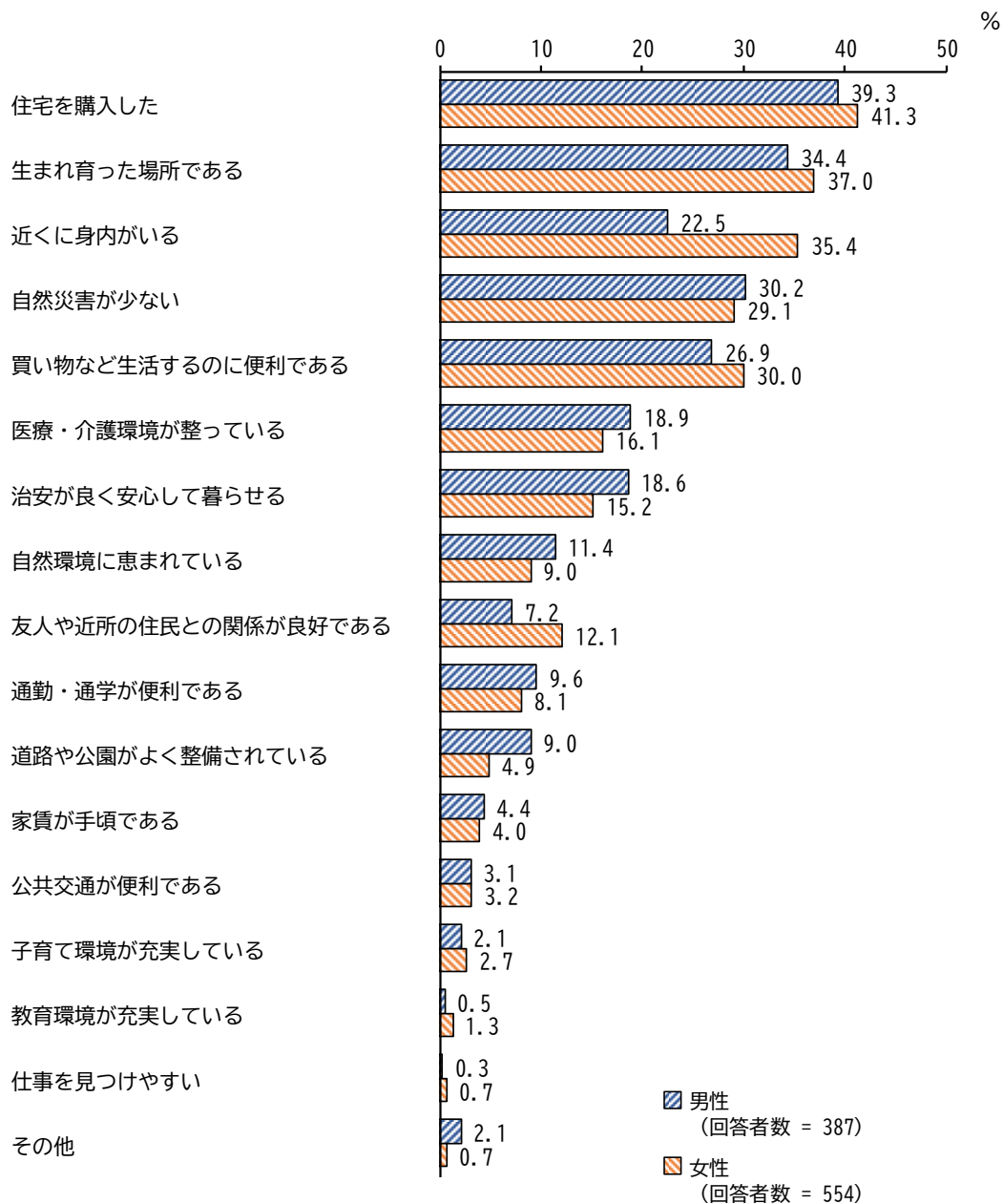


※令和 6 年度調査、令和 5 年度調査では、「公共交通が便利である」が「公共交通が充実している」となっていました。

令和 4 年度調査では、「道路や公園がよく整備されている」が「道路や公園などが整備されている」、「公共交通が便利である」が「公共交通が充実している」となっていました。

【性別】

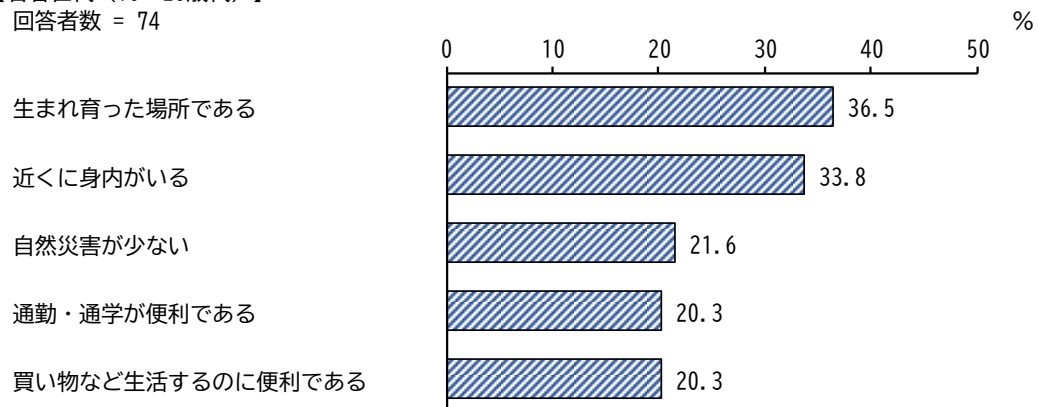
性別にみると、女性で「近くに身内がいる」の割合が高くなっています。



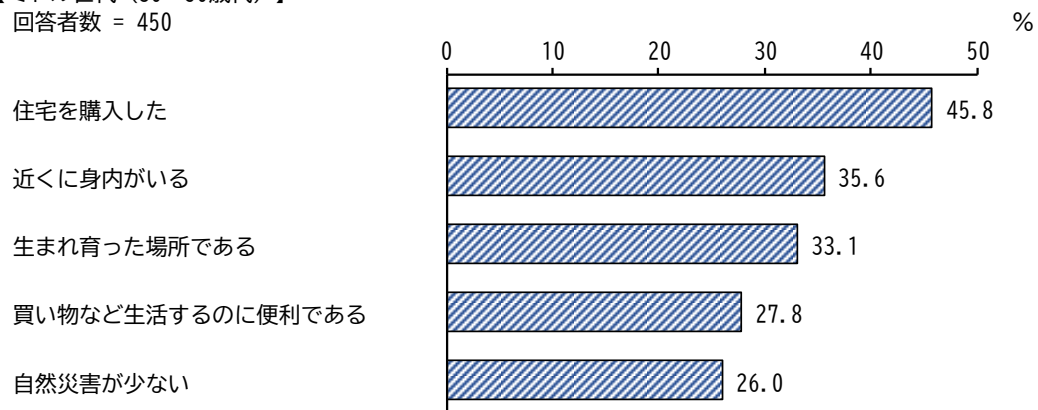
【世代別（上位5位まで）】

世代別でみると、全ての世代で「生まれ育った場所である」「自然災害が少ない」「買い物など生活するのに便利である」「近くに身内がいる」が上位5位以内に入っています。

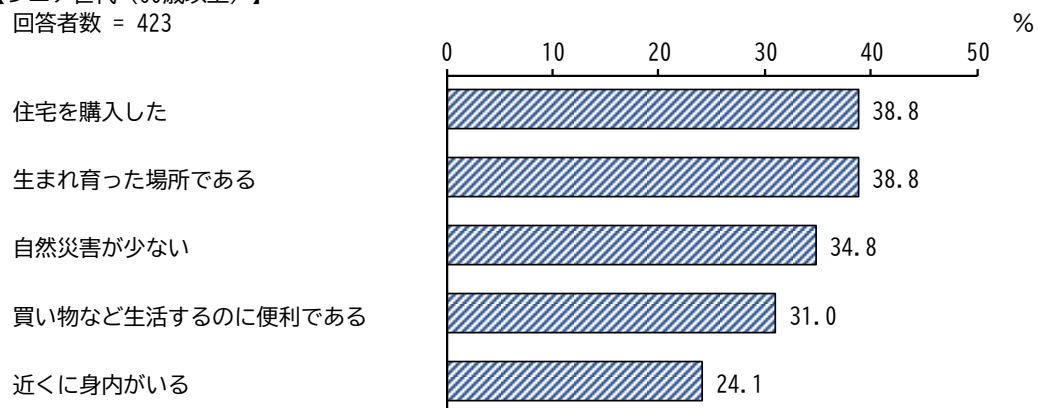
【若者世代（10～20歳代）】
回答者数 = 74



【ミドル世代（30～50歳代）】
回答者数 = 450



【シニア世代（60歳以上）】
回答者数 = 423



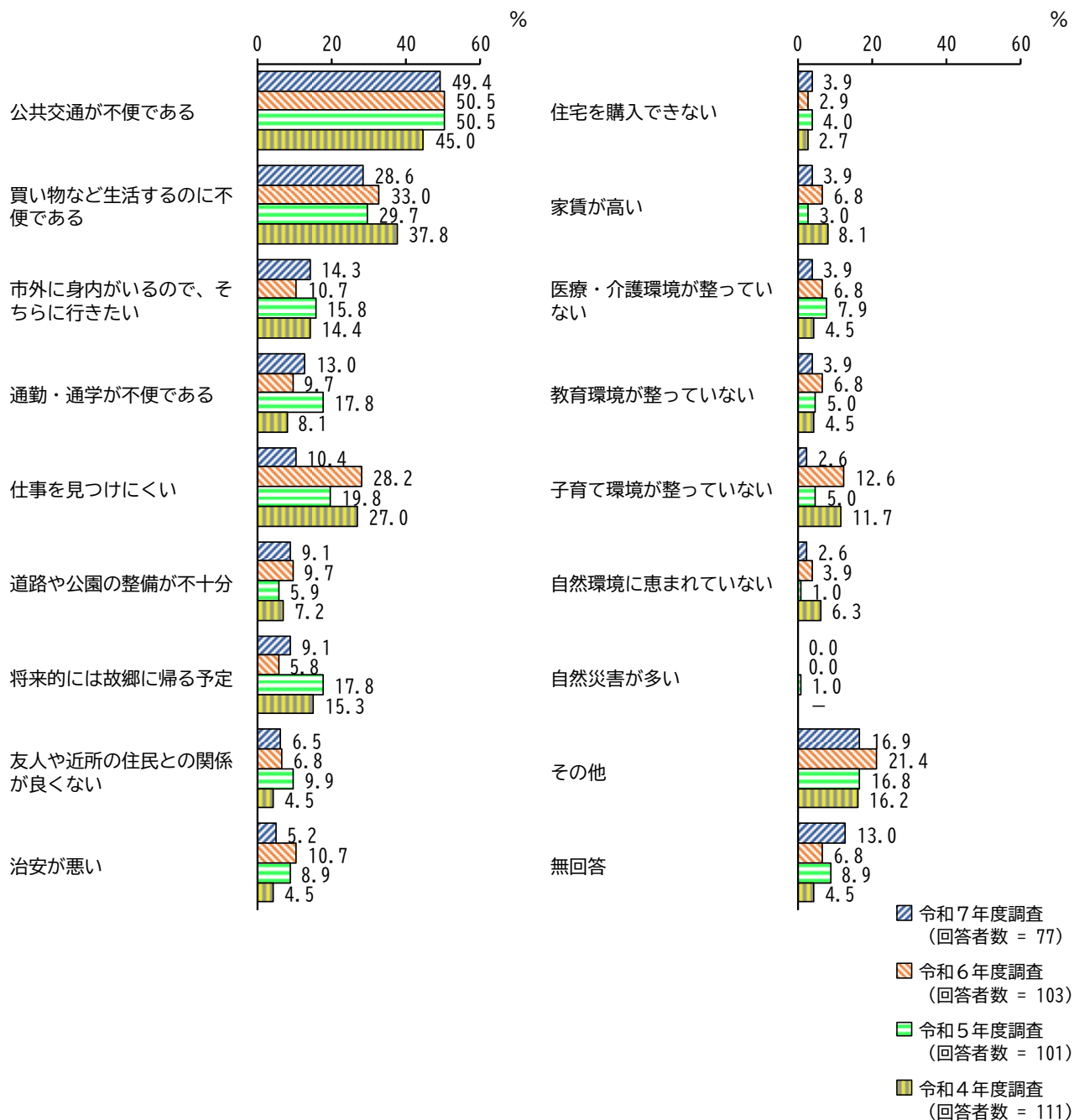
問 13 で「どちらかといえば住み続けたくない」「住み続けたくない」と答えた方にお聞きします。

問 15 あなたが住み続けたくないと考える理由を教えてください。(○は3つまで)

「公共交通が不便である」の割合が 49.4%と最も高く、次いで「買い物など生活するのに不便である」の割合が 28.6%、「市外に身内がいるので、そちらに行きたい」の割合が 14.3%となっています。

過去調査と比較すると、令和4年度調査から「買い物など生活するのに不便である」「仕事を見つけにくい」「子育て環境が整っていない」の割合が減少傾向にあります。

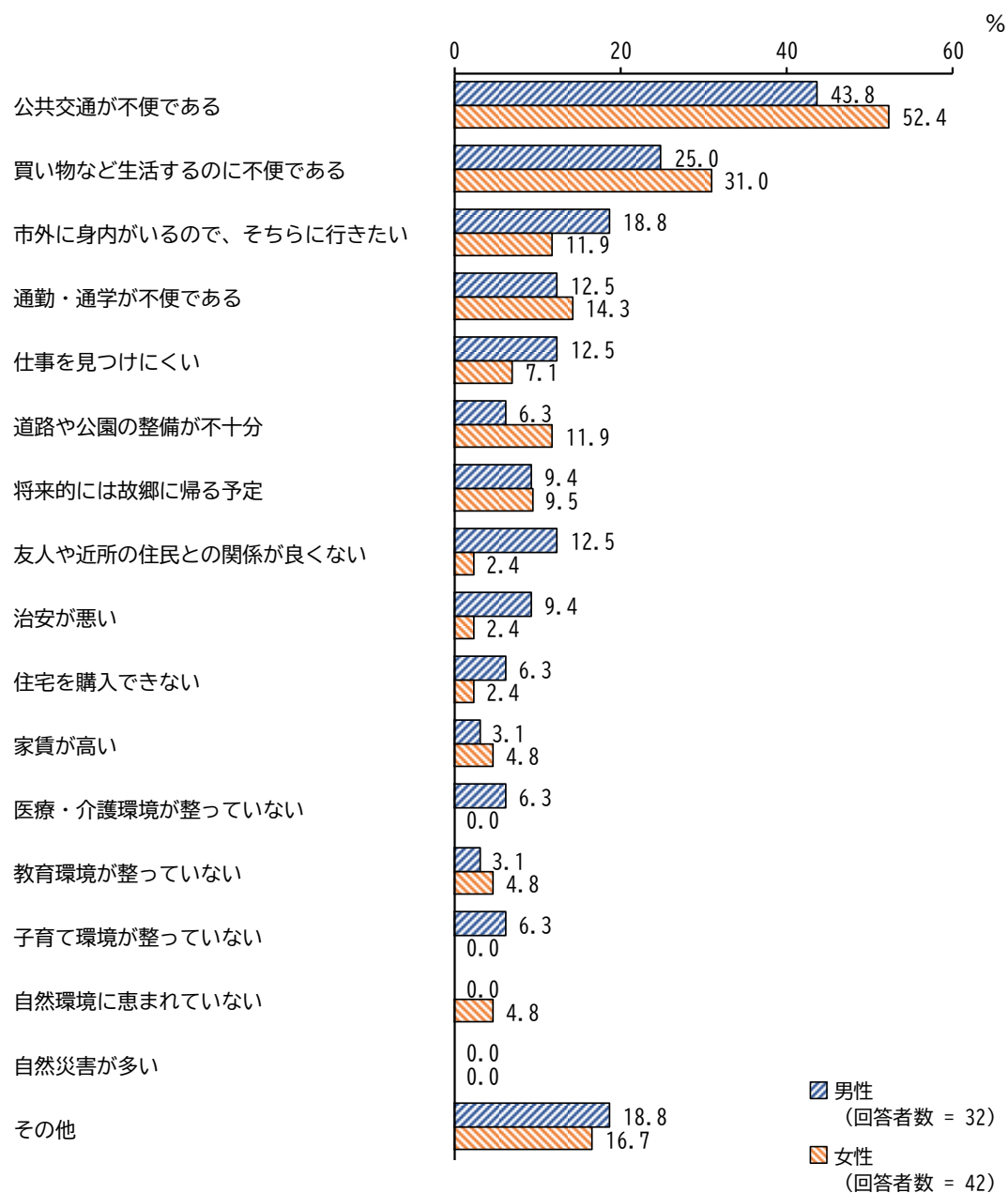
また、令和6年度調査から「治安が悪い」の割合が減少しています。



※令和4年度調査では、「道路や公園の整備が不十分」が「道路や公園などが整備されていない」、「自然環境に恵まれていない」が「自然環境が悪い」となっており、「自然災害が多い」がありませんでした。

【性別】

性別にみると、男性で「市外に身内がいるので、そちらに行きたい」「仕事を見つけにくい」「友人や近所の住民との関係が良くない」「治安が悪い」「医療・介護環境が整っていない」「子育て環境が整っていない」の割合が高く、女性で「公共交通が不便である」「買い物など生活するのに不便である」「道路や公園の整備が不十分」の割合が高くなっています。

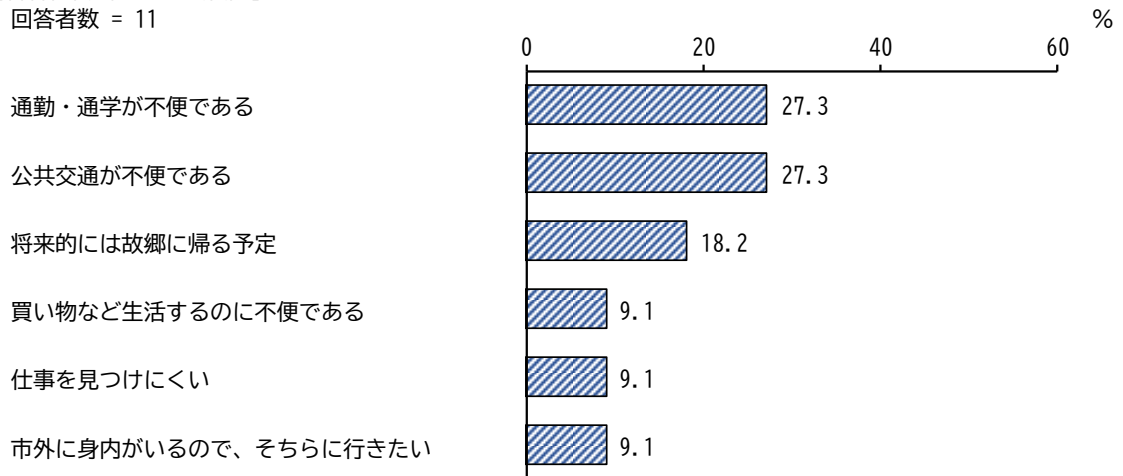


【世代別（上位5位まで）】

世代別でみると、全ての世代で「公共交通が不便である」「買い物など生活するのに不便である」「市外に身内がいるので、そちらに行きたい」が上位5位以内に入っています。

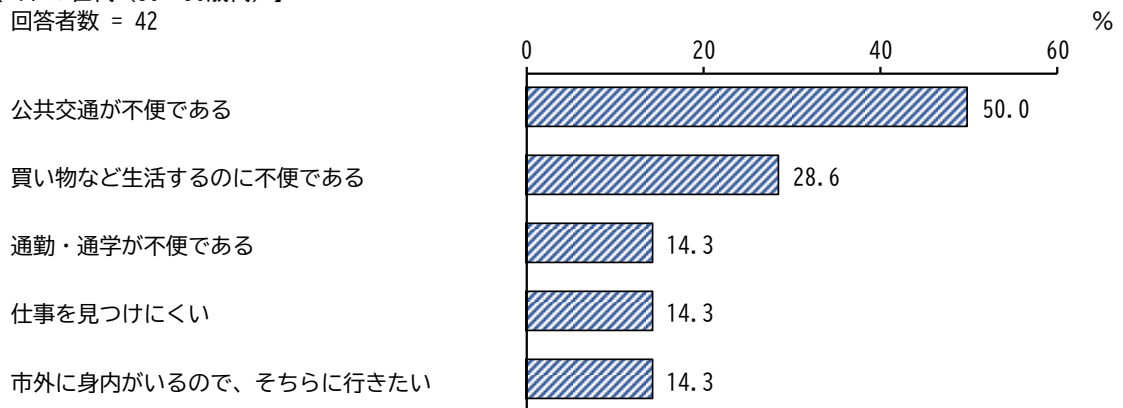
【若者世代（10～20歳代）】

回答者数 = 11



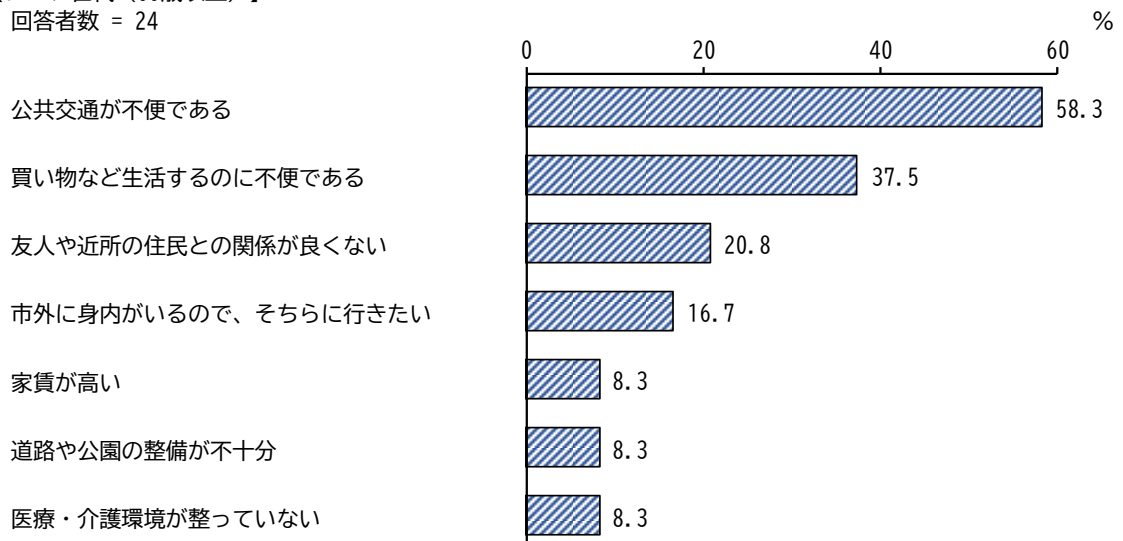
【ミドル世代（30～50歳代）】

回答者数 = 42



【シニア世代（60歳以上）】

回答者数 = 24

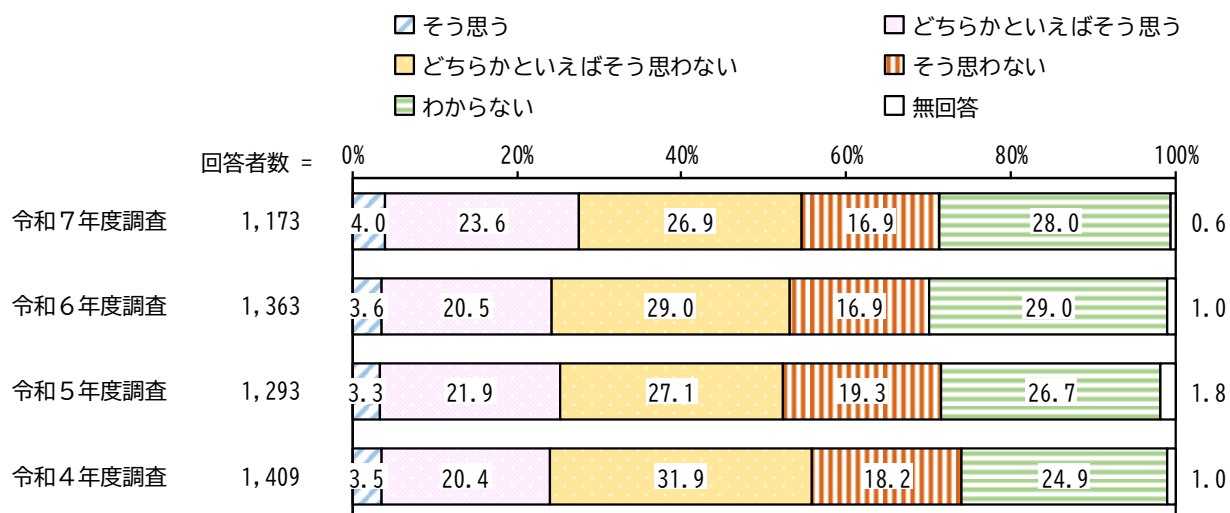


3 宇部市のまちやご自身について思うこと

(1) 産業や雇用環境について

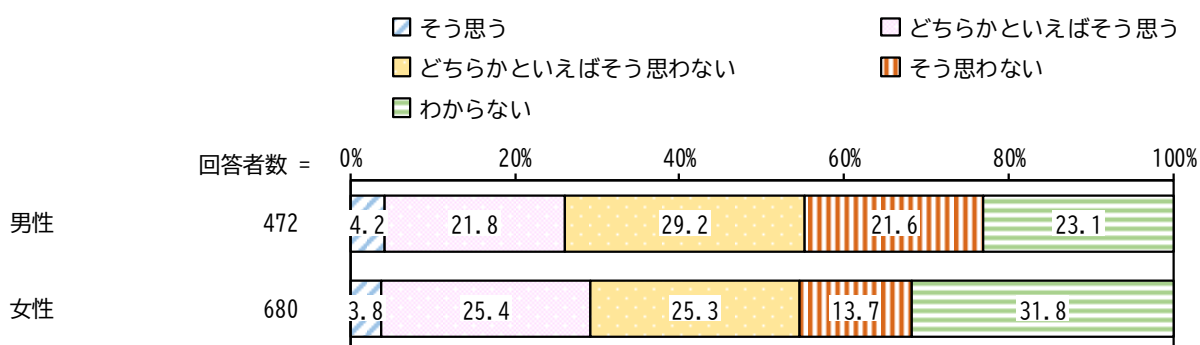
問16 新しい事業の展開など、市内企業の事業活動が活発に行われていると思いますか。
(○は1つ)

「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた“そう思う”の割合が27.6%、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」を合わせた“そう思わない”の割合が43.8%となっています。
過去調査と比較すると、令和4年度調査から“そう思わない”の割合が減少しています。



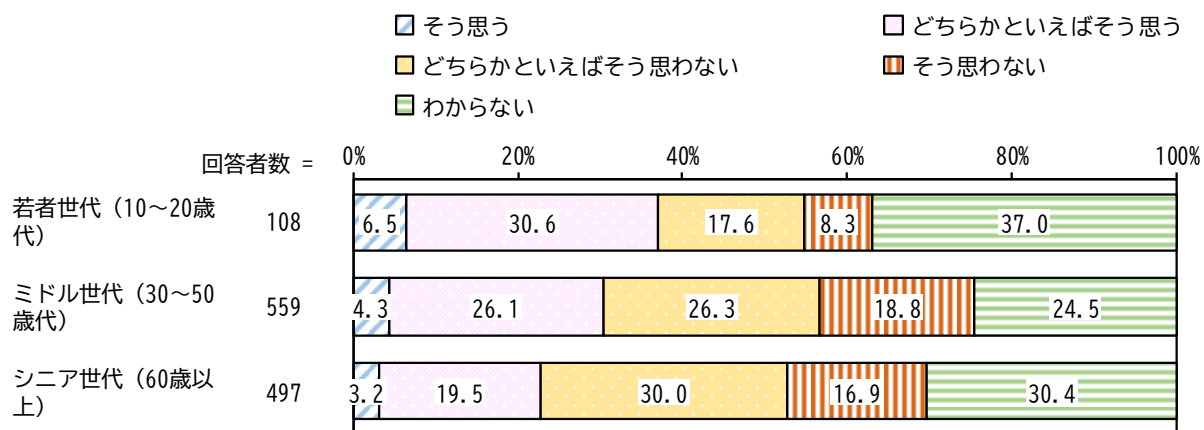
【性別】

性別にみると、男性で“そう思わない”の割合が高くなっています。



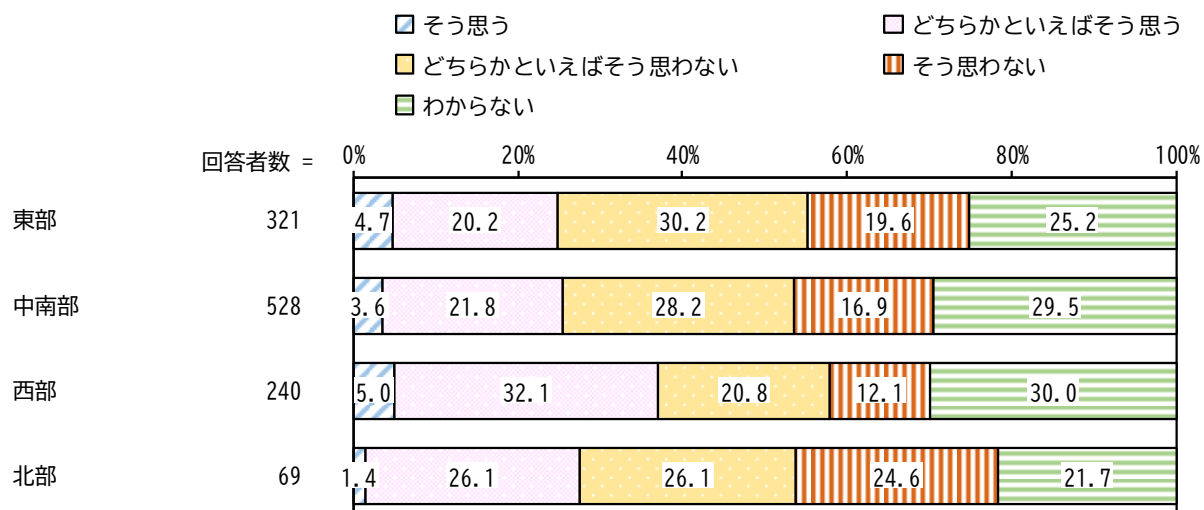
【世代別】

世代別にみると、世代が上がるほど“そう思わない”の割合が高くなっています。



【居住地区別】

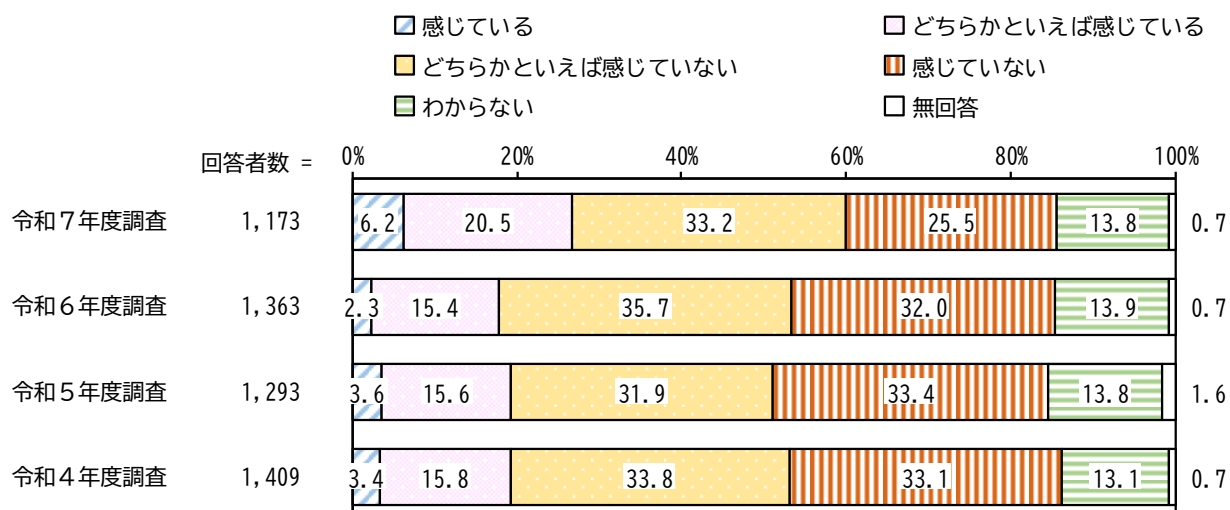
居住地区別にみると、西部で“そう思わない”の割合が低くなっています。



問 17 新たな店舗の開業など、地元商業に活力を感じますか。(○は1つ)

「感じている」「どちらかといえば感じている」を合わせた“感じている”の割合が 26.7%、「どちらかといえば感じていない」「感じていない」を合わせた“感じていない”の割合が 58.7%となっています。

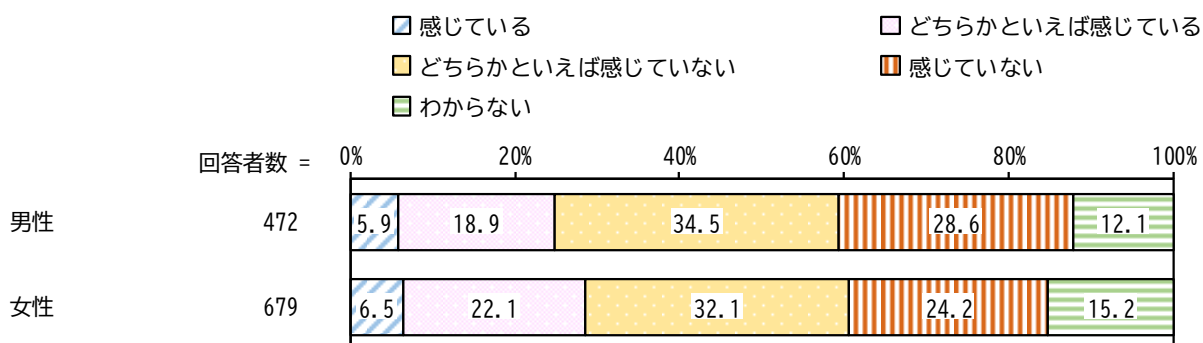
過去調査と比較すると、令和4年度調査から“感じていない”の割合が減少傾向にあります。



※令和4年度調査では、「感じている」が「そう思う」、「どちらかといえば感じている」が「どちらかといえばそう思う」、「どちらかといえば感じていない」が「どちらかといえばそう思わない」、「感じていない」が「そう思わない」となっていました。

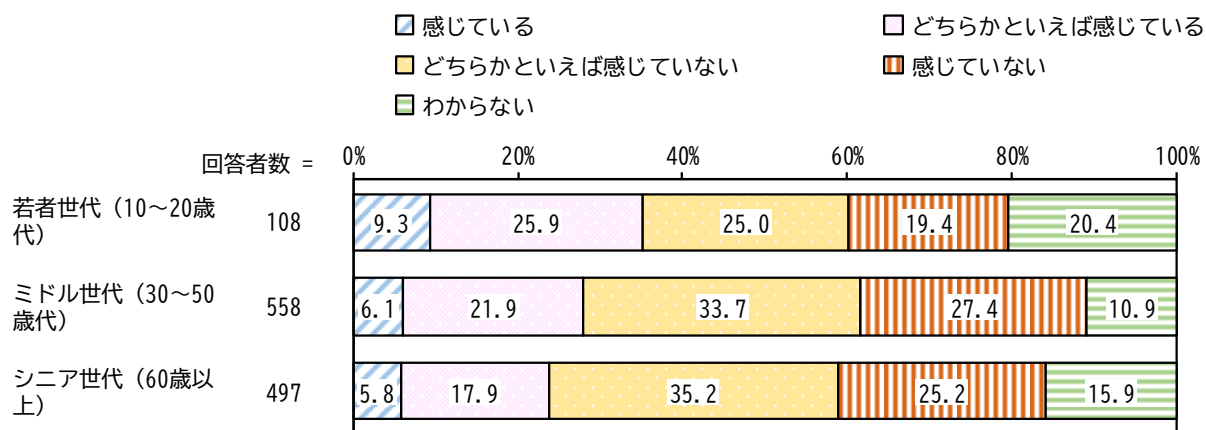
【性別】

性別にみると、男性で“感じていない”の割合が高くなっています。



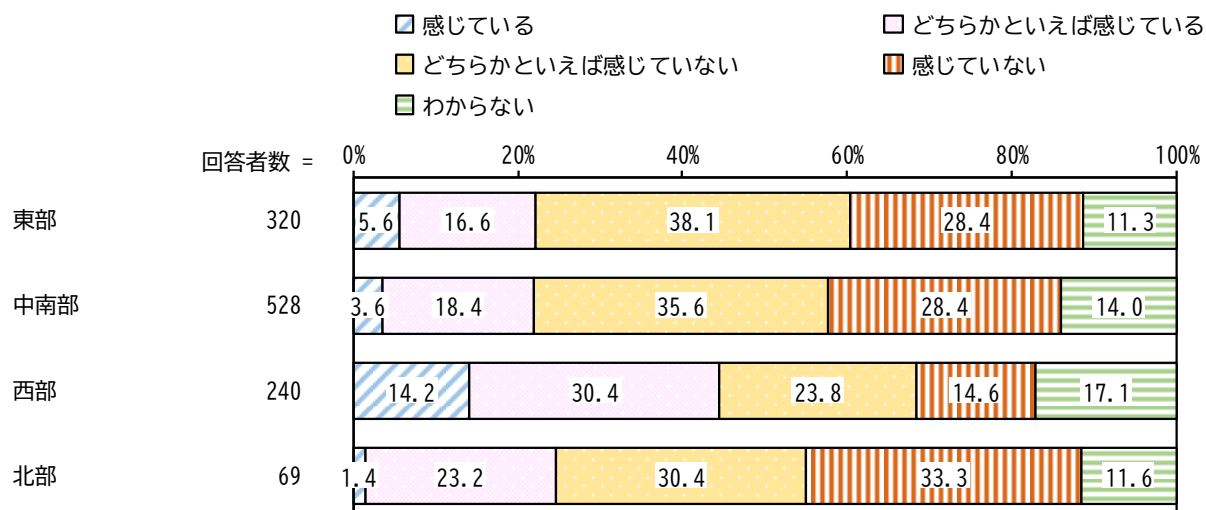
【世代別】

世代別にみると、世代が下がるほど“感じている”の割合が高くなっています。



【居住地区別】

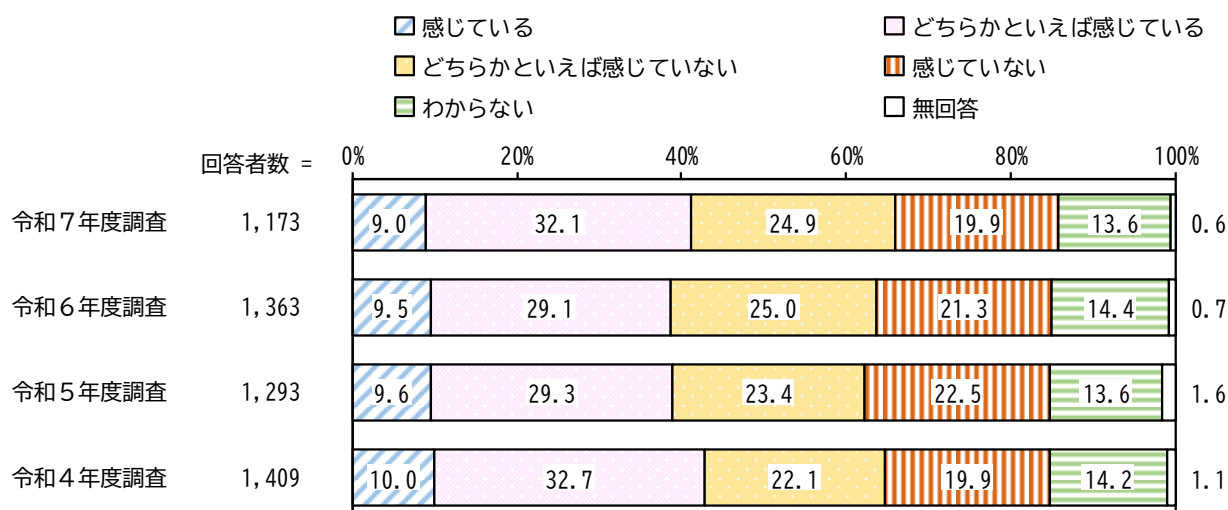
居住地区別にみると、西部で“感じている”の割合が高くなっています。



問 18 「新鮮で安心な「うべ産農林水産物」を身近に感じていますか。(○は1つ)

「感じている」「どちらかといえば感じている」を合わせた“感じている”の割合が 41.1%、「どちらかといえば感じていない」「感じていない」を合わせた“感じていない”の割合が 44.8%となっています。

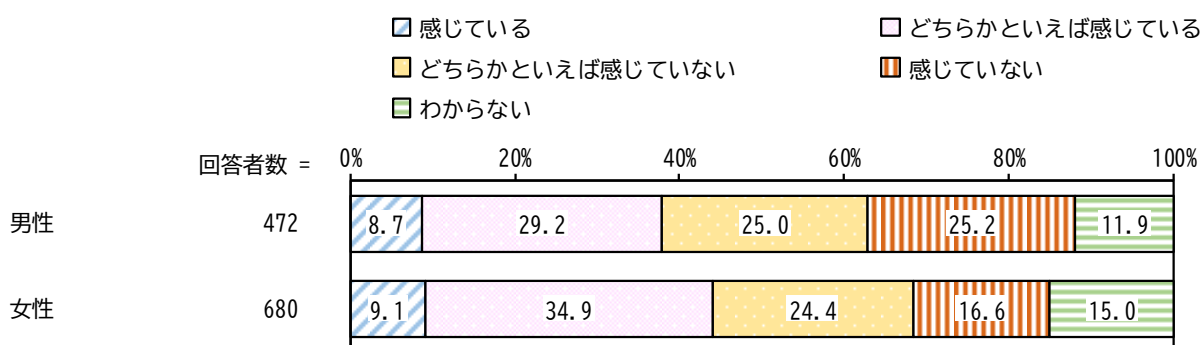
過去調査と比較すると、大きな変化はみられません。



※令和4年度調査では、「感じている」が「そう思う」、「どちらかといえば感じている」が「どちらかといえばそう思う」、「どちらかといえば感じていない」が「どちらかといえばそう思わない」、「感じていない」が「そう思わない」となっていました。

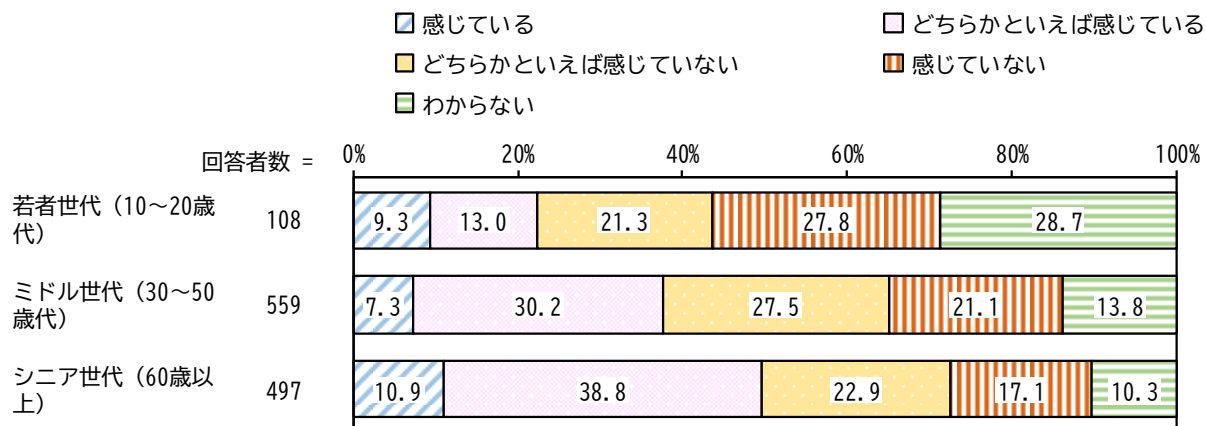
【性別】

性別にみると、男性で“感じていない”の割合が高くなっています。



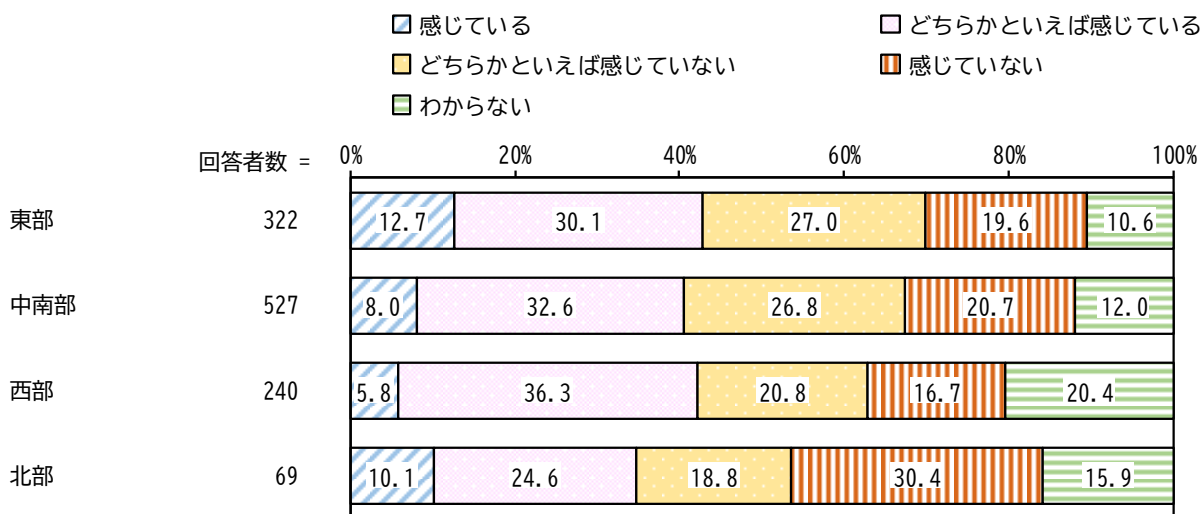
【世代別】

世代別にみると、世代が上がるほど“感じている”の割合が高くなっています。また、若者世代（10～20歳代）で「どちらかといえば感じている」の割合が低くなっています。



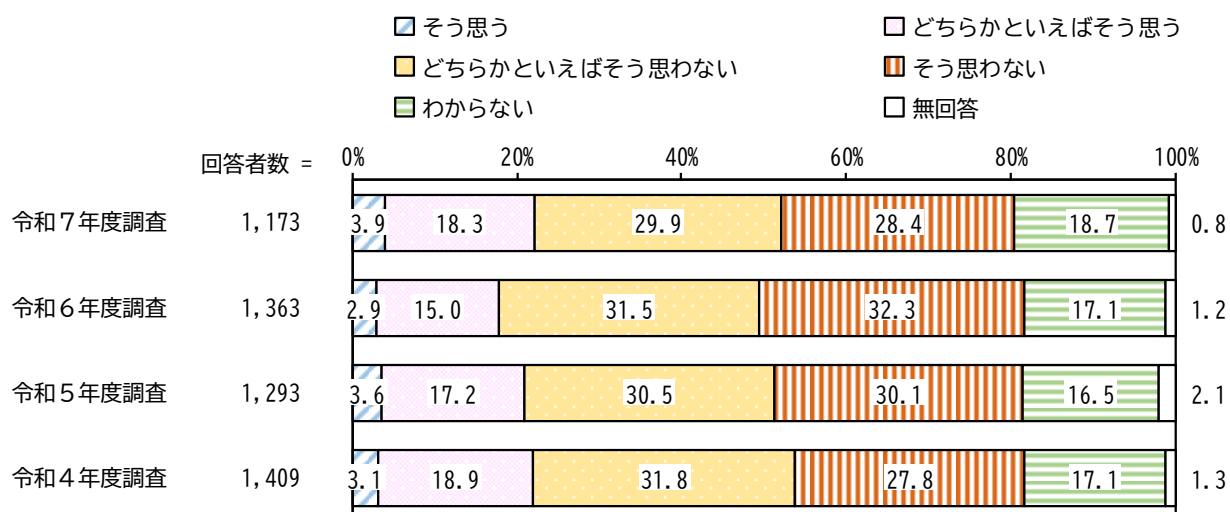
【居住地区別】

居住地区別にみると、北部で“感じている”、西部で“感じていない”の割合が低くなっています。



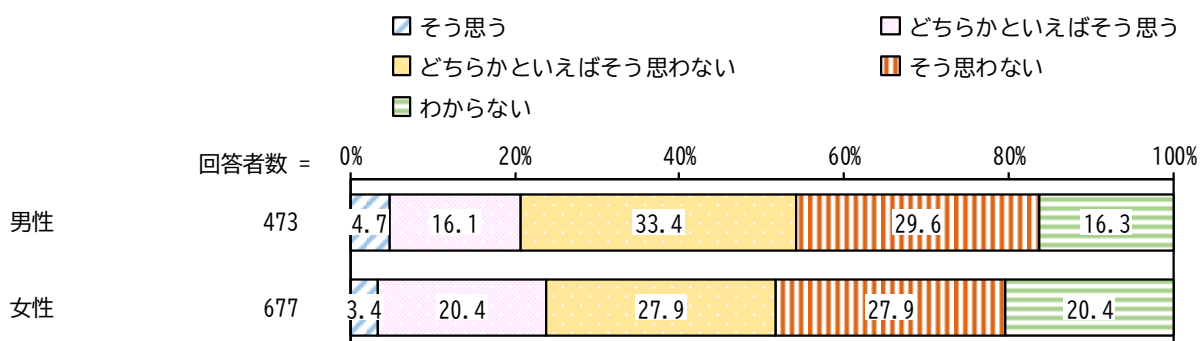
問 19 （就職する際に、市内には）希望する仕事（職種）は多いと思いますか。（○は1つ）

「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた“そう思う”の割合が 22.2%、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」を合わせた“そう思わない”の割合が 58.3%となっています。
過去調査と比較すると、令和6年度調査から“そう思わない”の割合が減少しています。



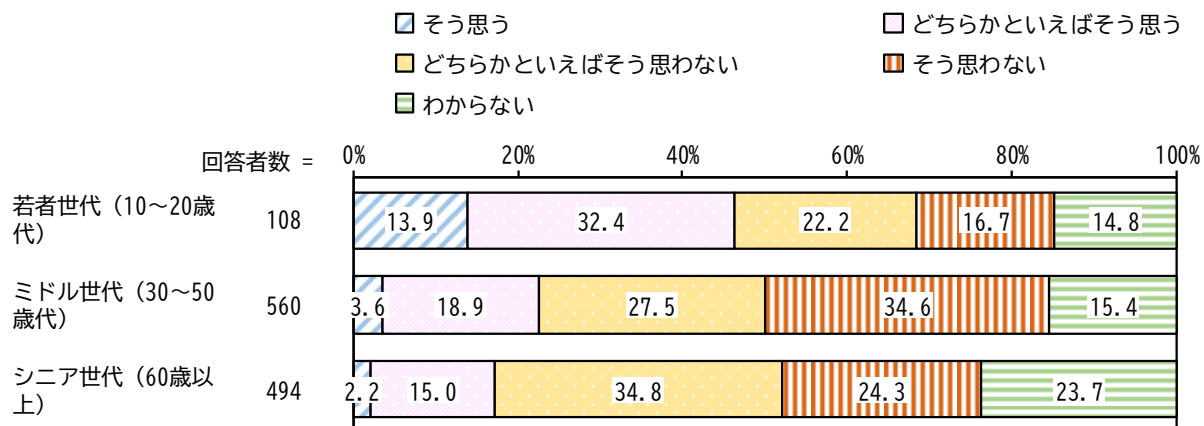
【性別】

性別にみると、男性で“そう思わない”の割合が高くなっています。



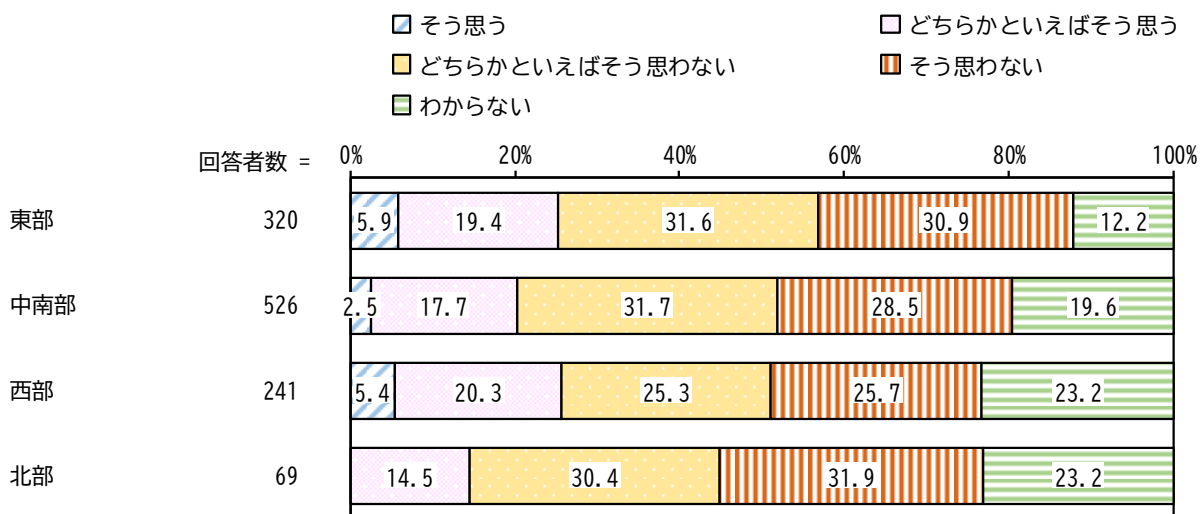
【世代別】

世代別にみると、世代が下がるほど“そう思う”の割合が高くなっています。また、若者世代（10～20歳代）で「どちらかといえばそう思う」の割合が高く、「そう思わない」の割合が低くなっています。



【居住地区別】

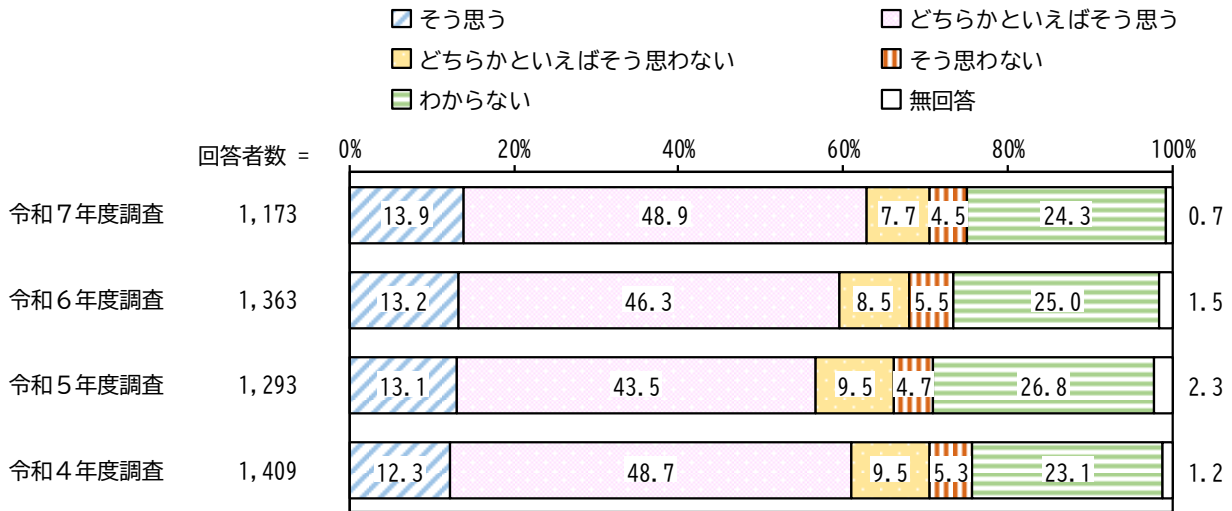
居住地区別にみると、北部で“そう思う”、西部で“そう思わない”の割合が低くなっています。



(2) 子育て支援や教育環境について

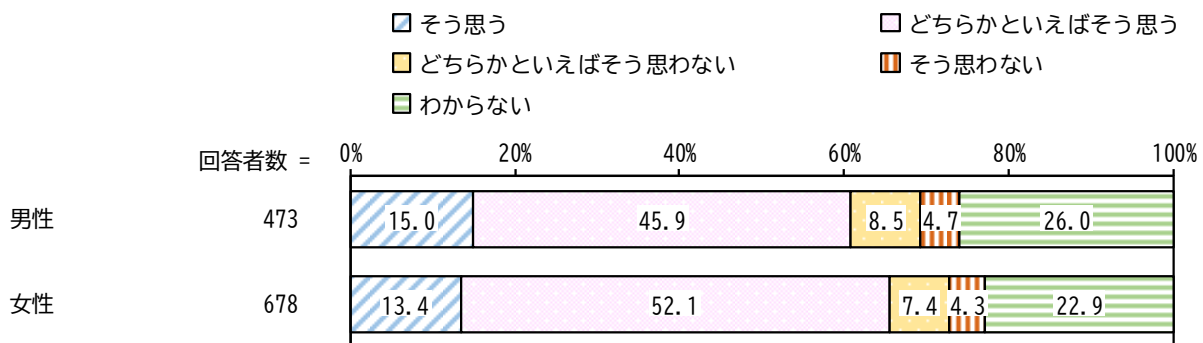
問 20 子育てしやすいまちだと思いますか。(○は1つ)

「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた“そう思う”の割合が 62.8%、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」を合わせた“そう思わない”の割合が 12.2%となっています。
過去調査と比較すると、大きな変化はみられません。



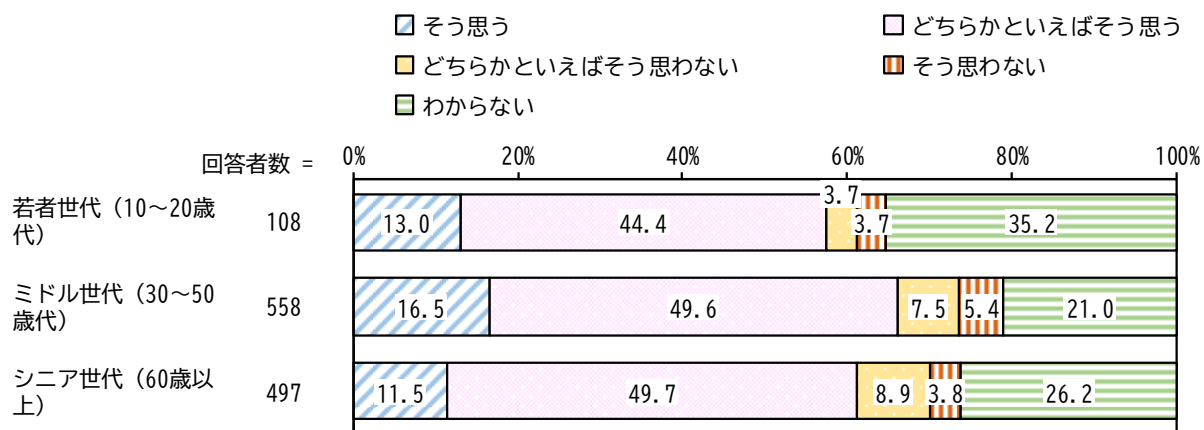
【性別】

性別にみると、女性で「どちらかといえばそう思う」の割合が高くなっています。



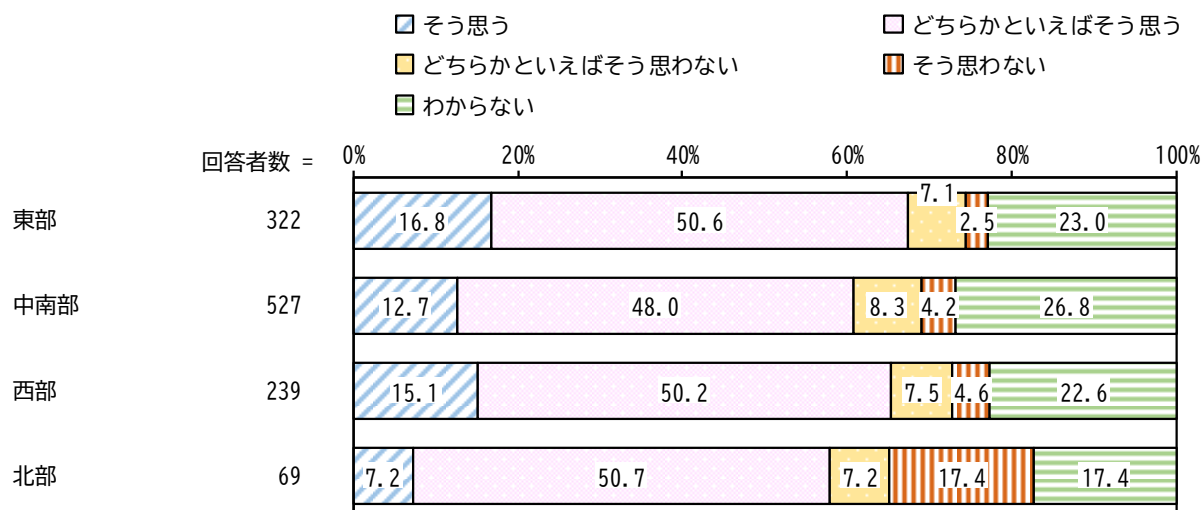
【世代別】

世代別にみると、ミドル世代（30～50 歳代）で“そう思う”の割合が高くなっています。



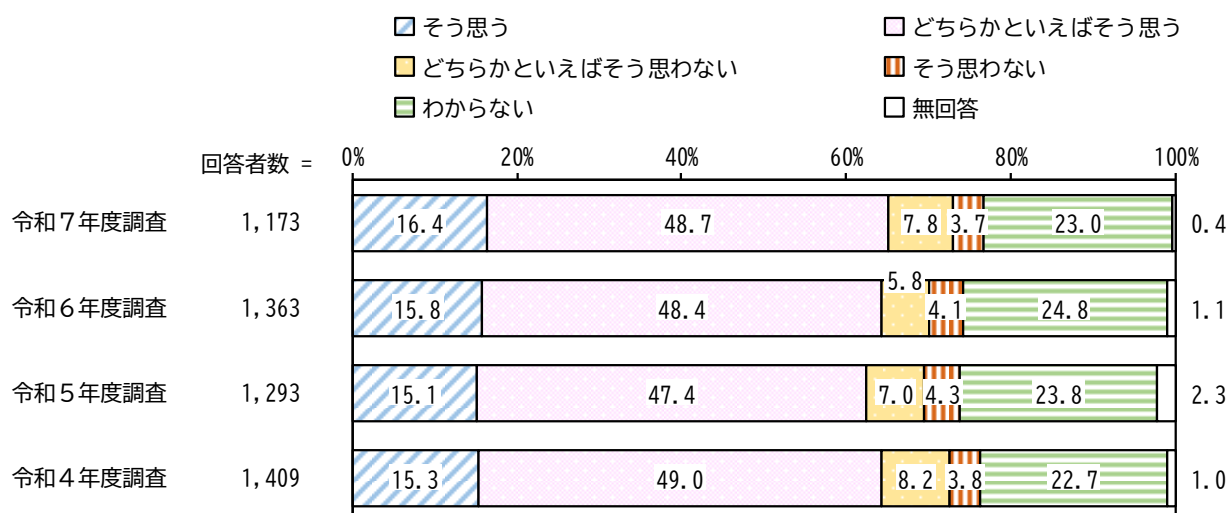
【居住地区別】

居住地区別にみると、北部で“そう思わない”の割合が高くなっています。



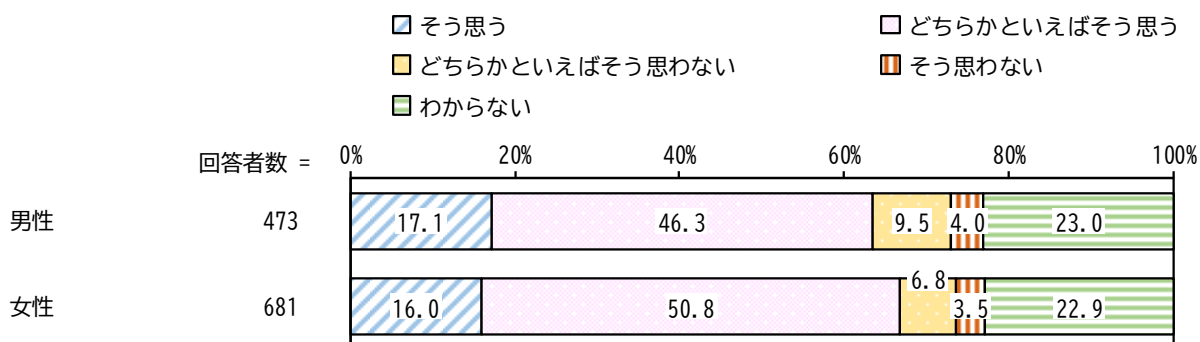
問 21 あなたのお住まいの地域では、子どもが健やかにたくましく育っていると思いますか。(〇は1つ)

「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた“そう思う”の割合が 65.1%、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」を合わせた“そう思わない”の割合が 11.5%となっています。
過去調査と比較すると、大きな変化はみられません。



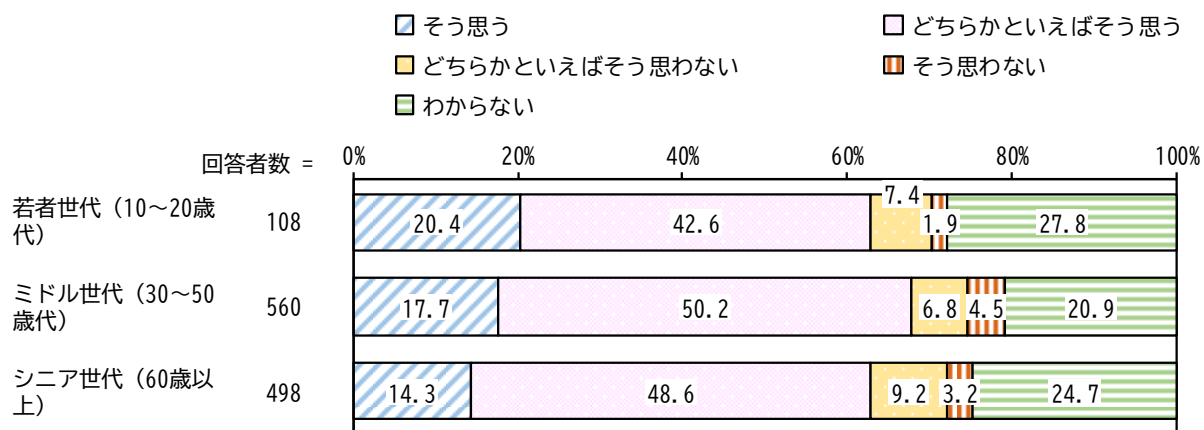
【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。



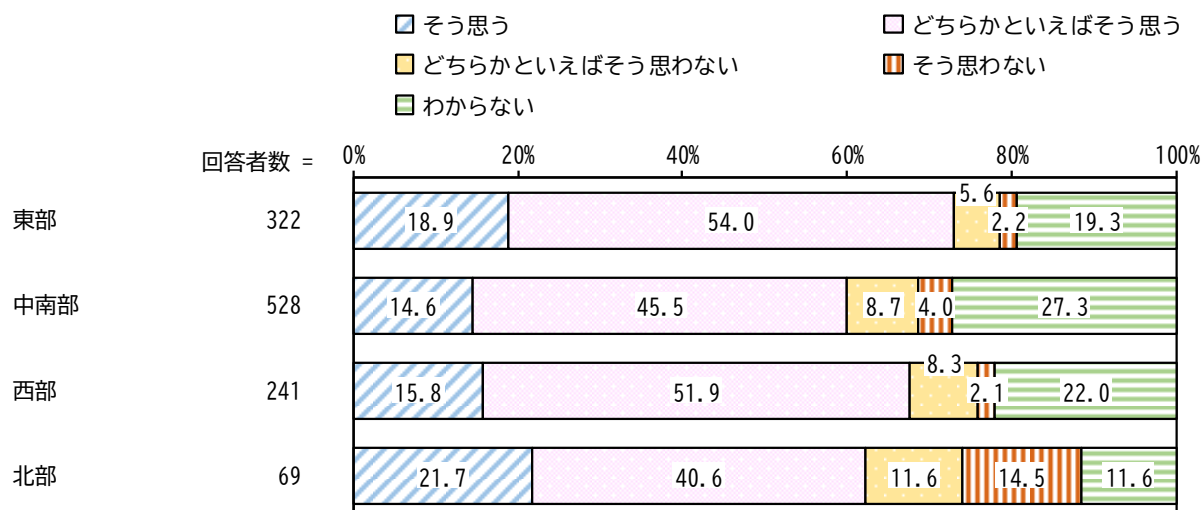
【世代別】

世代別にみると、世代が下がるほど「そう思う」の割合が高くなっています。



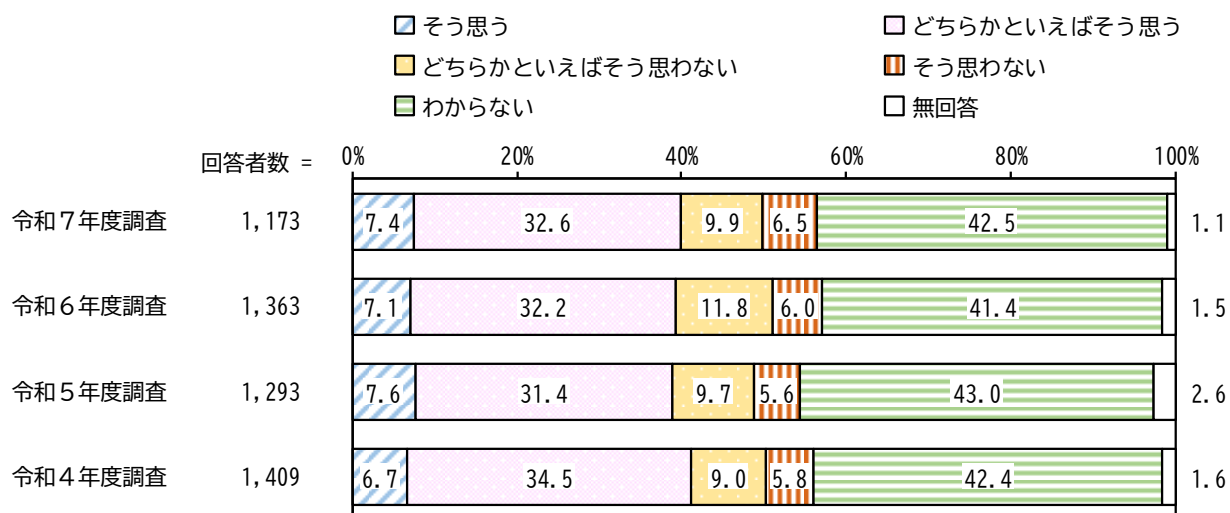
【居住地区別】

居住地区別にみると、北部で“そう思わない”の割合が高くなっています。



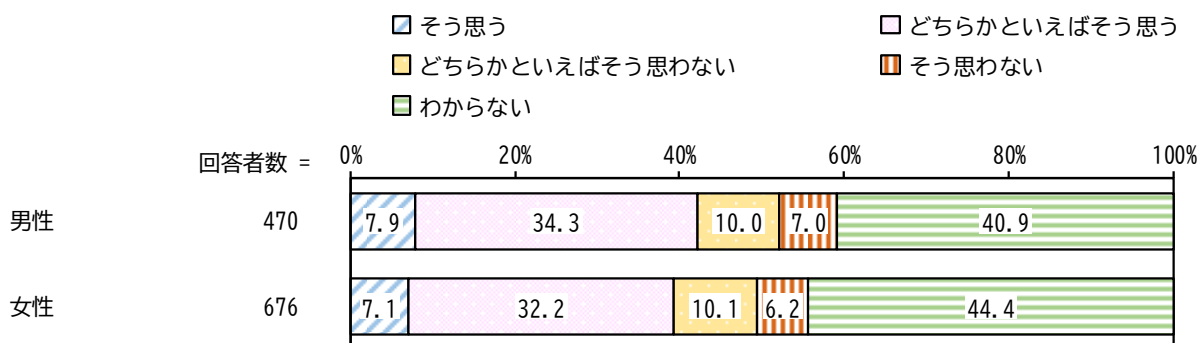
問 22 宇部市の学校教育の取組は充実していると思いますか。(○は1つ)

「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた“そう思う”の割合が 40.0%、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」を合わせた“そう思わない”の割合が 16.4%となっています。
過去調査と比較すると、大きな変化はみられません。



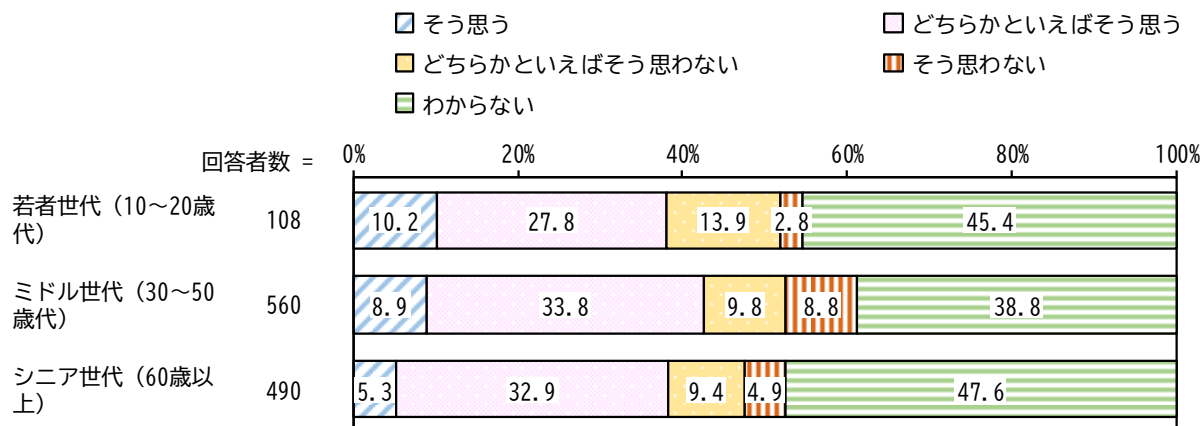
【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。



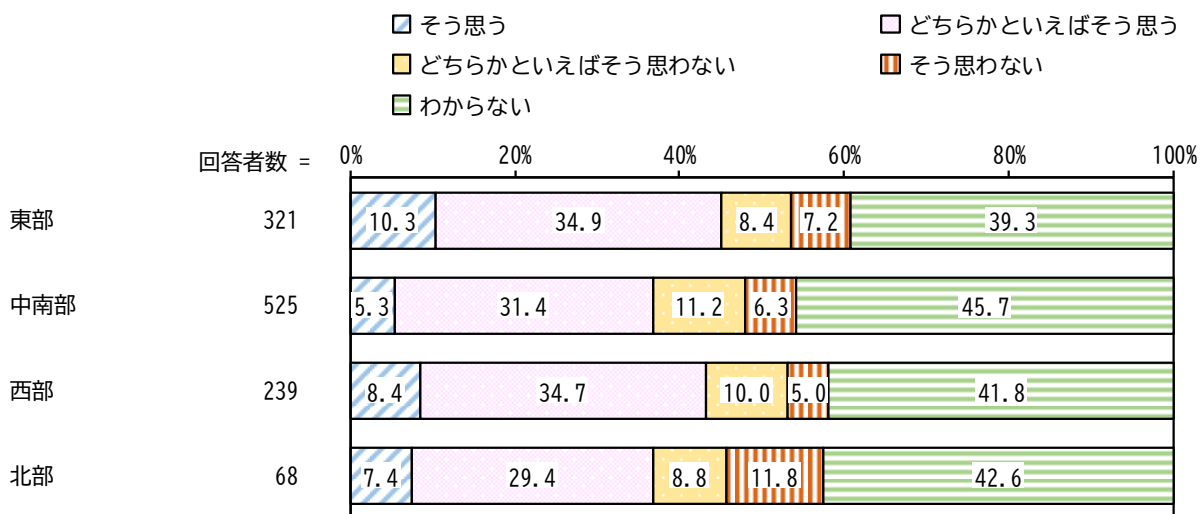
【世代別】

世代別にみると、世代が下がるほど「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の割合が高くなっています。



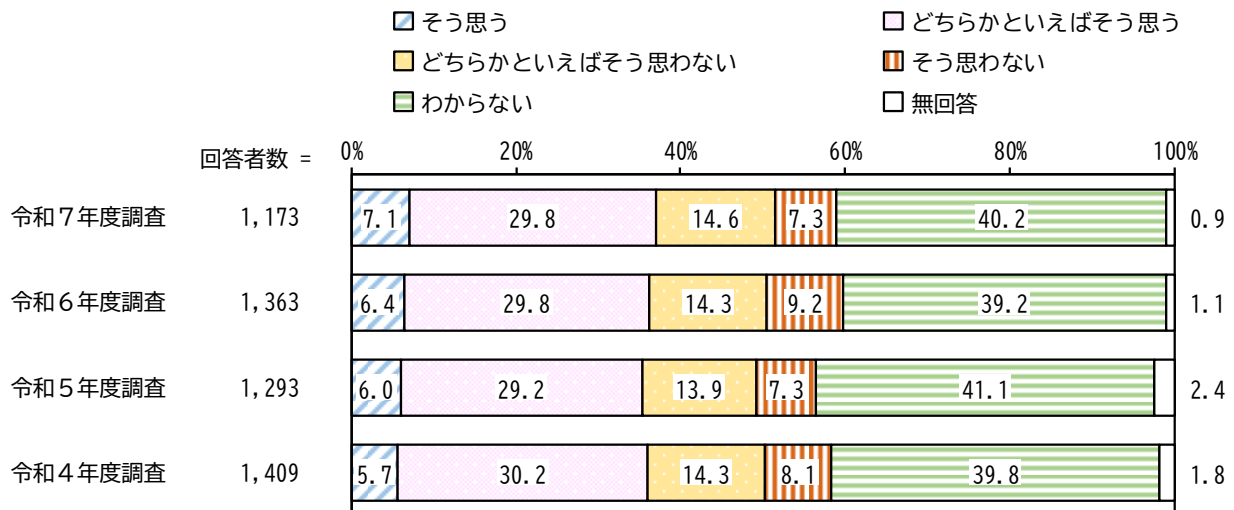
【居住地区別】

居住地区別にみると、北部で「そう思わない」の割合が高くなっています。



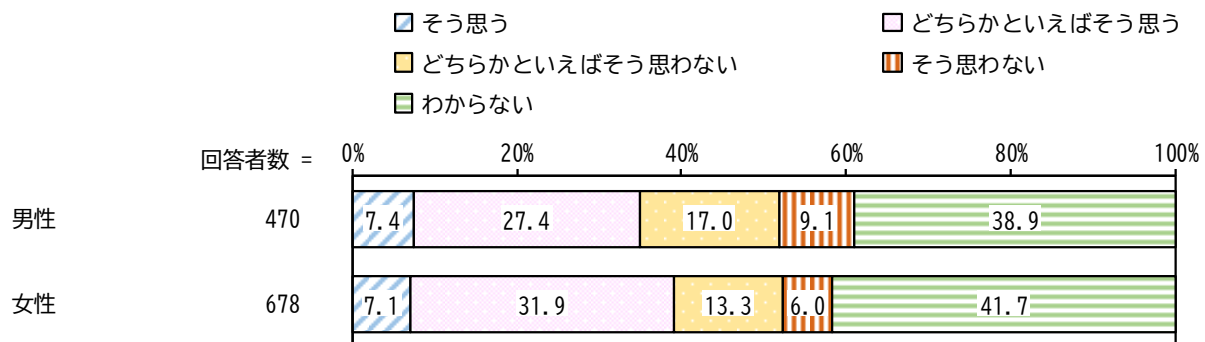
問 23 保護者や地域の人が学校の様々な活動に参画し、地域ぐるみの教育が進んでいると思いますか。(○は1つ)

「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた“そう思う”の割合が 36.9%、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」を合わせた“そう思わない”の割合が 21.9%となっています。
過去調査と比較すると、大きな変化はみられません。



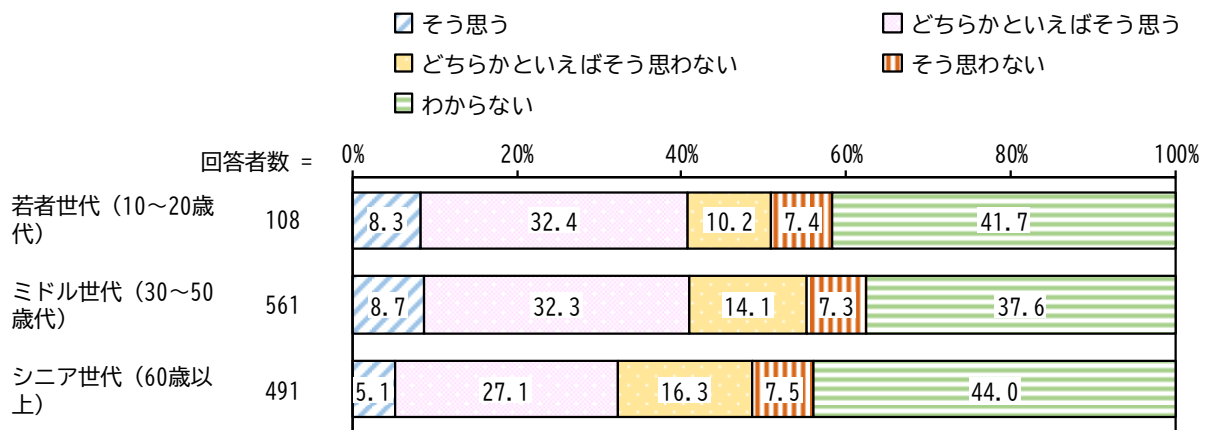
【性別】

性別にみると、男性で“そう思わない”の割合が高くなっています。



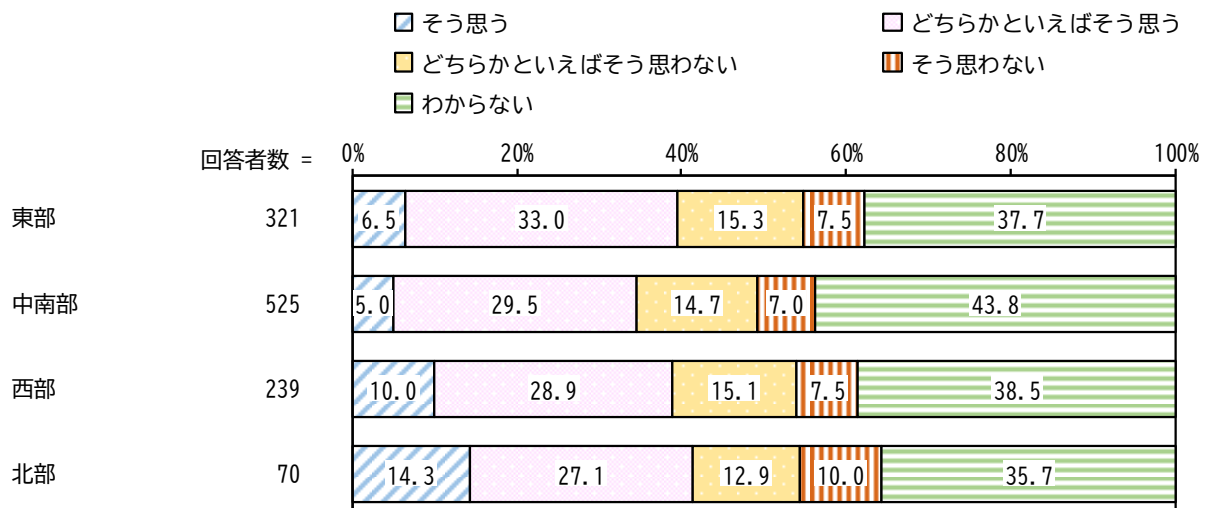
【世代別】

世代別にみると、世代が上がるほど“そう思わない”の割合が高くなっています。



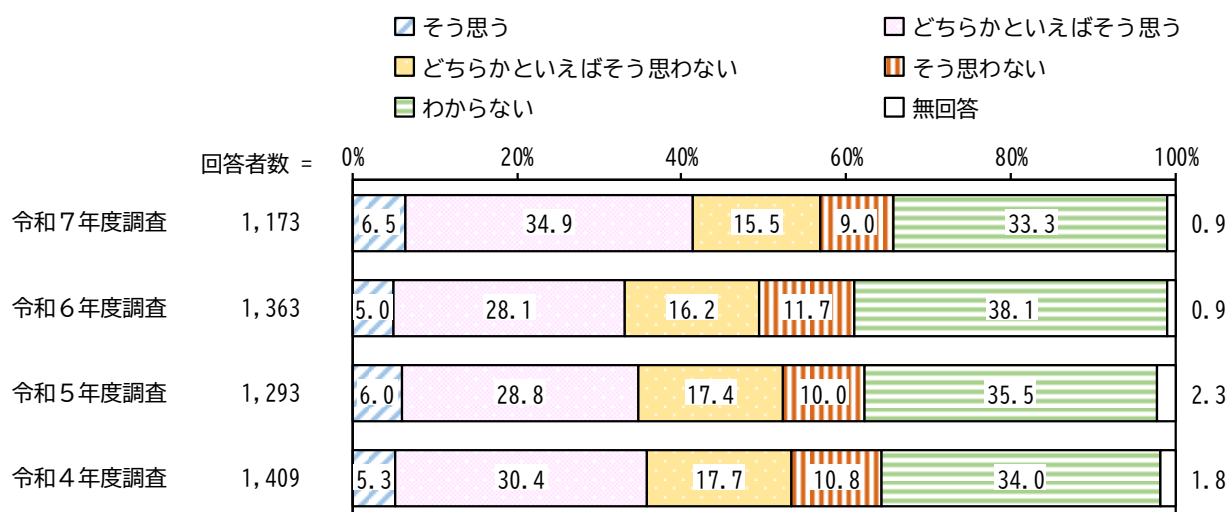
【居住地区別】

居住地区別にみると、北部で「そう思う」の割合が高くなっています。



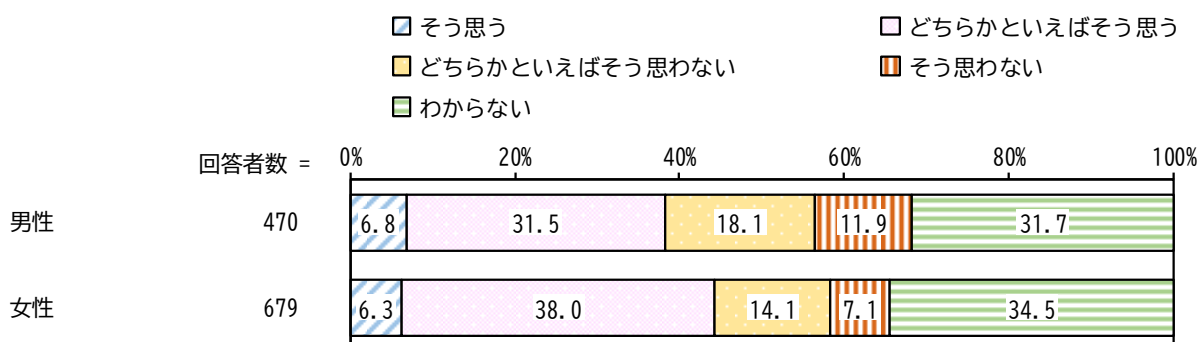
問 24 生涯学習など、学びの機会に恵まれていると思いますか。(○は1つ)

「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた“そう思う”の割合が 41.4%、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」を合わせた“そう思わない”の割合が 24.5%となっています。
過去調査と比較すると、令和6年度調査から“そう思う”の割合が増加しています。



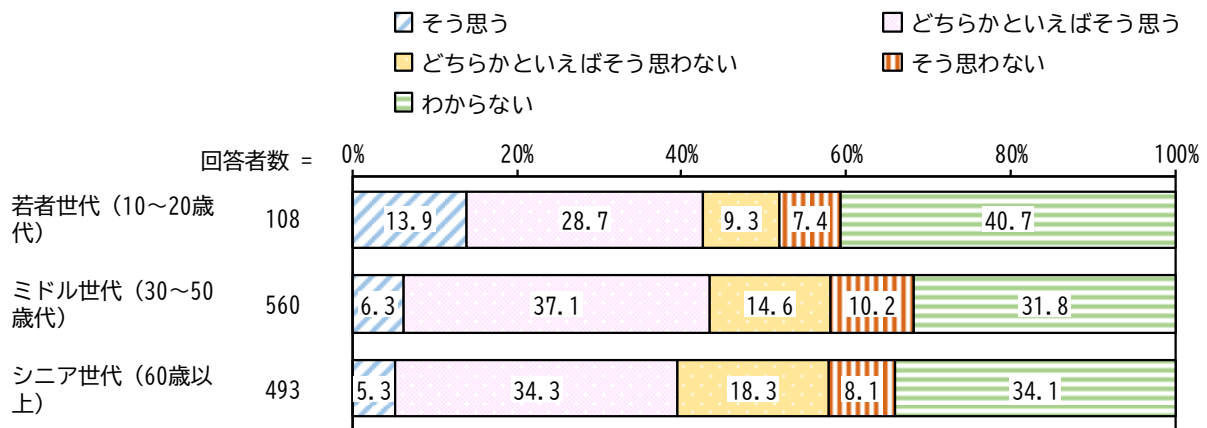
【性別】

性別にみると、男性で“そう思わない”の割合が高くなっています。



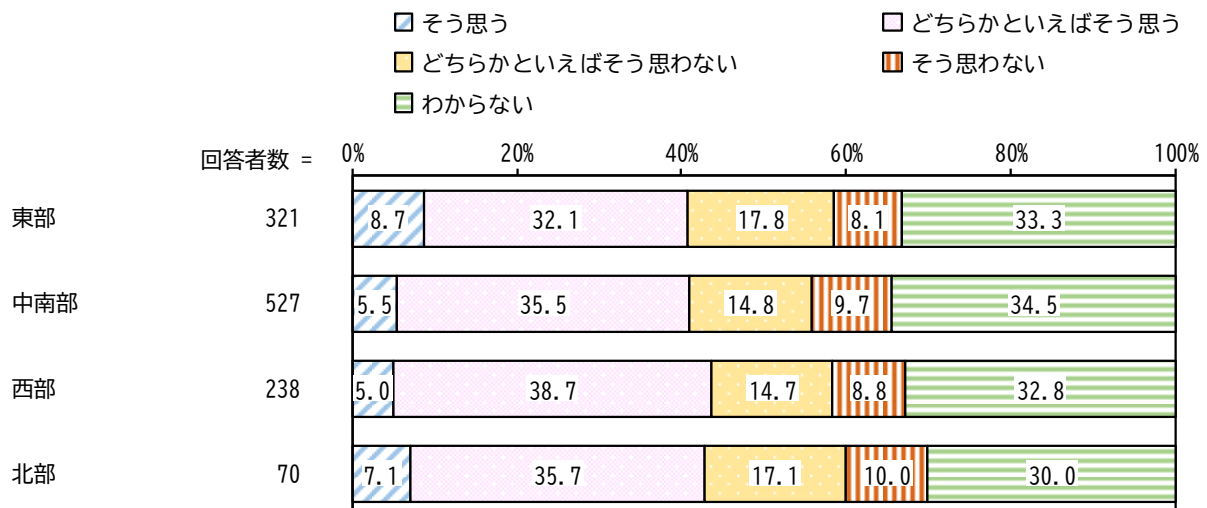
【世代別】

世代別にみると、世代が上がるほど“そう思わない”の割合が高くなっています。



【居住地区別】

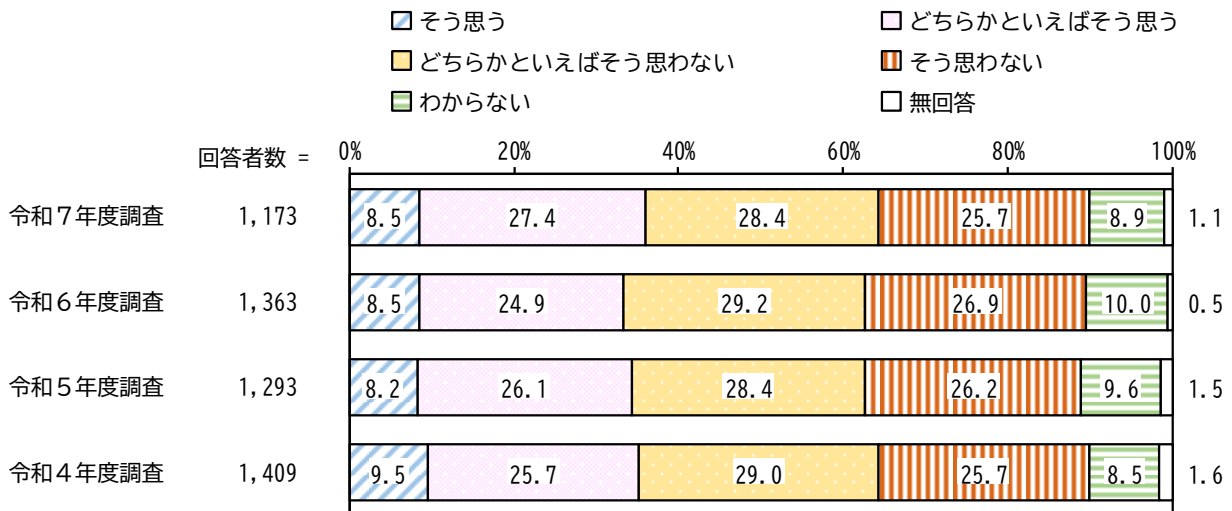
居住地区別にみると、大きな差はみられません。



(3) 観光やイベント、スポーツ・文化活動について

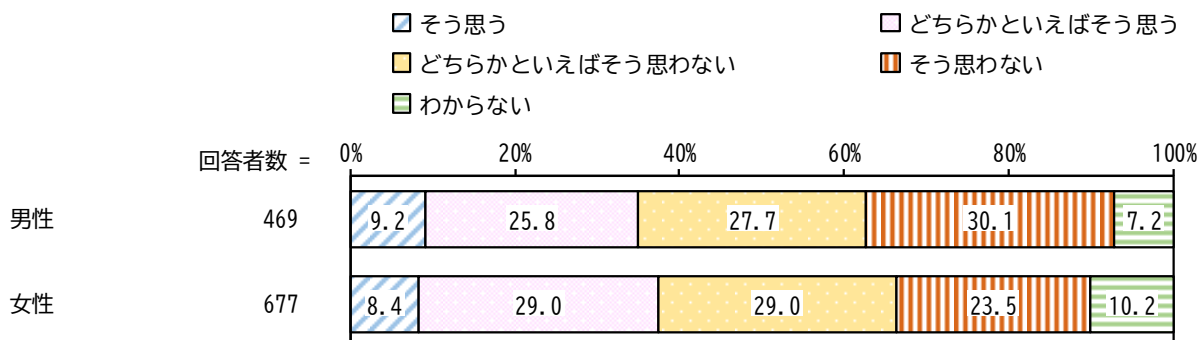
問 25 市外の人に自慢できる観光資源があると思いますか。(○は1つ)

「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた“そう思う”の割合が 35.9%、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」を合わせた“そう思わない”の割合が 54.1%となっています。
過去調査と比較すると、大きな変化はみられません。



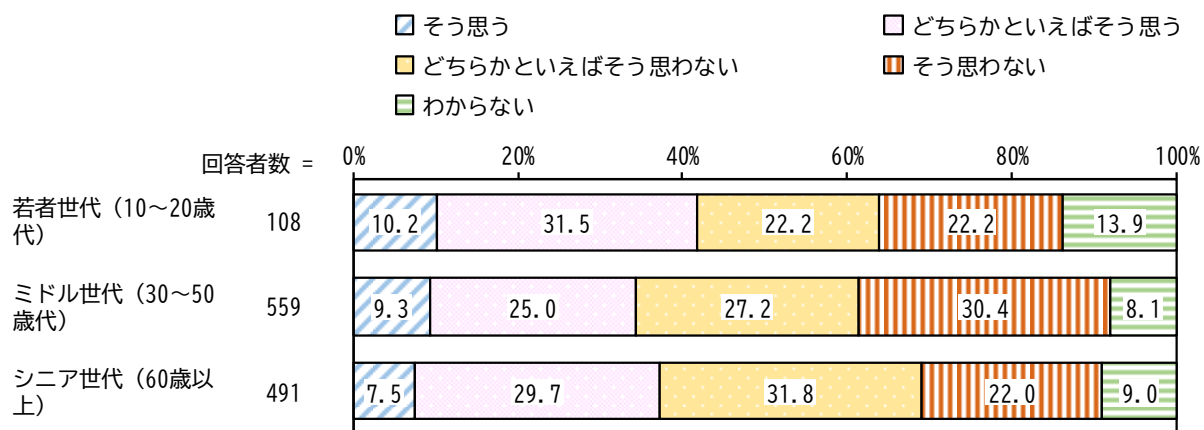
【性別】

性別にみると、男性で“そう思わない”の割合が高くなっています。



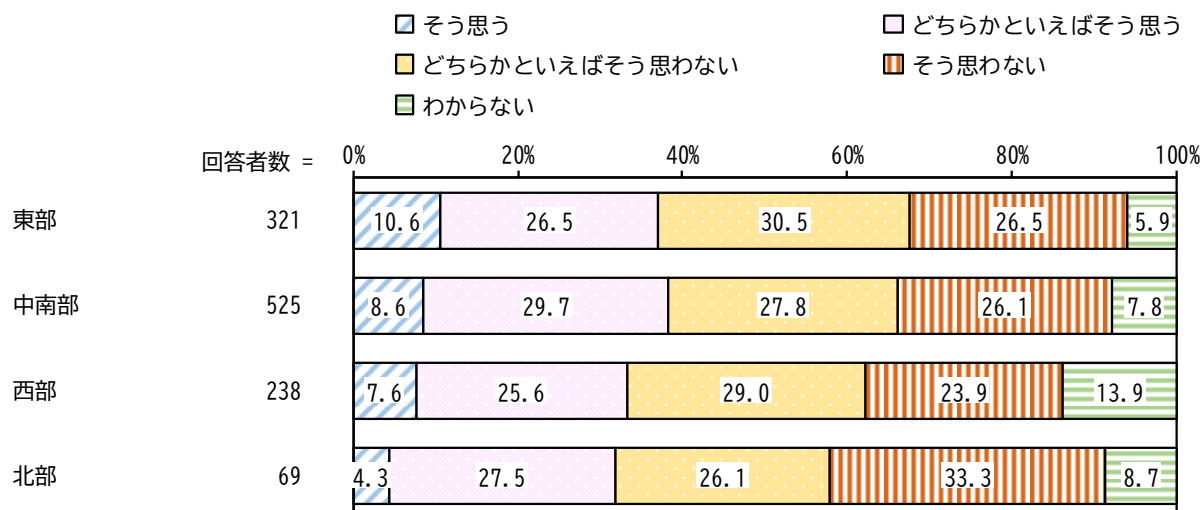
【世代別】

世代別にみると、世代が上がるほど「どちらかといえばそう思わない」の割合が高くなっています。



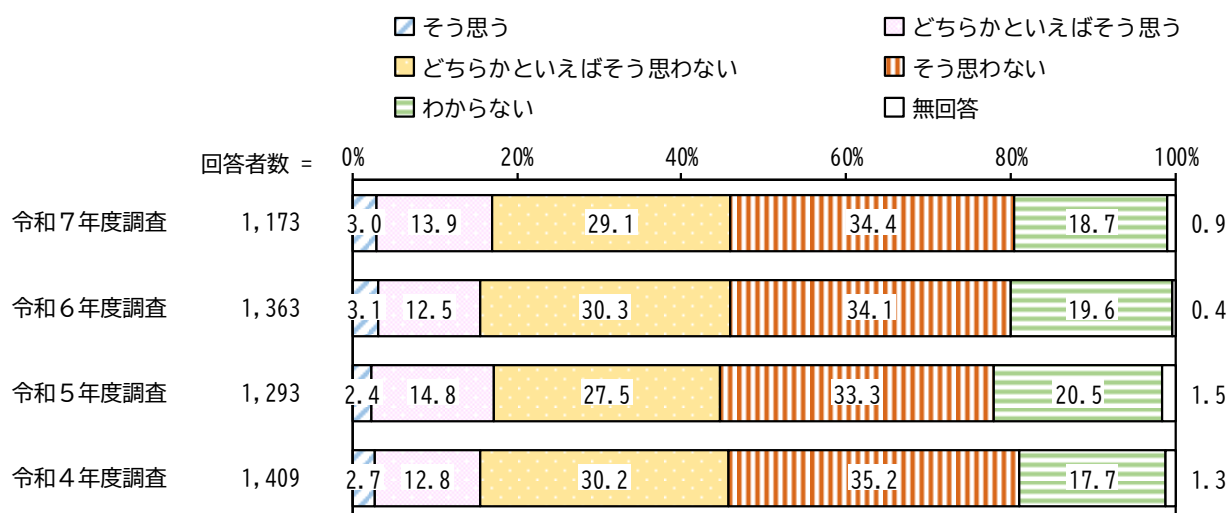
【居住地区別】

居住地区別にみると、北部で「そう思わない」の割合が高くなっています。



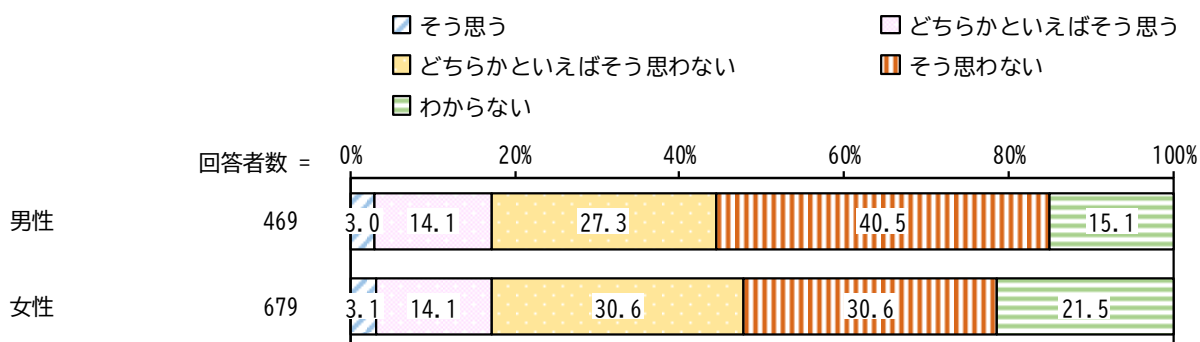
問 26 大規模な会議や学会、イベント等が盛んに開かれ、市内外から多様な人々が集まっていると思いますか。(〇は1つ)

「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた“そう思う”の割合が 16.9%、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」を合わせた“そう思わない”の割合が 63.5%となっています。過去調査と比較すると、大きな変化はみられません。



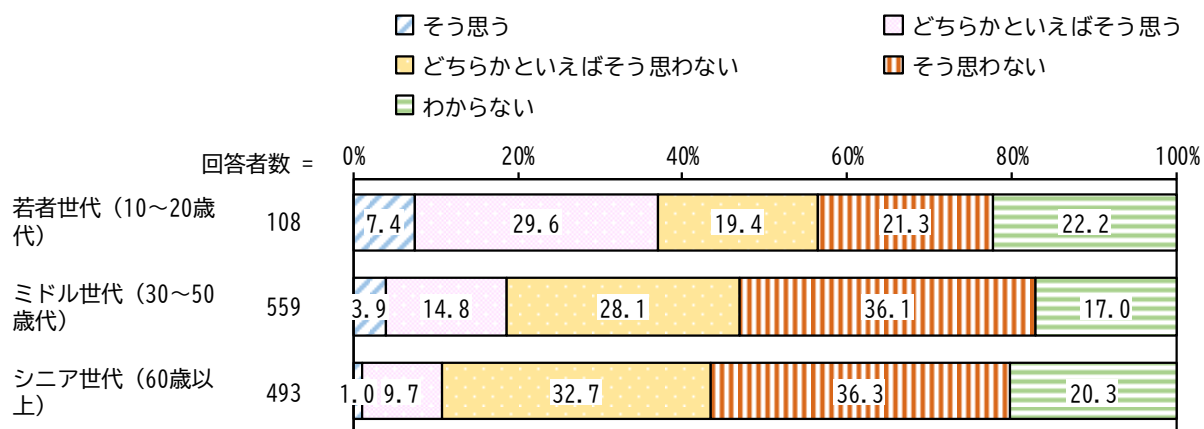
【性別】

性別にみると、男性で“そう思わない”の割合が高くなっています。



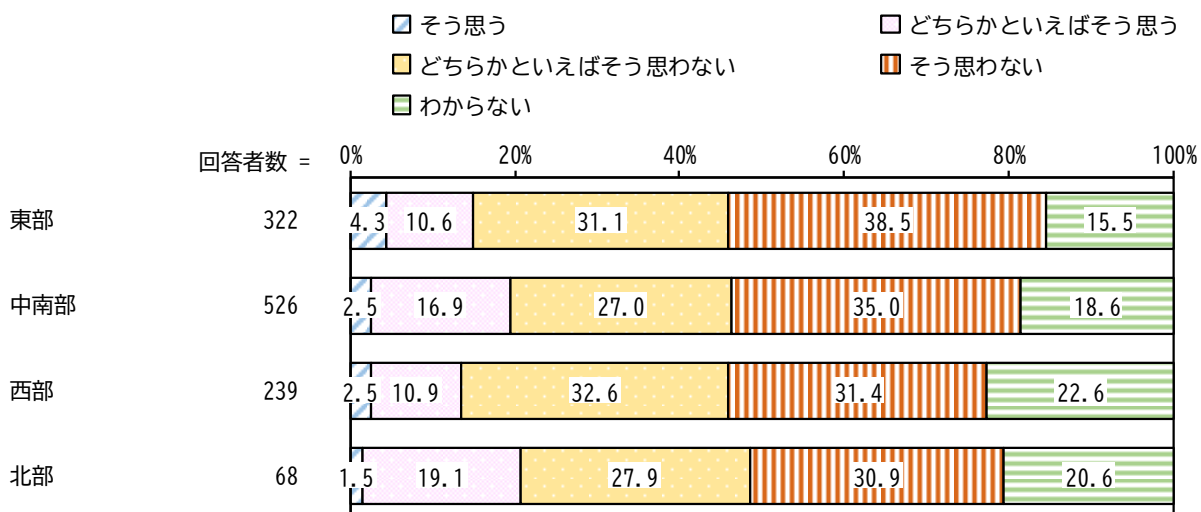
【世代別】

世代別にみると、世代が上がるほど“そう思わない”の割合が高くなっています。また、若者世代（10～20歳代）で「どちらかといえばそう思う」の割合が高く、「そう思わない」の割合が低くなっています。



【居住地区別】

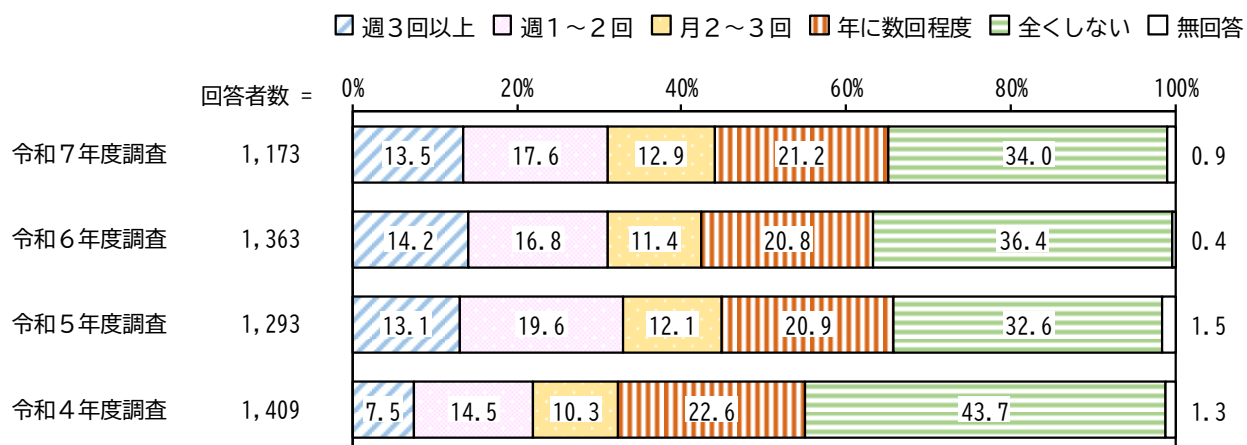
居住地区別にみると、東部で“そう思わない”の割合が高くなっています。



問 27 あなたは、どのくらいの頻度でスポーツ・レクリエーション活動を行っていますか。
(○は1つ)

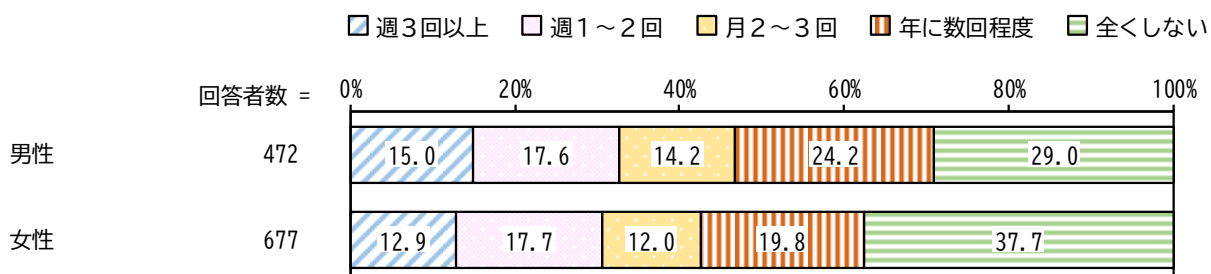
「全くしない」の割合が 34.0%と最も高く、次いで「年に数回程度」の割合が 21.2%、「週 1 ～ 2 回」の割合が 17.6%となっています。

過去調査と比較すると、大きな変化はみられません。



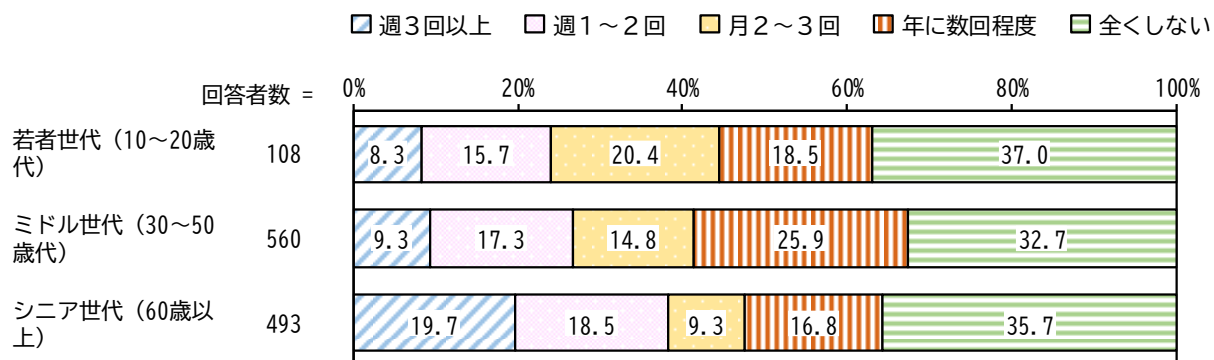
【性別】

性別にみると、女性で「全くしない」の割合が高くなっています。



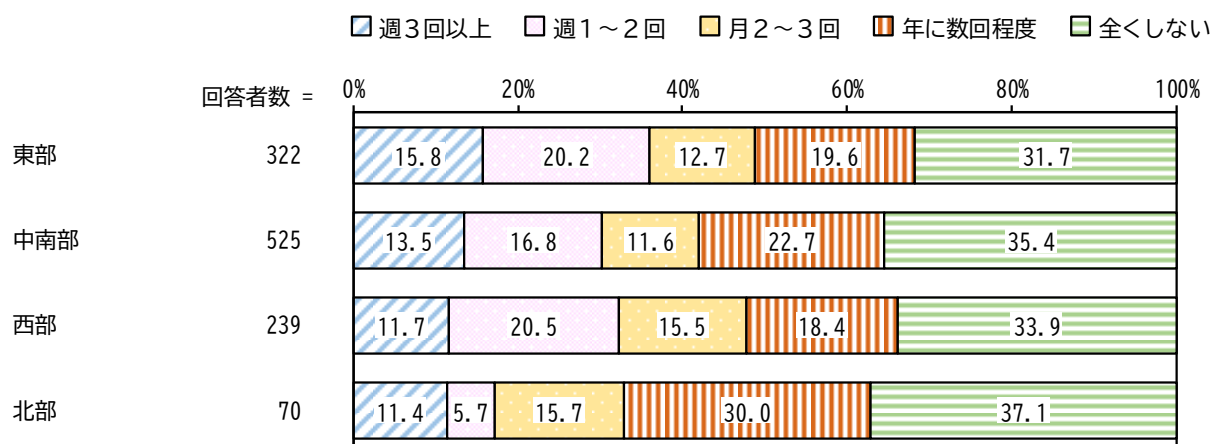
【世代別】

世代別にみると、世代が上がるほど“週1回以上”の割合が高くなっています。



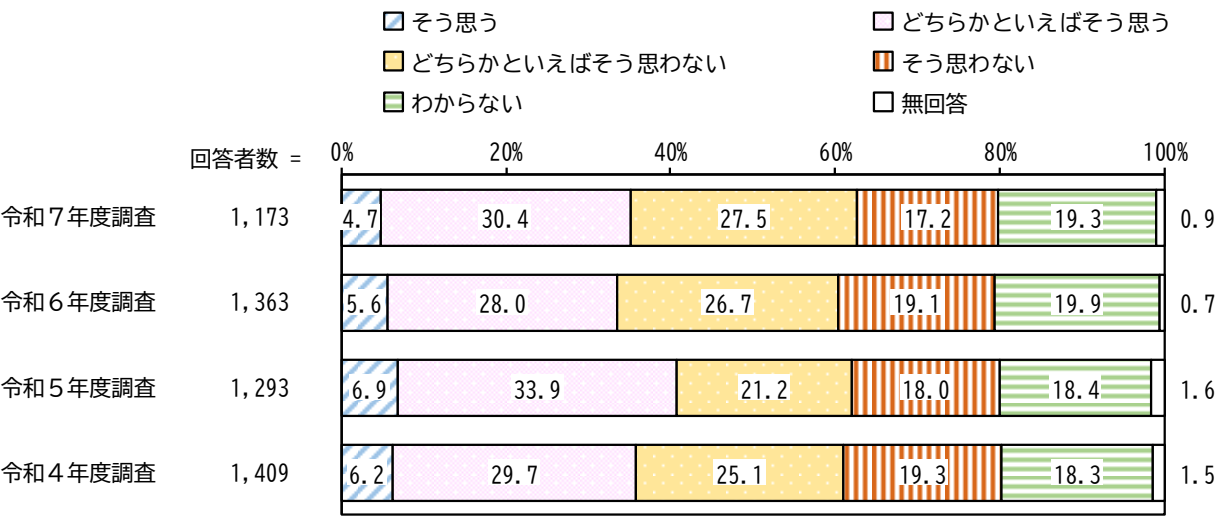
【居住地区別】

居住地区別にみると、北部で“週1回以上”の割合が低くなっています。



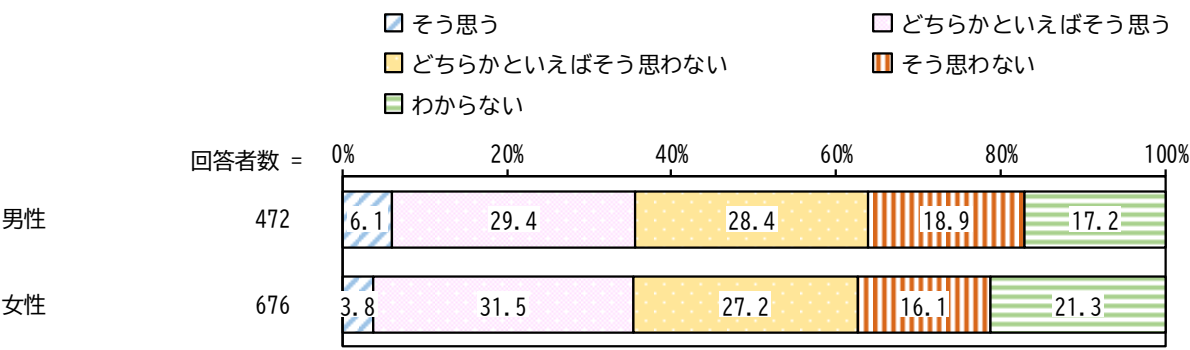
問 28 文化・芸術に触れる機会に恵まれていると思いますか。(○は1つ)

「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた“そう思う”の割合が 35.1%、「どちらかとい
えればそう思わない」「そう思わない」を合わせた“そう思わない”の割合が 44.7%となっています。
過去調査と比較すると、大きな変化はみられません。



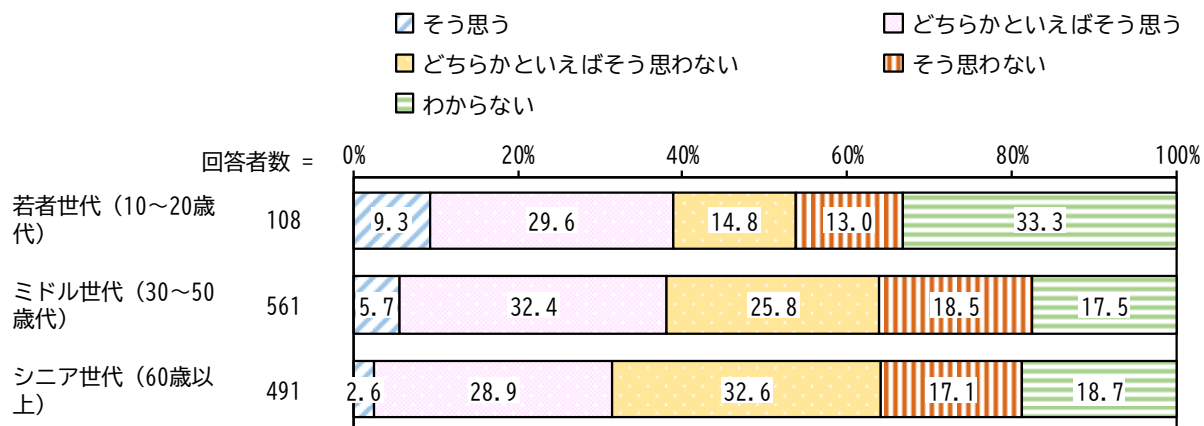
【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。



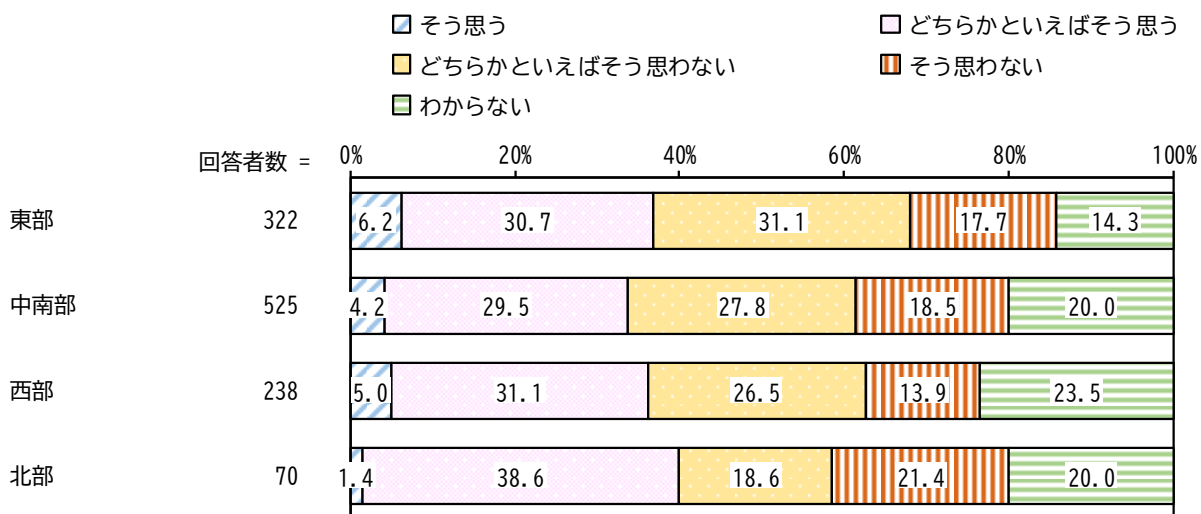
【世代別】

世代別にみると、世代が上がるほど“そう思わない”の割合が高くなっています。また、若者世代（10～20歳代）で「どちらかといえばそう思わない」の割合が低くなっています。



【居住地区別】

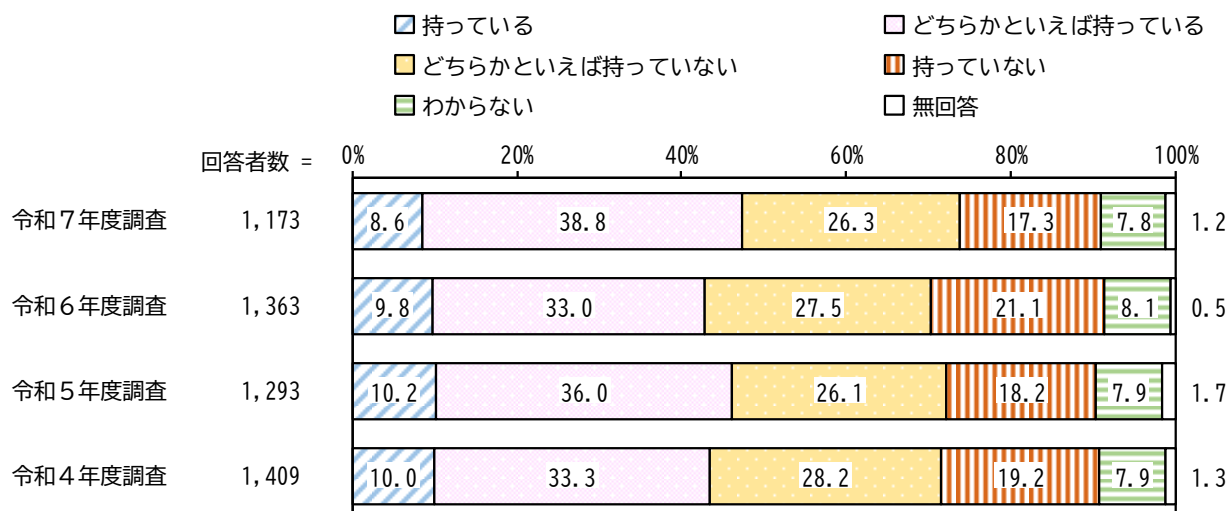
居住地区別にみると、北部で「そう思う」の割合が低くなっています。



問 29 宇部市の歴史や文化に関心を持っていますか。(○は1つ)

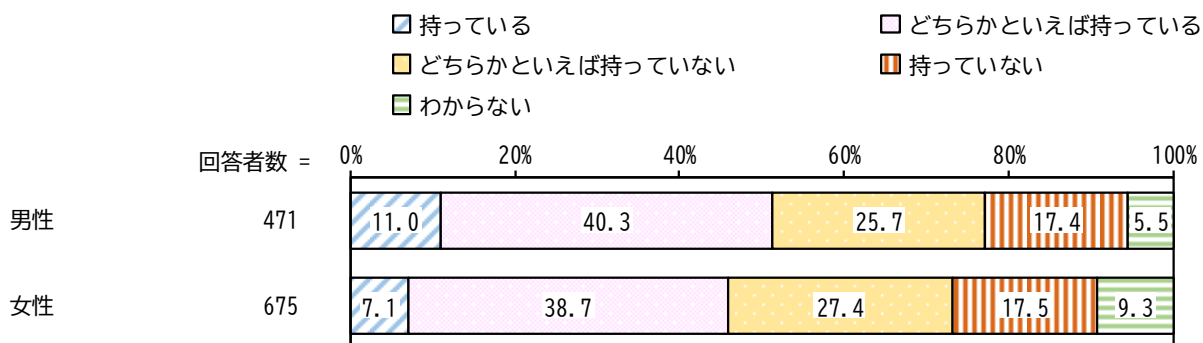
「持っている」「どちらかといえば持っている」を合わせた“持っている”の割合が47.4%、「どちらかといえば持っていない」「持っていない」を合わせた“持っていない”の割合が43.6%となっています。

過去調査と比較すると、令和6年度調査から「どちらかといえば持っている」の割合が増加しています。



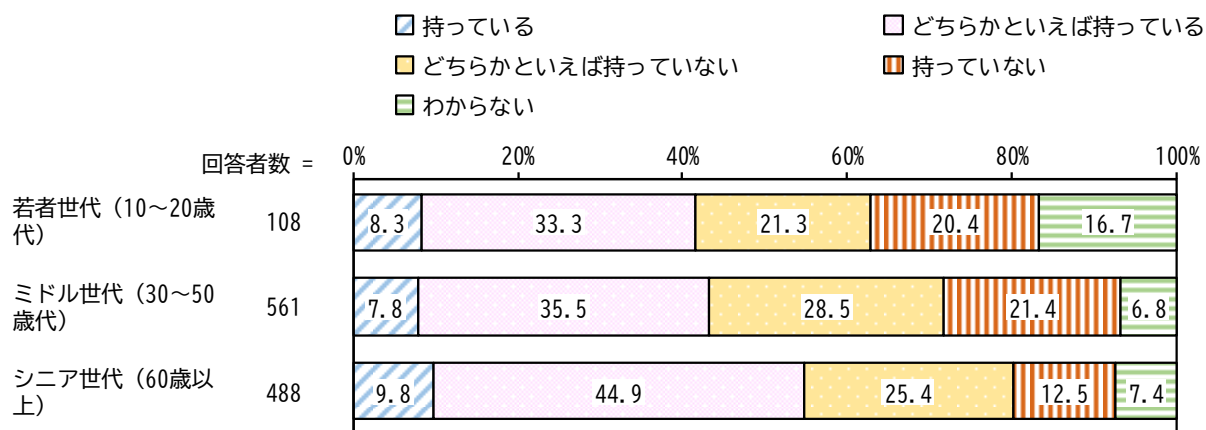
【性別】

性別にみると、男性で“持っている”の割合が高くなっています。



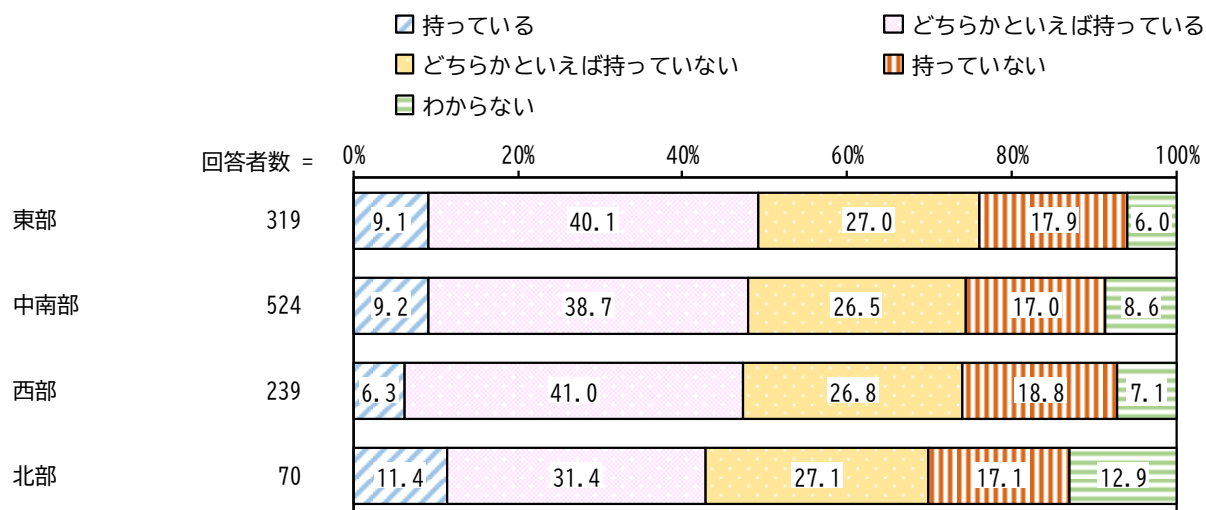
【世代別】

世代別にみると、世代が上がるほど“持っている”の割合が高くなっています。



【居住地区別】

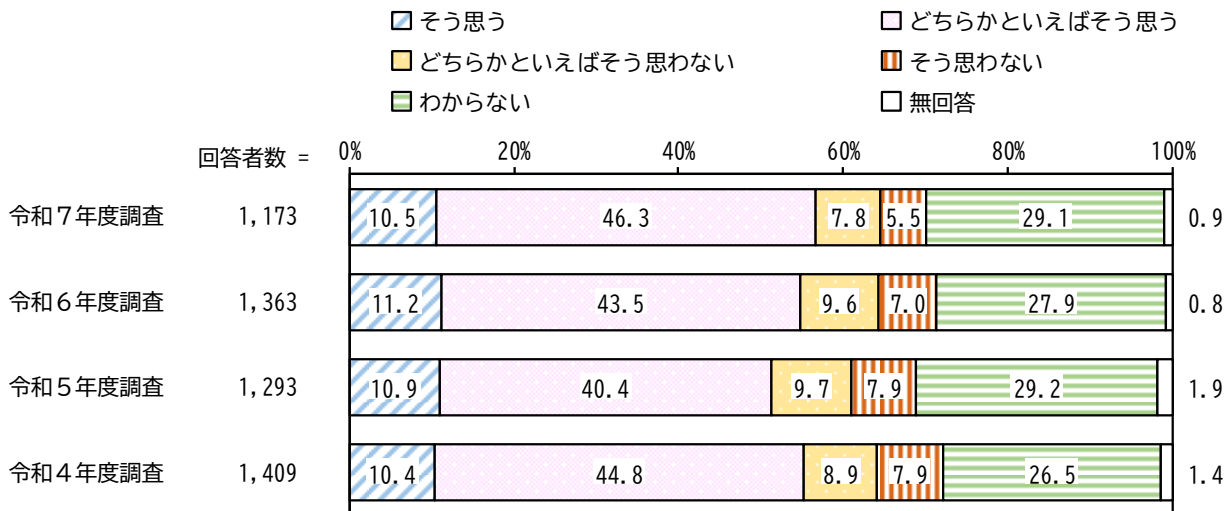
居住地区別にみると、北部で“持っている”の割合が低くなっています。



(4) 人権尊重や健康・福祉・医療について

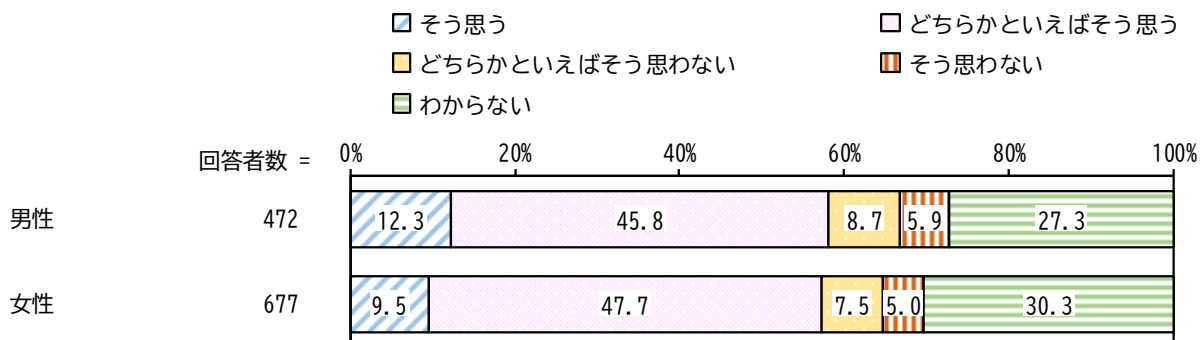
問 30 一人ひとりの人権が尊重されていると思いますか。(○は1つ)

「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた“そう思う”の割合が 56.8%、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」を合わせた“そう思わない”の割合が 13.3%となっています。
過去調査と比較すると、大きな変化はみられません。



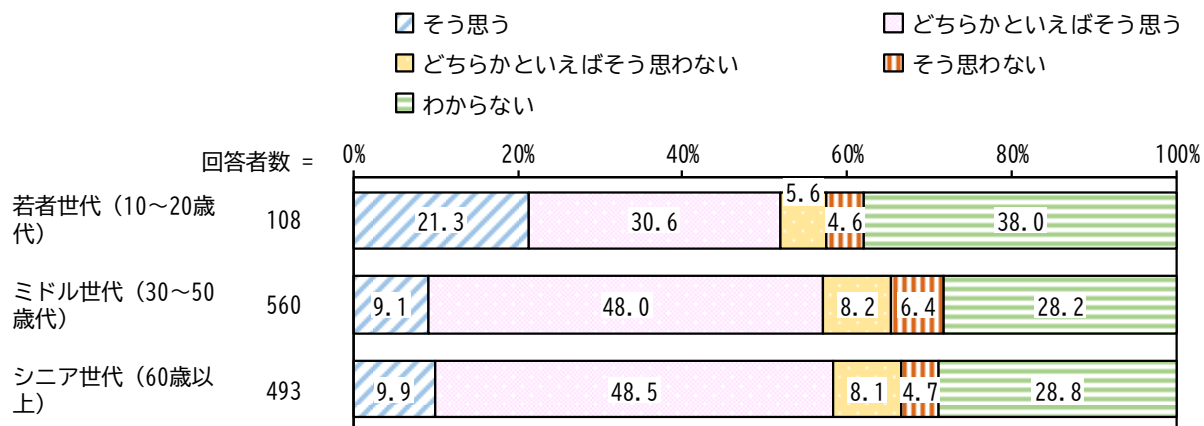
【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。



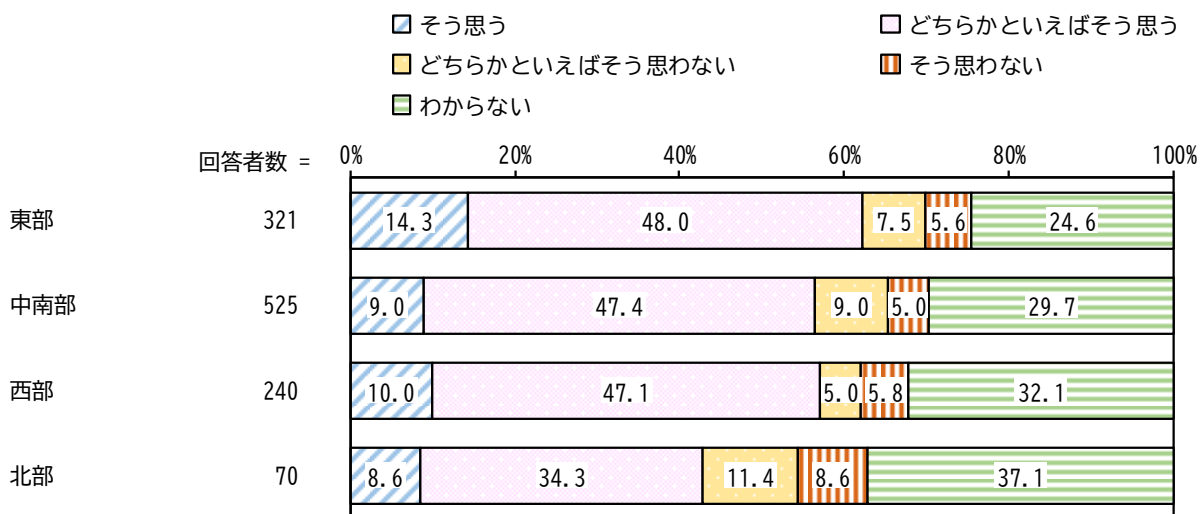
【世代別】

世代別にみると、世代が上がるほど“そう思う”の割合が高くなっています。また、若者世代（10～20歳代）で「そう思う」の割合が高く、「どちらかといえばそう思う」の割合が低くなっています。



【居住地区別】

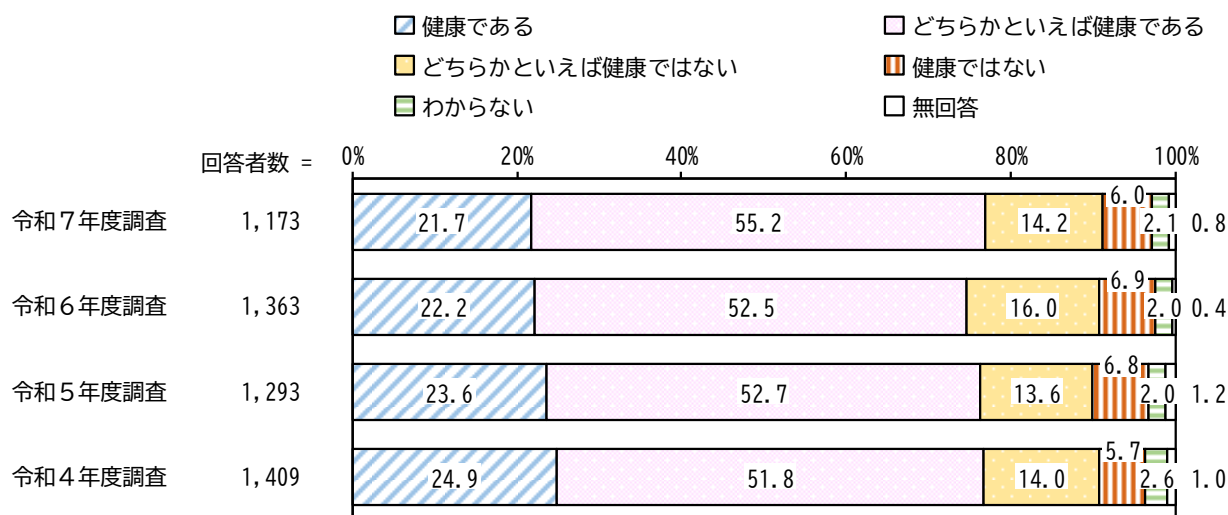
居住地区別にみると、北部で“そう思う”の割合が低くなっています。



問 31 あなた自身の健康についてどう感じていますか。(○は1つ)

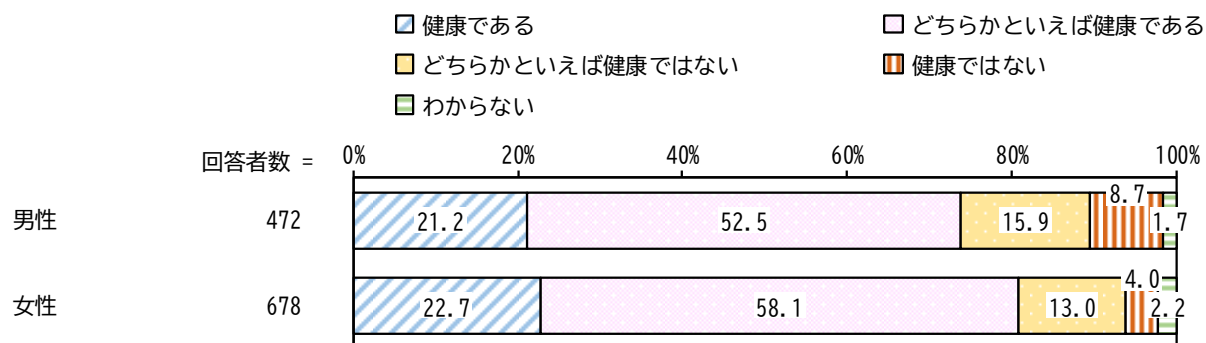
「健康である」「どちらかといえば健康である」を合わせた“健康である”の割合が 76.9%、「どちらかといえば健康ではない」「健康ではない」を合わせた“健康ではない”の割合が 20.2%となっています。

過去調査と比較すると、大きな変化はみられません。



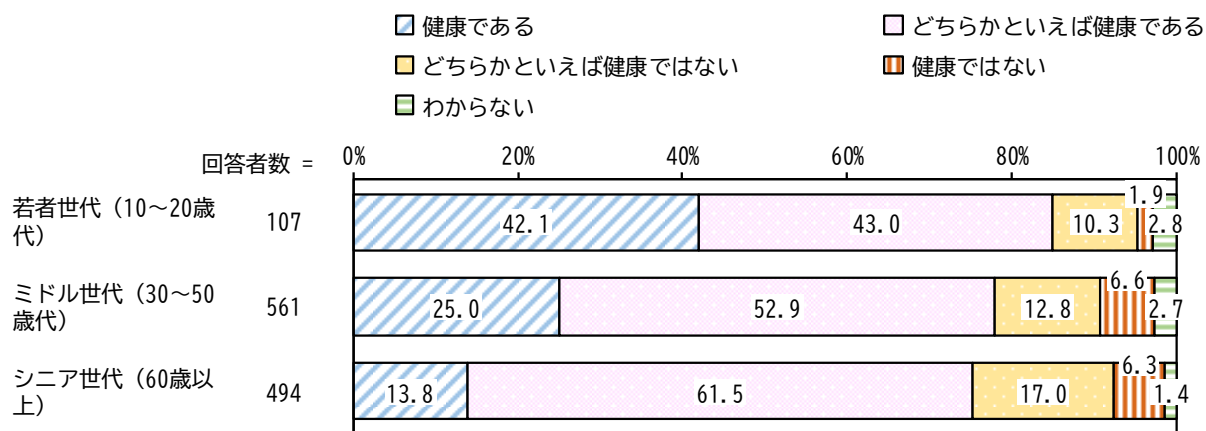
【性別】

性別にみると、男性で“健康ではない”の割合が高くなっています。



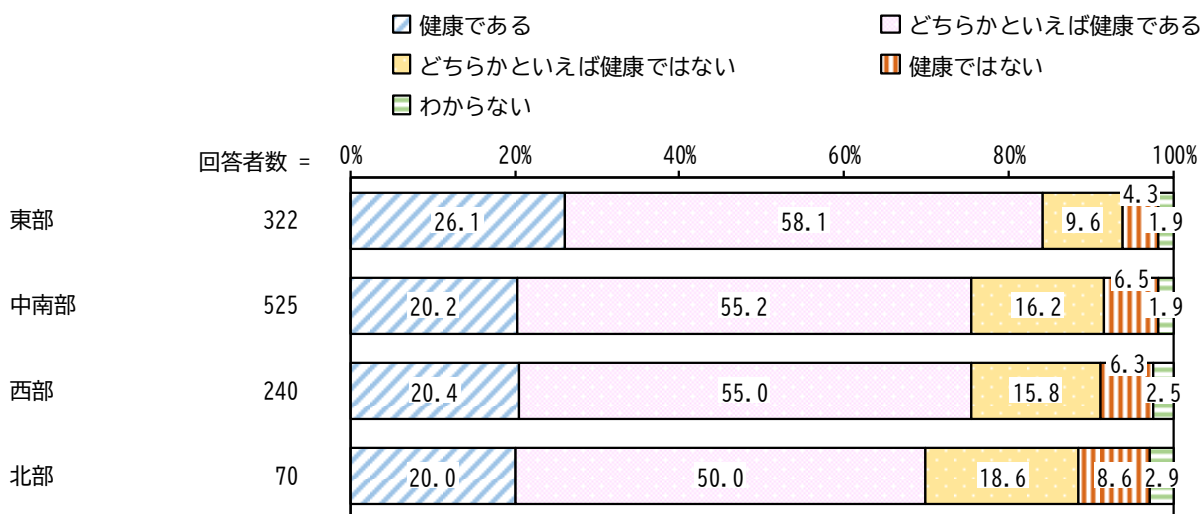
【世代別】

世代別にみると、世代が上がるほど“健康ではない”の割合が高くなっています。また、若者世代（10～20歳代）で「健康である」の割合が高く、「どちらかといえば健康である」の割合が低くなっています。



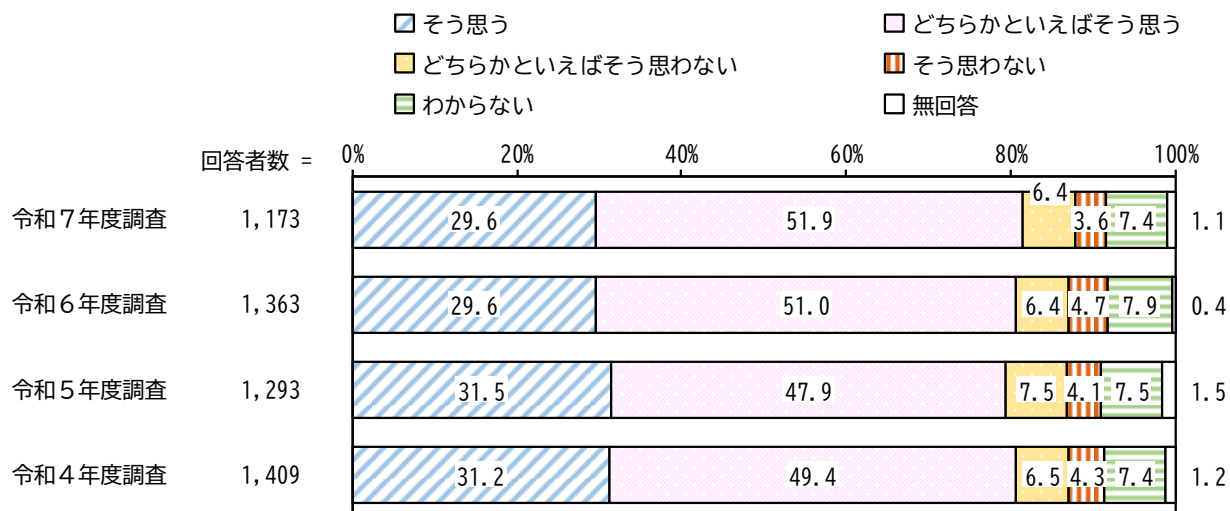
【居住地区別】

居住地区別にみると、東部で“健康である”、北部で“健康ではない”の割合が高くなっています。



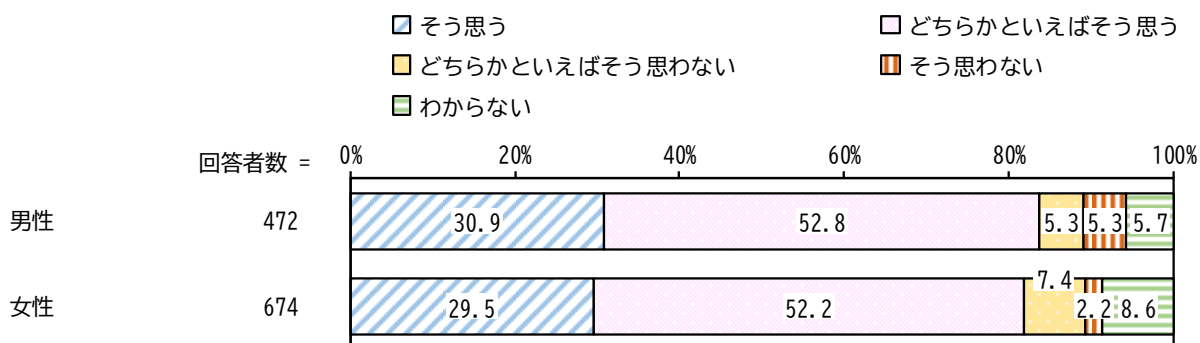
問 32 医療体制が充実していると思いますか。(○は1つ)

「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた“そう思う”の割合が 81.5%、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」を合わせた“そう思わない”の割合が 10.0%となっています。
過去調査と比較すると、大きな変化はみられません。



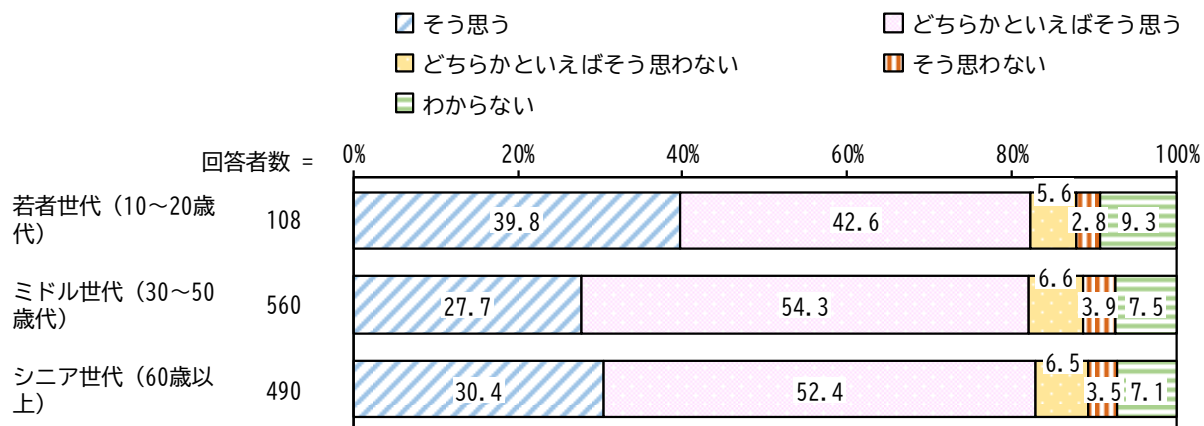
【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。



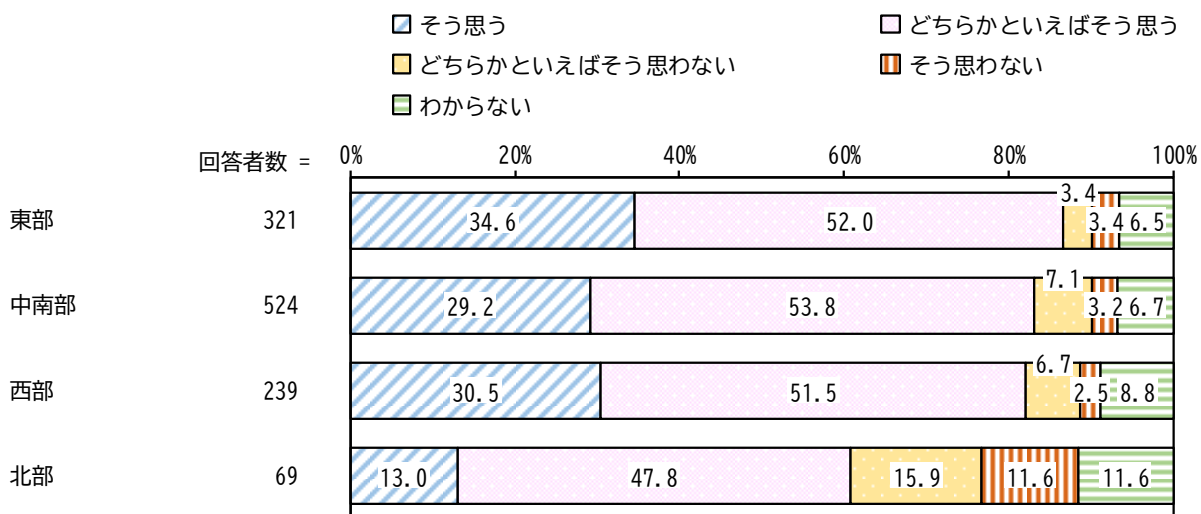
【世代別】

世代別にみると、若者世代（10～20歳代）で「そう思う」の割合が高く、「どちらかといえばそう思う」の割合が低くなっています。



【居住地区別】

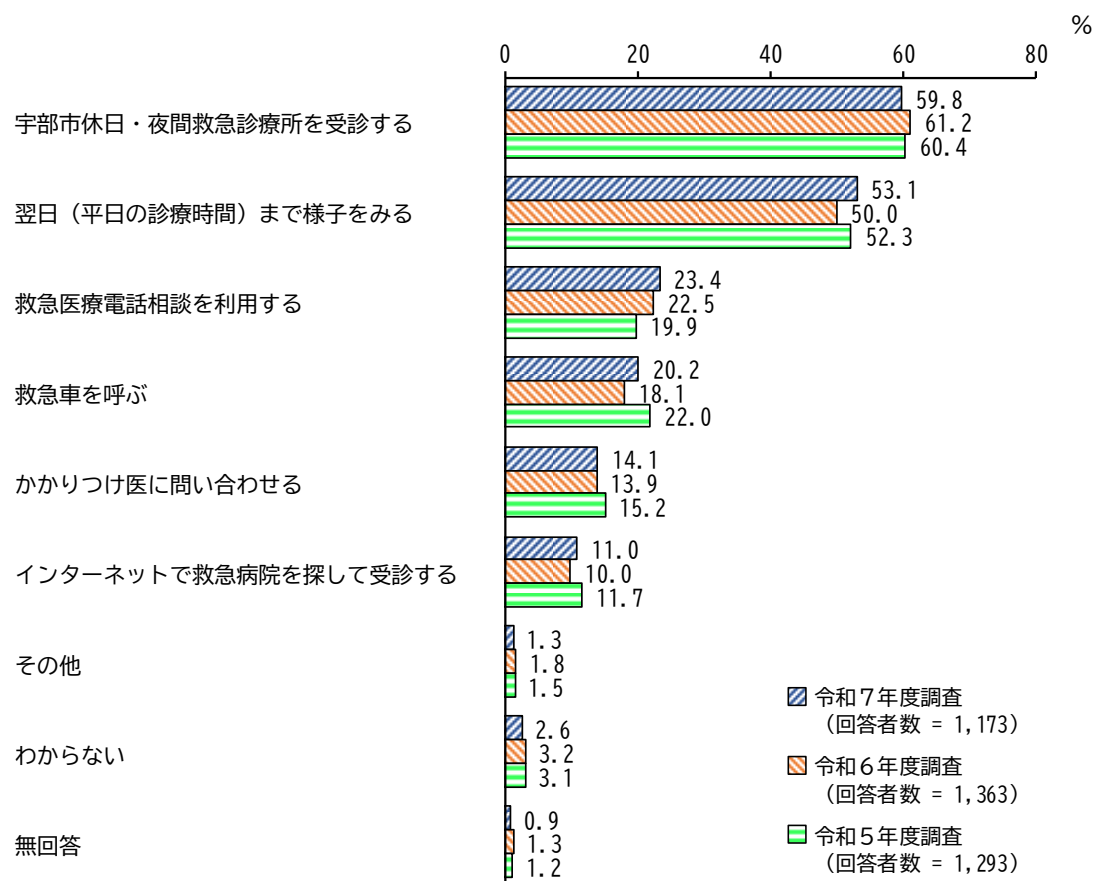
居住地区別にみると、北部で“そう思わない”の割合が高くなっています。



問 33 夜間や休日など、診療時間外に体調不良となったとき、どうしますか。
(○は3つまで)

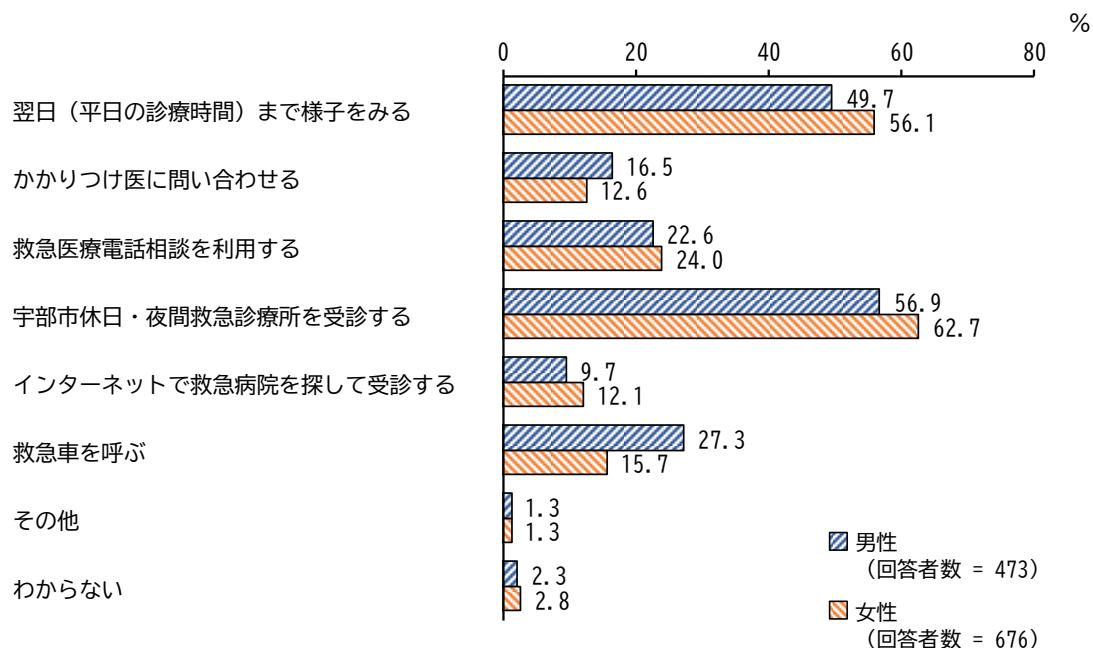
「宇部市休日・夜間救急診療所を受診する」の割合が 59.8%と最も高く、次いで「翌日（平日の診療時間）まで様子をみる」の割合が 53.1%、「救急医療電話相談を利用する」の割合が 23.4%となっています。

過去調査と比較すると、大きな変化はみられません。



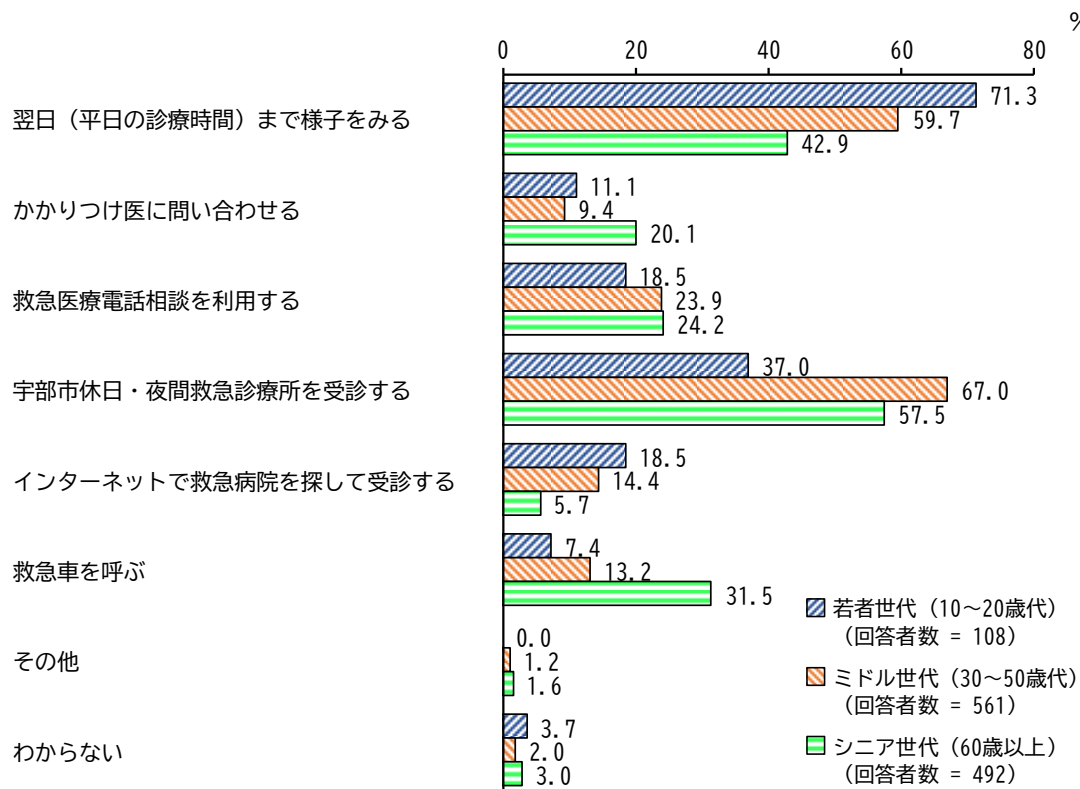
【性別】

性別にみると、男性で「救急車を呼ぶ」の割合が高く、女性で「翌日（平日の診療時間）まで様子を見る」「宇部市休日・夜間救急診療所を受診する」の割合が高くなっています。



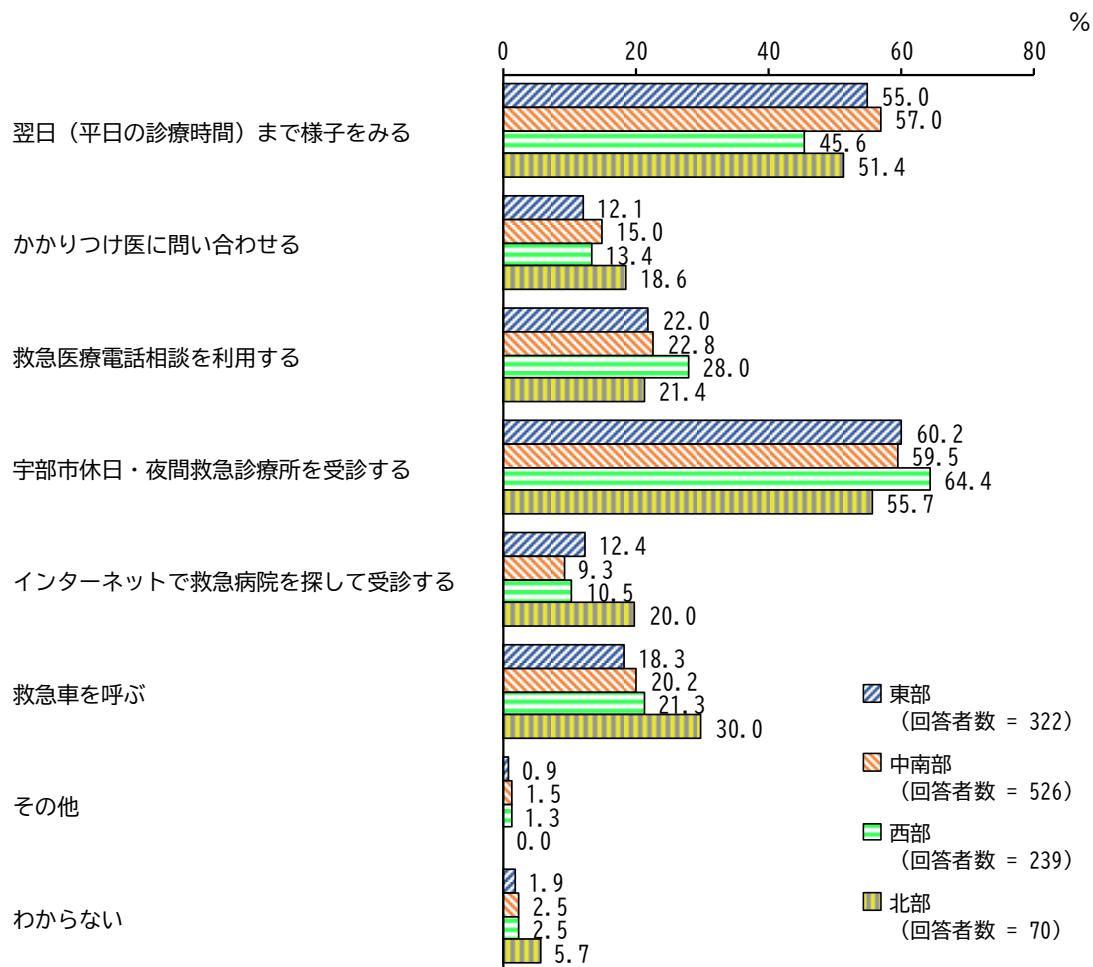
【世代別】

世代別にみると、世代が上がるほど「救急医療電話相談を利用する」「救急車を呼ぶ」の割合が高く、「翌日（平日の診療時間）まで様子を見る」「インターネットで救急病院を探して受診する」の割合が低くなっています。



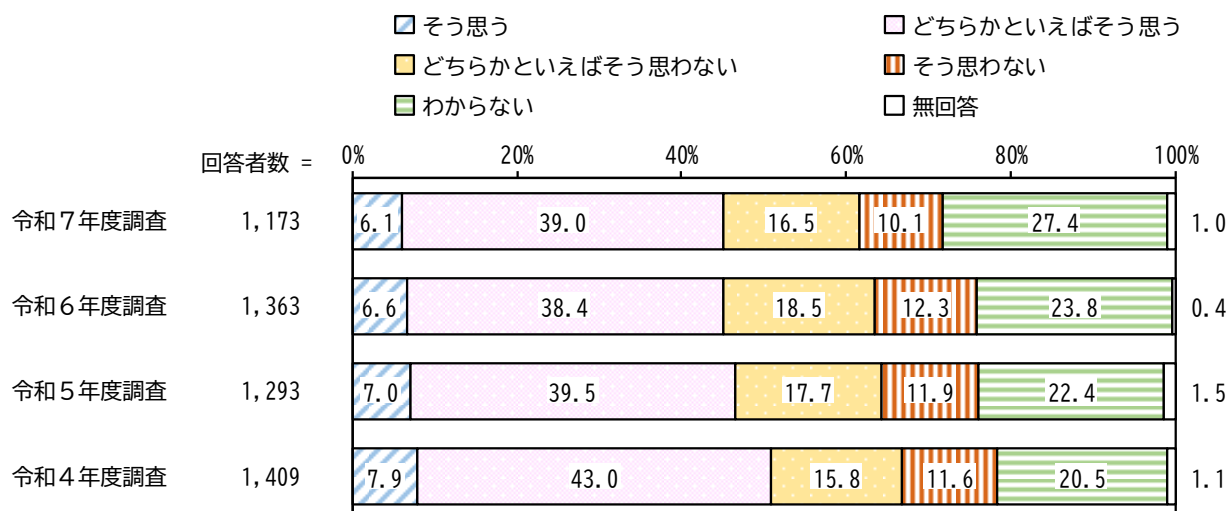
【居住地区別】

居住地区別にみると、北部で「インターネットで救急病院を探して受診する」「救急車を呼ぶ」の割合が高くなっています。



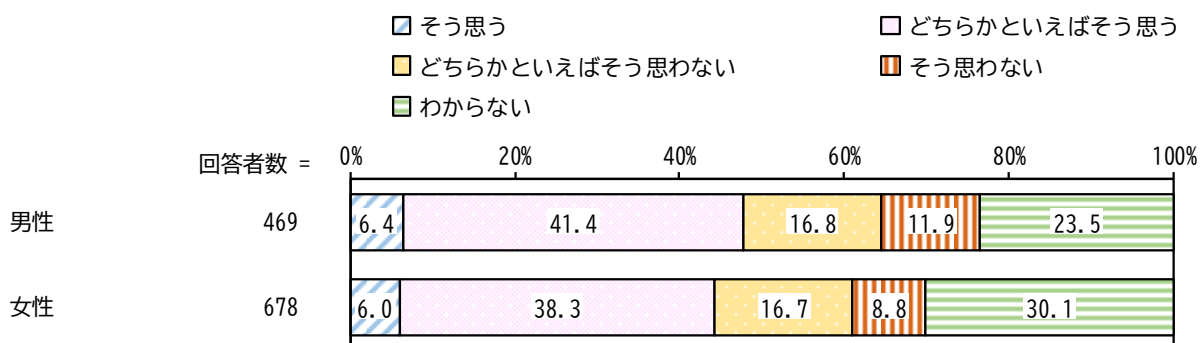
問 34 あなたのお住まいの地域では、支えあいの仕組みや自分らしく暮らせる環境が整っていると思いますか。(○は1つ)

「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた“そう思う”の割合が 45.1%、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」を合わせた“そう思わない”の割合が 26.6%となっています。
過去調査と比較すると、大きな変化はみられません。



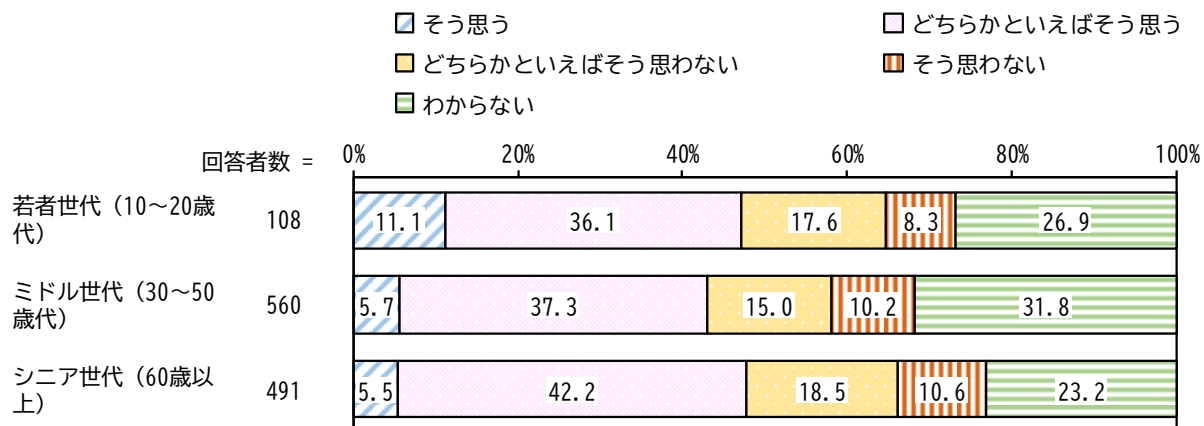
【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。



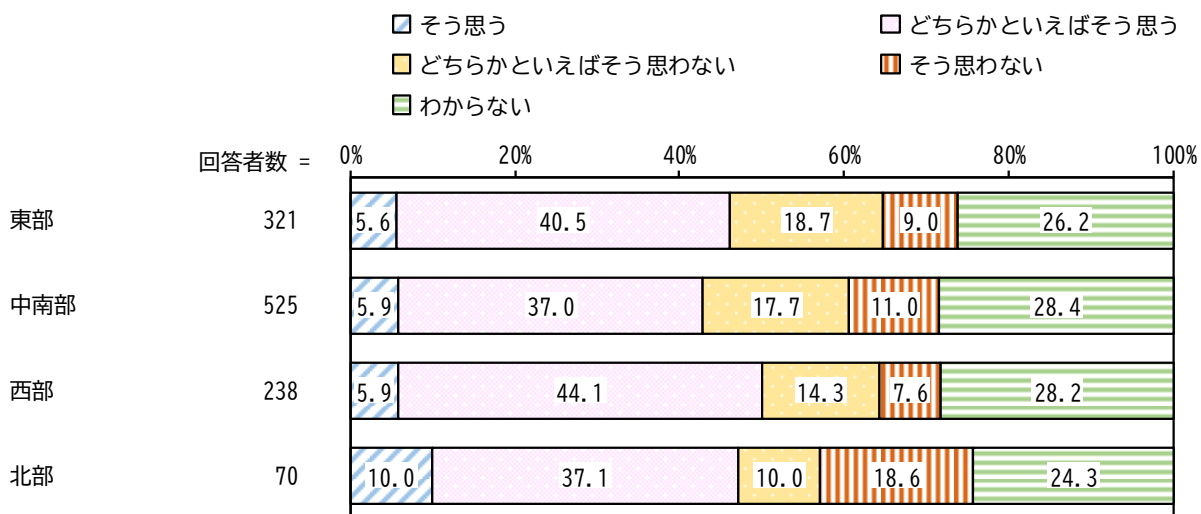
【世代別】

世代別にみると、世代が上がるほど「どちらかといえばそう思う」の割合が高く、「そう思う」の割合が低くなっています。



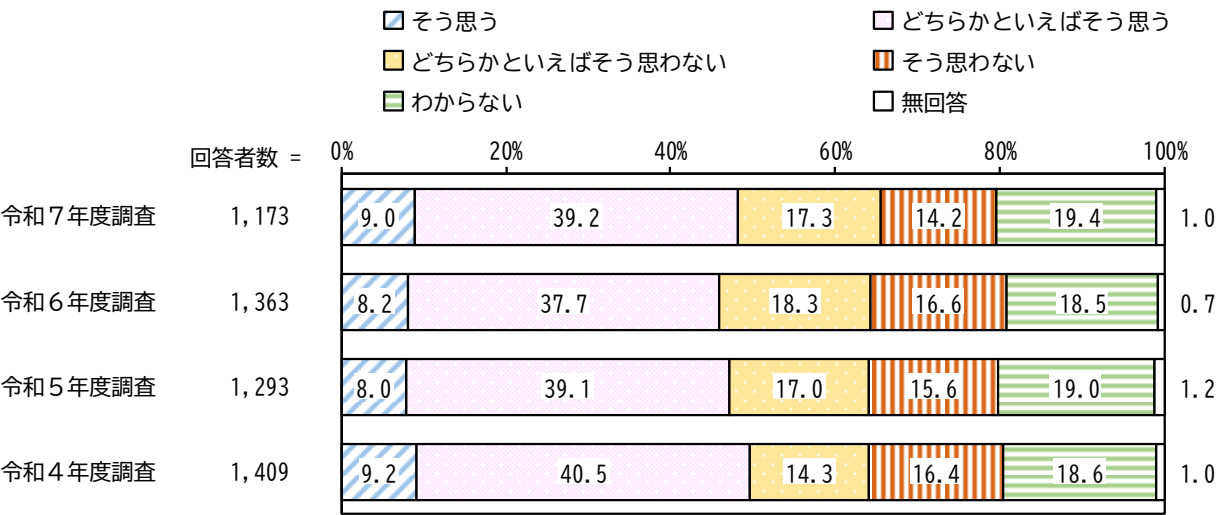
【居住地区別】

居住地区別にみると、西部で“そう思わない”の割合が低くなっています。



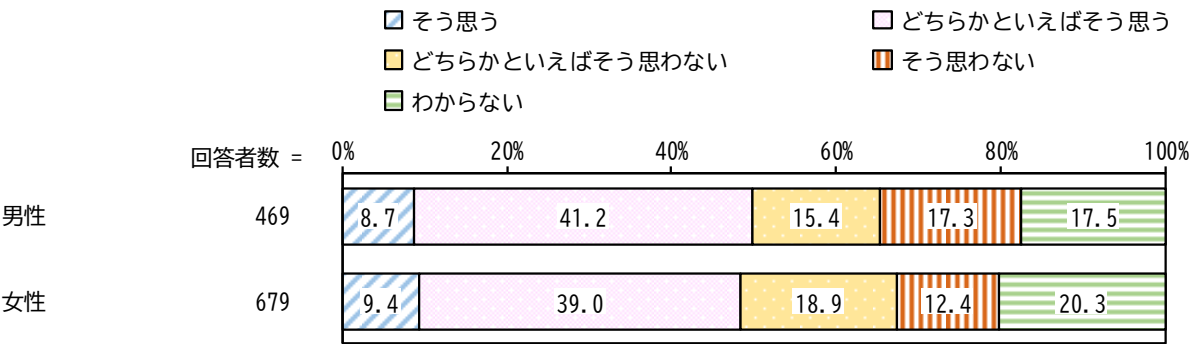
問 35 高齢になっても安心して暮らすことができますか。(○は1つ)

「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた“そう思う”の割合が 48.2%、「どちらかといえ
 ばそう思わない」「そう思わない」を合わせた“そう思わない”の割合が 31.5%となっています。
 過去調査と比較すると、大きな変化はみられません。



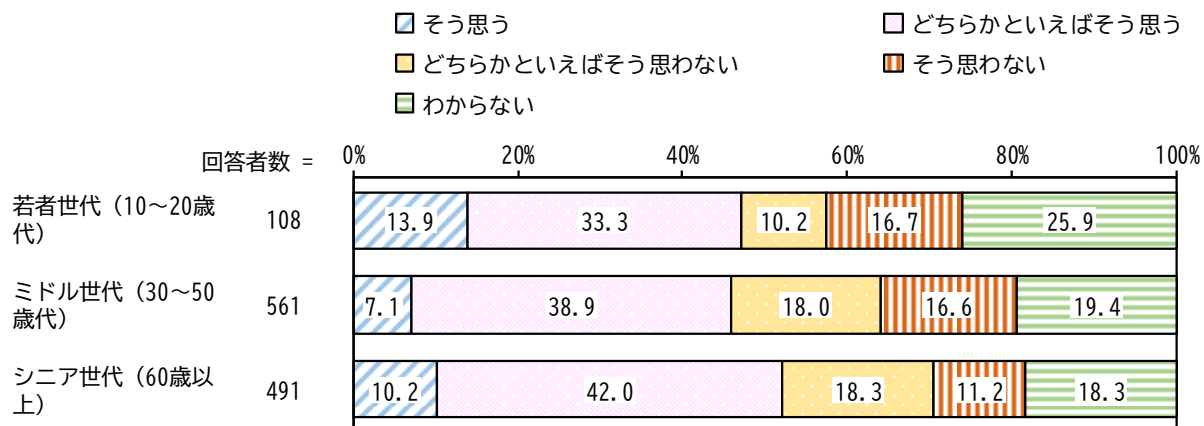
【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。



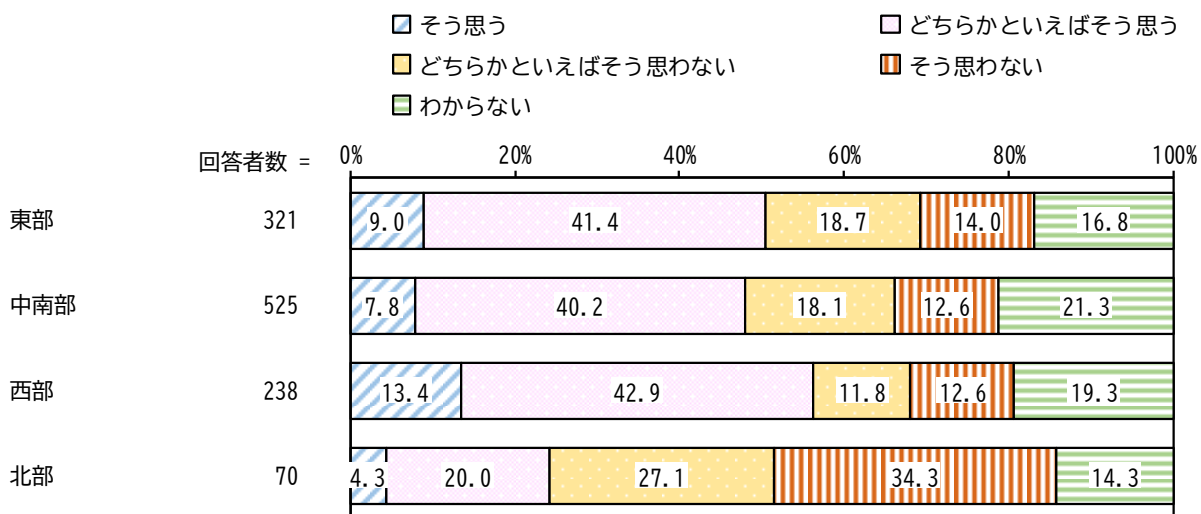
【世代別】

世代別にみると、世代が上がるほど「どちらかといえばそう思う」「どちらかといえばそう思わない」の割合が高く、「そう思わない」の割合が低くなっています。



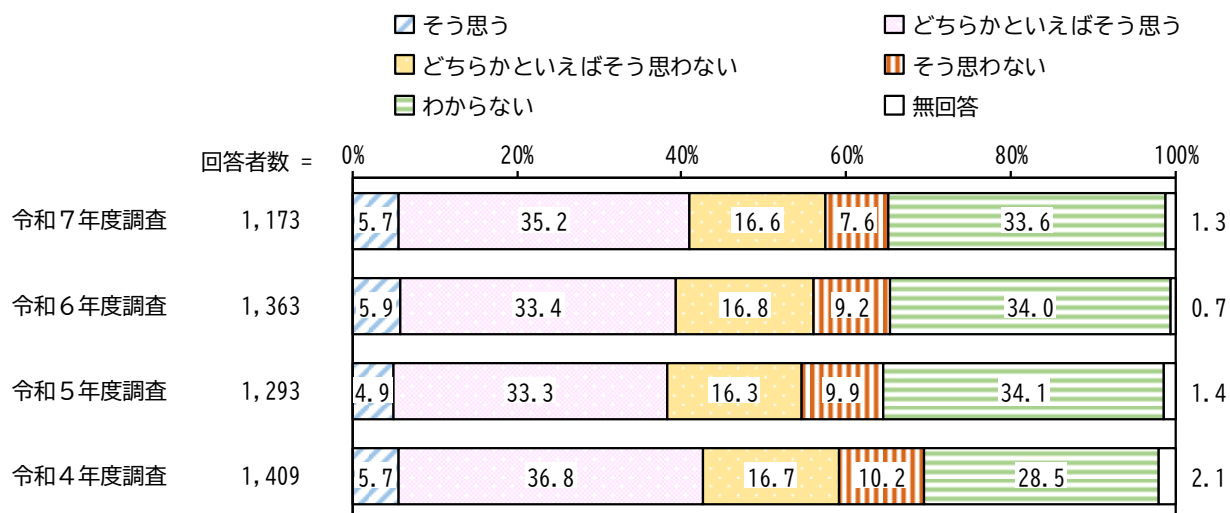
【居住地区別】

居住地区別にみると、北部で“そう思わない”の割合が高くなっています。



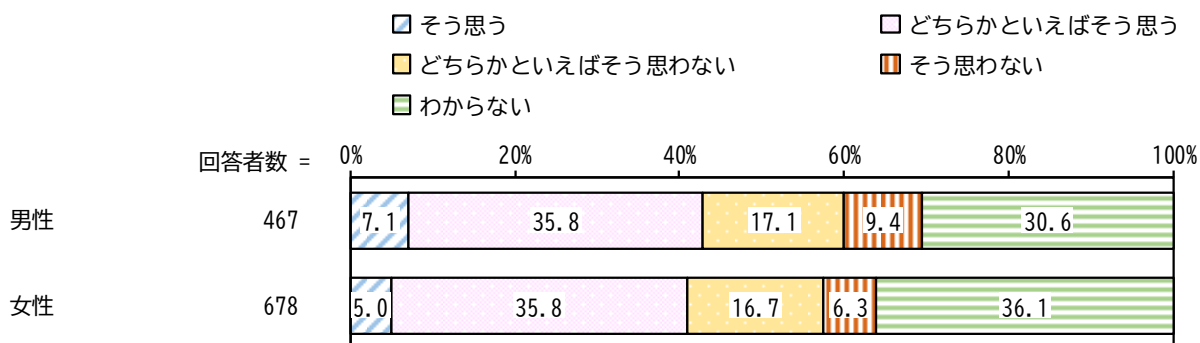
問 36 障害のある人や障害について、地域の人々の理解があると思いますか。(○は1つ)

「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた“そう思う”の割合が 40.9%、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」を合わせた“そう思わない”の割合が 24.2%となっています。
過去調査と比較すると、大きな変化はみられません。



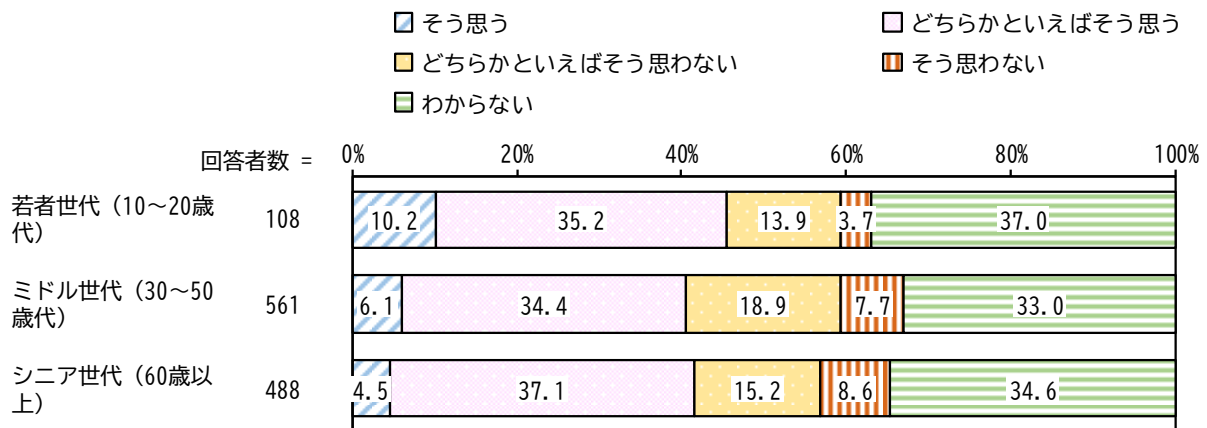
【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。



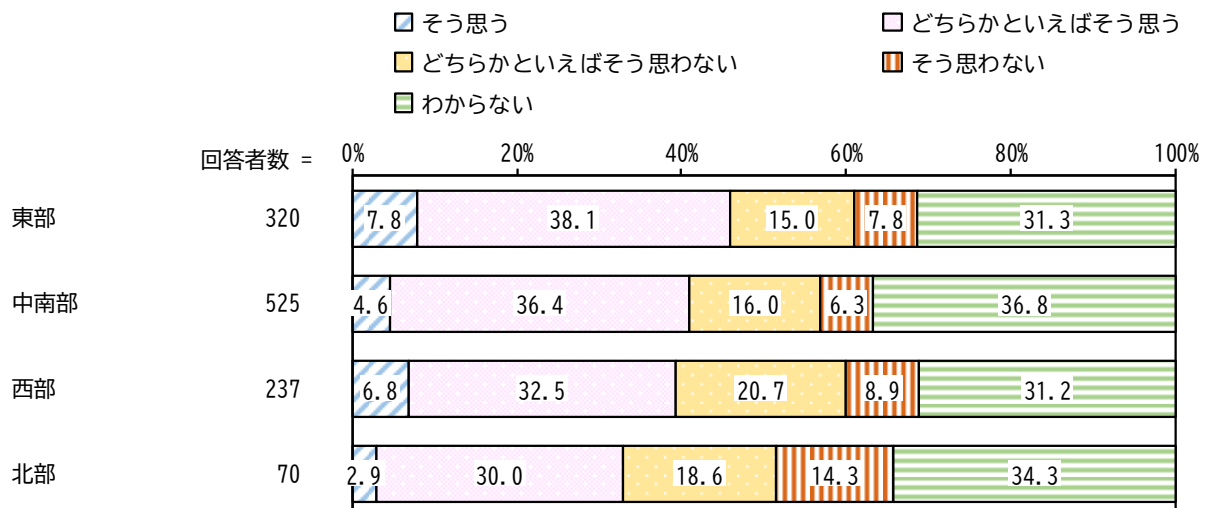
【世代別】

世代別にみると、世代が下がるほど「そう思う」の割合が高くなっています。



【居住地区別】

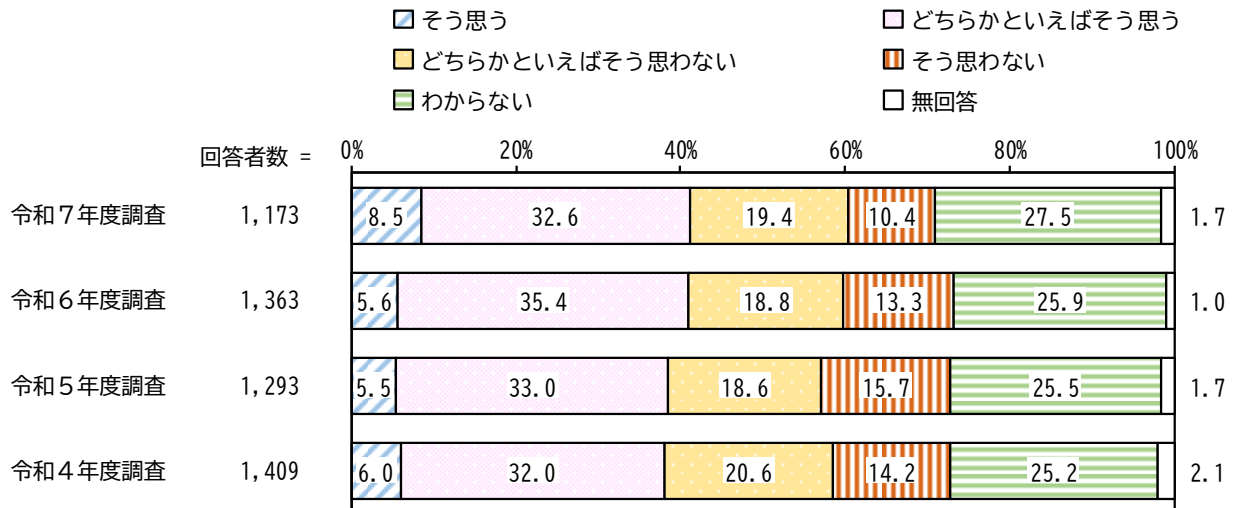
居住地区別にみると、北部で“そう思わない”の割合が高くなっています。



(5) コミュニティや環境保全、安心安全、都市基盤などについて

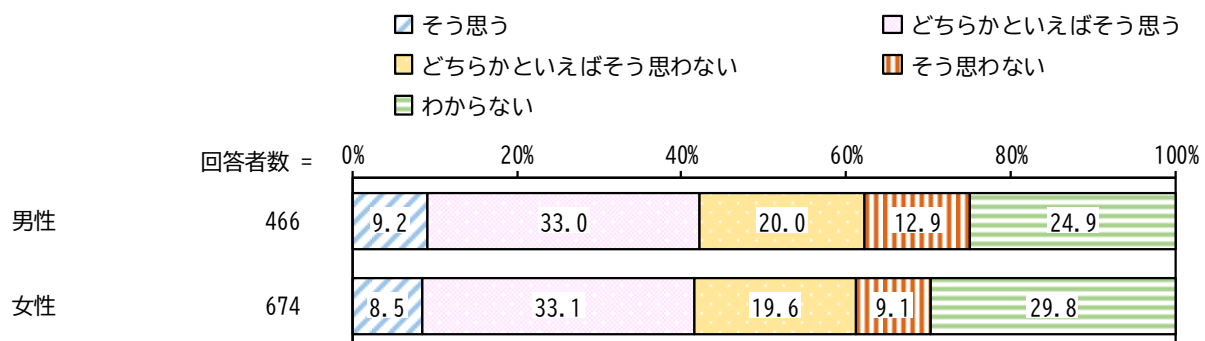
問 37 あなたのお住まいの地域では、地域コミュニティ活動が活発だと思いますか。
(○は1つ)

「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた“そう思う”の割合が 41.1%、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」を合わせた“そう思わない”の割合が 29.8%となっています。
過去調査と比較すると、大きな変化はみられません。



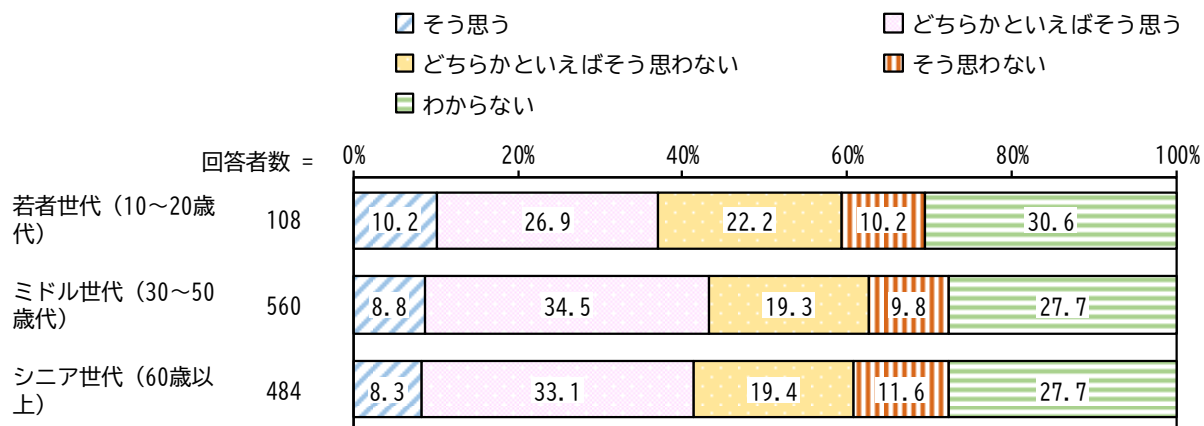
【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。



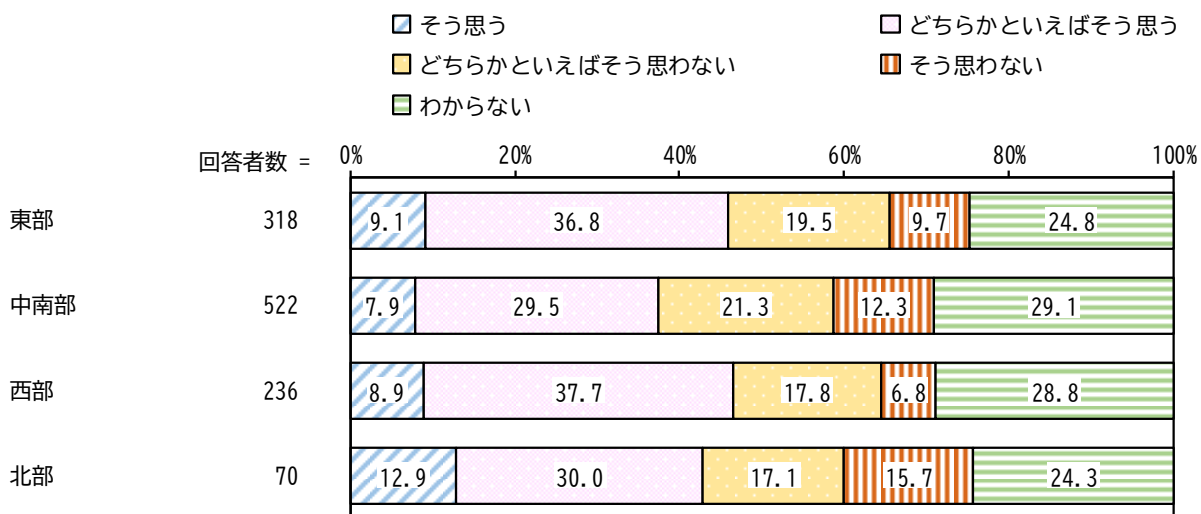
【世代別】

世代別にみると、若者世代（10～20 歳代）で「どちらかといえばそう思う」の割合が低くなっています。



【居住地区別】

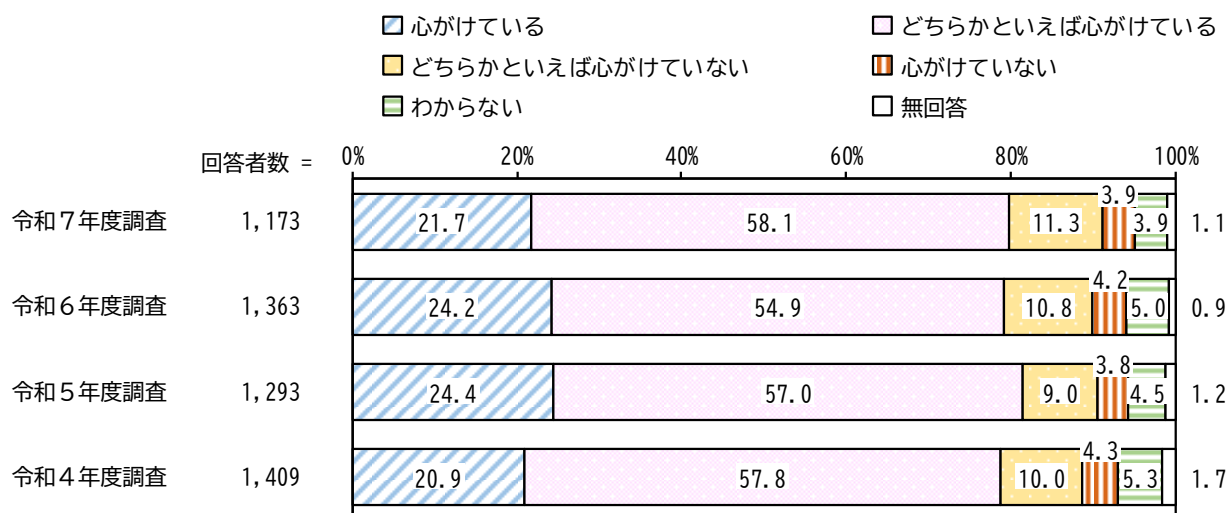
居住地区別にみると、西部で“そう思わない”の割合が低くなっています。



問 38 日々の暮らしで、省資源や省エネルギーに心がけていますか。(○は1つ)

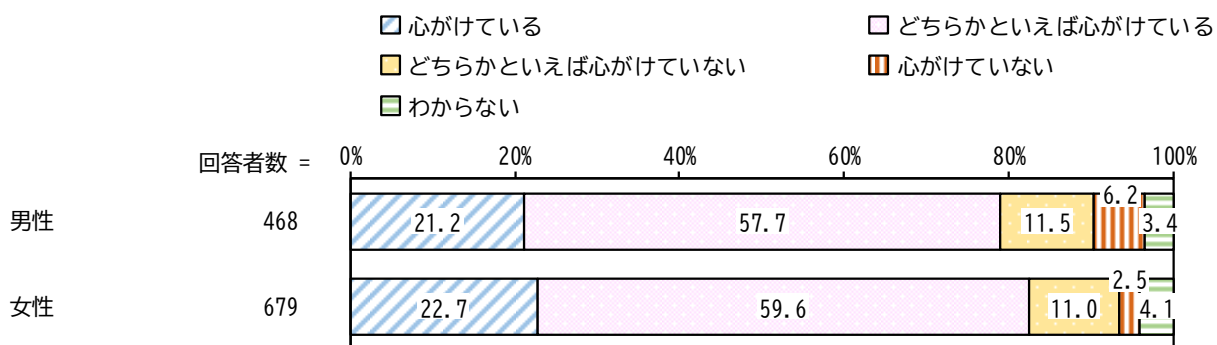
「心がけている」「どちらかといえば心がけている」を合わせた“心がけている”の割合が 79.8%、「どちらかといえば心がけていない」「心がけていない」を合わせた“心がけていない”の割合が 15.2%となっています。

過去調査と比較すると、大きな変化はみられません。



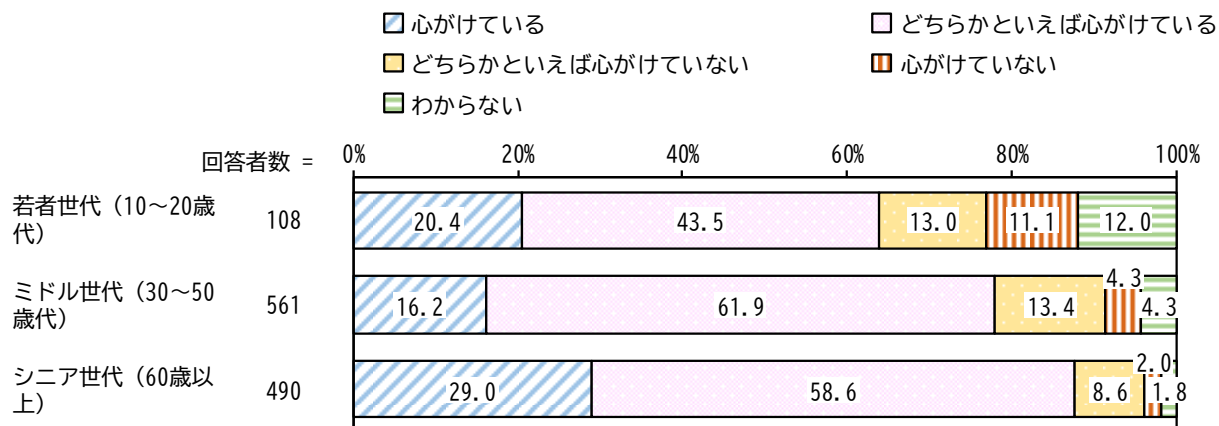
【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。



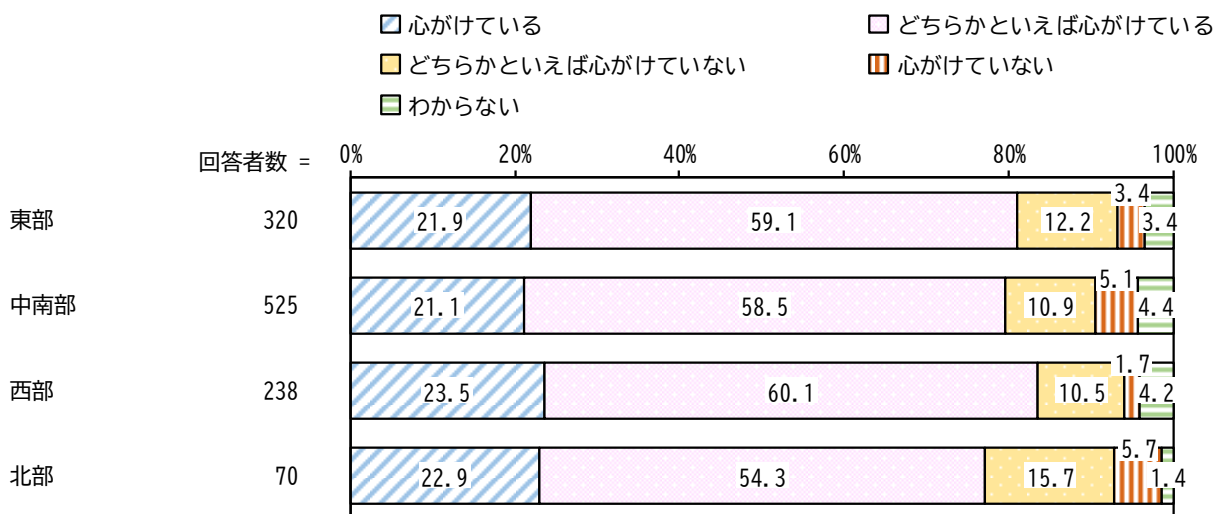
【世代別】

世代別にみると、世代が上がるほど“心がけている”の割合が高くなっています。また、若者世代（10～20歳代）で「どちらかといえば心がけている」の割合が低くなっています。



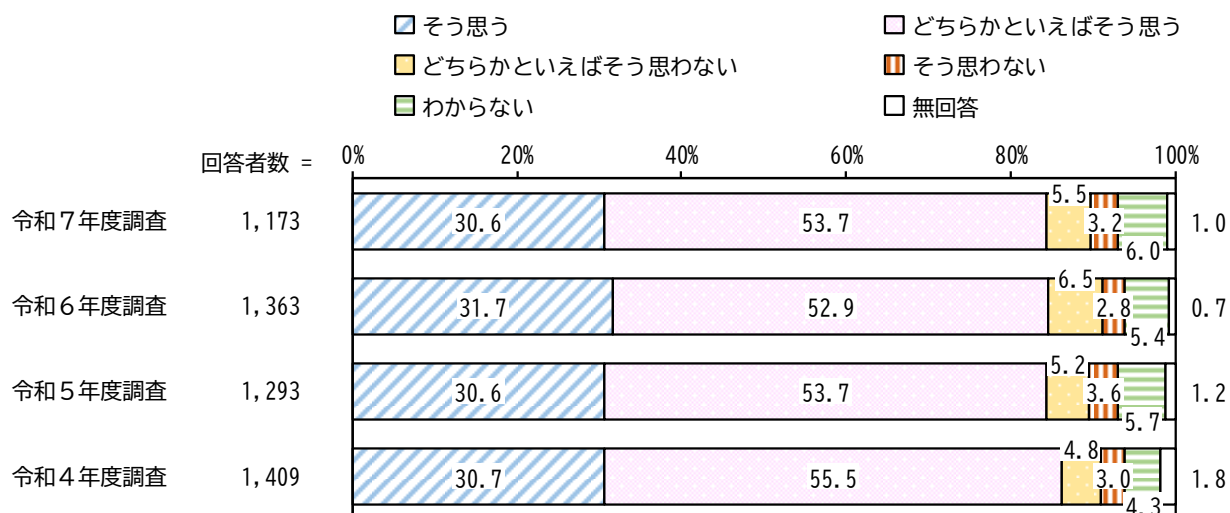
【居住地区別】

居住地区別にみると、北部で“心がけていない”の割合が高くなっています。



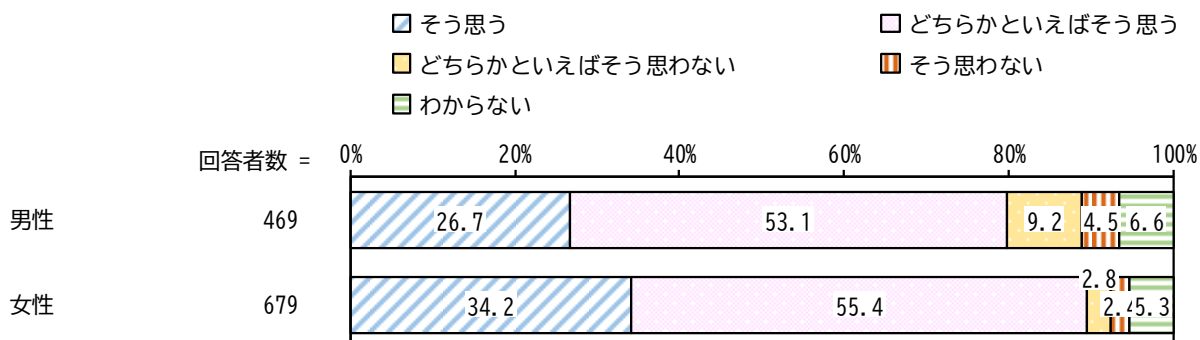
問 39 マイバッグの利用やごみの分別・リサイクルの徹底など、ごみ減量に向けた活動が広がっていると思いますか。(〇は1つ)

「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた“そう思う”の割合が84.3%、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」を合わせた“そう思わない”の割合が8.7%となっています。
過去調査と比較すると、大きな変化はみられません。



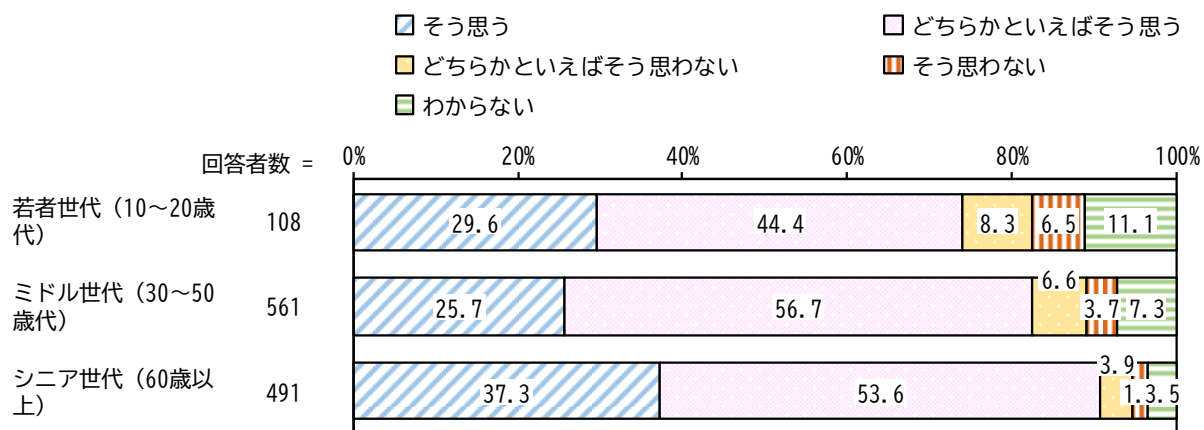
【性別】

性別にみると、女性で“そう思う”の割合が高くなっています。



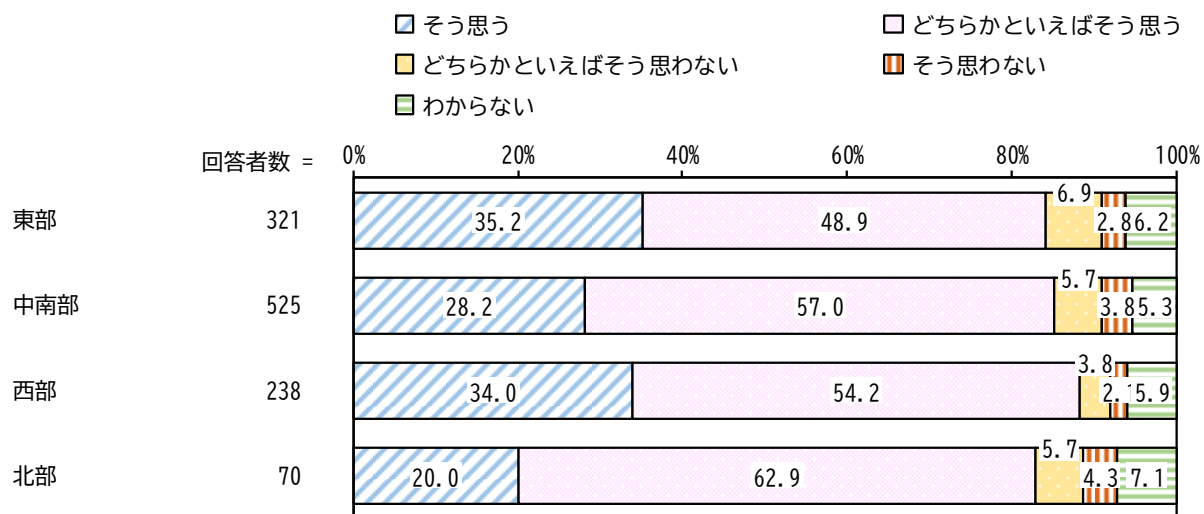
【世代別】

世代別にみると、世代が上がるほど“そう思う”の割合が高くなっています。



【居住地区別】

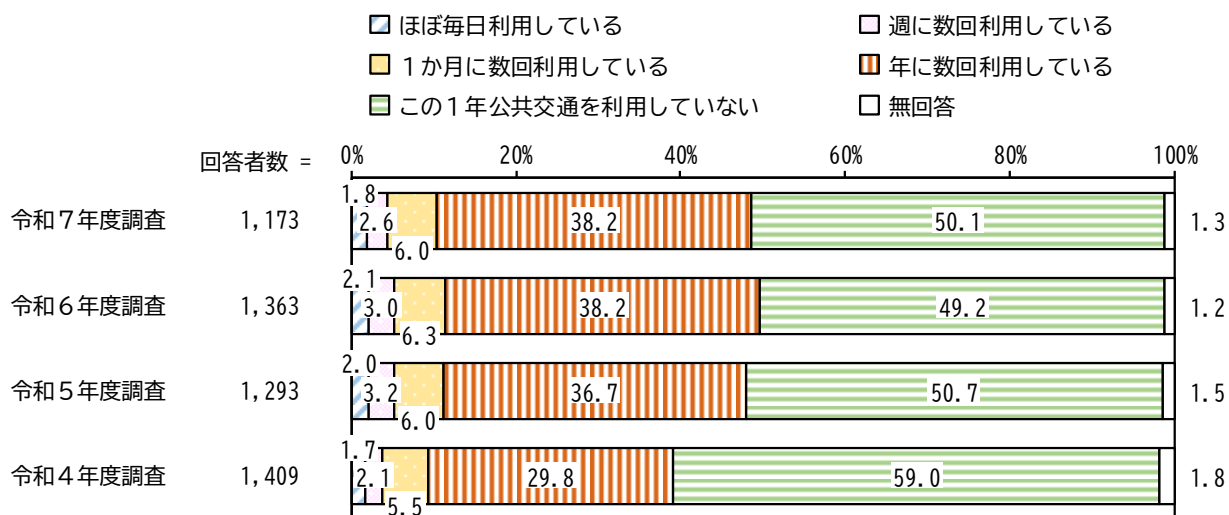
居住地区別にみると、北部で「どちらかといえばそう思う」の割合が高く、「そう思う」の割合が低くなっています。



問 40 鉄道や路線バスなどの公共交通を利用していますか。(○は1つ)

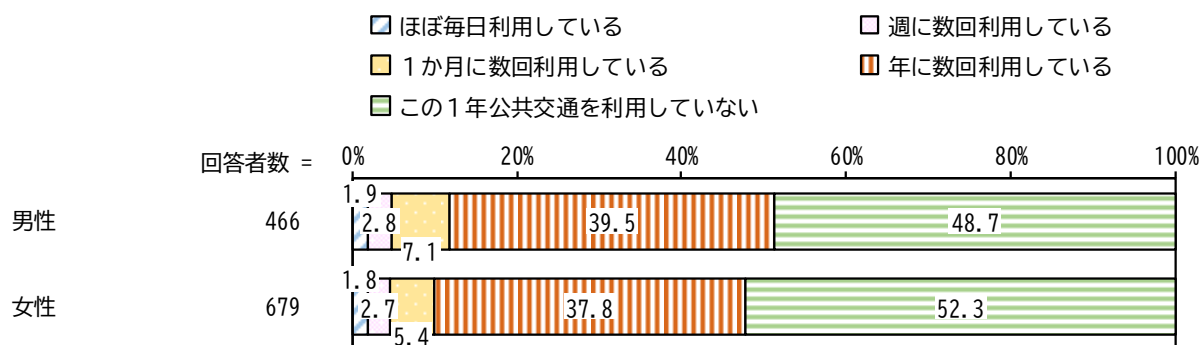
「この1年公共交通を利用していない」の割合が 50.1%と最も高く、次いで「年に数回利用している」の割合が 38.2%となっています。

過去調査と比較すると、令和4年度調査から「年に数回利用している」の割合が増加傾向にあります。



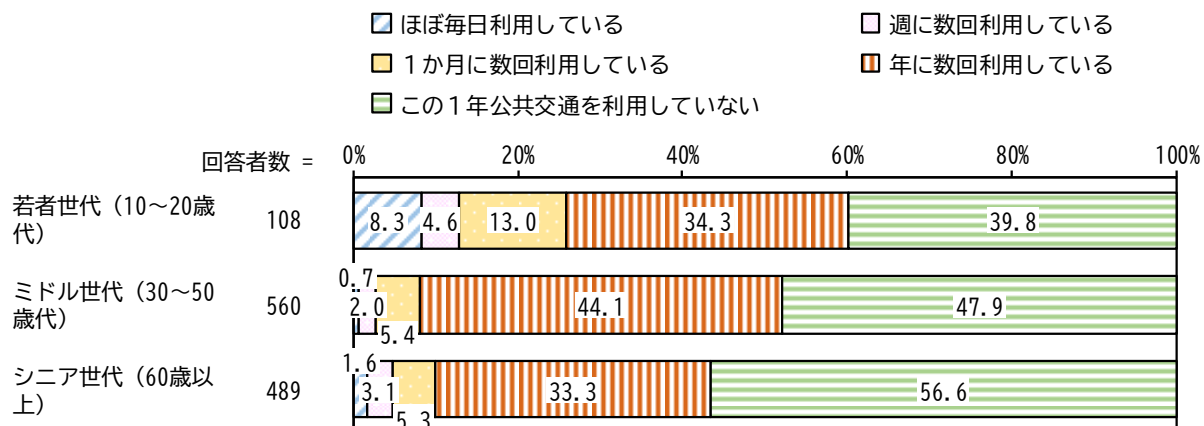
【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。



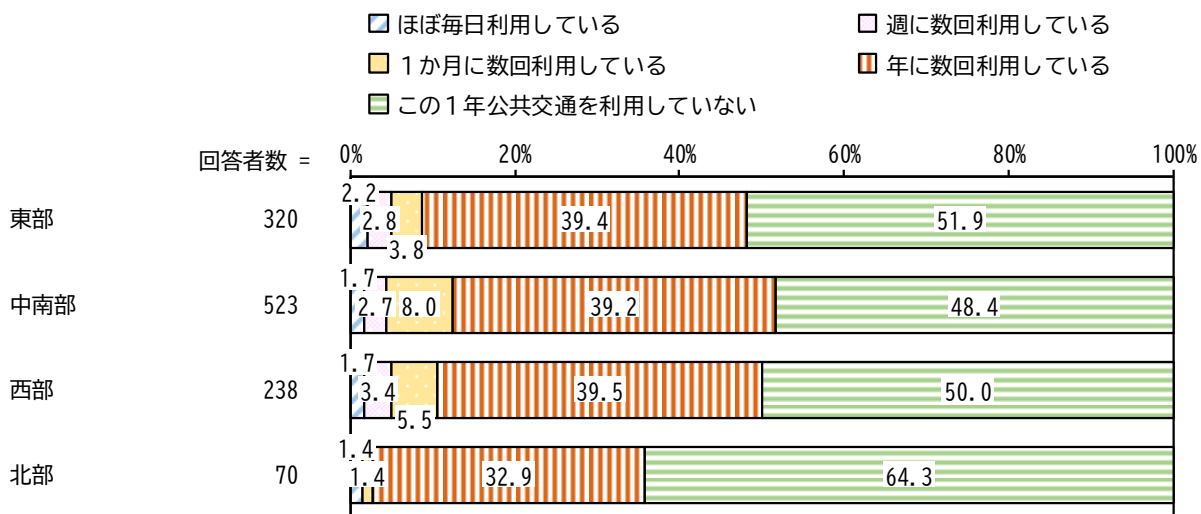
【世代別】

世代別にみると、世代が上がるほど「この1年公共交通を利用していない」の割合が高くなっています。



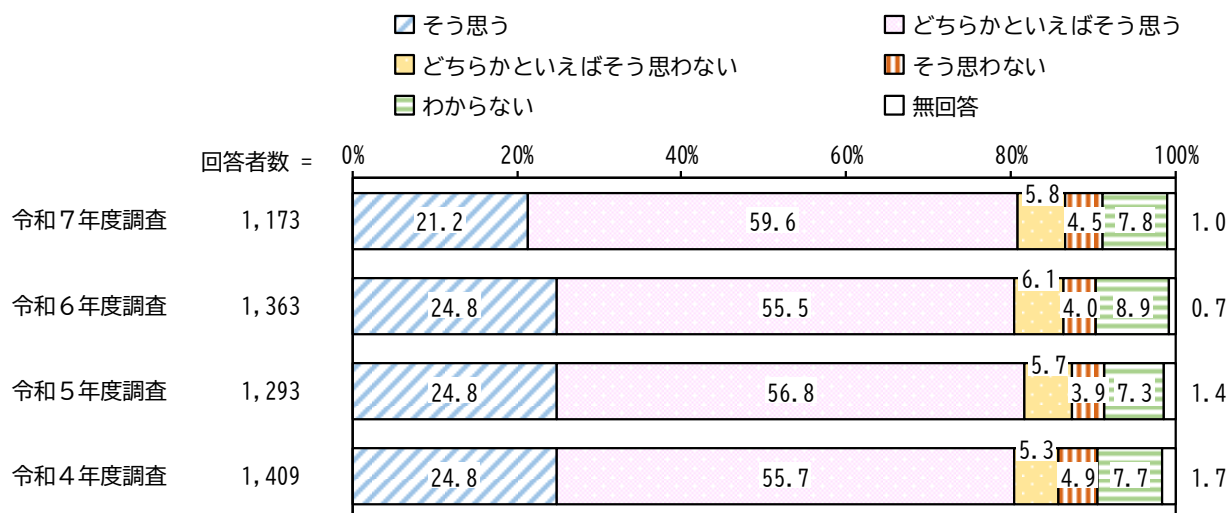
【居住地区別】

居住地区別にみると、北部で「この1年公共交通を利用していない」の割合が高くなっています。



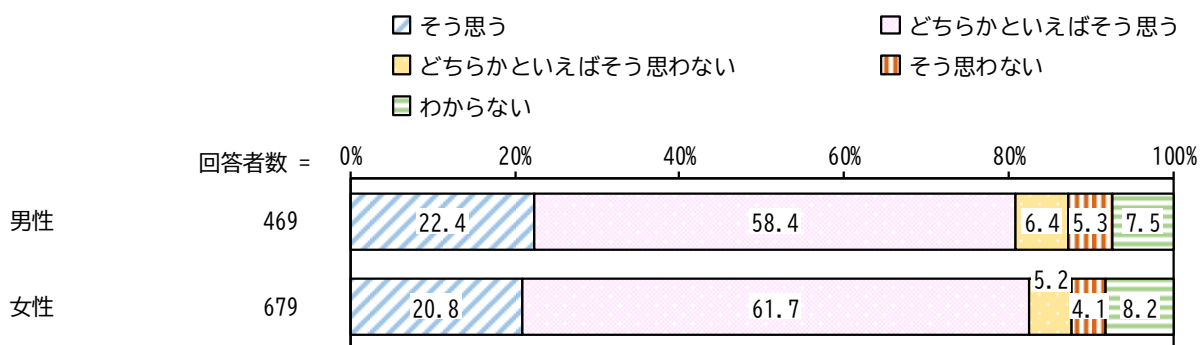
問 41 犯罪が少なく、地域の治安が良いと思いますか。(○は1つ)

「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた“そう思う”の割合が 80.8%、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」を合わせた“そう思わない”の割合が 10.3%となっています。
過去調査と比較すると、令和6年度調査から「そう思う」の割合が低くなっています。



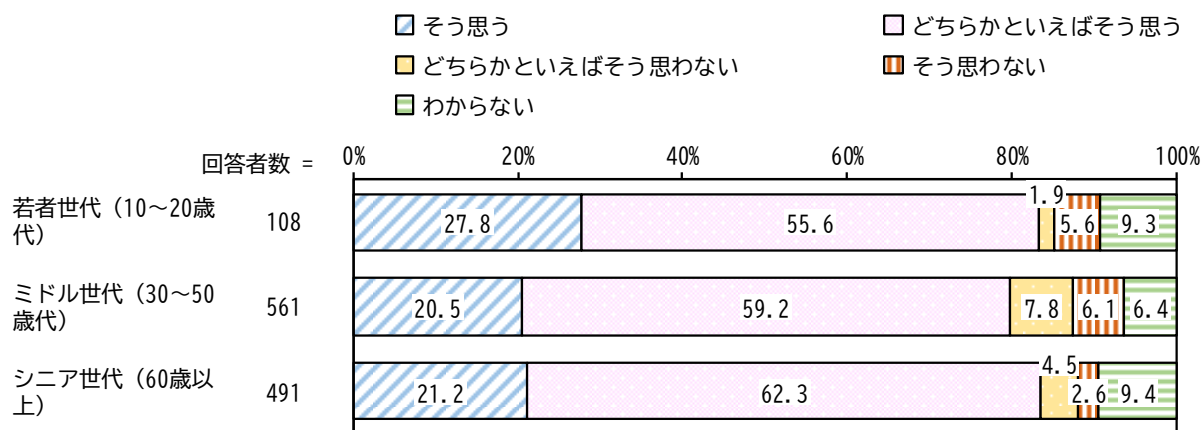
【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。



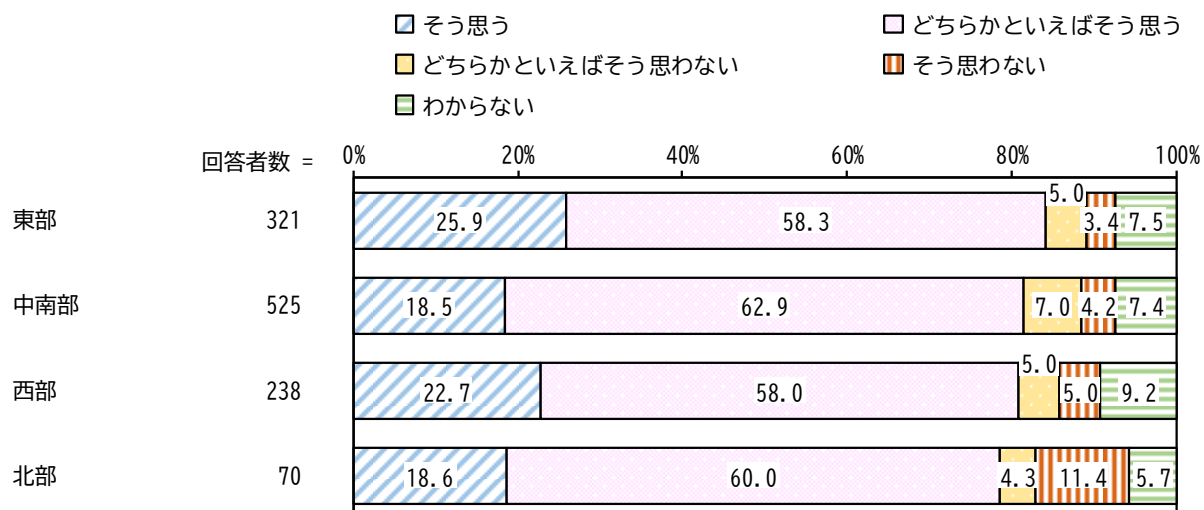
【世代別】

世代別にみると、世代が上がるほど「どちらかといえばそう思う」の割合が高くなっています。



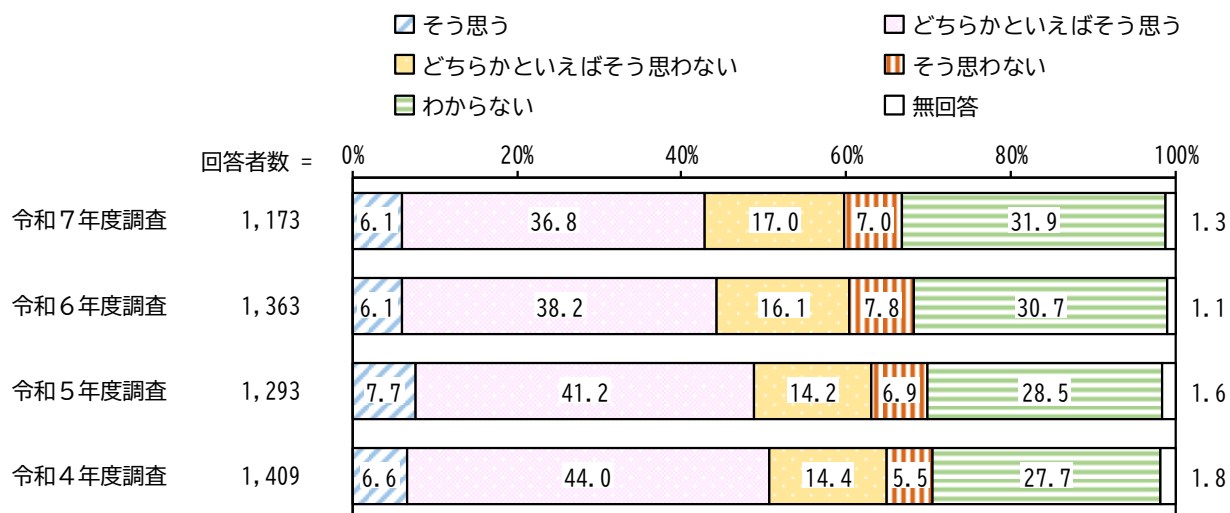
【居住地区別】

居住地区別にみると、北部で“そう思わない”の割合が高くなっています。



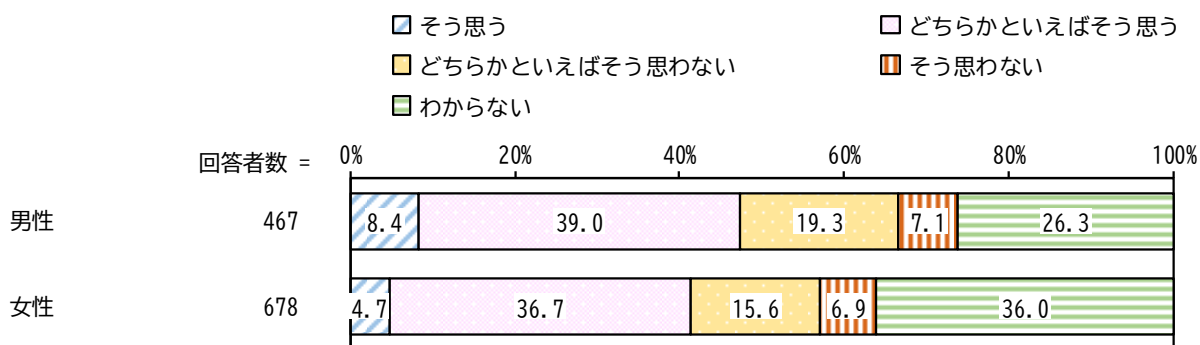
問 42 防災対策が充実していると思いますか。(○は1つ)

「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた“そう思う”の割合が 42.9%、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」を合わせた“そう思わない”の割合が 24.0%となっています。
過去調査と比較すると、令和4年度調査から“そう思う”の割合が減少しています。



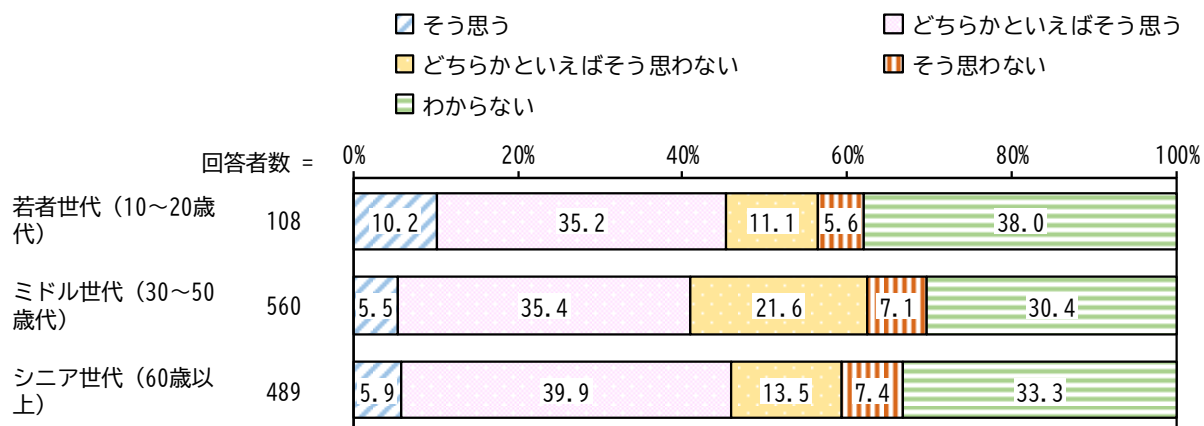
【性別】

性別にみると、男性で“そう思う”の割合が高くなっています。



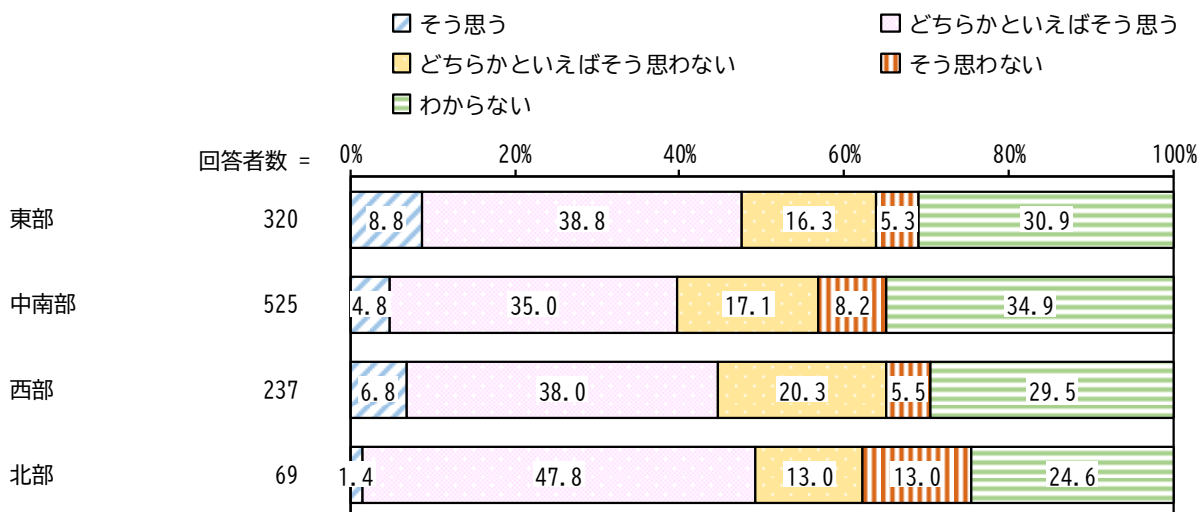
【世代別】

世代別にみると、ミドル世代（30～50 歳代）で「どちらかといえばそう思う」の割合が高くなっています。



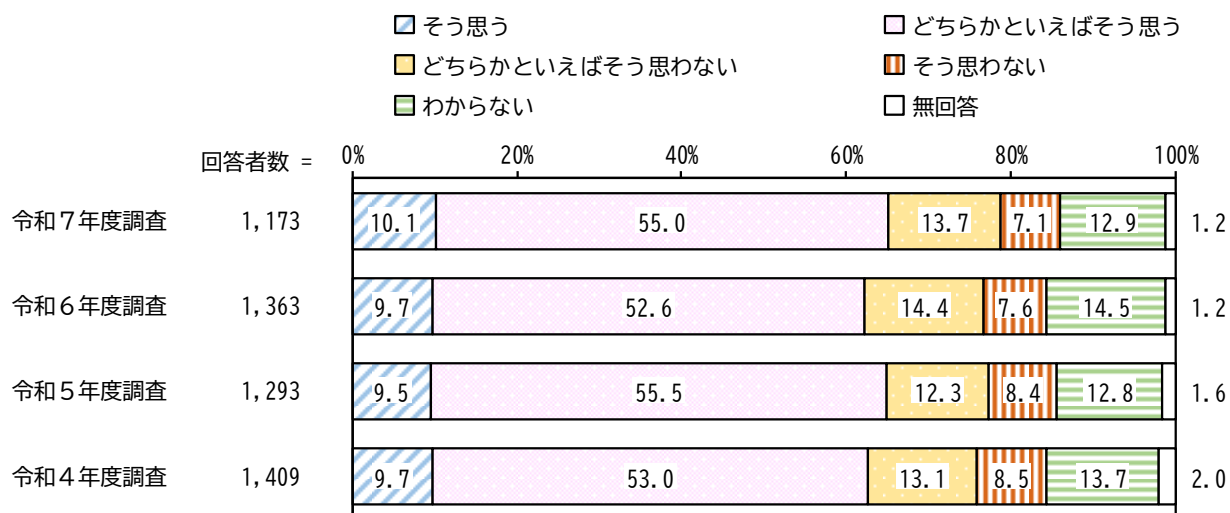
【居住地区別】

居住地区別にみると、北部で“そう思う”の割合が高くなっています。



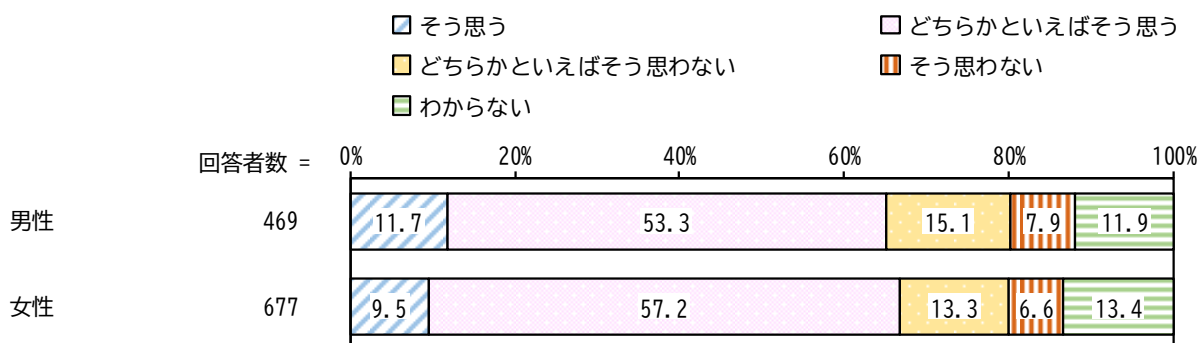
問 43 良好な景観が保たれ、快適な住環境が整っていると思いますか。(○は1つ)

「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた“そう思う”の割合が 65.1%、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」を合わせた“そう思わない”の割合が 20.8%となっています。
過去調査と比較すると、大きな変化はみられません。



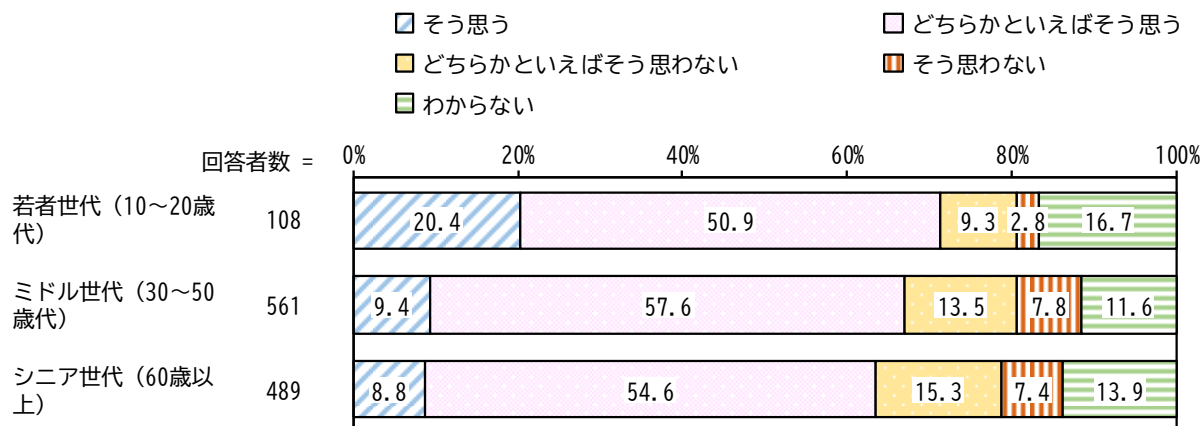
【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。



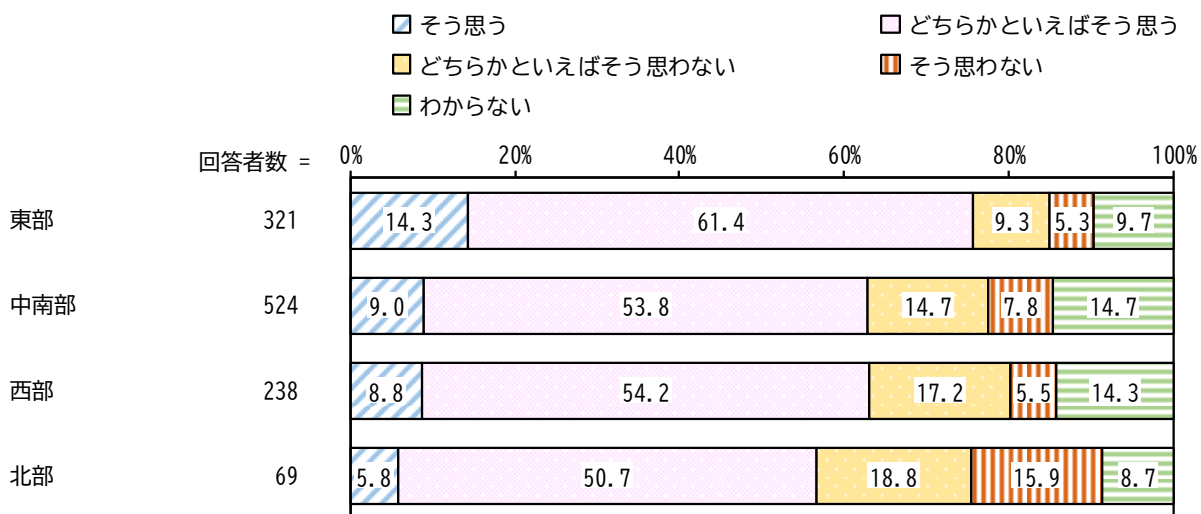
【世代別】

世代別にみると、世代が上がるほど“そう思わない”の割合が高くなっています。また、若者世代（10～20歳代）で「そう思う」の割合が高くなっています。



【居住地区別】

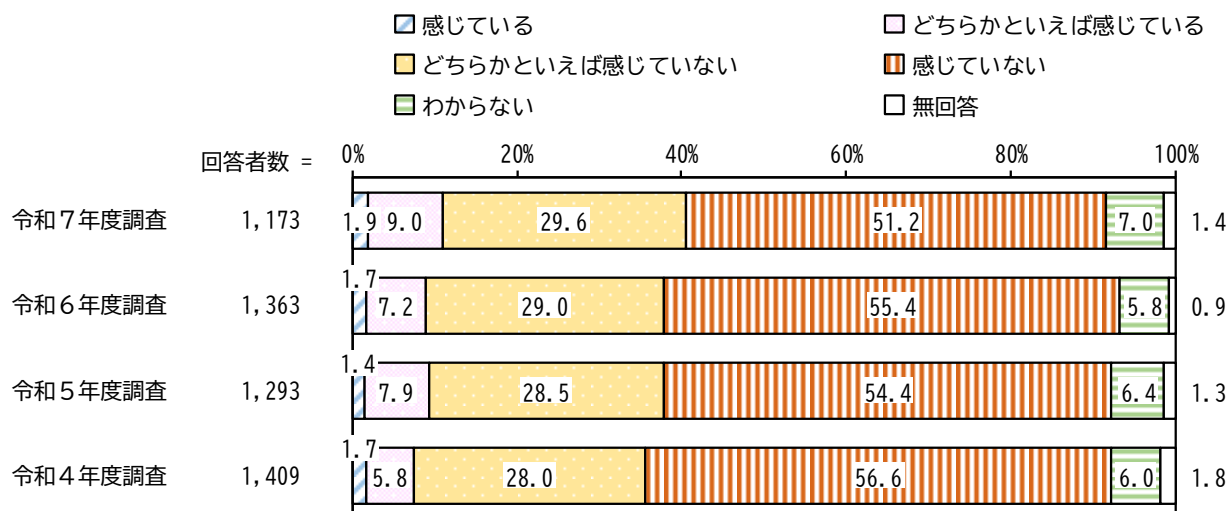
居住地区別にみると、北部で“そう思わない”の割合が高くなっています。



問 44 中心市街地に魅力や賑わいを感じますか。(○は1つ)

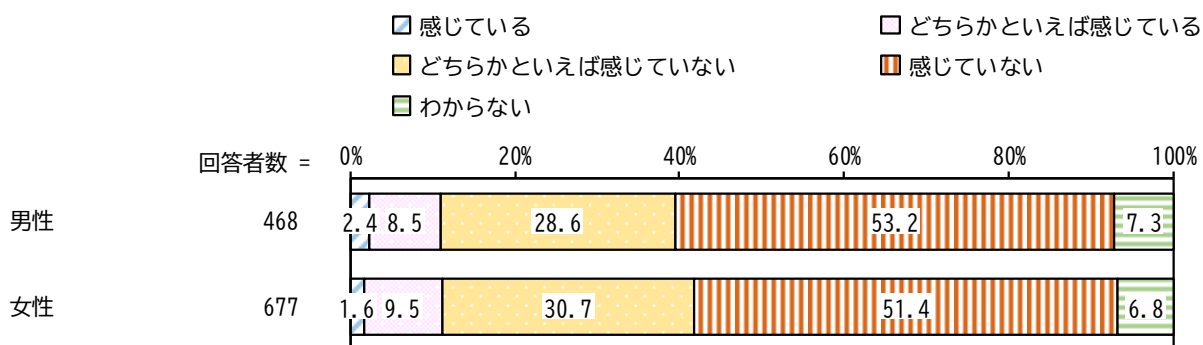
「感じている」「どちらかといえば感じている」を合わせた“感じている”の割合が 10.9%、「どちらかといえば感じていない」「感じていない」を合わせた“感じていない”の割合が 80.8%となっています。

過去調査と比較すると、令和4年度調査から“感じていない”の割合が減少傾向にあります。



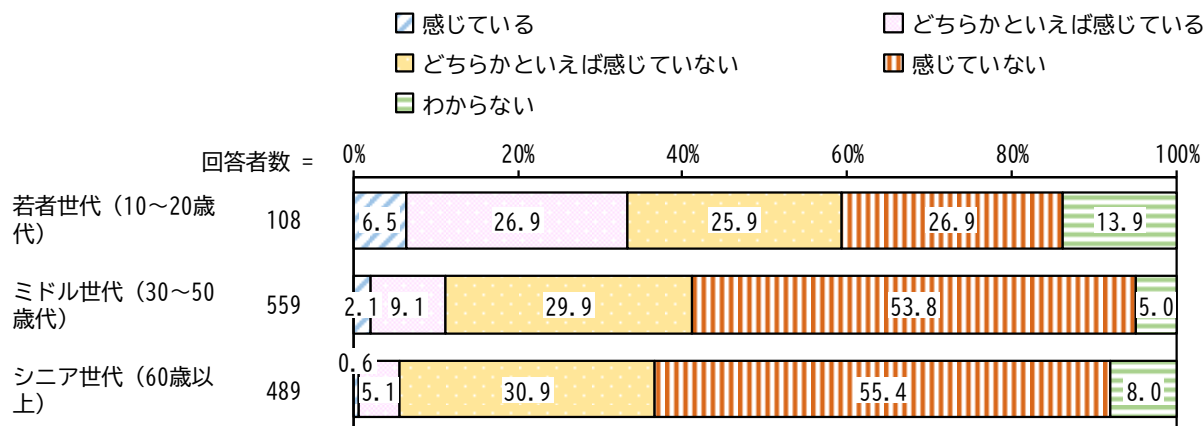
【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。



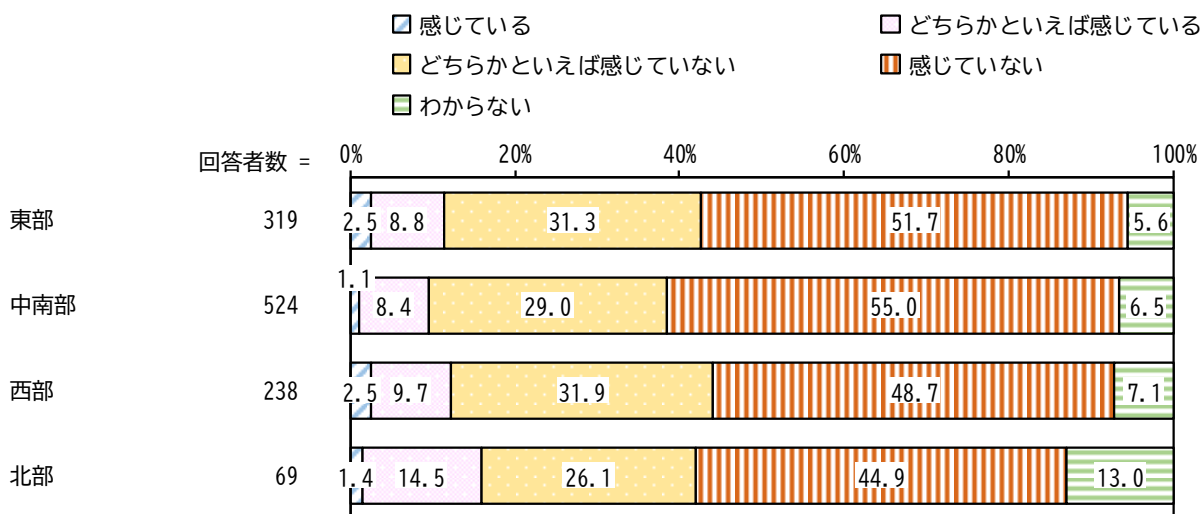
【世代別】

世代別にみると、世代が上がるほど“感じていない”の割合が高くなっています。また、若者世代（10～20歳代）で「感じていない」の割合が低くなっています。



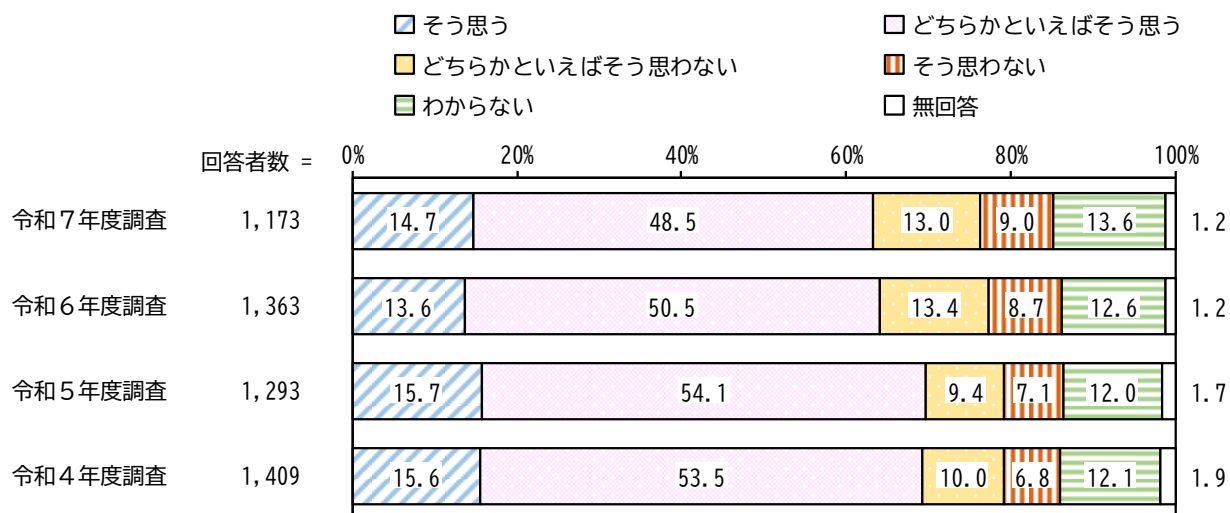
【居住地区別】

居住地区別にみると、北部で“感じていない”の割合が低くなっています。



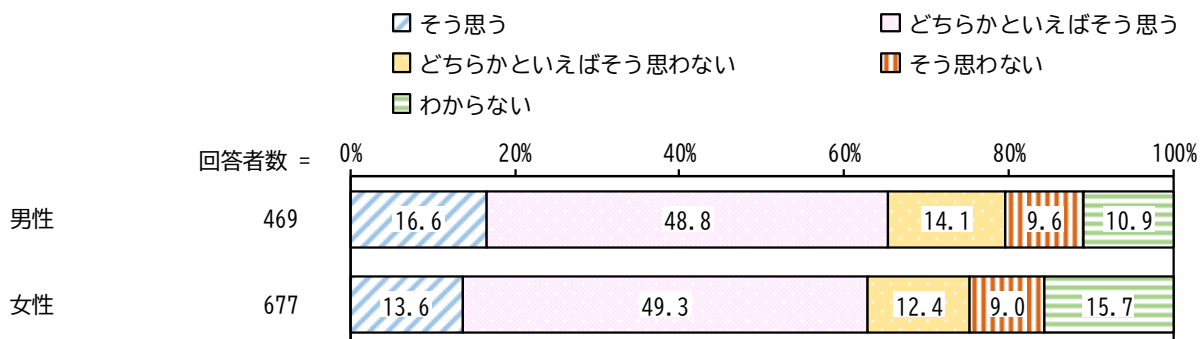
問 45 道路や橋りょうは、安心安全な状態で管理されていると思いますか。(○は1つ)

「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた“そう思う”の割合が 63.2%、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」を合わせた“そう思わない”の割合が 22.0%となっています。
過去調査と比較すると、大きな変化はみられません。



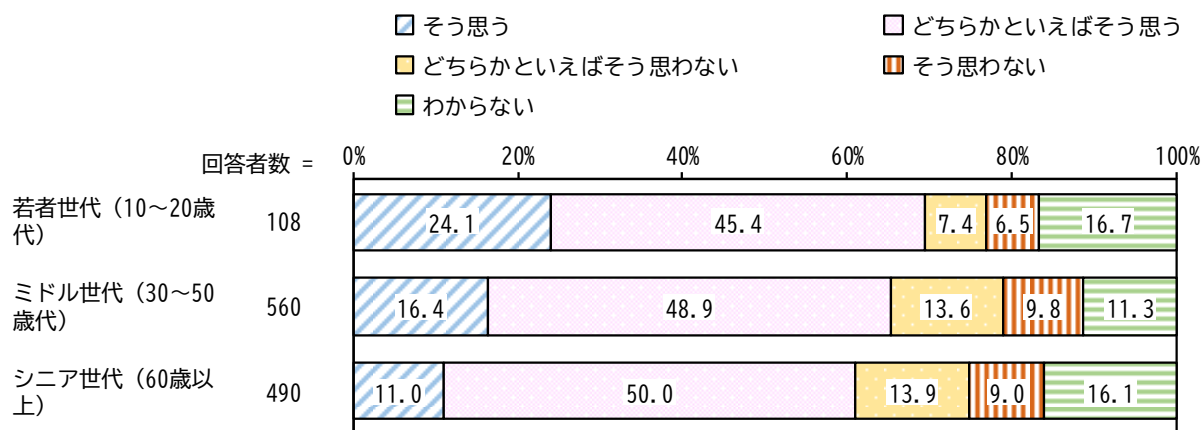
【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。



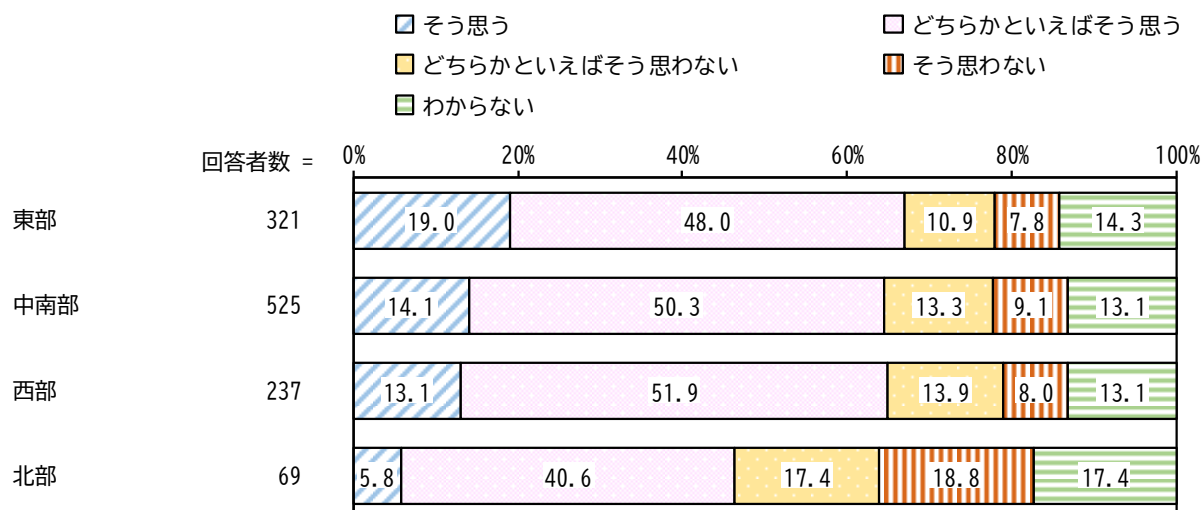
【世代別】

世代別にみると、世代が下がるほど“そう思う”の割合が高くなっています。



【居住地区別】

居住地区別にみると、北部で“そう思わない”の割合が高くなっています。

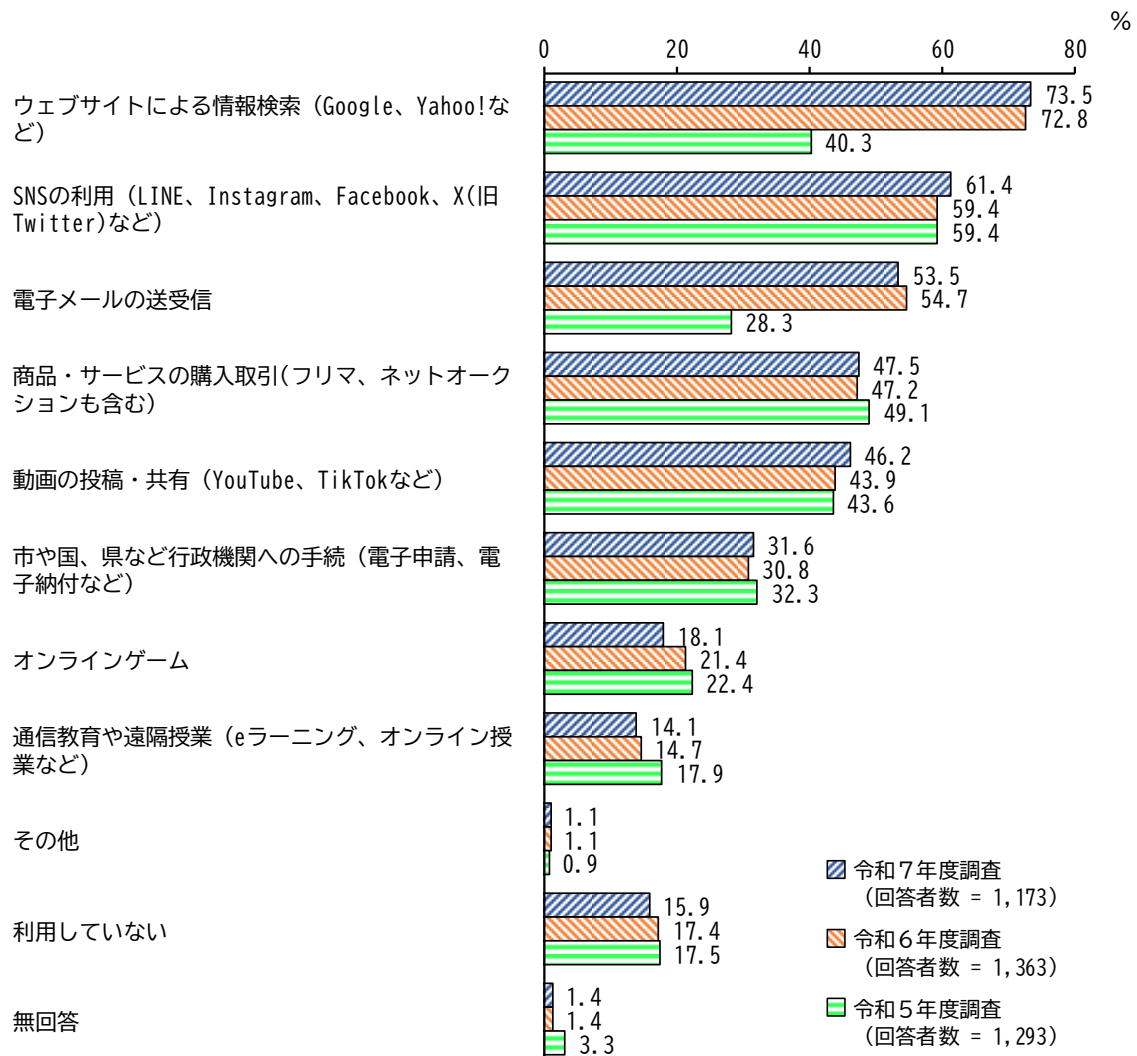


(6) 行政運営について

問 46 過去1年間でどのようなインターネットサービスを利用しましたか。
(あてはまるものすべてに○)

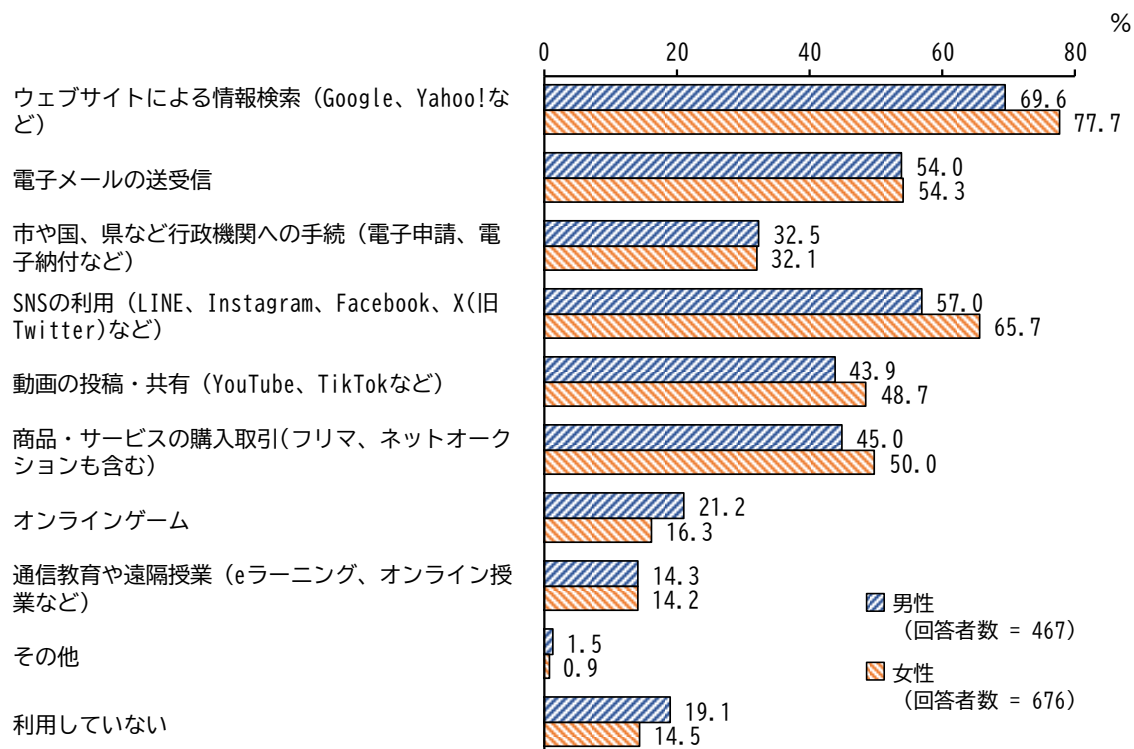
「ウェブサイトによる情報検索 (Google、Yahoo!など)」の割合が 73.5%と最も高く、次いで「SNSの利用 (LINE、Instagram、Facebook、X(旧 Twitter)など)」の割合が 61.4%、「電子メールの送受信」の割合が 53.5%となっています。

過去調査と比較すると、令和5年度調査から「ウェブサイトによる情報検索 (Google、Yahoo!など)」の割合が増加しています。一方、「オンラインゲーム」の割合が減少しています。



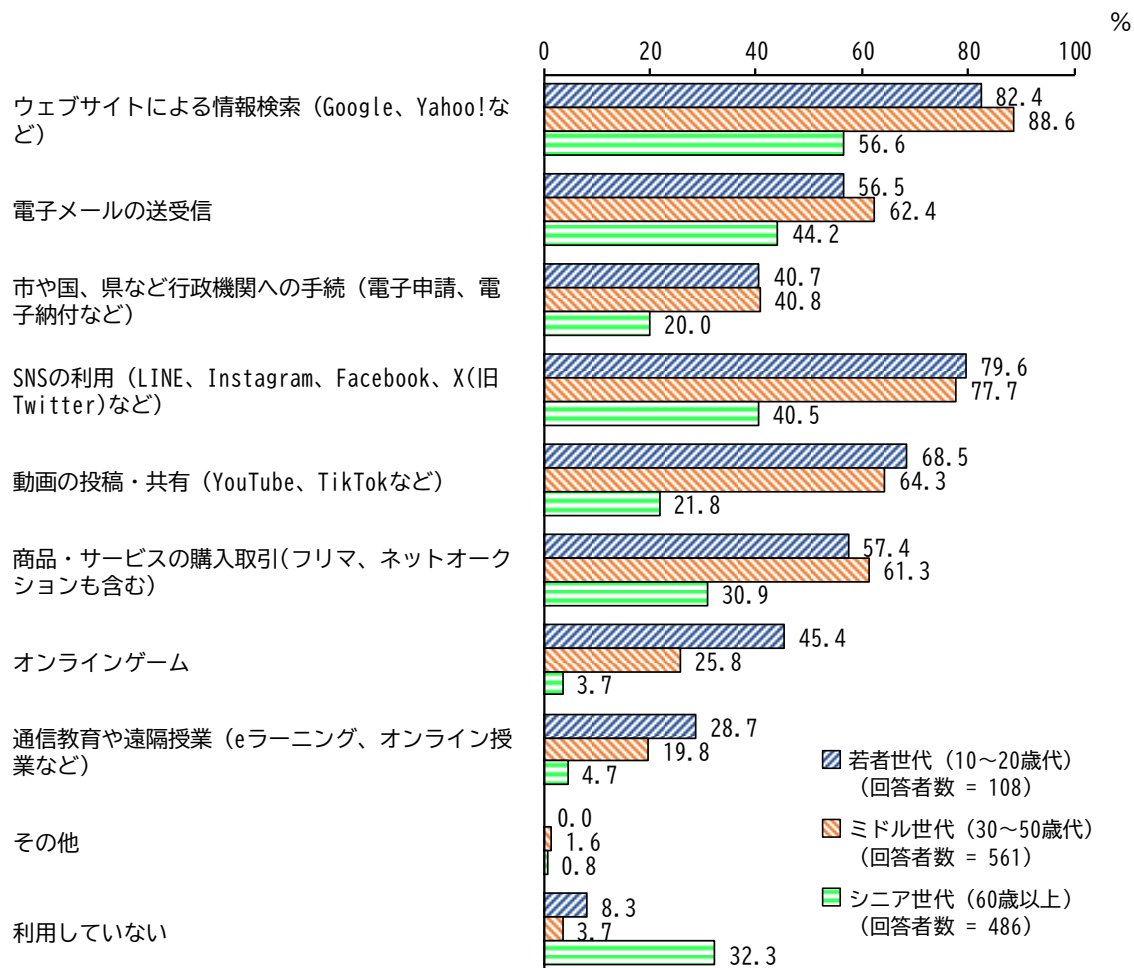
【性別】

性別にみると、女性で「ウェブサイトによる情報検索（Google、Yahoo!など）」「SNS の利用（LINE、Instagram、Facebook、X(旧 Twitter)など）」「商品・サービスの購入取引(フリマ、ネットオークションも含む）」の割合が高くなっています。



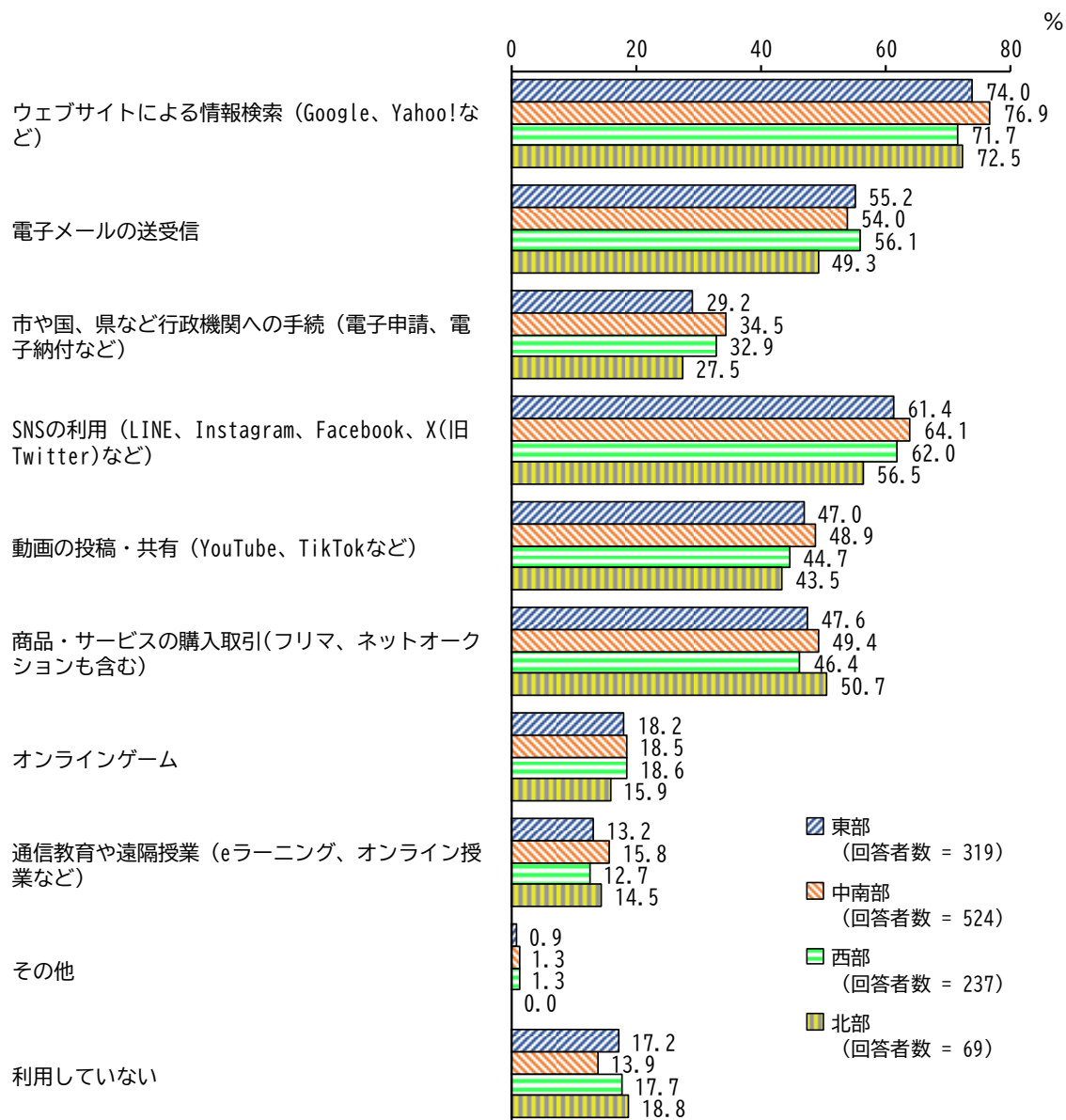
【世代別】

世代別にみると、世代が下がるほど「SNS の利用（LINE、Instagram、Facebook、X(旧 Twitter) など）」「動画の投稿・共有（YouTube、TikTok など）」「オンラインゲーム」「通信教育や遠隔授業（e ラーニング、オンライン授業など）」の割合が高くなっています。また、ミドル世代（30～50 歳代）で「ウェブサイトによる情報検索（Google、Yahoo! など）」「電子メールの送受信」「商品・サービスの購入取引（フリマ、ネットオークションも含む）」、シニア世代（60 歳以上）で「利用していない」の割合が高くなっています。



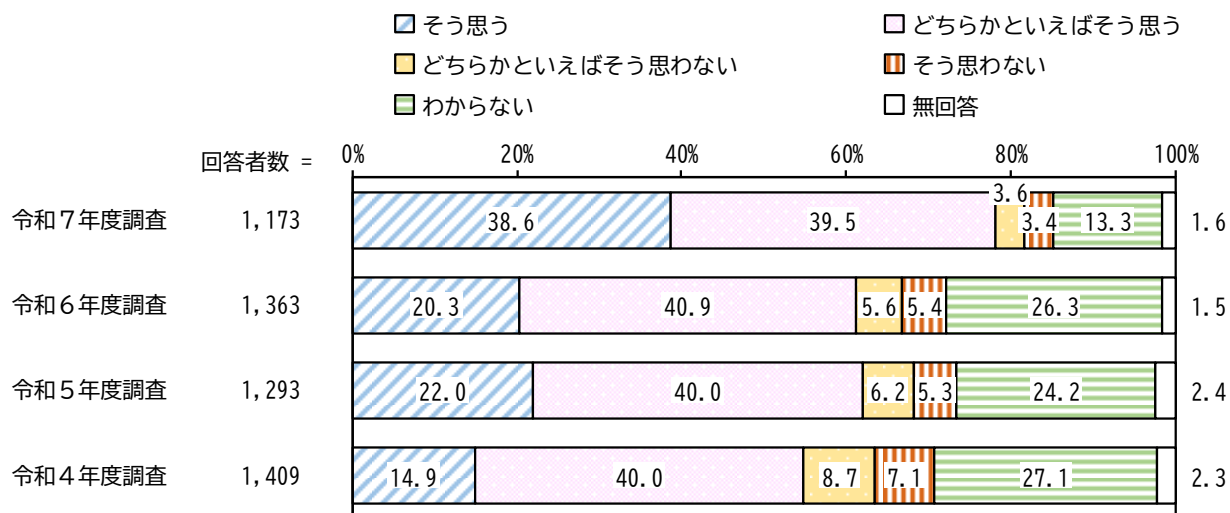
【居住地区別】

居住地区別にみると、大きな差はみられません。



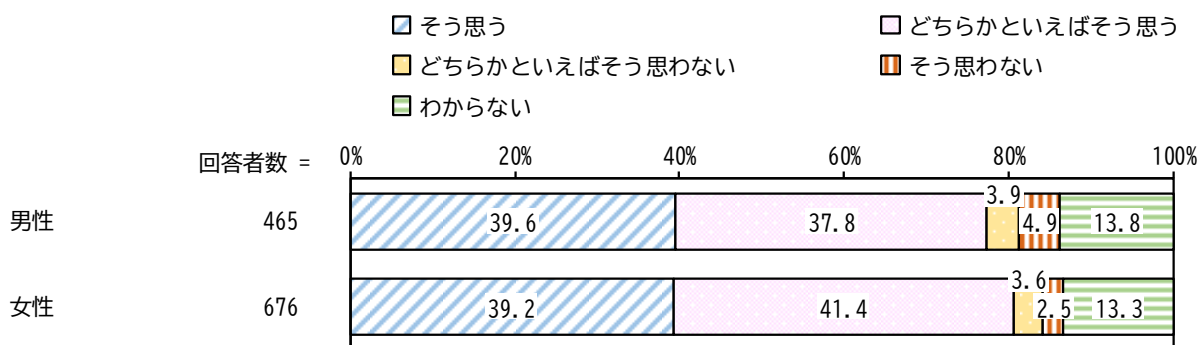
問 47 住民票の写しなどの各種証明書がコンビニで取得できたり、インターネットから公共施設の予約ができたりするなど、行政サービスが便利になったと思いますか。
(○は1つ)

「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた“そう思う”の割合が 78.1%、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」を合わせた“そう思わない”の割合が 7.0%となっています。
過去調査と比較すると、令和4年度調査から“そう思う”の割合が増加傾向にあります。



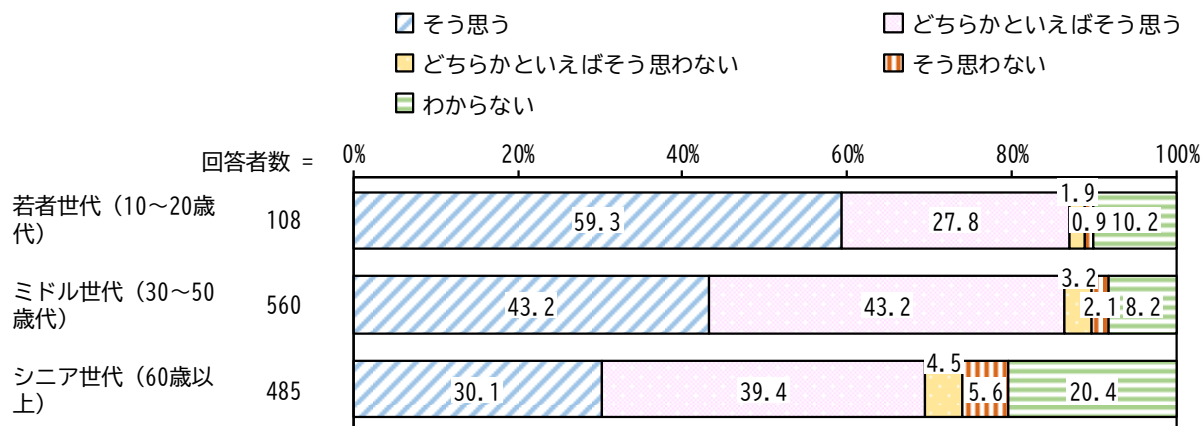
【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。



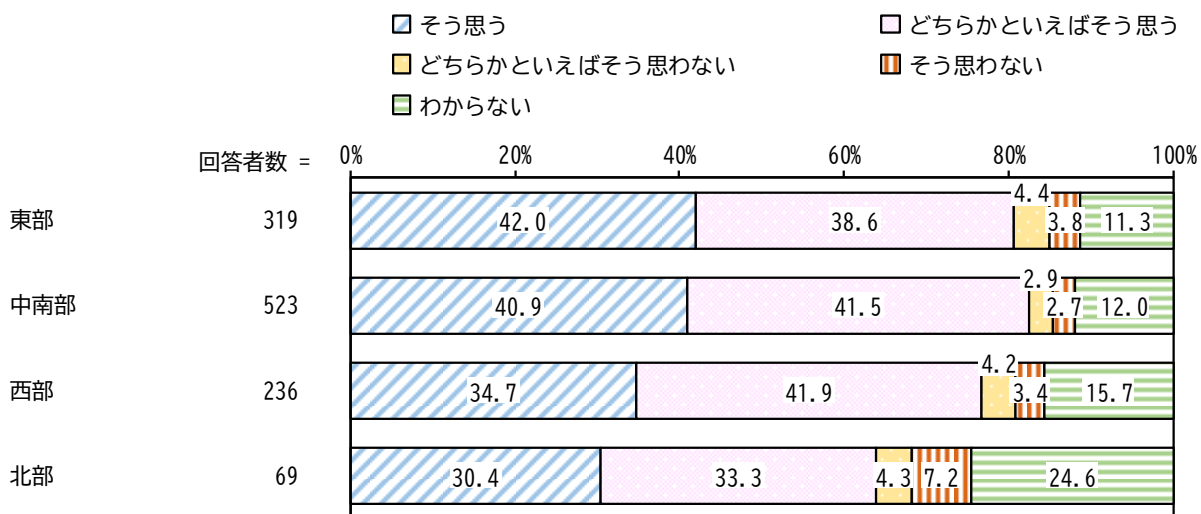
【世代別】

世代別にみると、世代が下がるほど“そう思う”の割合が高くなっています。また、若者世代（10～20歳代）で「そう思う」の割合が高く、「どちらかといえばそう思う」の割合が低くなっています。



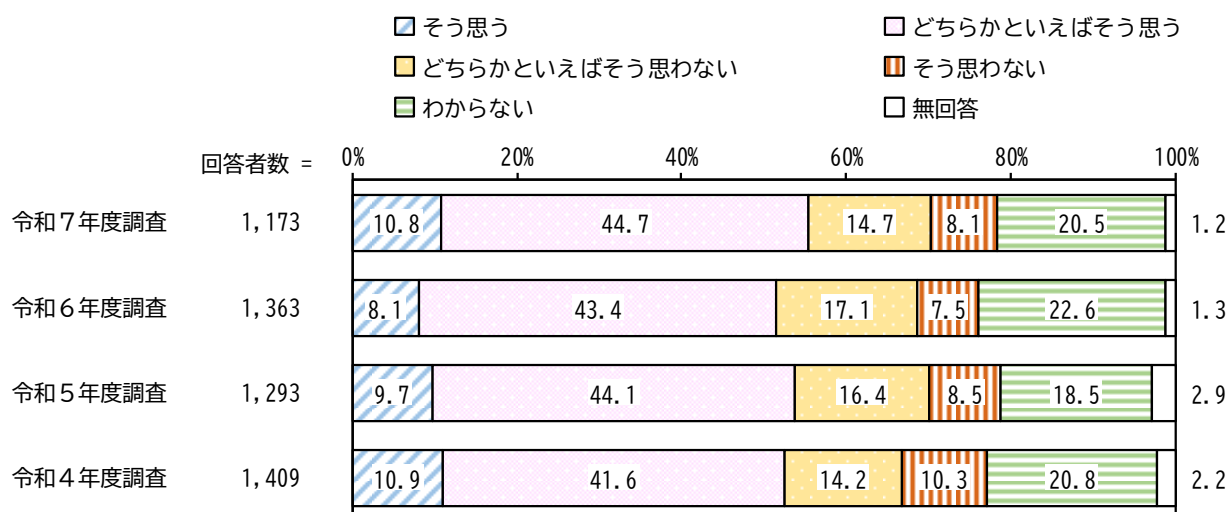
【居住地区別】

居住地区別にみると、北部で“そう思う”の割合が低くなっています。



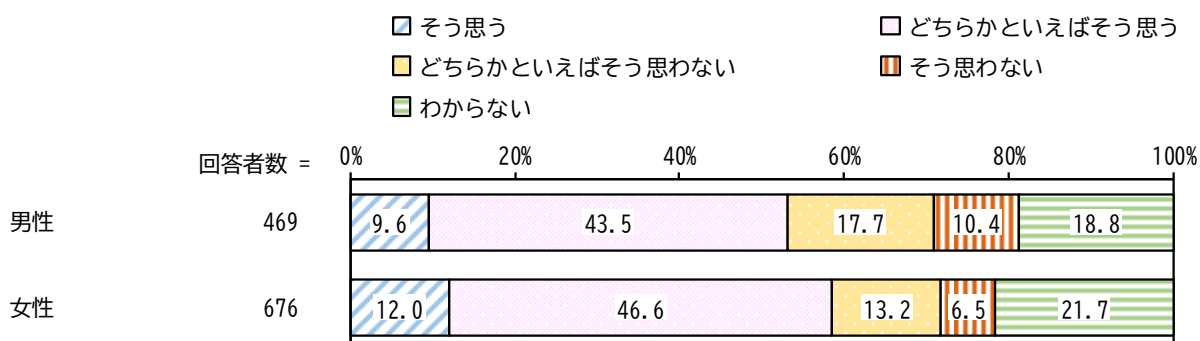
問 48 市政情報がわかりやすく提供されていると思いますか。(○は1つ)

「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた“そう思う”の割合が 55.5%、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」を合わせた“そう思わない”の割合が 22.8%となっています。
過去調査と比較すると、大きな変化はみられません。



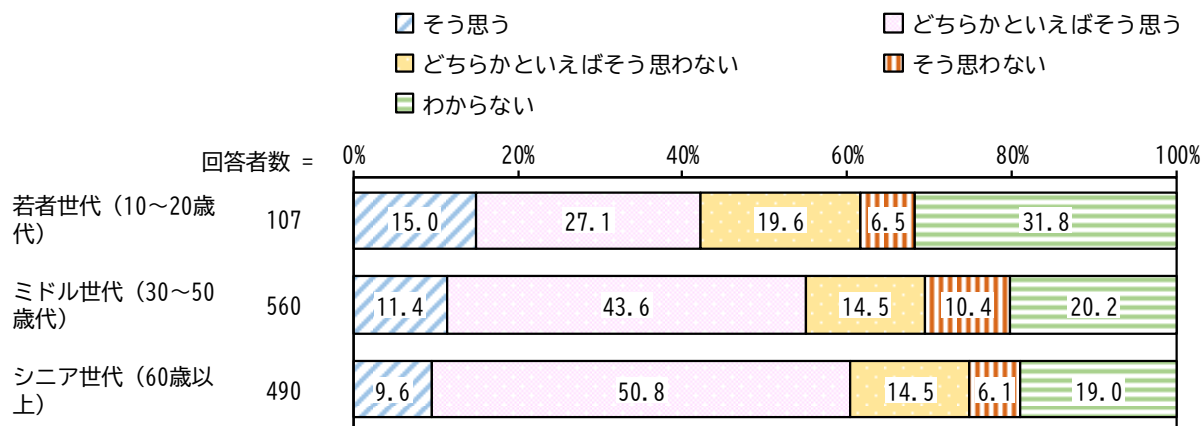
【性別】

性別にみると、男性で“そう思わない”の割合が高くなっています。



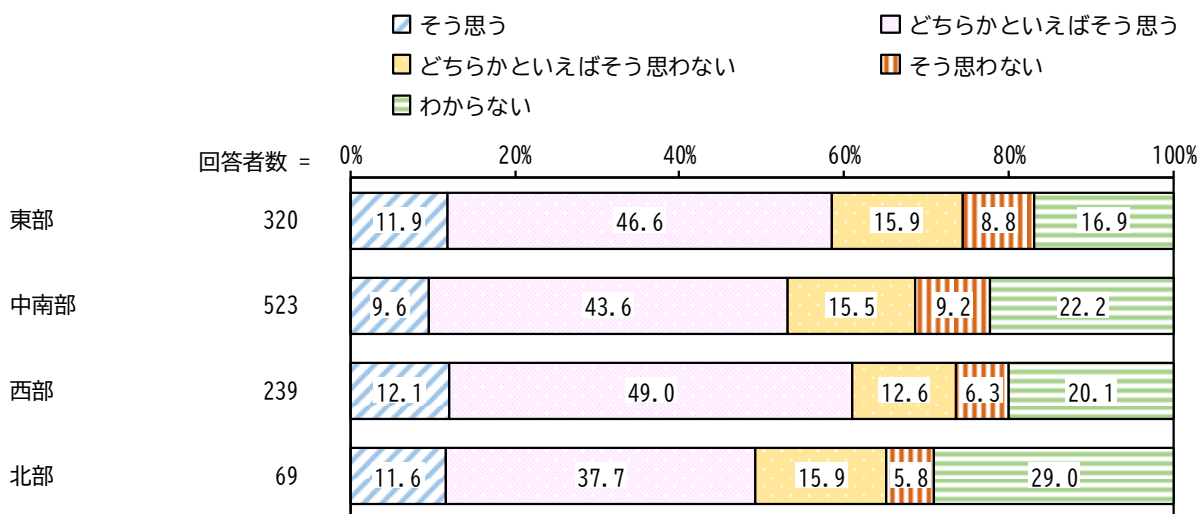
【世代別】

世代別にみると、世代が上がるほど“そう思う”の割合が高くなっています。また、若者世代（10～20歳代）で「どちらかといえばそう思う」の割合が低くなっています。



【居住地区別】

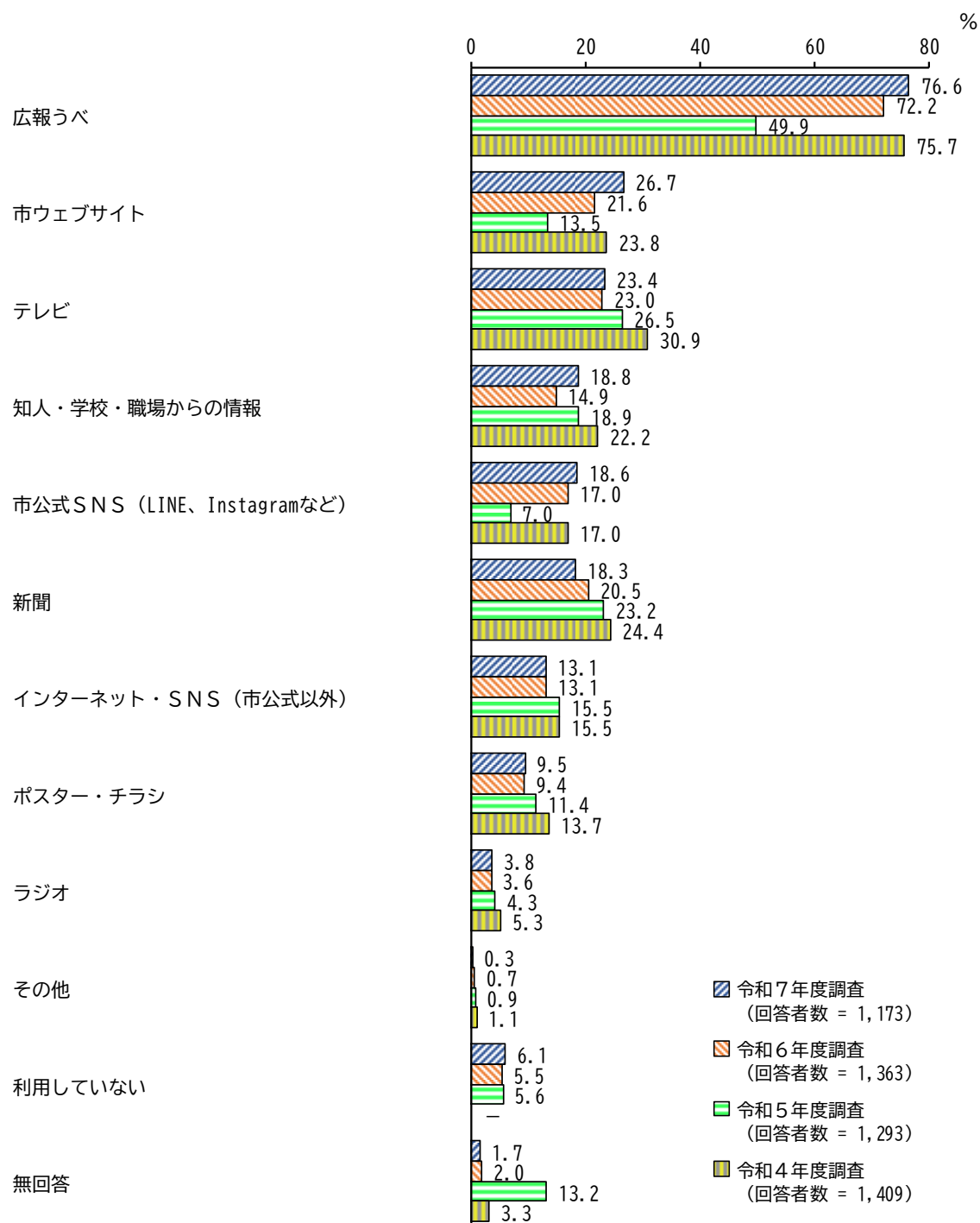
居住地区別にみると、北部で“そう思う”の割合が低くなっています。



問 49 市政に関する情報について、あなたが普段入手している手段は、次のうちどれですか。（利用頻度の高いもの3つに○）

「広報うべ」の割合が76.6%と最も高く、次いで「市ウェブサイト」の割合が26.7%、「テレビ」の割合が23.4%となっています。

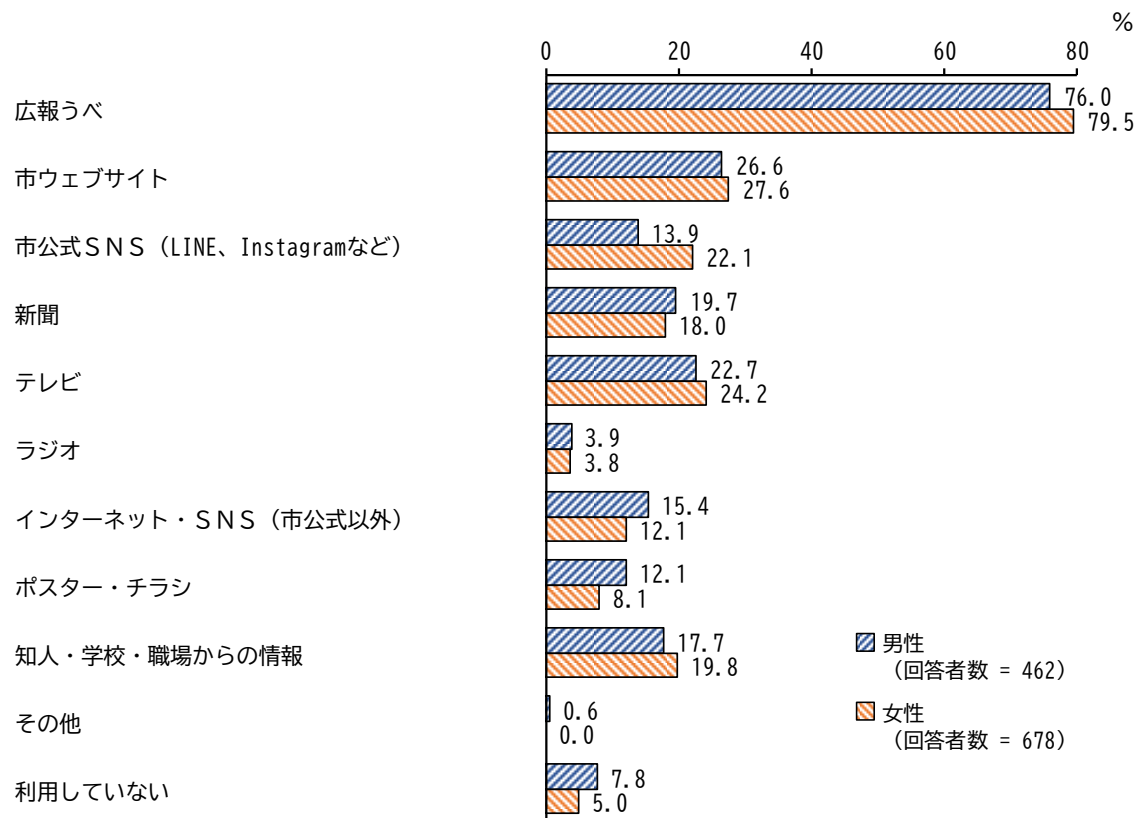
過去調査と比較すると、令和4年度調査から「新聞」の割合が減少しています。



※令和4年度調査では、「利用していない」がありませんでした。

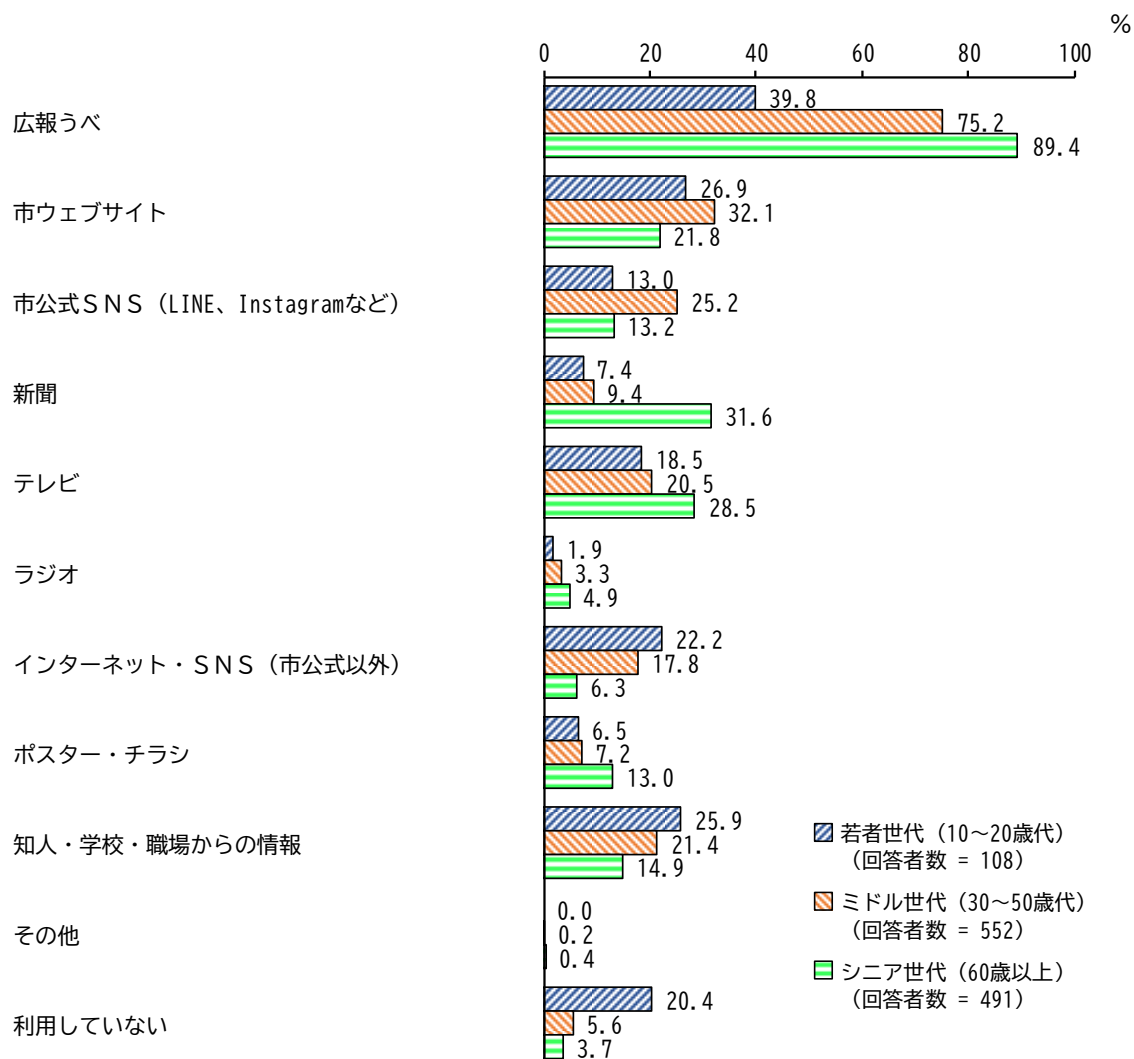
【性別】

性別にみると、女性で「市公式SNS（LINE、Instagram など）」の割合が高くなっています。



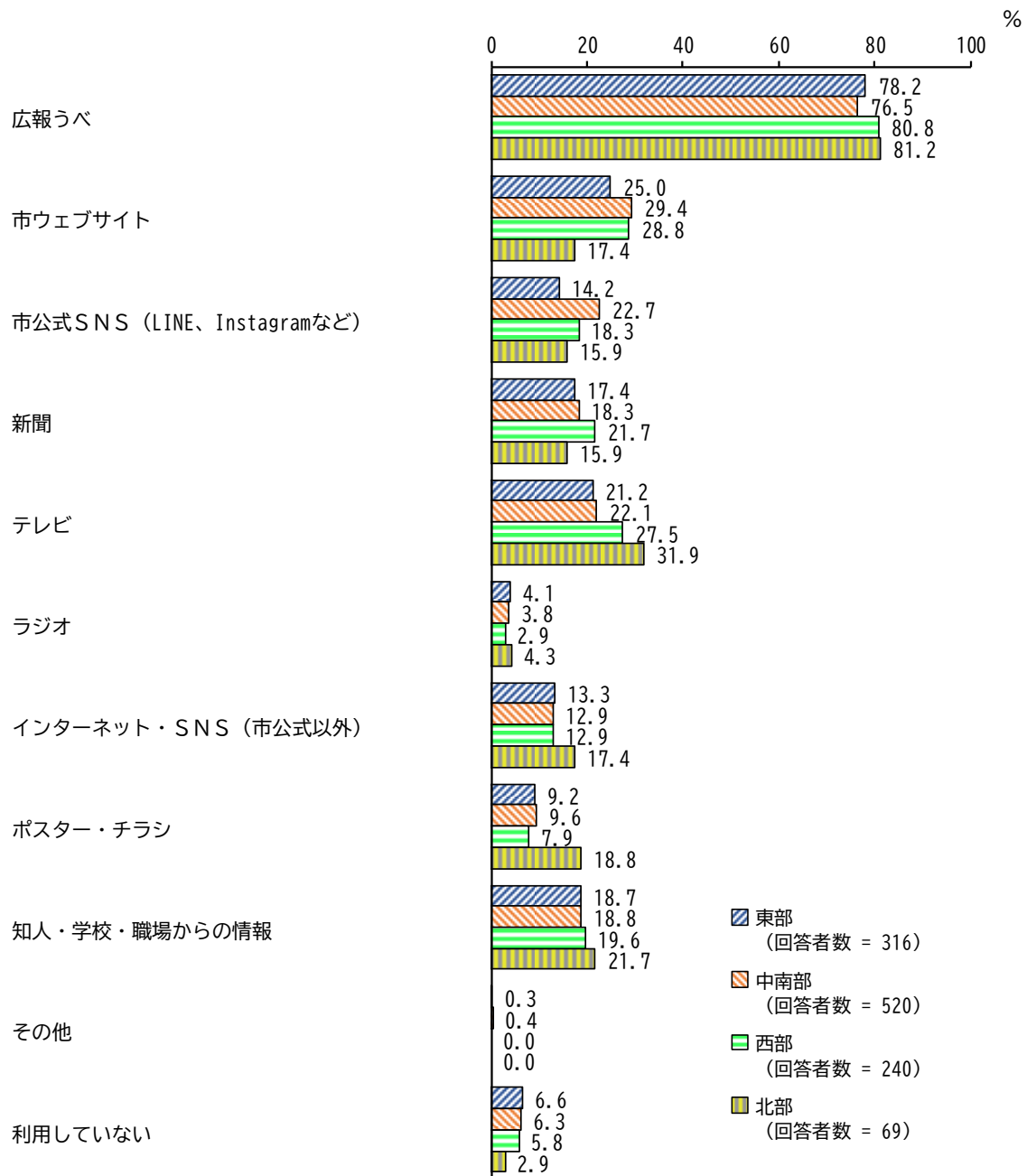
【世代別】

世代別にみると、世代が上がるほど「広報うべ」「新聞」「テレビ」「ポスター・チラシ」の割合が高く、世代が下がるほど「インターネット・SNS（市公式以外）」「知人・学校・職場からの情報」「利用していない」の割合が高くなっています。



【居住地区別】

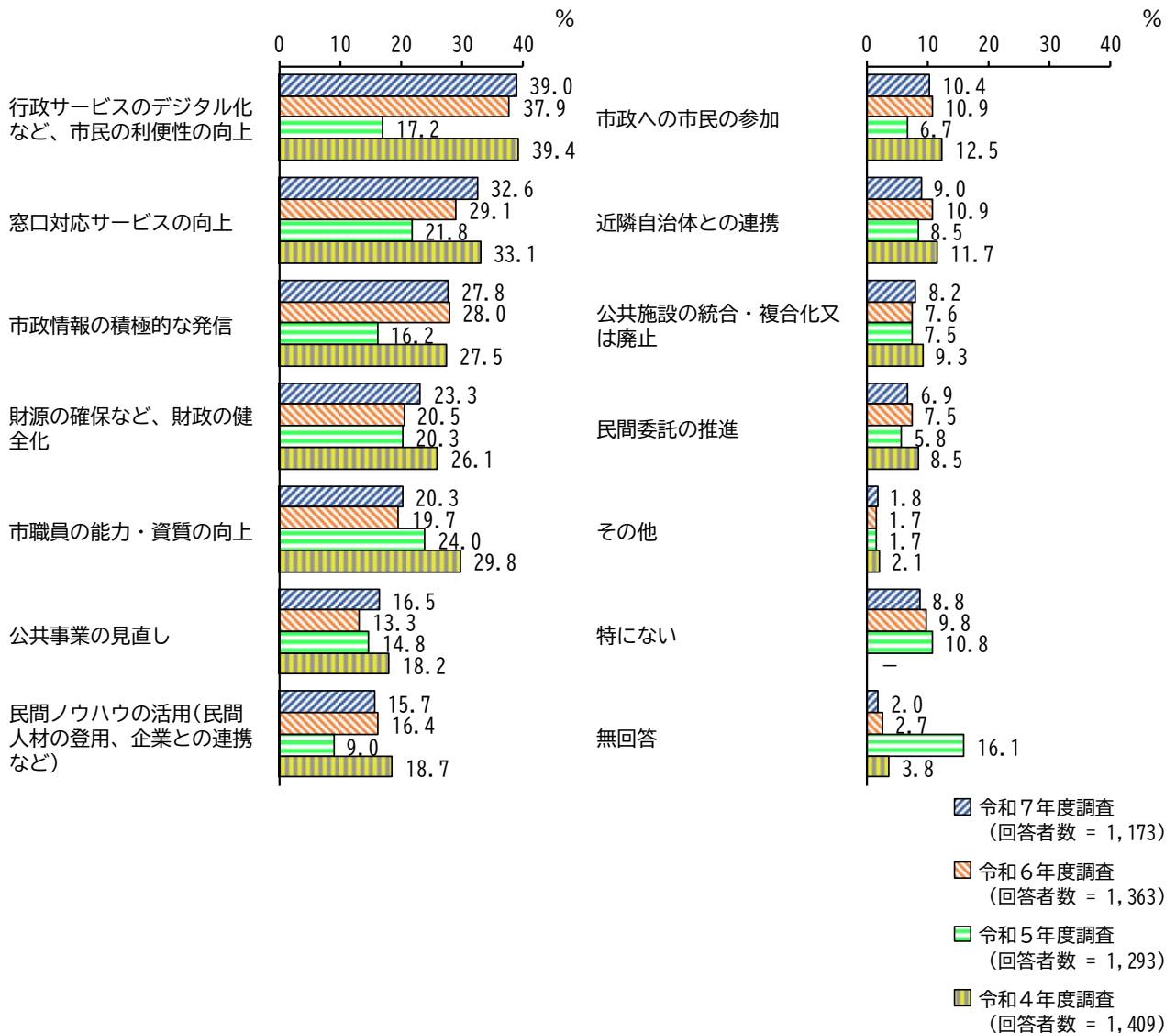
居住地区別にみると、北部で「テレビ」「ポスター・チラシ」の割合が高く、「市ウェブサイト」の割合が低くなっています。



問 50 効率的・効果的な行政運営を行う上で、重要だと思うことは何ですか。
(○は3つまで)

「行政サービスのデジタル化など、市民の利便性の向上」の割合が 39.0%と最も高く、次いで「窓口対応サービスの向上」の割合が 32.6%、「市政情報の積極的な発信」の割合が 27.8%となっています。

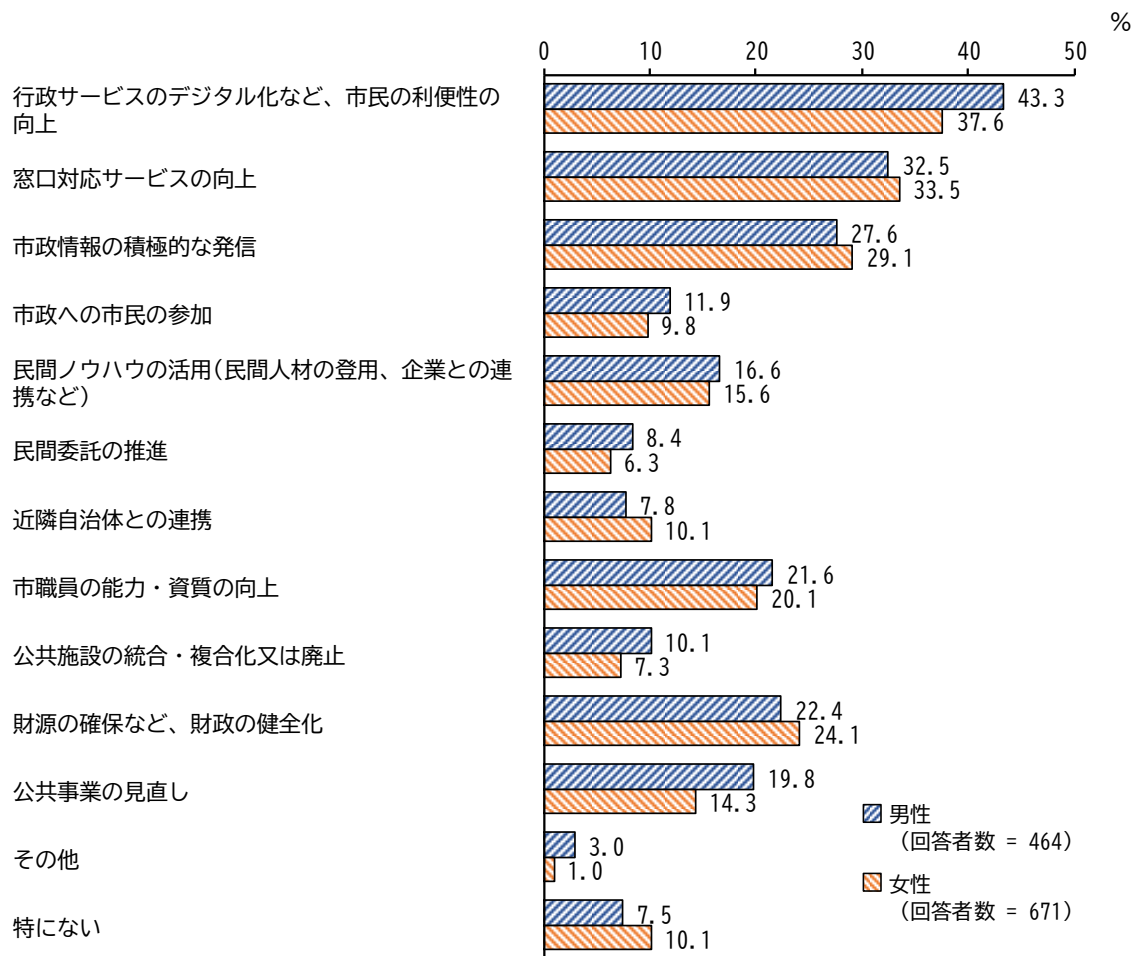
過去調査と比較すると、大きな変化はみられません。



※令和4年度調査では、「特になし」がありませんでした。

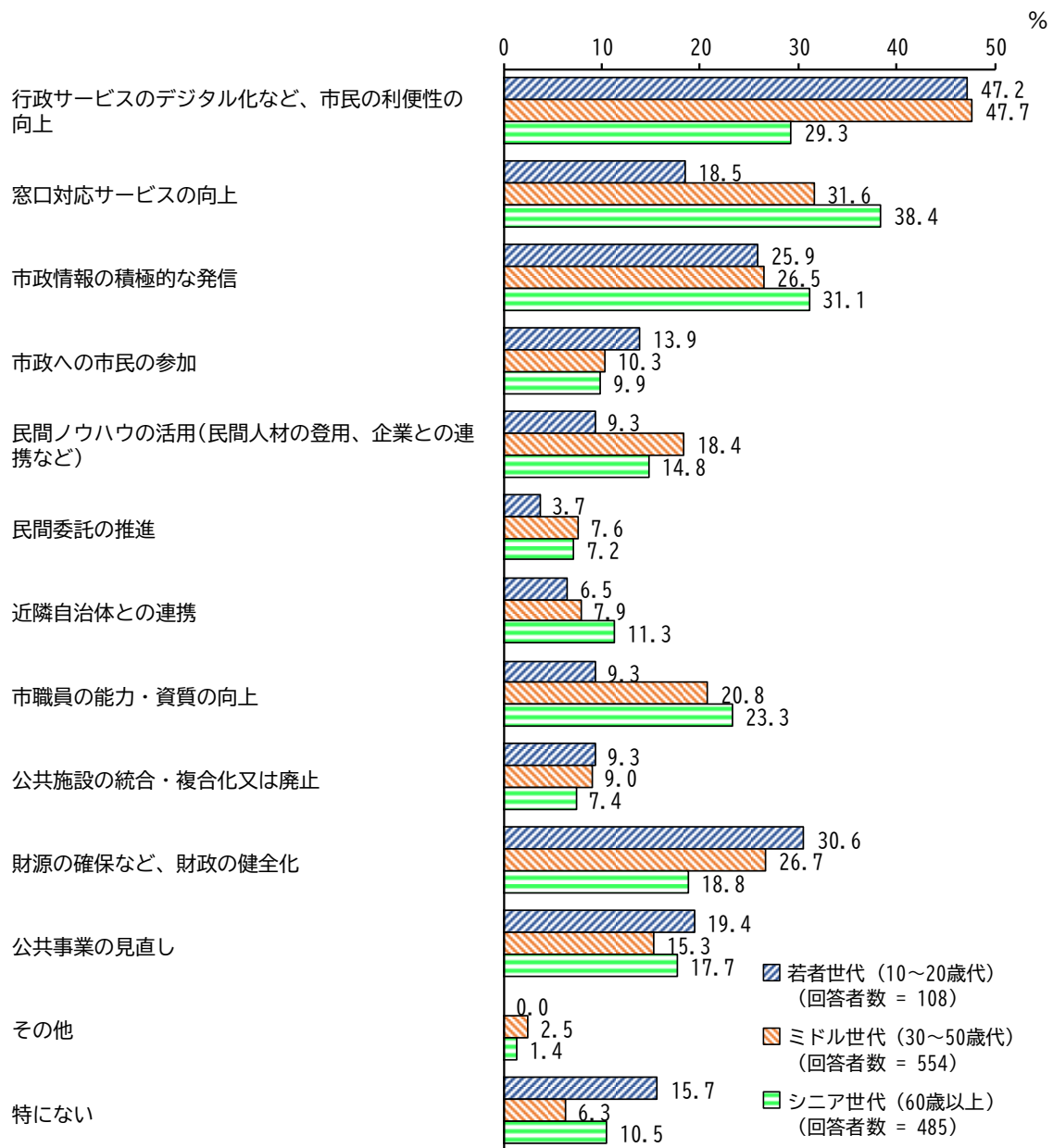
【性別】

性別にみると、男性で「行政サービスのデジタル化など、市民の利便性の向上」「公共事業の見直し」の割合が高くなっています。



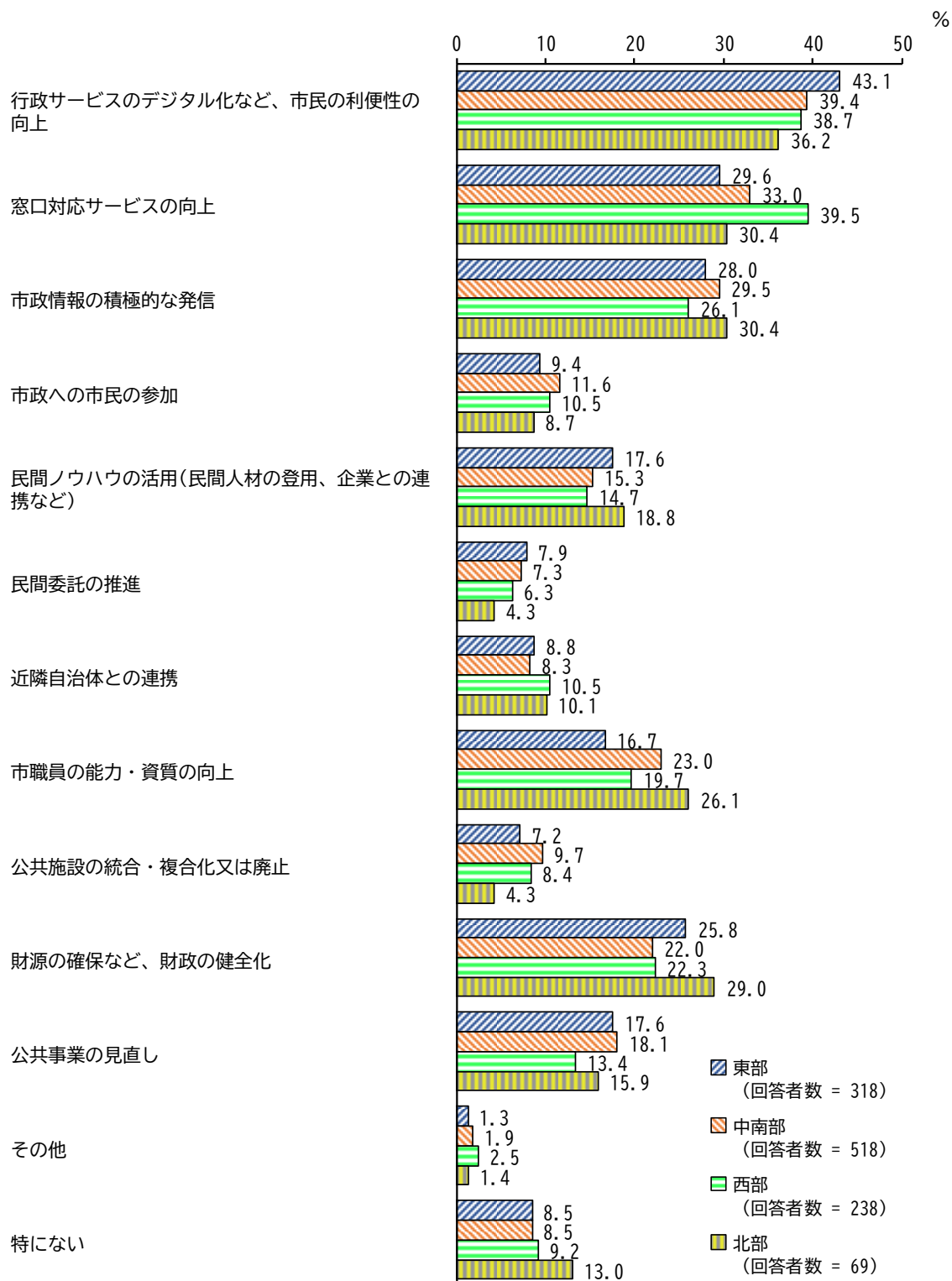
【世代別】

世代別にみると、世代が上がるほど「窓口対応サービスの向上」「市政情報の積極的な発信」「近隣自治体との連携」「市職員の能力・資質の向上」の割合が高く、「市政への市民の参加」「財源の確保など、財政の健全化」の割合が低くなっています。



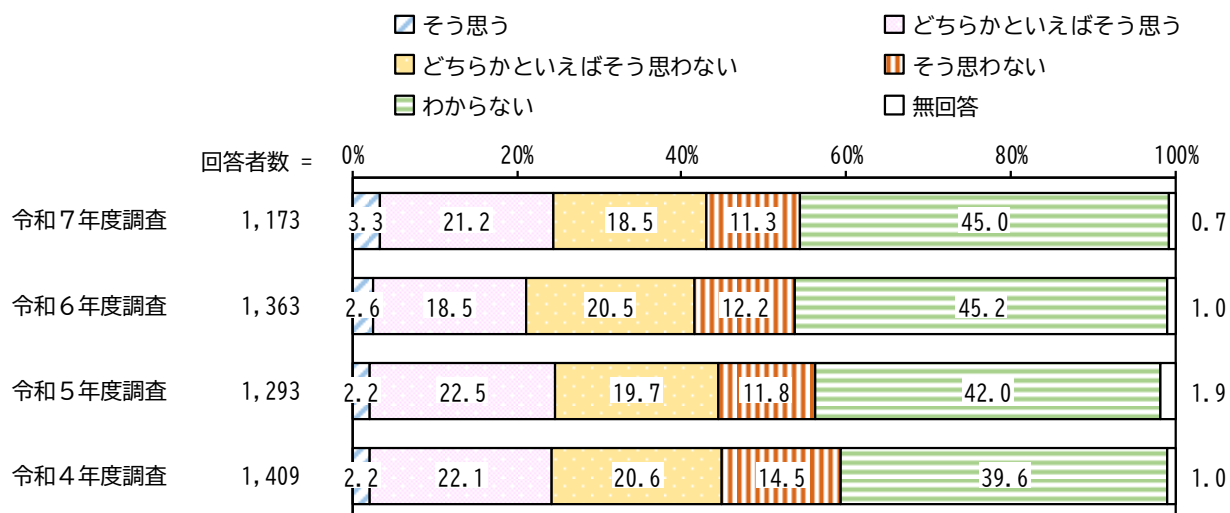
【居住地区別】

居住地区別にみると、西部で「窓口対応サービスの向上」、北部で「市職員の能力・資質の向上」「財源の確保など、財政の健全化」の割合が高くなっています。



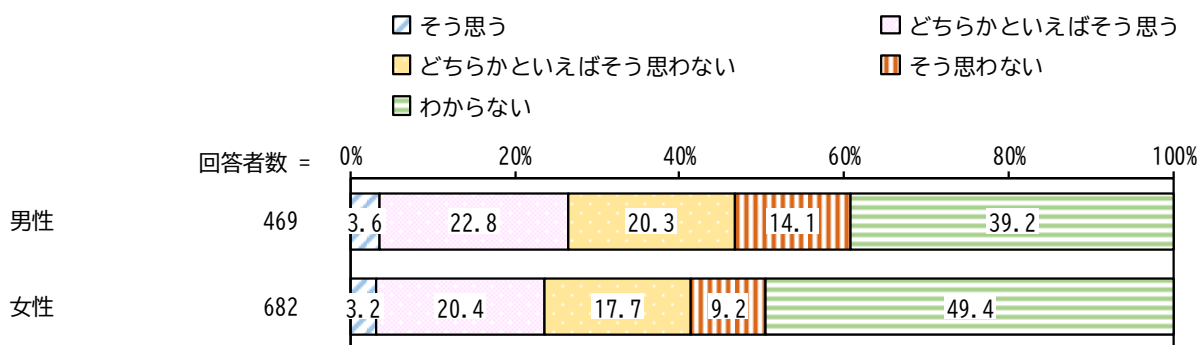
問 51 市民の意見や活動がまちづくりに反映されていると思いますか。(○は1つ)

「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた“そう思う”の割合が 24.5%、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」を合わせた“そう思わない”の割合が 29.8%となっています。
過去調査と比較すると、大きな変化はみられません。



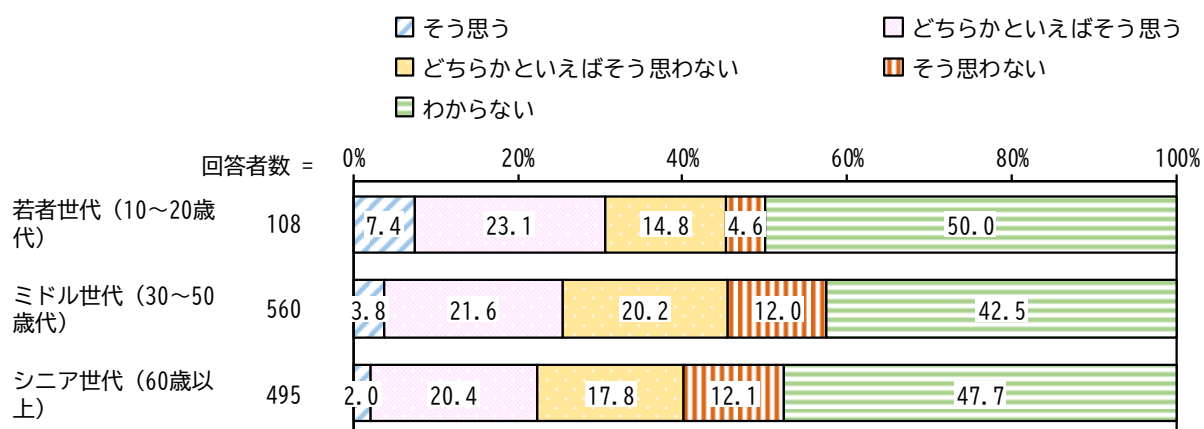
【性別】

性別にみると、男性で“そう思わない”の割合が高くなっています。



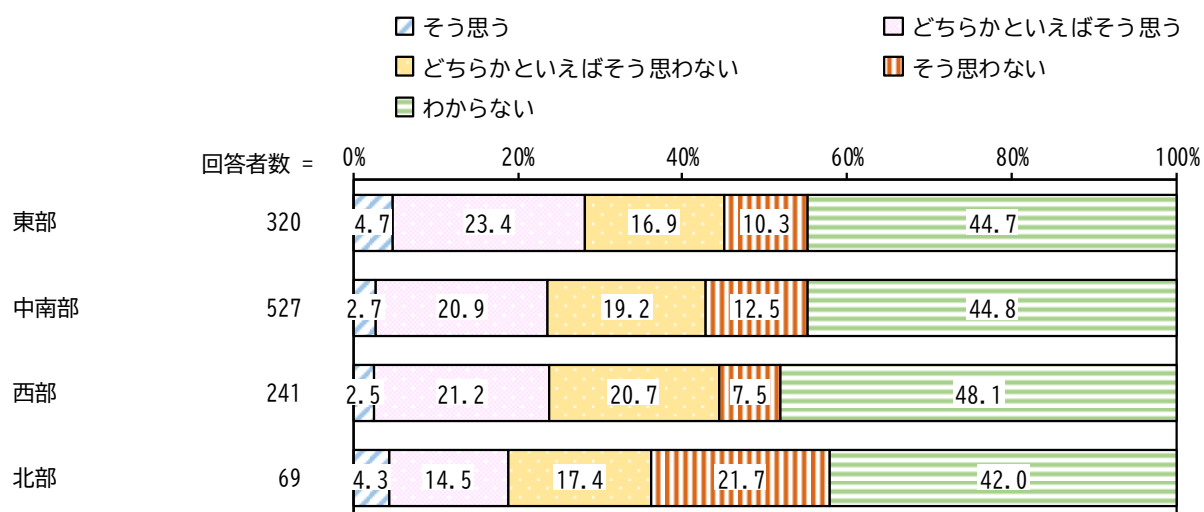
【世代別】

世代別にみると、世代が下がるほど“そう思う”の割合が高くなっています。



【居住地区別】

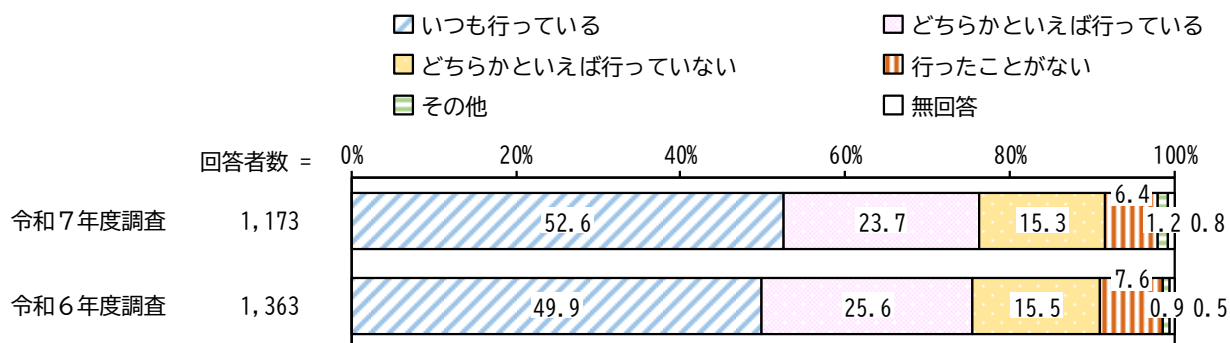
居住地区別にみると、北部で“そう思わない”の割合が高くなっています。



問 52 あなたは、ふだん選挙の時に投票に行っていますか。(○は1つ)

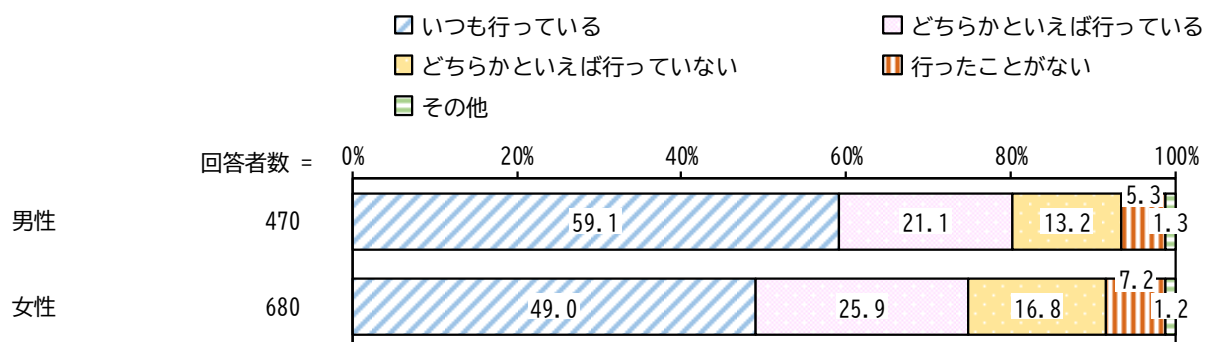
「いつも行っている」「どちらかといえば行っている」を合わせた“行っている”の割合が 76.3%、「どちらかといえば行っていない」「行ったことがない」を合わせた“行っていない”の割合が 21.7%となっています。

過去調査と比較すると、大きな変化はみられません。



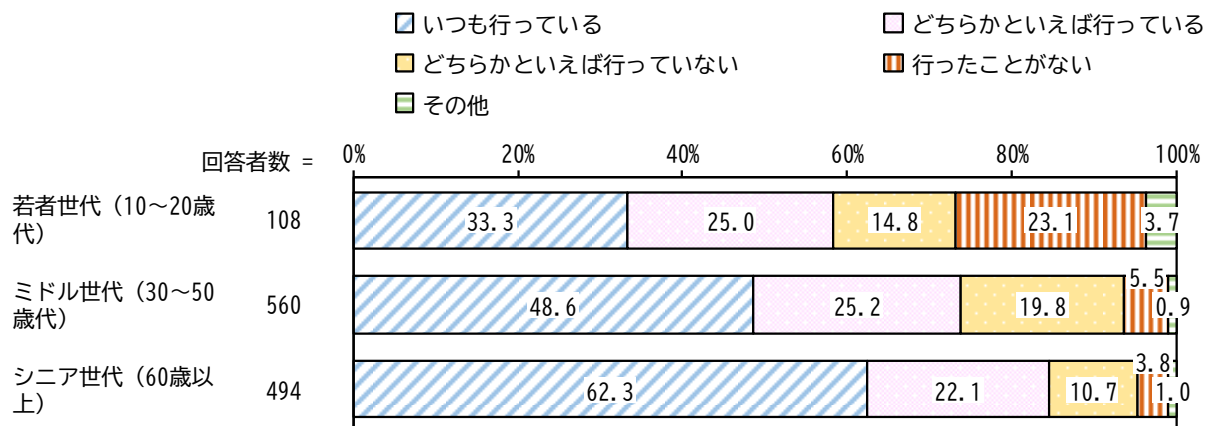
【性別】

性別にみると、女性で“行っていない”の割合が高くなっています。



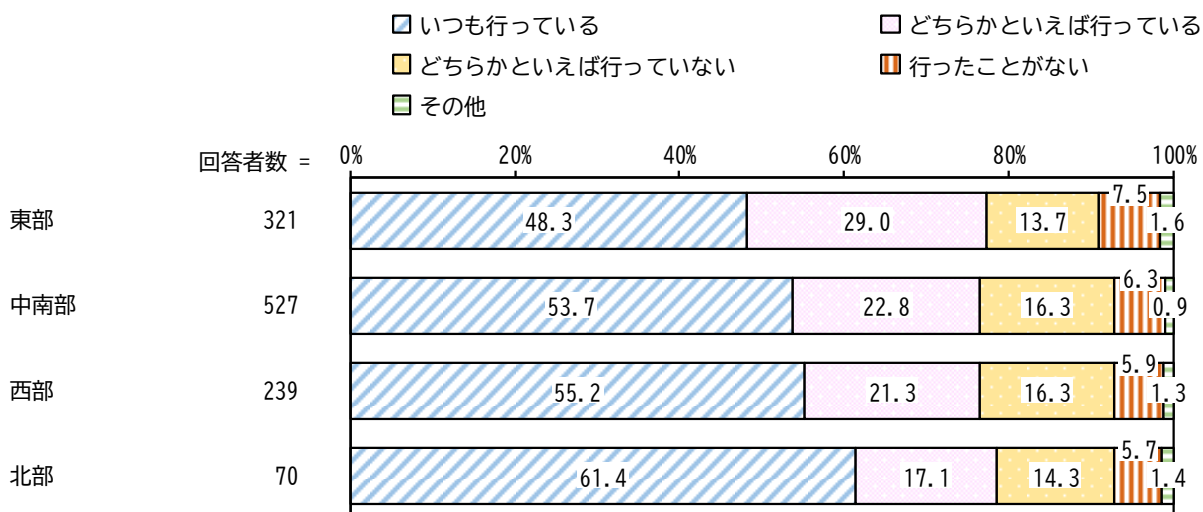
【世代別】

世代別にみると、世代が上がるほど“行っている”の割合が高くなっています。また、若者世代（10～20歳代）で「いつも行っている」の割合が低くなっています。



【居住地区別】

居住地区別にみると、北部で「いつも行っている」、東部で「どちらかといえば行っている」の割合が高くなっています。



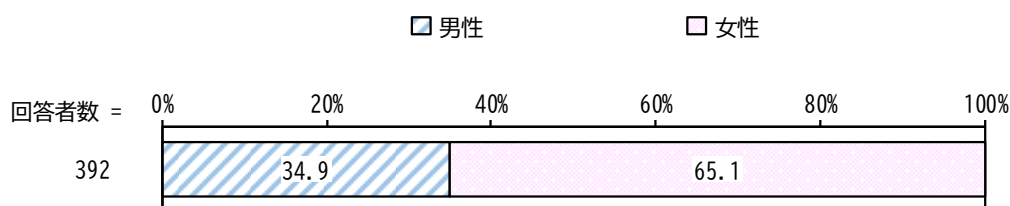
(7) 市民の行動等に関する分析

スポーツ・レクリエーション活動、省資源や省エネルギーへの心がけ、ごみ減量に向けた活動、公共交通の利用など、市民の行動や活動等に関する設問において、「(活動・利用)していない」や「心がけていない」、「そう思わない」等の回答をされた層について、その属性を分析します。

問 27 「あなたは、どのくらいの頻度でスポーツ・レクリエーション活動を行っていますか。」の設問で「全くしない」と回答した人 (34.0%) について

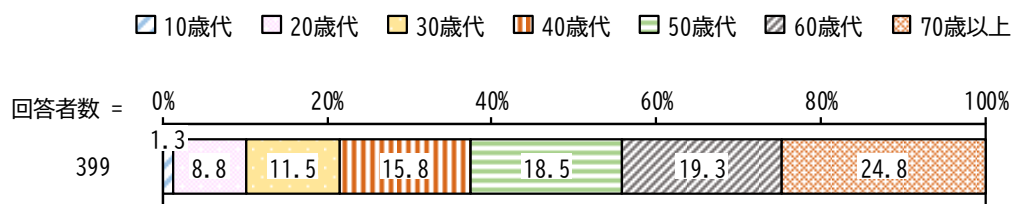
【性別】

「男性」の割合が 34.9%、「女性」の割合が 65.1%となっています。



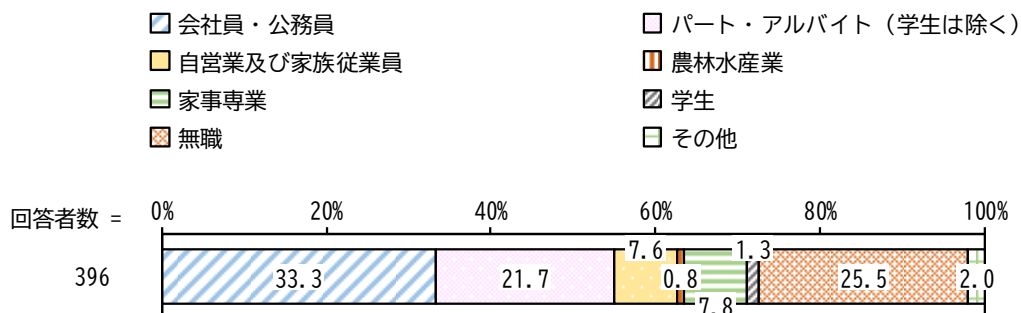
【年代】

「70 歳以上」の割合が 24.8%と最も高く、次いで「60 歳代」の割合が 19.3%、「50 歳代」の割合が 18.5%となっています。



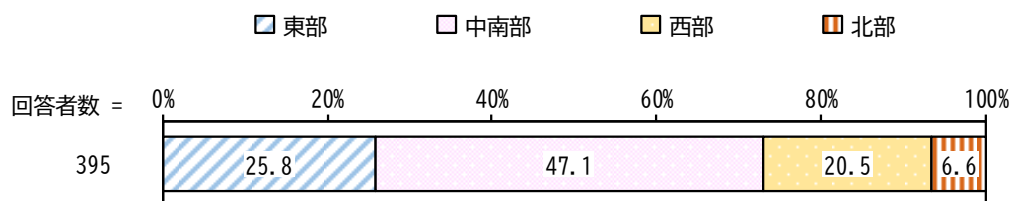
【職業】

「会社員・公務員」の割合が 33.3%と最も高く、次いで「無職」の割合が 25.5%、「パート・アルバイト (学生は除く)」の割合が 21.7%となっています。



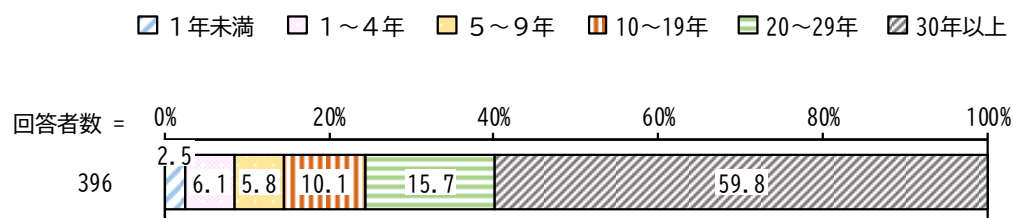
【居住地区】

「中南部」の割合が47.1%と最も高く、次いで「東部」の割合が25.8%、「西部」の割合が20.5%となっています。



【居住年数】

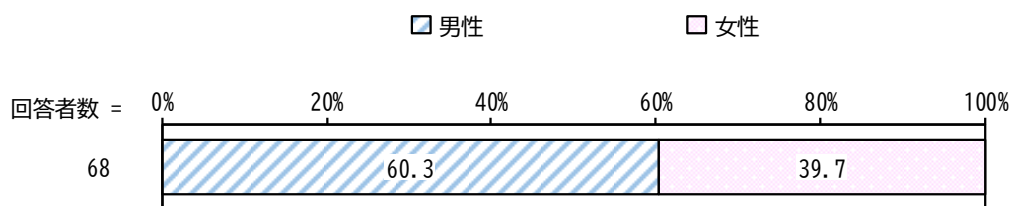
「30年以上」の割合が59.8%と最も高く、次いで「20～29年」の割合が15.7%、「10～19年」の割合が10.1%となっています。



問 31 「あなた自身の健康についてどう感じていますか。」の設問で「健康ではない」と回答した人（6.0%）について

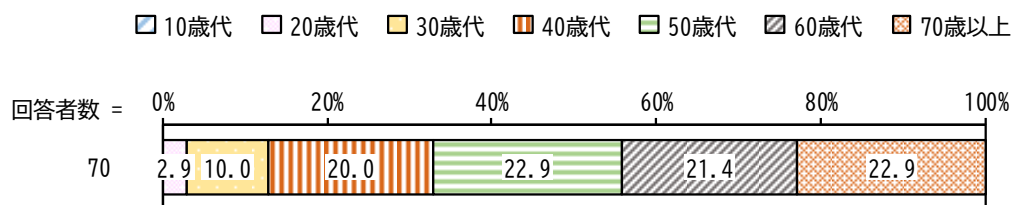
【性別】

「男性」の割合が 60.3%、「女性」の割合が 39.7%となっています。



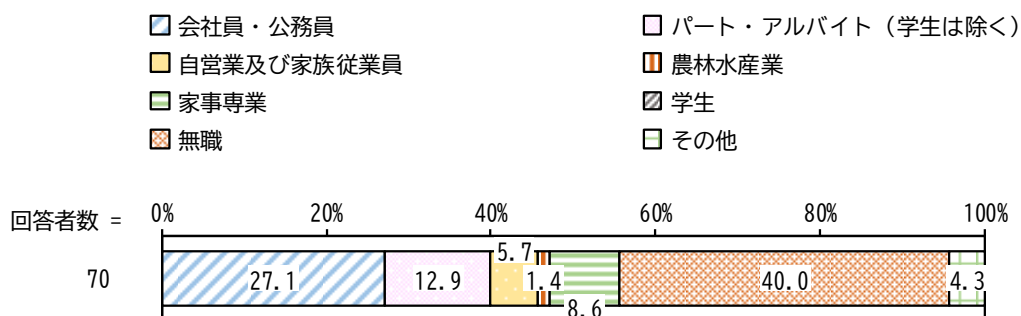
【年代】

「50 歳代」、「70 歳以上」の割合が 22.9%と最も高く、次いで「60 歳代」の割合が 21.4%となっています。



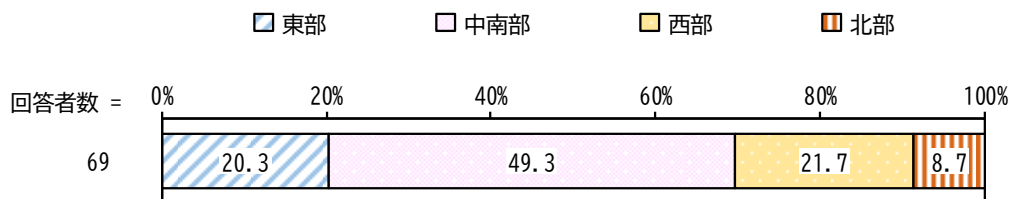
【職業】

「無職」の割合が 40.0%と最も高く、次いで「会社員・公務員」の割合が 27.1%、「パート・アルバイト（学生は除く）」の割合が 12.9%となっています。



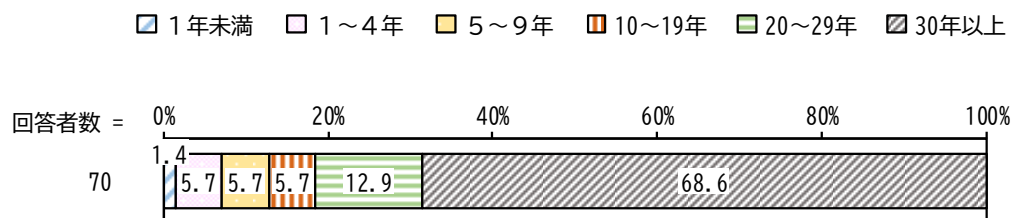
【居住地区】

「中南部」の割合が49.3%と最も高く、次いで「西部」の割合が21.7%、「東部」の割合が20.3%となっています。



【居住年数】

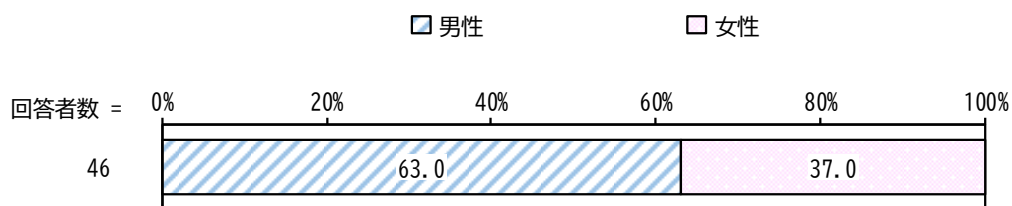
「30年以上」の割合が68.6%と最も高く、次いで「20～29年」の割合が12.9%となっています。



問 38 「日々の暮らしで、省資源や省エネルギーに心がけていますか。」の設問で「心がけていない」と回答した人（3.9%）について

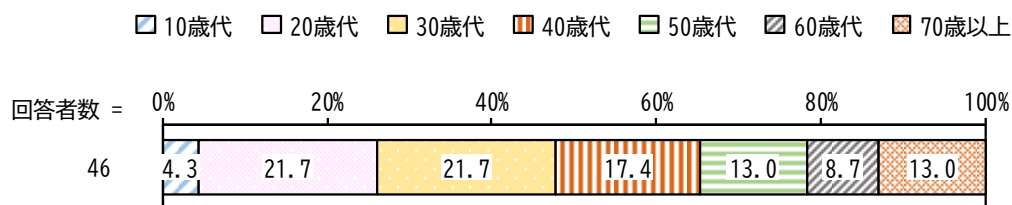
【性別】

「男性」の割合が 63.0%、「女性」の割合が 37.0%となっています。



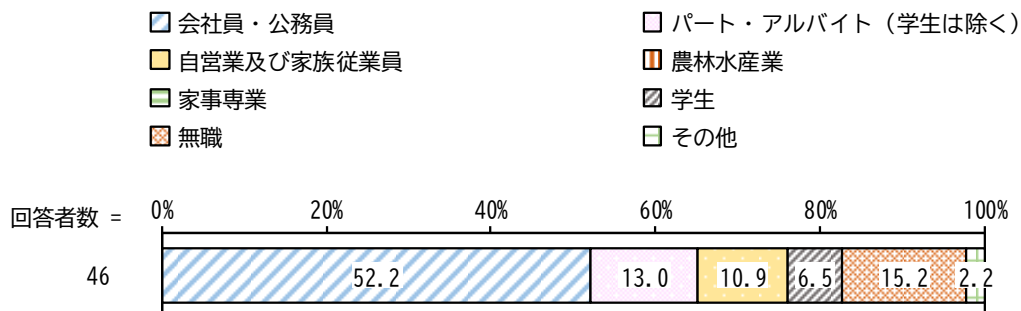
【年代】

「20 歳代」、「30 歳代」の割合が 21.7%と最も高く、次いで「40 歳代」の割合が 17.4%となっています。



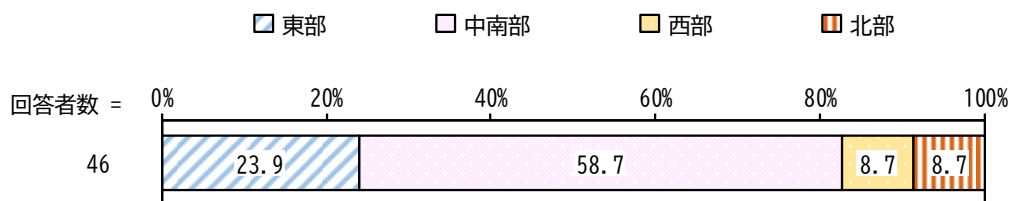
【職業】

「会社員・公務員」の割合が 52.2%と最も高く、次いで「無職」の割合が 15.2%、「パート・アルバイト（学生は除く）」の割合が 13.0%となっています。



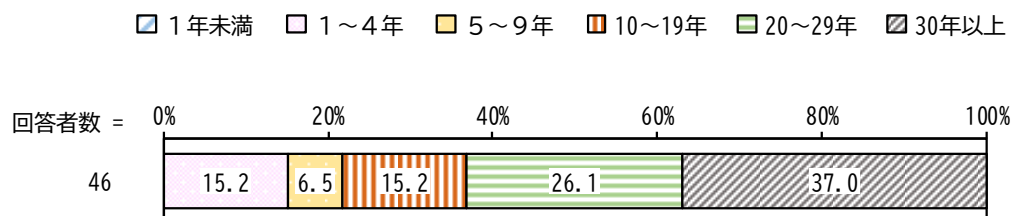
【居住地区】

「中南部」の割合が58.7%と最も高く、次いで「東部」の割合が23.9%となっています。



【居住年数】

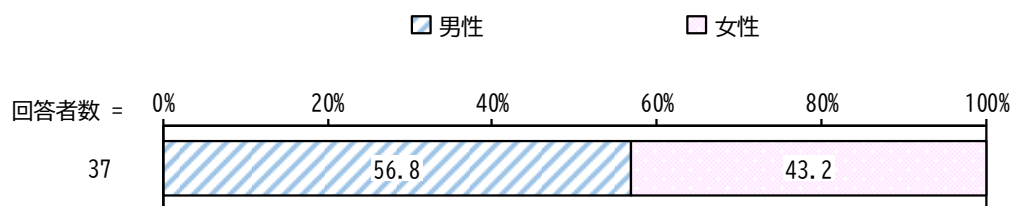
「30年以上」の割合が37.0%と最も高く、次いで「20～29年」の割合が26.1%、「1～4年」、「10～19年」の割合が15.2%となっています。



問 39 「マイバッグの利用やごみの分別・リサイクルの徹底など、ごみ減量に向けた活動が広がっていると思いますか。」の設問で「そう思わない」と回答した人（3.2%）について

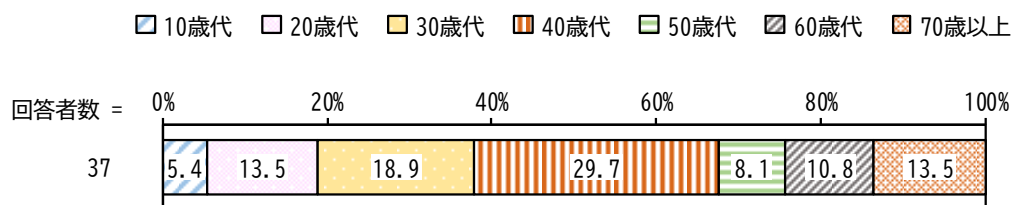
【性別】

「男性」の割合が 56.8%、「女性」の割合が 43.2%となっています。



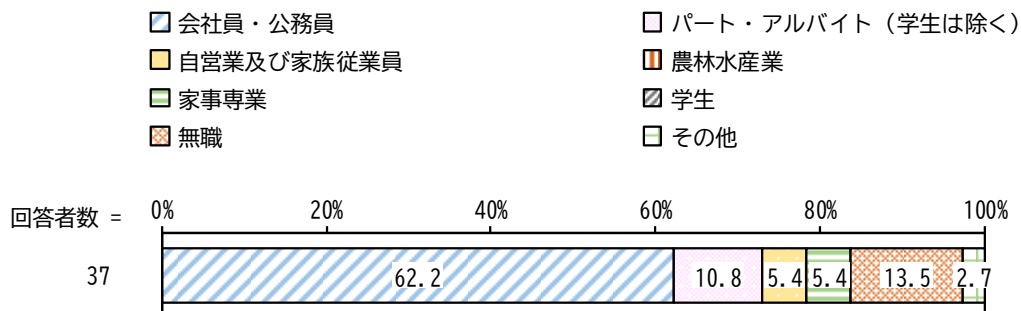
【年代】

「40 歳代」の割合が 29.7%と最も高く、次いで「30 歳代」の割合が 18.9%、「20 歳代」、「70 歳以上」の割合が 13.5%となっています。



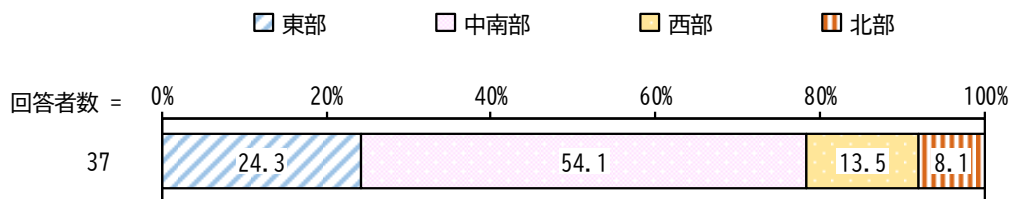
【職業】

「会社員・公務員」の割合が 62.2%と最も高く、次いで「無職」の割合が 13.5%、「パート・アルバイト（学生は除く）」の割合が 10.8%となっています。



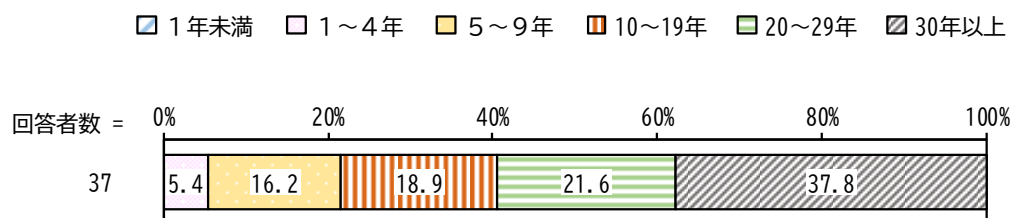
【居住地区】

「中南部」の割合が54.1%と最も高く、次いで「東部」の割合が24.3%、「西部」の割合が13.5%となっています。



【居住年数】

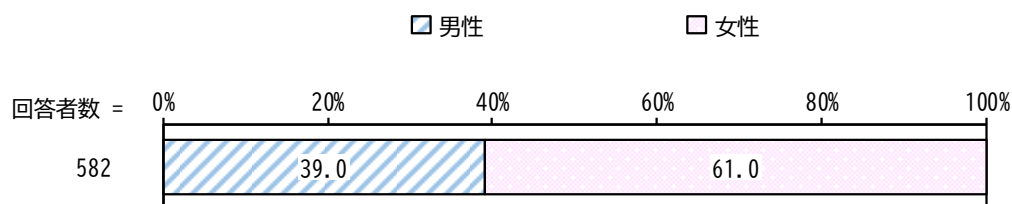
「30年以上」の割合が37.8%と最も高く、次いで「20～29年」の割合が21.6%、「10～19年」の割合が18.9%となっています。



問 40 「鉄道や路線バスなどの公共交通を利用していますか。」の設問で「この1年公共交通を利用していない」と回答した人（50.1%）について

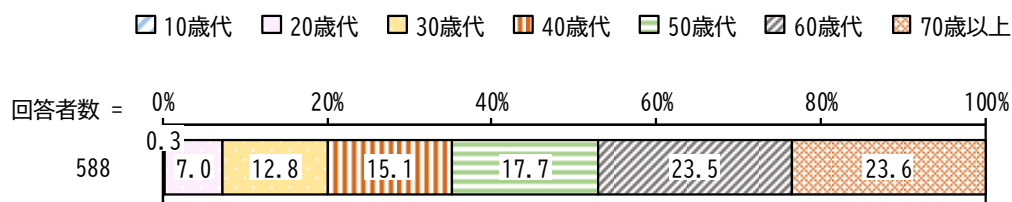
【性別】

「男性」の割合が 39.0%、「女性」の割合が 61.0%となっています。



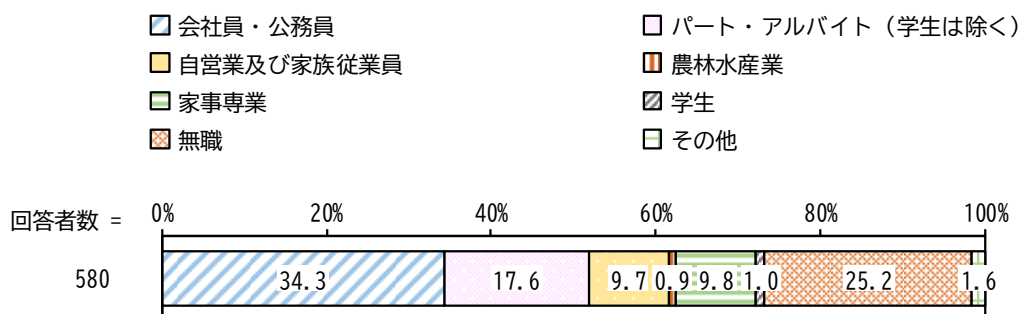
【年代】

「70 歳以上」の割合が 23.6%と最も高く、次いで「60 歳代」の割合が 23.5%、「50 歳代」の割合が 17.7%となっています。



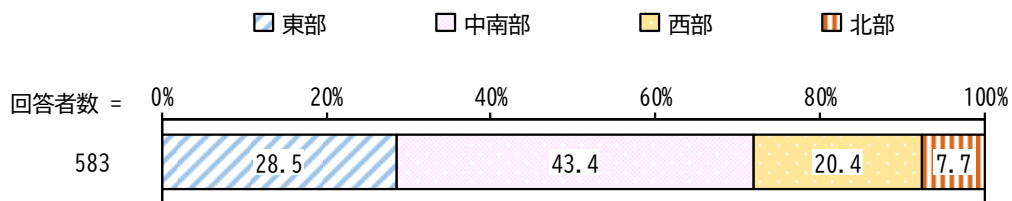
【職業】

「会社員・公務員」の割合が 34.3%と最も高く、次いで「無職」の割合が 25.2%、「パート・アルバイト（学生は除く）」の割合が 17.6%となっています。



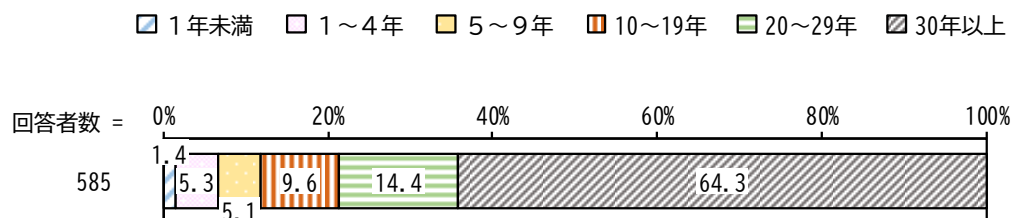
【居住地区】

「中南部」の割合が43.4%と最も高く、次いで「東部」の割合が28.5%、「西部」の割合が20.4%となっています。



【居住年数】

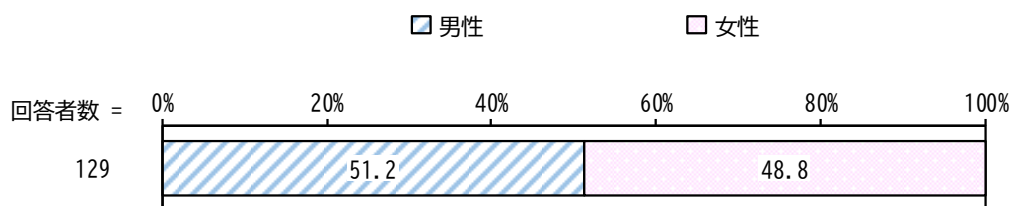
「30年以上」の割合が64.3%と最も高く、次いで「20～29年」の割合が14.4%となっています。



問 51 「市民の意見や活動がまちづくりに反映されていると思いますか。」の設問で「そう思わない」と回答した人（11.3%）について

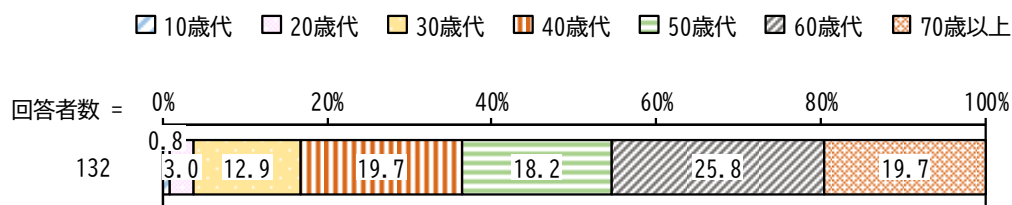
【性別】

「男性」の割合が 51.2%、「女性」の割合が 48.8%となっています。



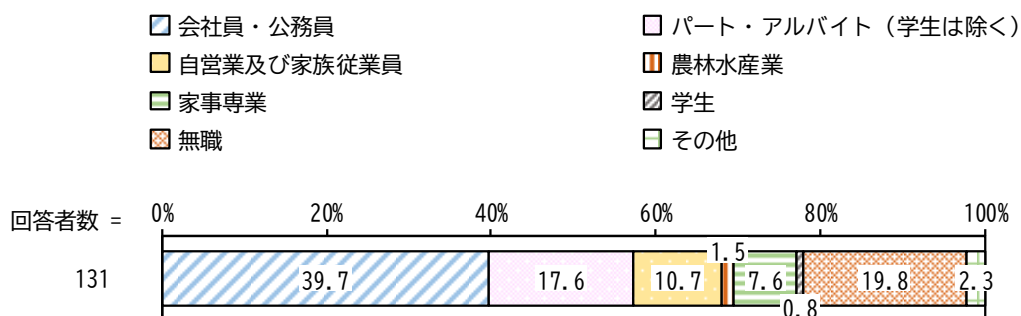
【年代】

「60 歳代」の割合が 25.8%と最も高く、次いで「40 歳代」、「70 歳以上」の割合が 19.7%となっています。



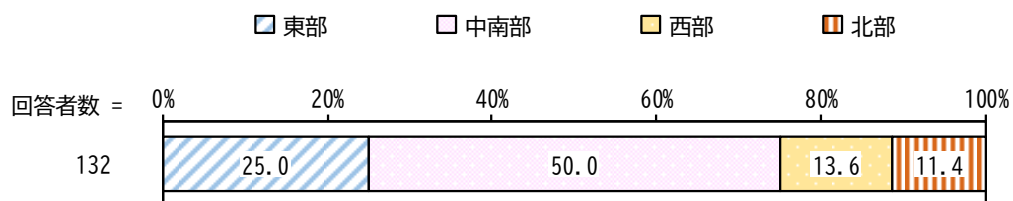
【職業】

「会社員・公務員」の割合が 39.7%と最も高く、次いで「無職」の割合が 19.8%、「パート・アルバイト（学生は除く）」の割合が 17.6%となっています。



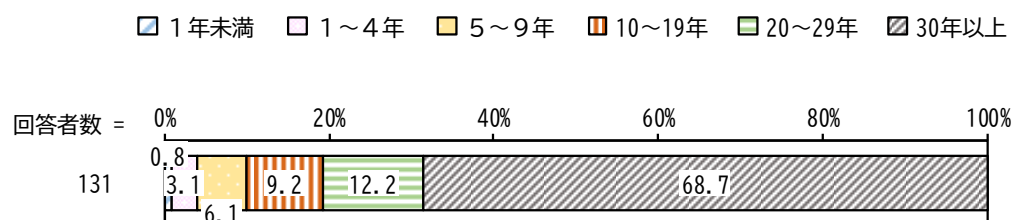
【居住地区】

「中南部」の割合が50.0%と最も高く、次いで「東部」の割合が25.0%、「西部」の割合が13.6%となっています。



【居住年数】

「30年以上」の割合が68.7%と最も高く、次いで「20～29年」の割合が12.2%となっています。



4 第五次宇部市総合計画 前期実行計画 各施策の満足度・重要度について

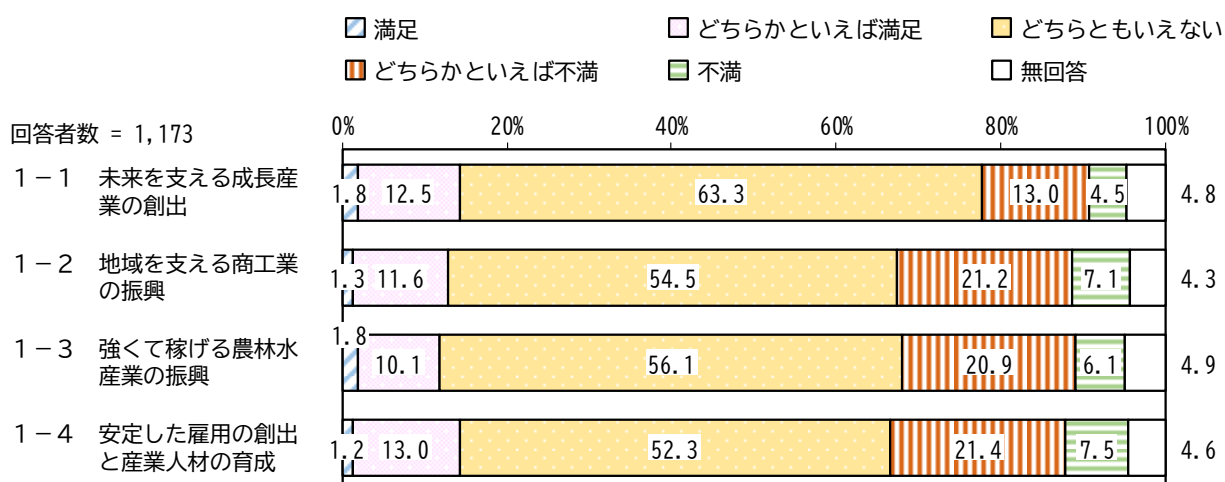
問 53 宇部市のまちづくりの取組について、あなたの“現在の満足度”と、“今後の重要度”をお聞きます。以下のそれぞれの取組について、記入例を参考に、あなたのお考えに近いものをそれぞれ1つずつ選んで、○を付けてください。

(1) 各施策の満足度・重要度

1 活力に満ちた強い産業のまち

【現在の満足度】

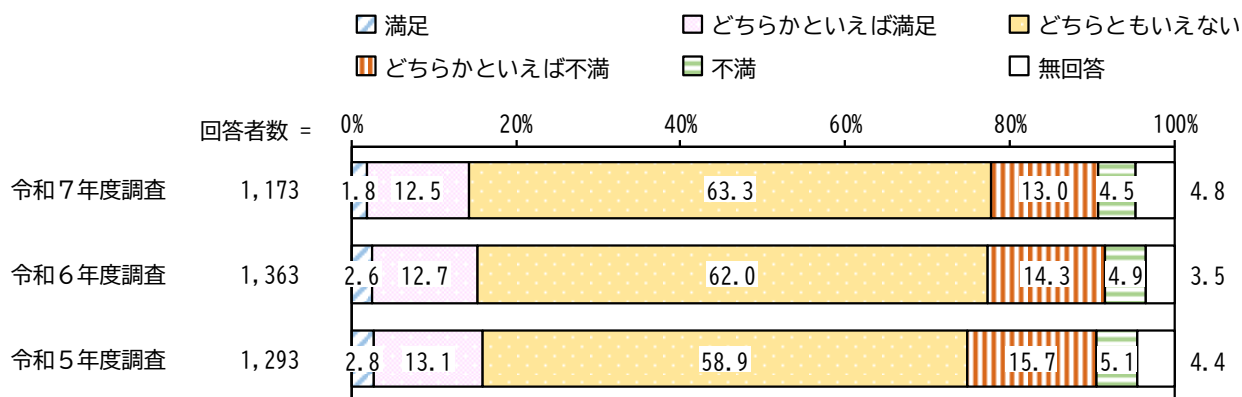
『1-1 未来を支える成長産業の創出』で「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせた“満足”が高くなっています。一方、『1-4 安定した雇用の創出と産業人材の育成』で「どちらかといえば不満」と「不満」を合わせた“不満”が高くなっています。



1-1 未来を支える成長産業の創出

【経年比較】

過去調査と比較すると、大きな変化はみられません。

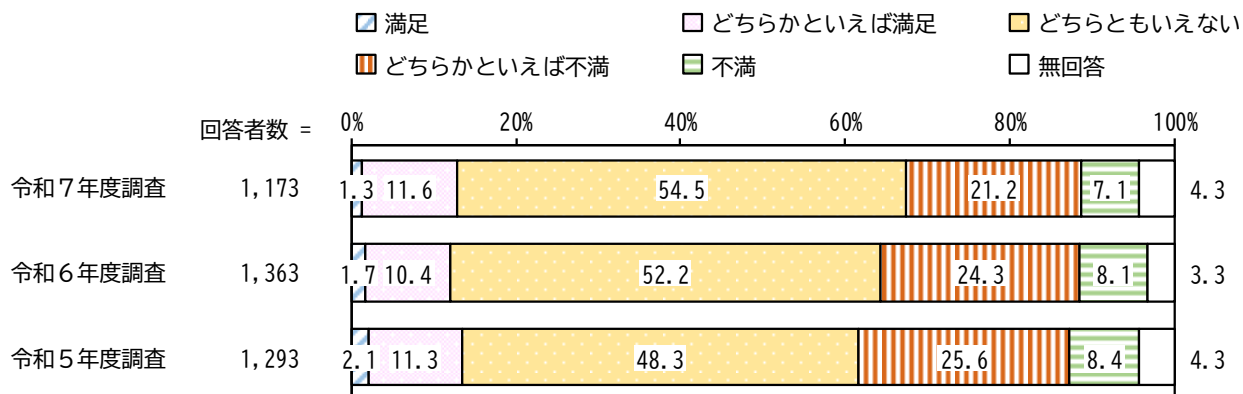


※令和4年度調査では、各施策の満足度・重要度に対する選択肢に「どちらともいえない」がありませんでした。したがって、【経年比較】については、令和5年度調査からの3か年で比較をしています。

1-2 地域を支える商工業の振興

【経年比較】

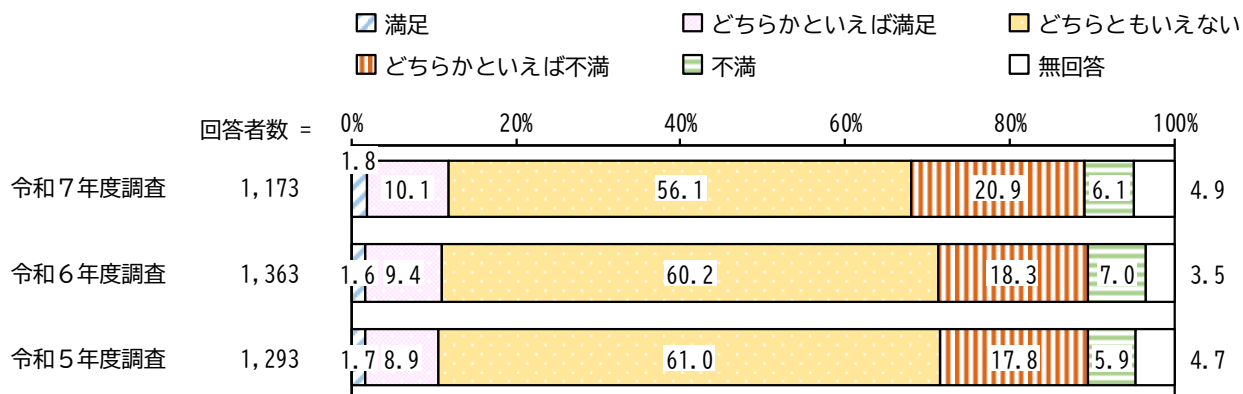
過去調査と比較すると、令和5年度調査から“不満”の割合が減少しています。



1-3 強くて稼げる農林水産業の振興

【経年比較】

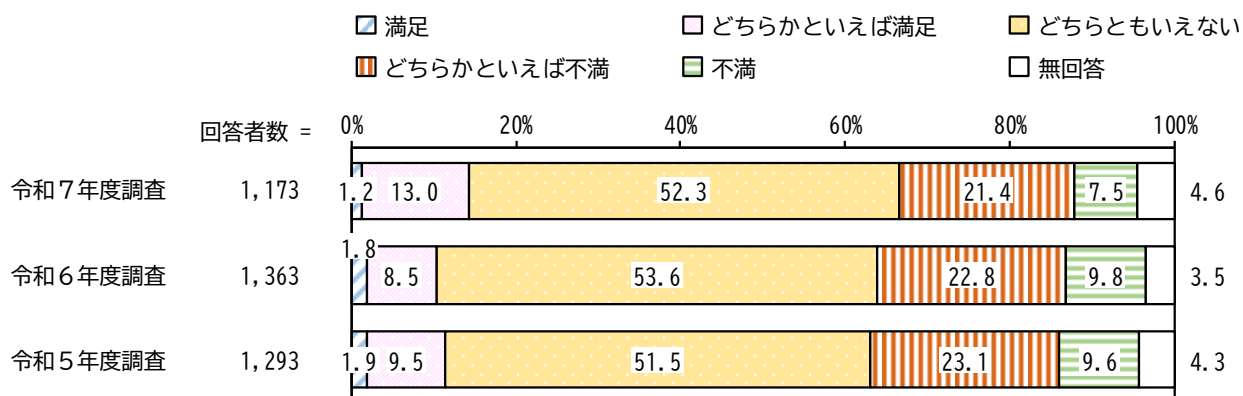
過去調査と比較すると、大きな変化はみられません。



1-4 安定した雇用の創出と産業人材の育成

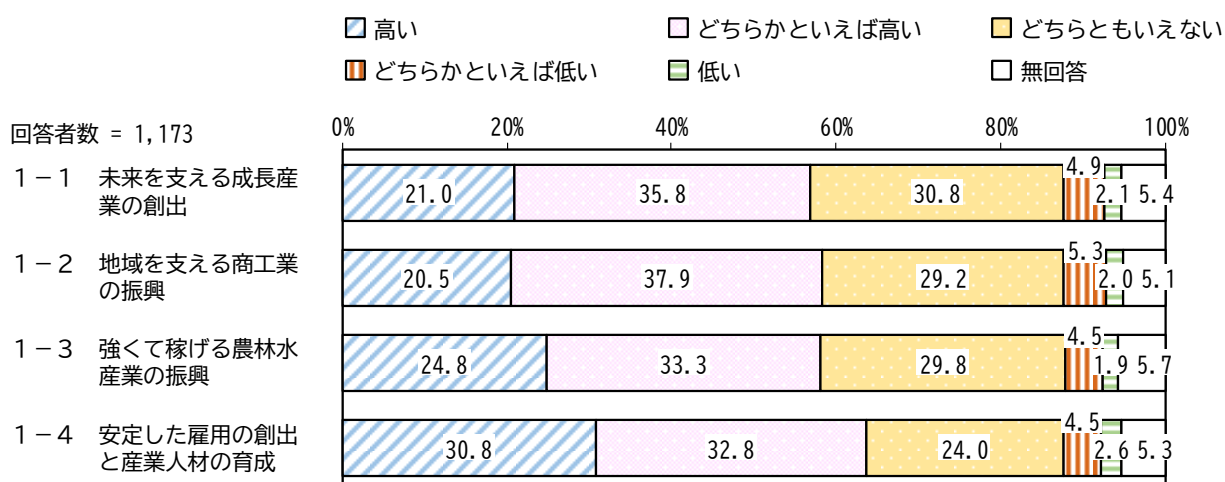
【経年比較】

過去調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【今後の重要度】

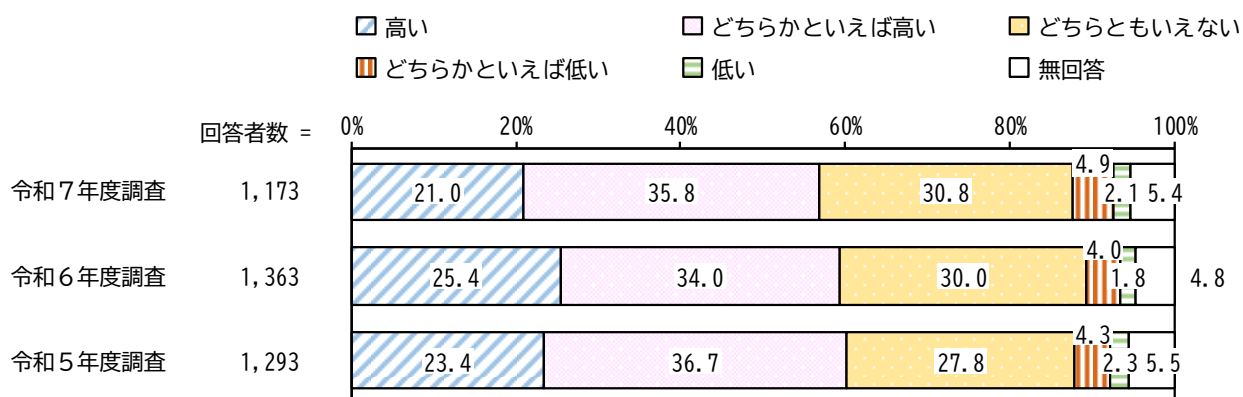
『1－4 安定した雇用の創出と産業人材の育成』で「高い」と「どちらかといえば高い」を合わせた“高い”が高くなっています。一方、『1－2 地域を支える商工業の振興』で「どちらかといえば低い」と「低い」を合わせた“低い”が高くなっています。



1－1 未来を支える成長産業の創出

【経年比較】

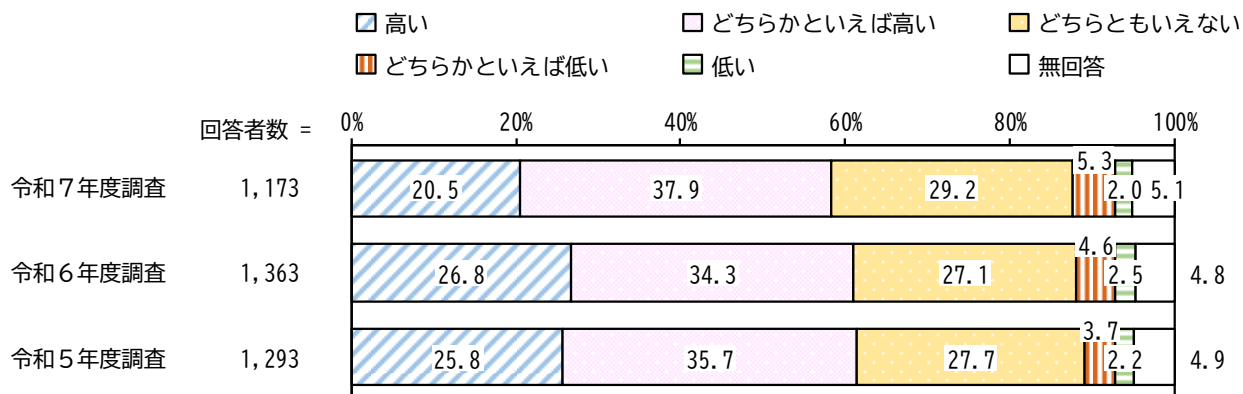
過去調査と比較すると、大きな変化はみられません。



1-2 地域を支える商工業の振興

【経年比較】

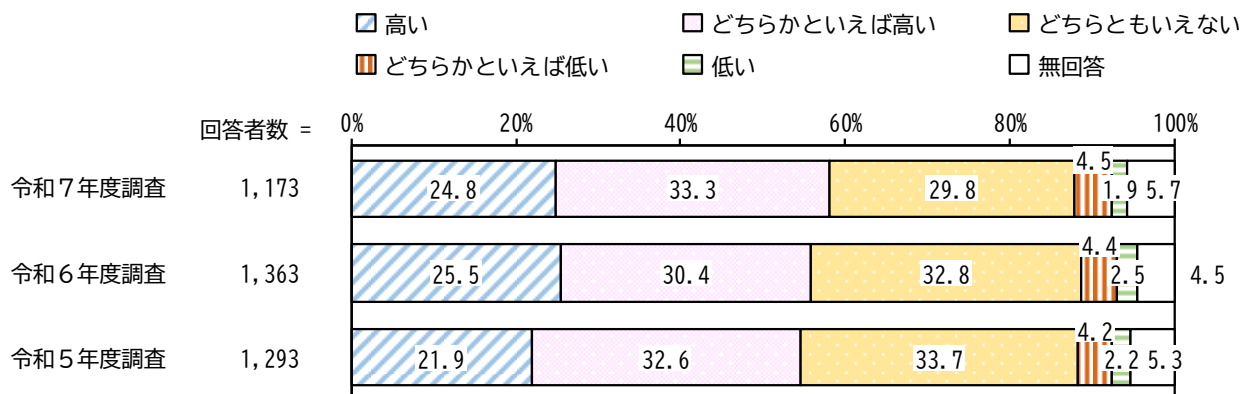
過去調査と比較すると、令和5年度調査から「高い」の割合が減少傾向にあります。



1-3 強くて稼げる農林水産業の振興

【経年比較】

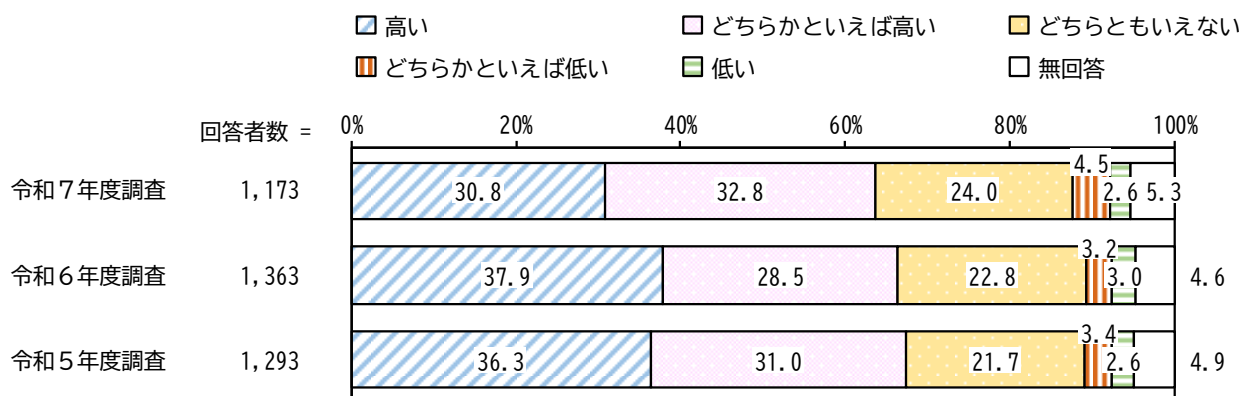
過去調査と比較すると、大きな変化はみられません。



1-4 安定した雇用の創出と産業人材の育成

【経年比較】

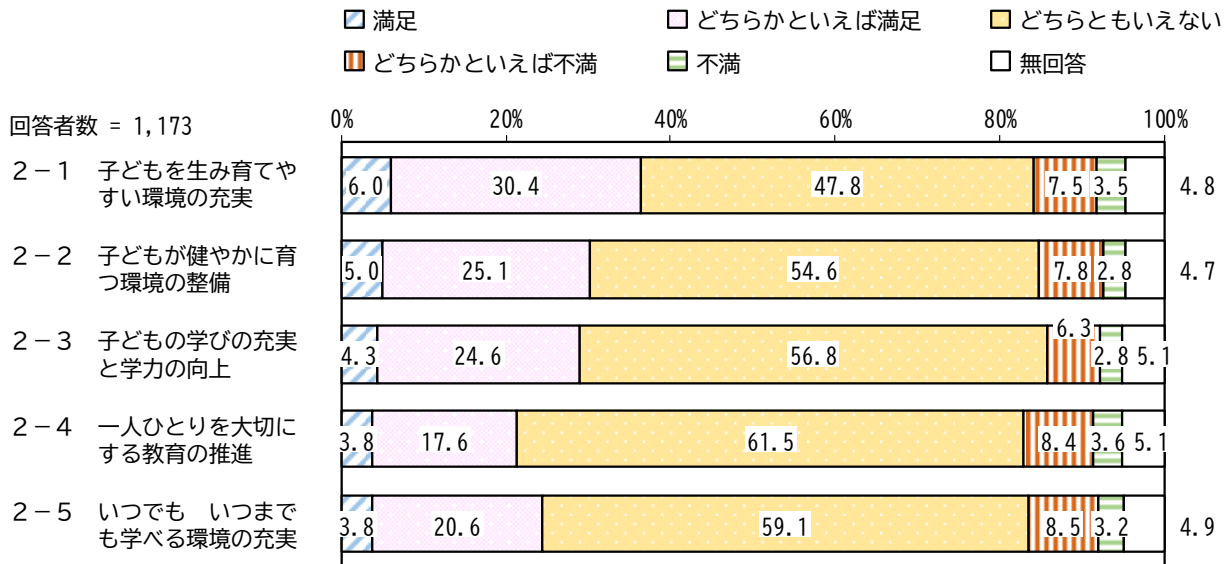
過去調査と比較すると、令和5年度調査から「高い」の割合が減少傾向にあります。



2 未来を拓くひとを育むまち

【現在の満足度】

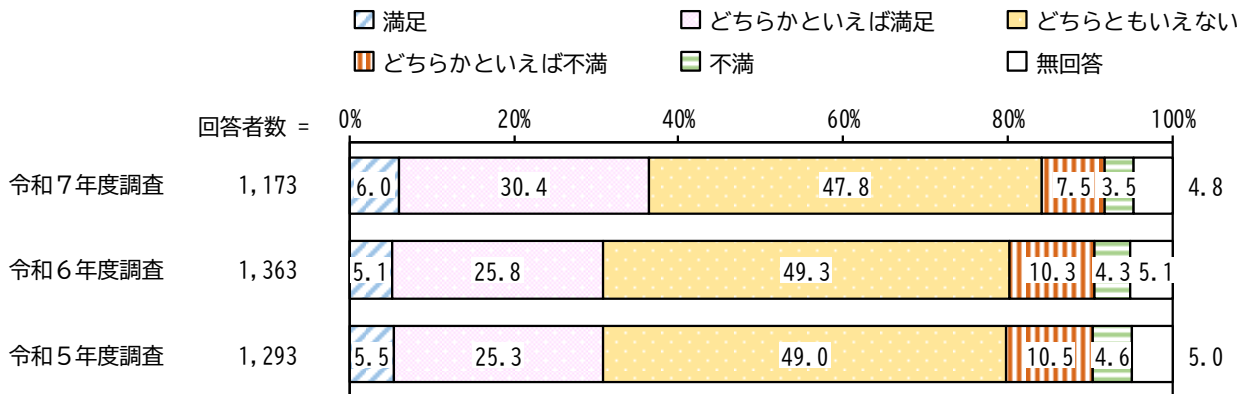
『2-1 子どもを生み育てやすい環境の充実』で「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせた“満足”が高くなっています。一方、『2-4 一人ひとりを大切にする教育の推進』で「どちらかといえば不満」と「不満」を合わせた“不満”が高くなっています。



2-1 子どもを生み育てやすい環境の充実

【経年比較】

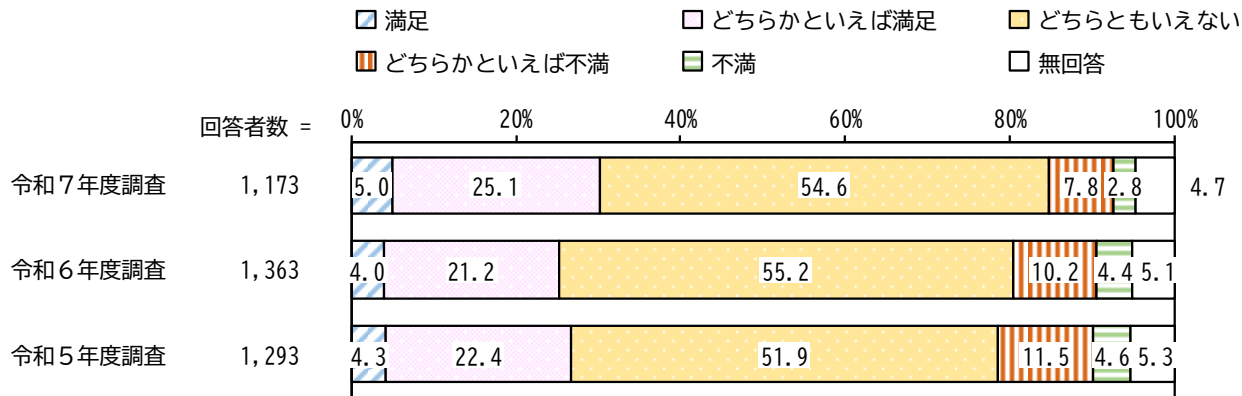
過去調査と比較すると、令和5年度調査から“満足”の割合が増加しています。



2-2 子どもが健やかに育つ環境の整備

【経年比較】

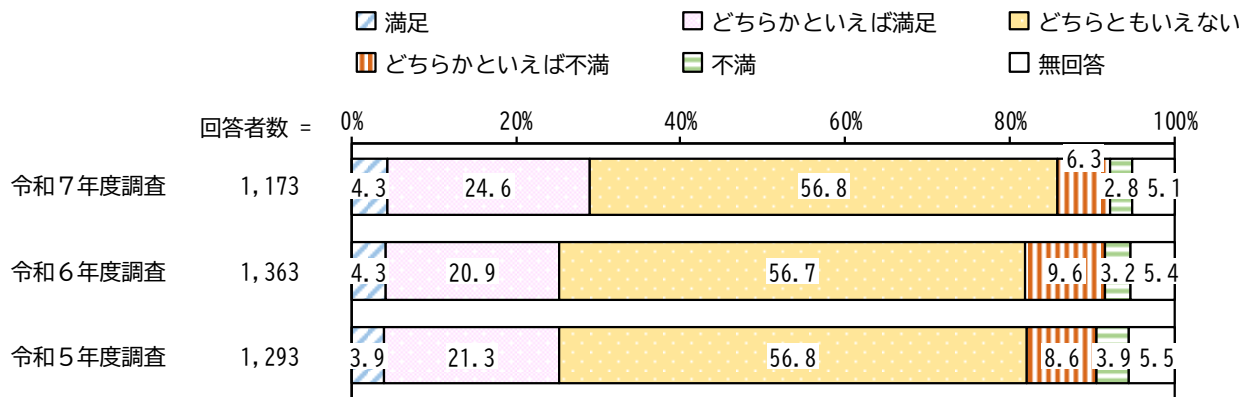
過去調査と比較すると、令和5年度調査から“不満”の割合が減少しています。



2-3 子どもの学びの充実と学力の向上

【経年比較】

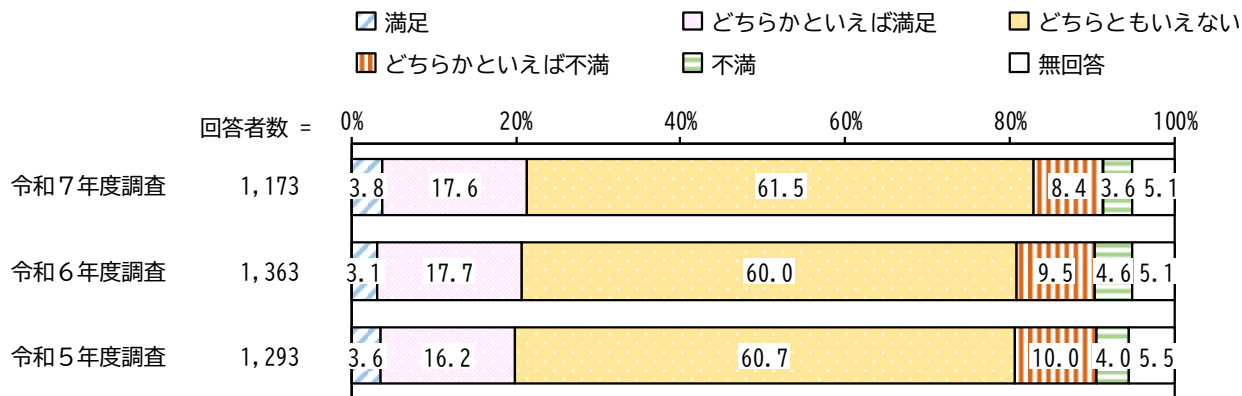
過去調査と比較すると、大きな変化はみられません。



2-4 一人ひとりを大切にする教育の推進

【経年比較】

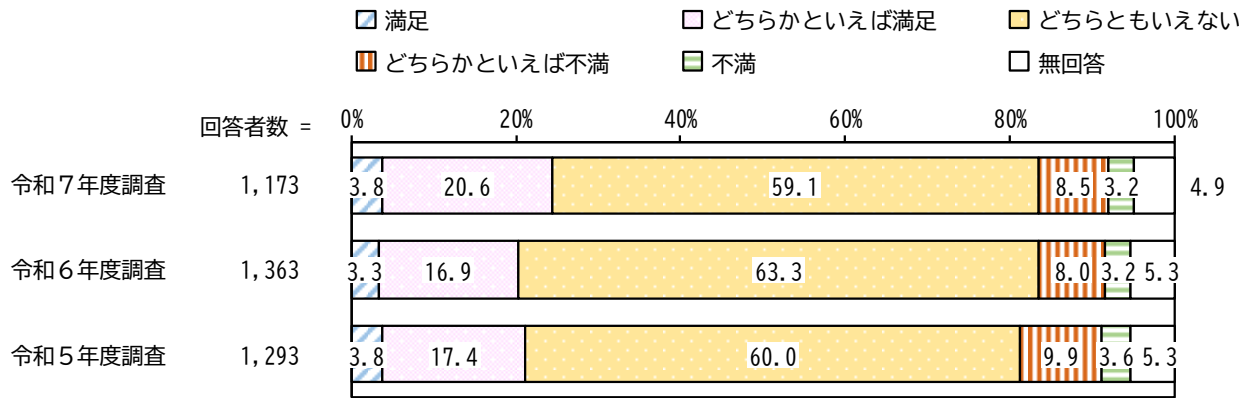
過去調査と比較すると、大きな変化はみられません。



2-5 いつでも いつまでも学べる環境の充実

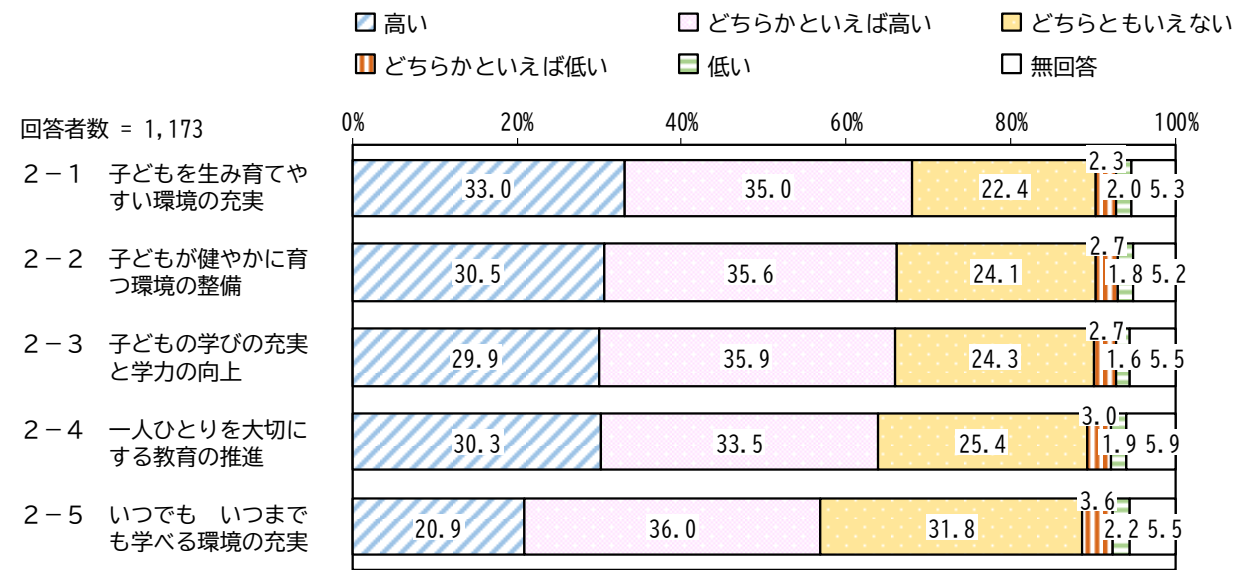
【経年比較】

過去調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【今後の重要度】

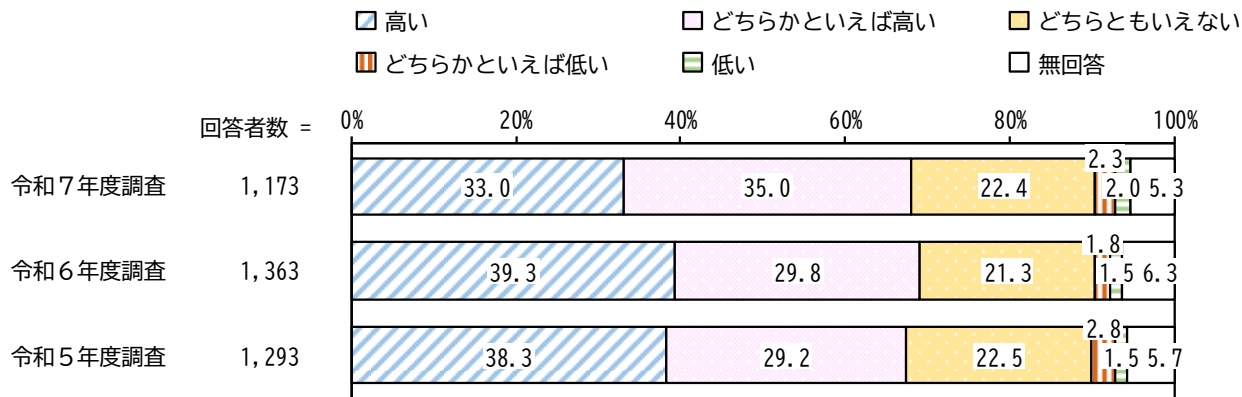
『2-1 子どもを生み育てやすい環境の充実』で「高い」と「どちらかといえば高い」を合わせた“高い”が高くなっています。一方、『2-5 いつでも いつまでも学べる環境の充実』で「どちらかといえば低い」と「低い」を合わせた“低い”が高くなっています。



2-1 子どもを生み育てやすい環境の充実

【経年比較】

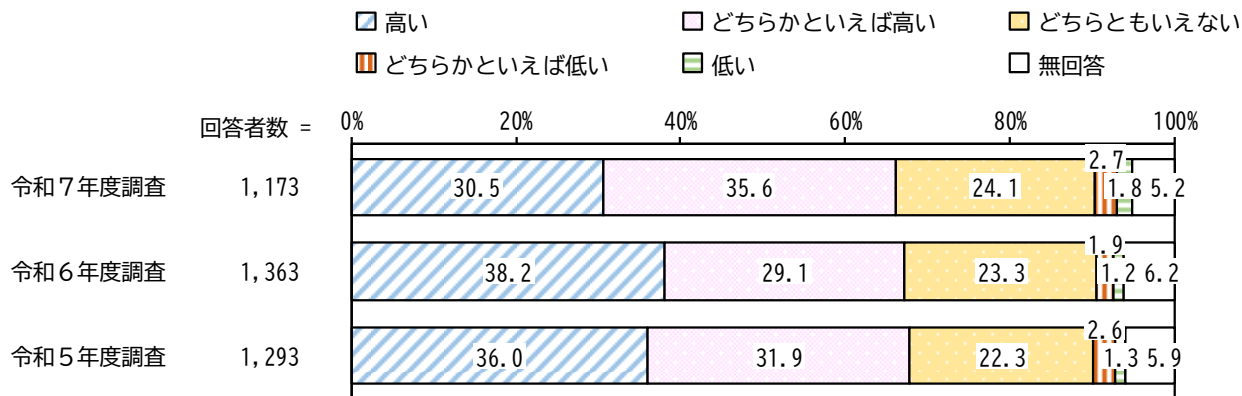
過去調査と比較すると、令和5年度調査から「どちらかといえば高い」の割合が増加しています。一方、「高い」の割合が減少傾向にあります。



2-2 子どもが健やかに育つ環境の整備

【経年比較】

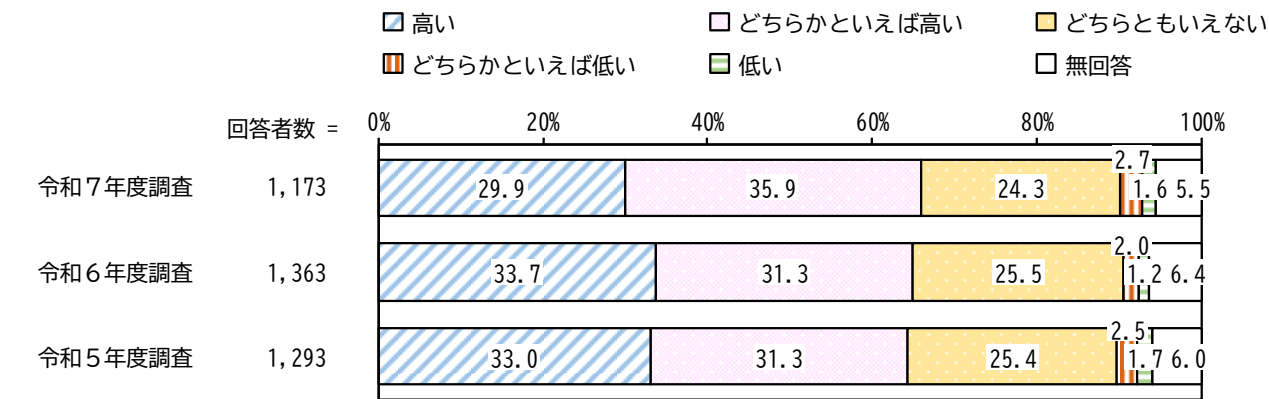
過去調査と比較すると、令和5年度調査から「高い」の割合が減少傾向にあります。
また、令和6年度調査から「どちらかといえば高い」の割合が増加しています。



2-3 子どもの学びの充実と学力の向上

【経年比較】

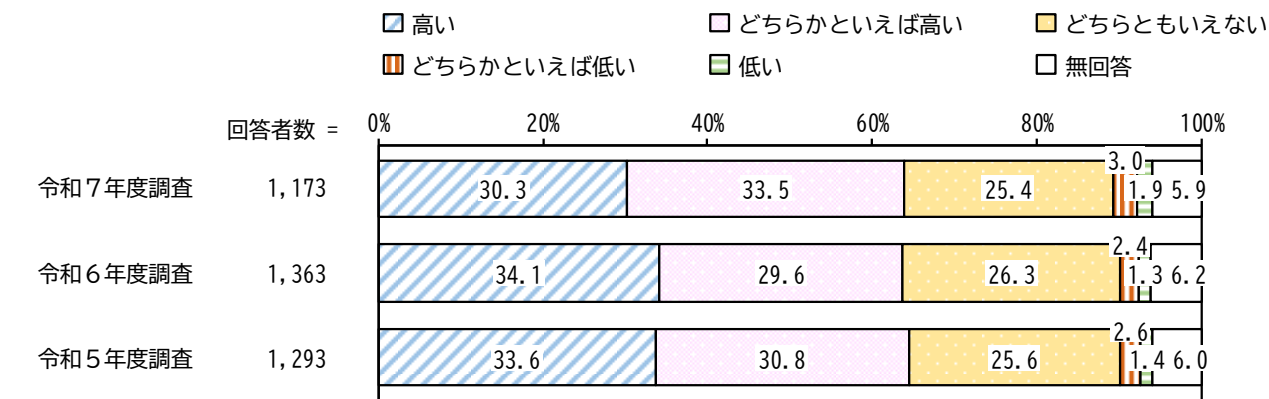
過去調査と比較すると、令和5年度調査から「どちらかといえば高い」の割合が増加傾向にあります。



2-4 一人ひとりを大切にする教育の推進

【経年比較】

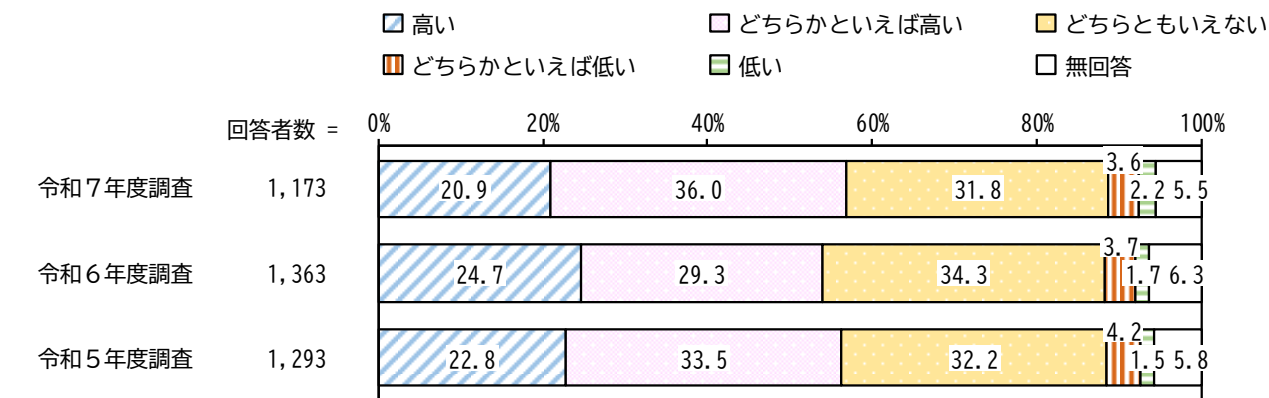
過去調査と比較すると、大きな変化はみられません。



2-5 いつでも いつまでも学べる環境の充実

【経年比較】

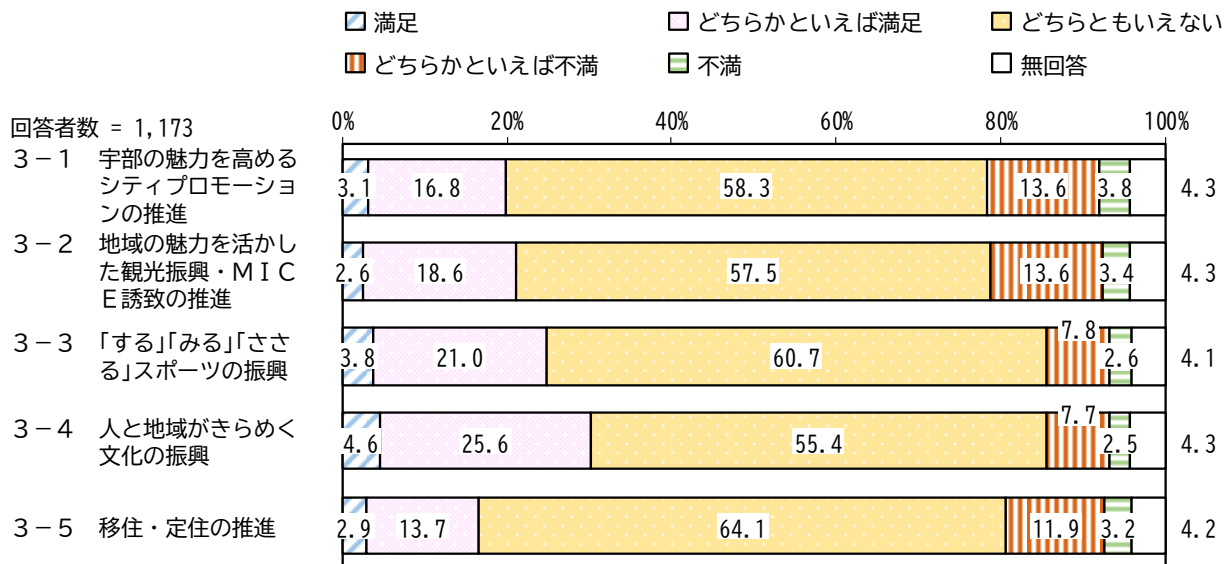
過去調査と比較すると、令和6年度調査から「どちらかといえば高い」の割合が増加しています。



3 魅力と賑わいにあふれるまち

【現在の満足度】

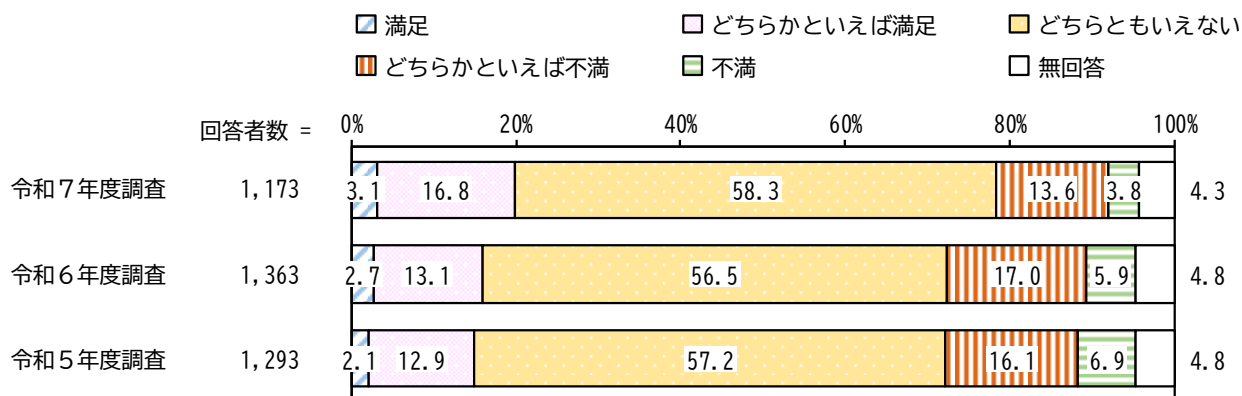
『3-4 人と地域がきらめく文化の振興』で「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせた“満足”が高くなっています。一方、『3-1 宇部の魅力を高めるシティプロモーションの推進』で「どちらかといえば不満」と「不満」を合わせた“不満”が高くなっています。



3-1 宇部の魅力を高めるシティプロモーションの推進

【経年比較】

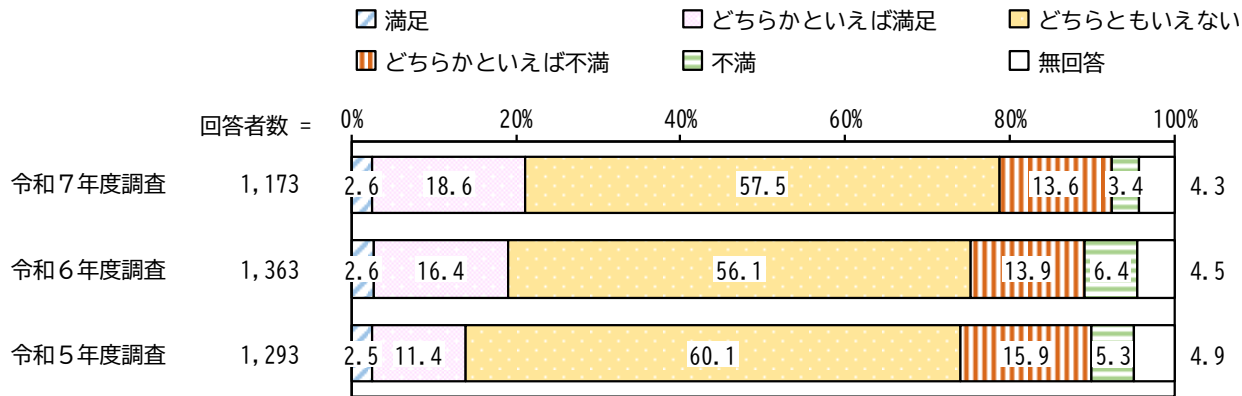
過去調査と比較すると、令和5年度調査から“満足”の割合が増加しています。



3-2 地域の魅力を活かした観光振興・MICE誘致の推進

【経年比較】

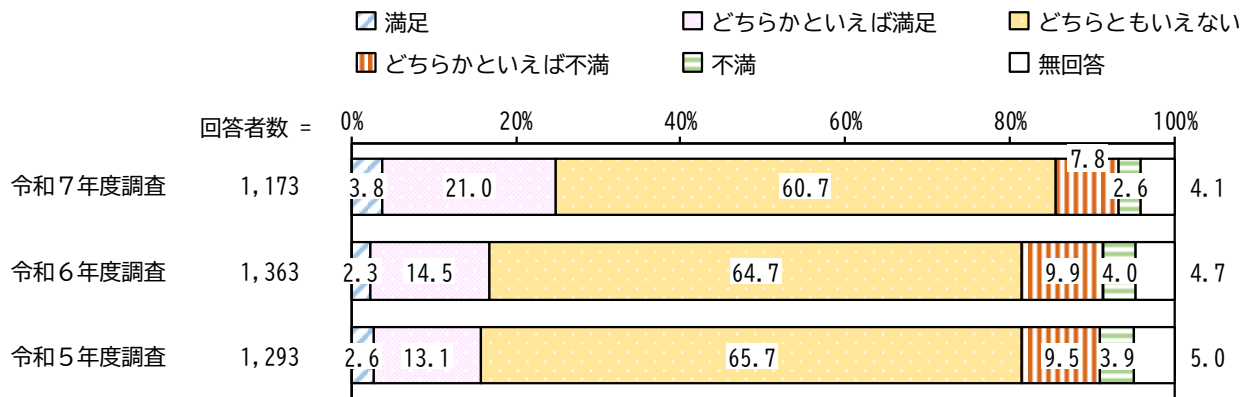
過去調査と比較すると、令和5年度調査から“満足”の割合が増加しています。



3-3 「する」「みる」「ささえる」スポーツの振興

【経年比較】

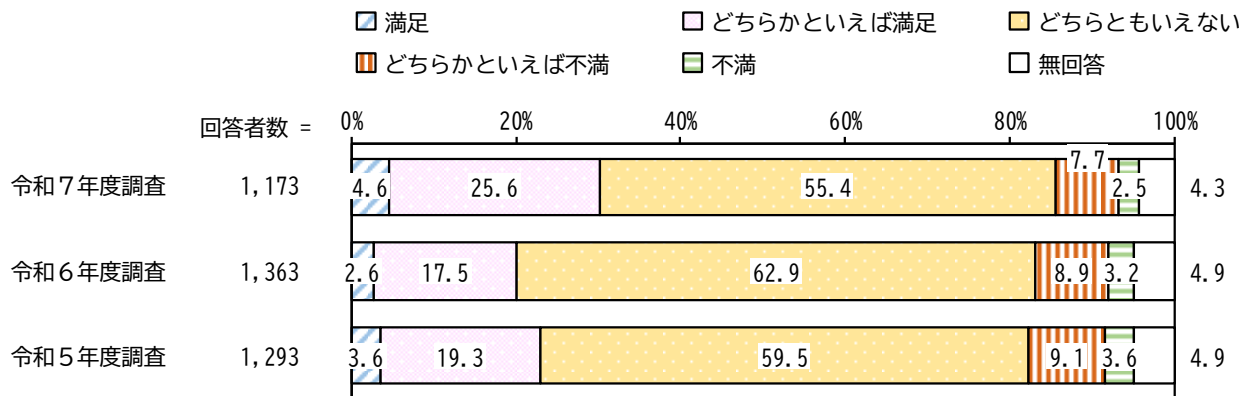
過去調査と比較すると、令和5年度調査から“満足”の割合が増加しています。



3-4 人と地域がきらめく文化の振興

【経年比較】

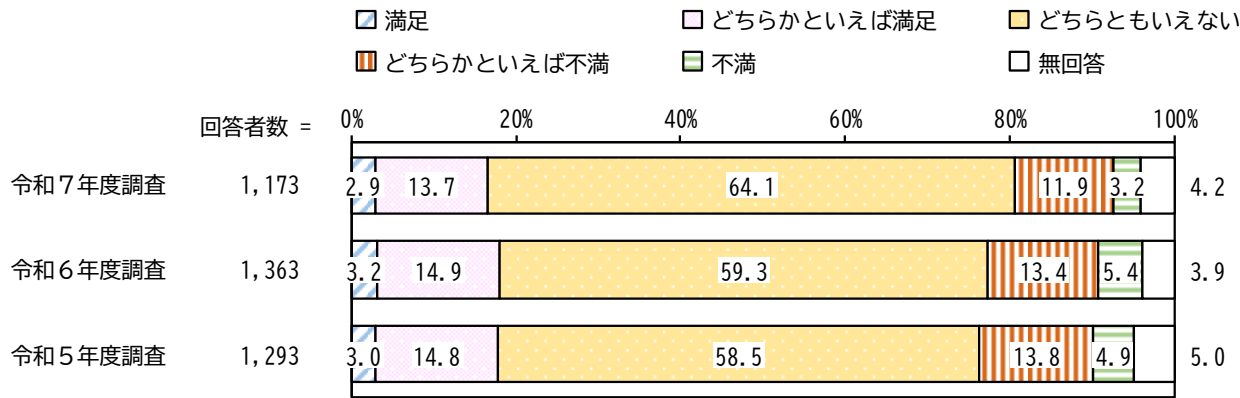
過去調査と比較すると、令和5年度調査から“満足”の割合が増加傾向にあります。



3-5 移住・定住の推進

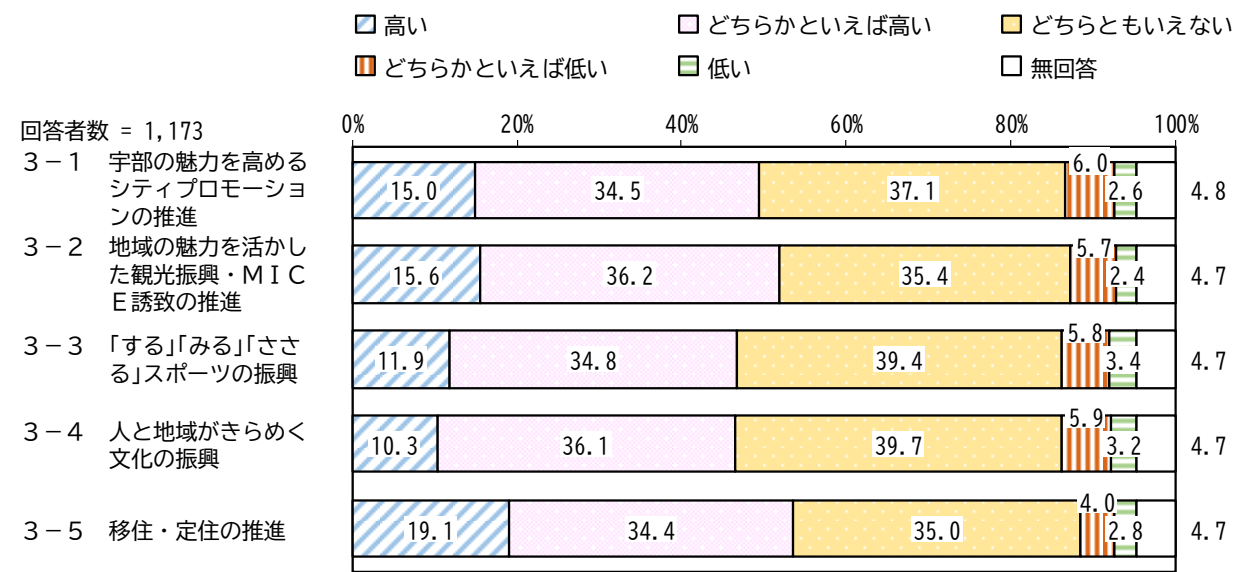
【経年比較】

過去調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【今後の重要度】

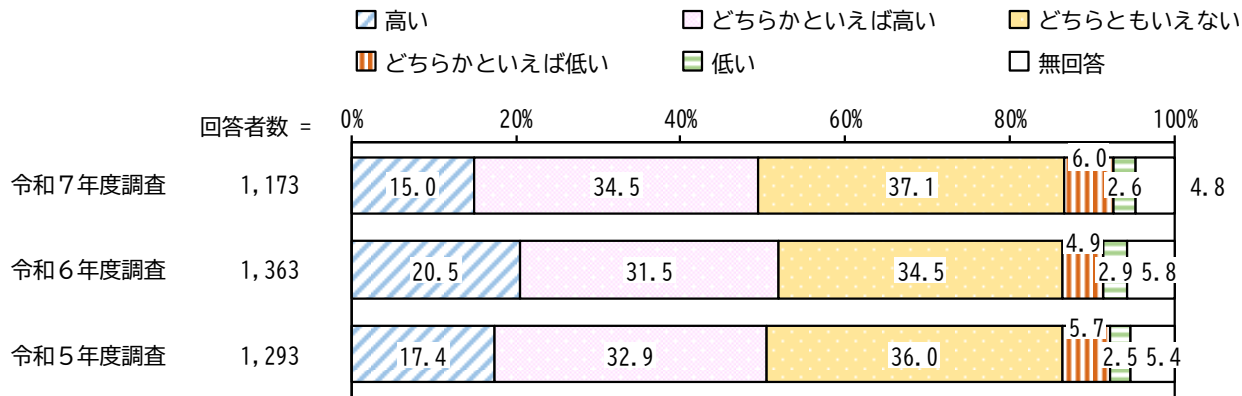
『3-5 移住・定住の推進』で「高い」と「どちらかといえば高い」を合わせた“高い”が高くなっています。一方、『3-3 「する」「みる」「ささえる」スポーツの振興』で「どちらかといえば低い」と「低い」を合わせた“低い”が高くなっています。



3-1 宇部の魅力を高めるシティプロモーションの推進

【経年比較】

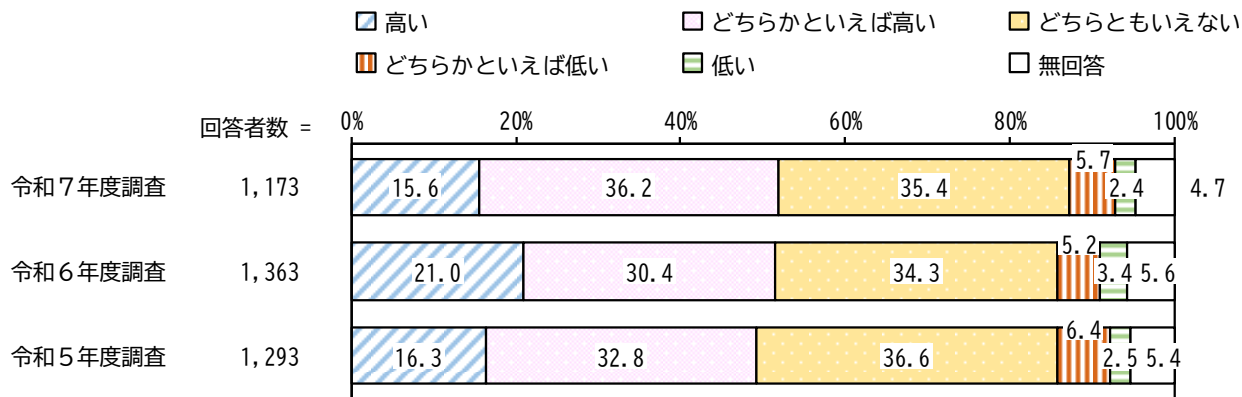
過去調査と比較すると、令和6年度調査から「高い」の割合が減少しています。



3-2 地域の魅力を活かした観光振興・MICE誘致の推進

【経年比較】

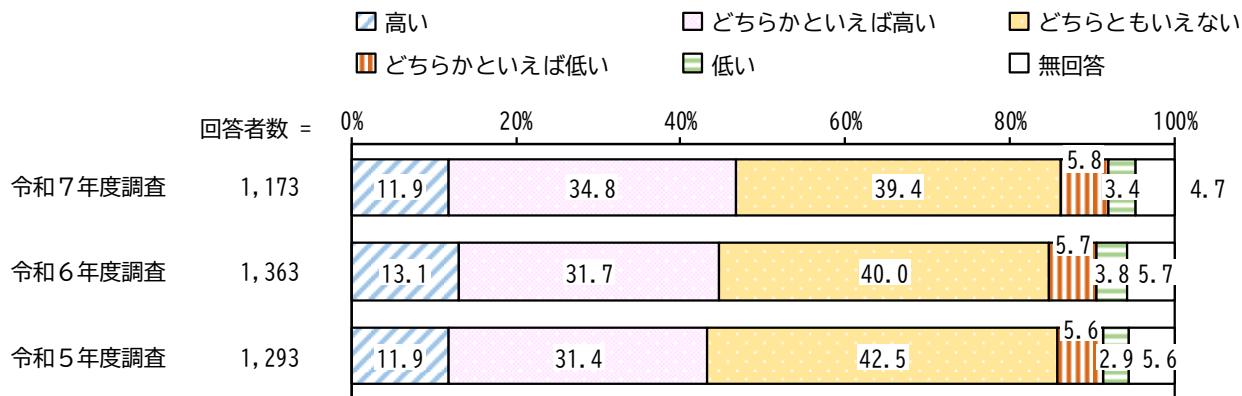
過去調査と比較すると、令和6年度調査から「どちらかといえば高い」の割合が増加しています。一方、「高い」の割合が減少しています。



3-3 「する」「みる」「ささえる」スポーツの振興

【経年比較】

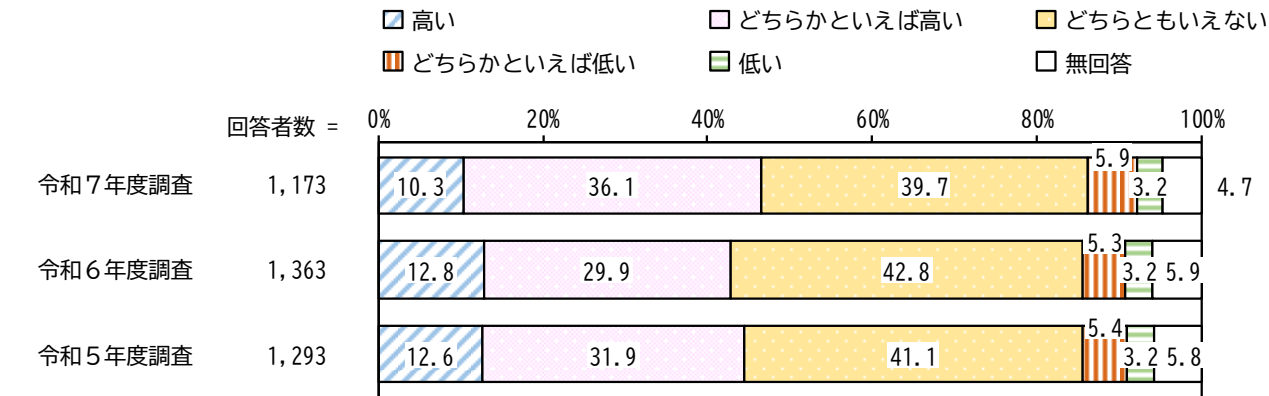
過去調査と比較すると、大きな変化はみられません。



3-4 人と地域がきらめく文化の振興

【経年比較】

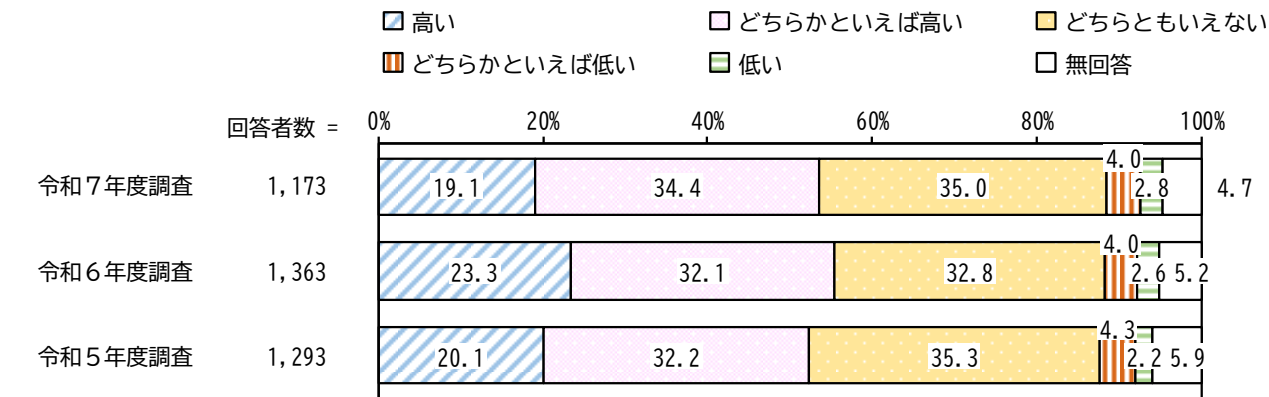
過去調査と比較すると、令和5年度調査から「どちらかといえば高い」の割合が増加傾向にあります。



3-5 移住・定住の推進

【経年比較】

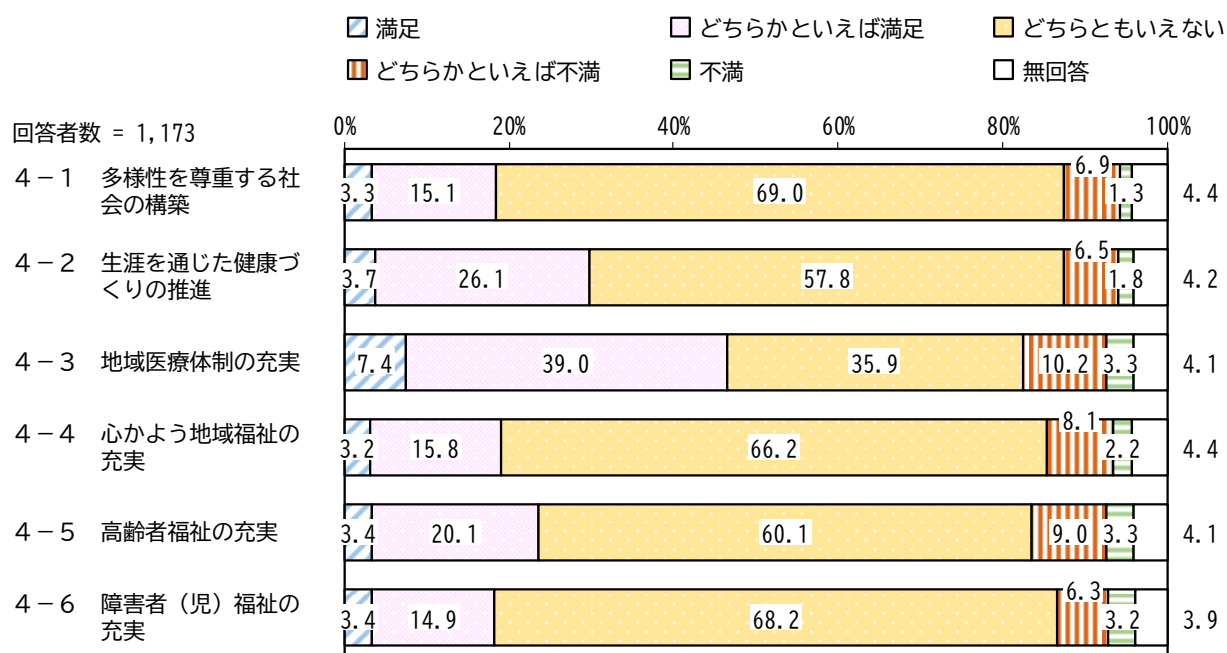
過去調査と比較すると、大きな変化はみられません。



4 誰もが健康で自分らしく暮らせるまち

【現在の満足度】

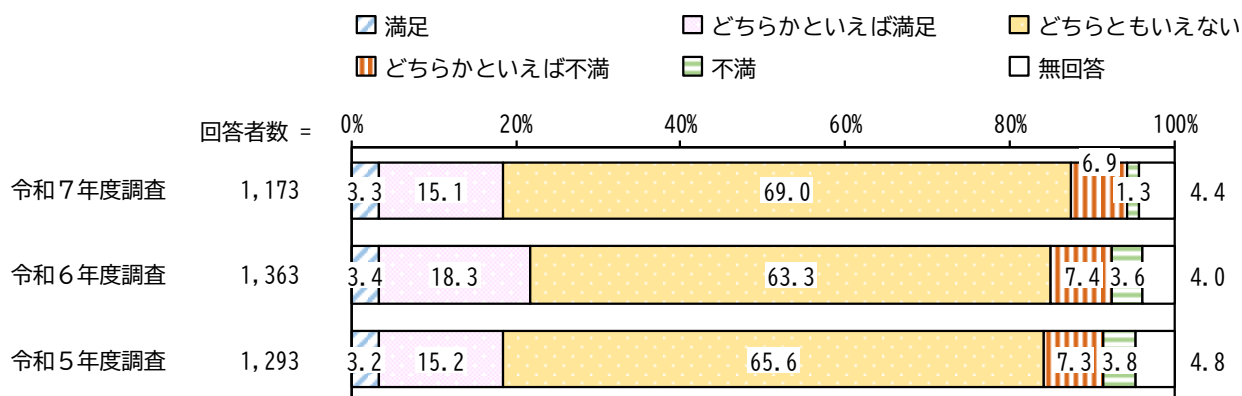
『4-3 地域医療体制の充実』で「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせた“満足”が高くなっています。一方、「どちらかといえば不満」と「不満」を合わせた“不満”も高くなっています。



4-1 多様性を尊重する社会の構築

【経年比較】

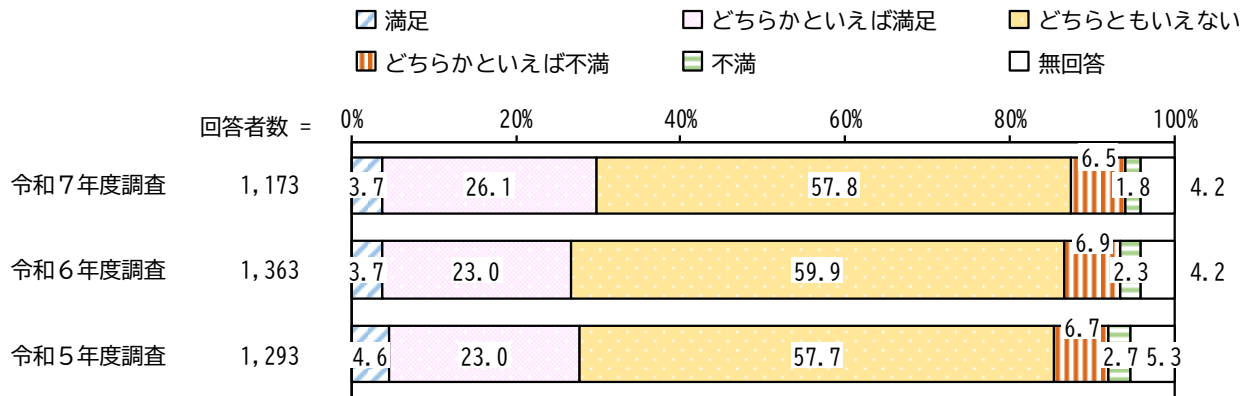
過去調査と比較すると、大きな変化はみられません。



4-2 生涯を通じた健康づくりの推進

【経年比較】

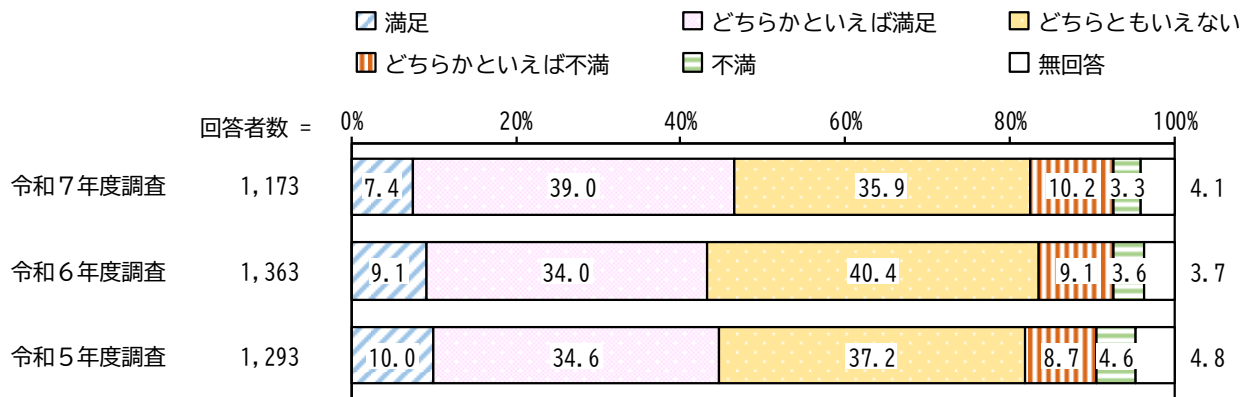
過去調査と比較すると、大きな変化はみられません。



4-3 地域医療体制の充実

【経年比較】

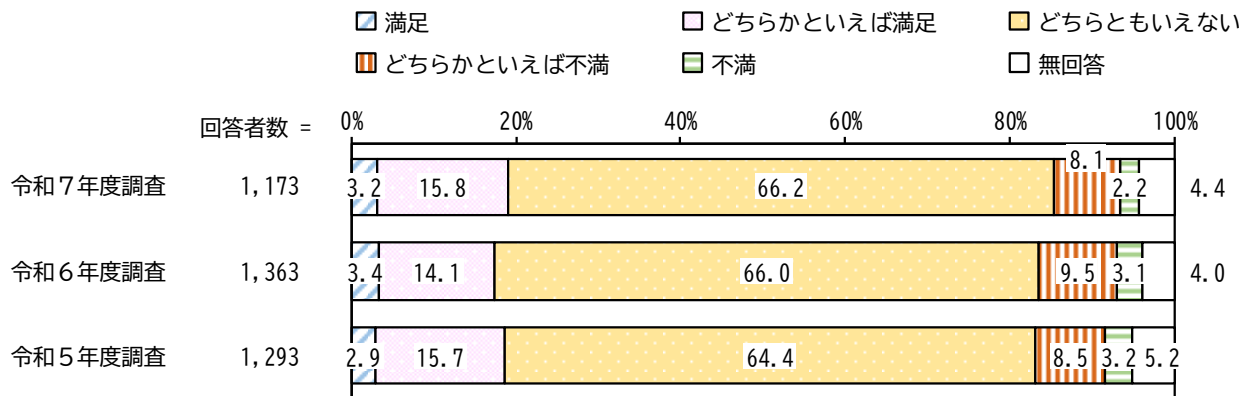
過去調査と比較すると、令和5年度調査から「どちらかといえば満足」の割合が増加傾向にあります。



4-4 心かよう地域福祉の充実

【経年比較】

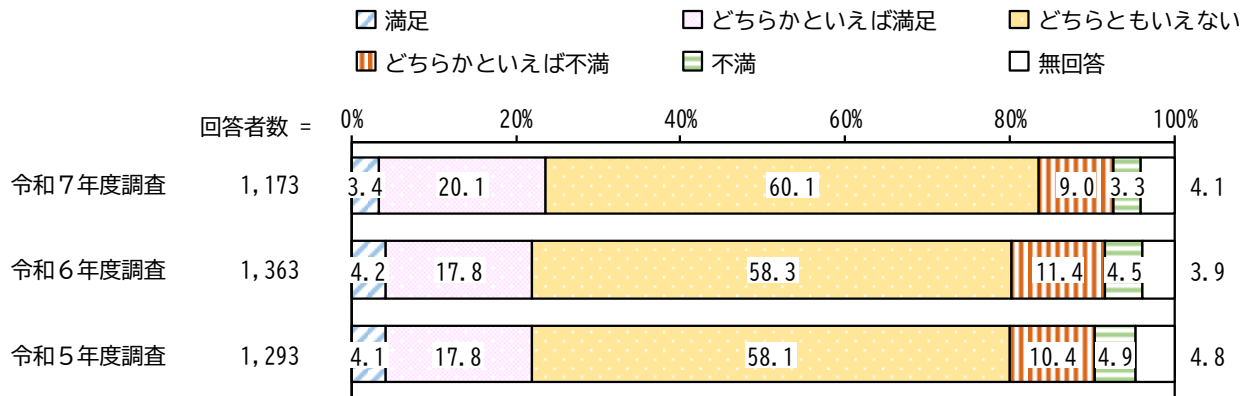
過去調査と比較すると、大きな変化はみられません。



4－5 高齢者福祉の充実

【経年比較】

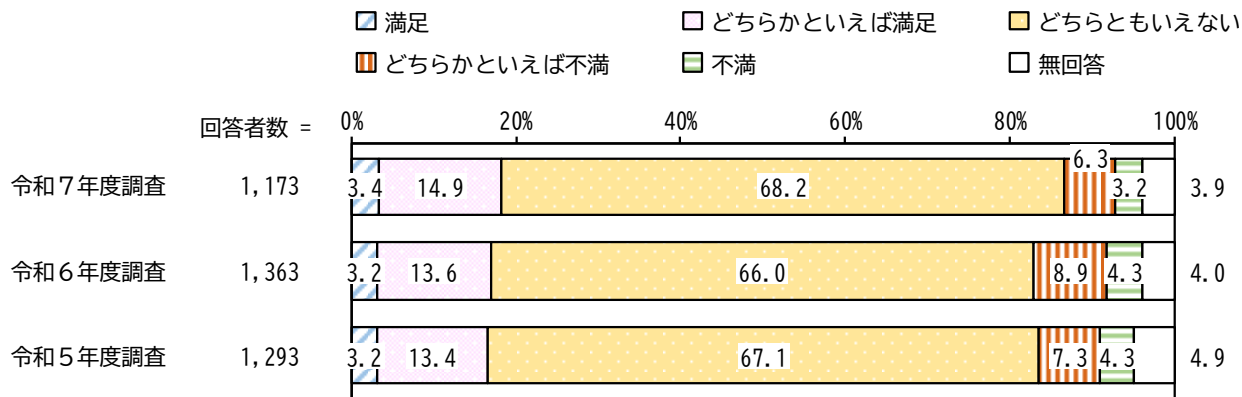
過去調査と比較すると、大きな変化はみられません。



4－6 障害者（児）福祉の充実

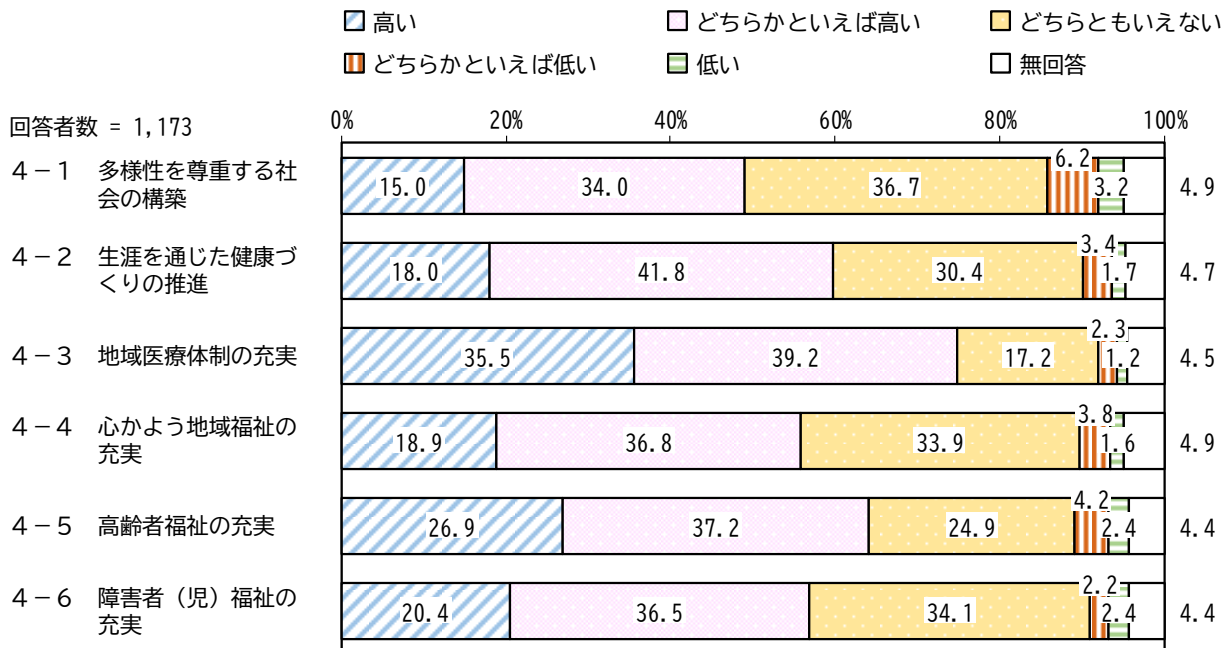
【経年比較】

過去調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【今後の重要度】

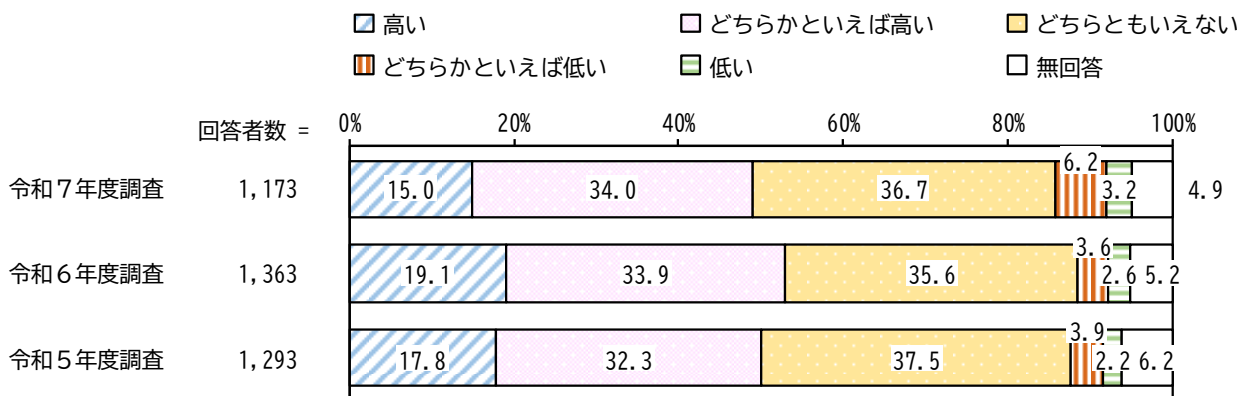
『4－3 地域医療体制の充実』で「高い」と「どちらかといえば高い」を合わせた“高い”が高くなっています。一方、『4－1 多様性を尊重する社会の構築』で「どちらかといえば低い」と「低い」を合わせた“低い”が高くなっています。



4－1 多様性を尊重する社会の構築

【経年比較】

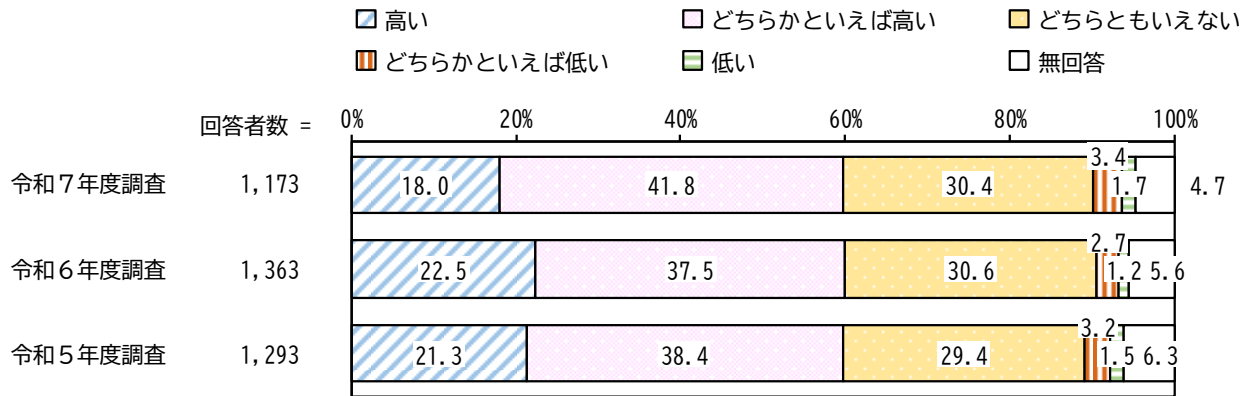
過去調査と比較すると、大きな変化はみられません。



4-2 生涯を通じた健康づくりの推進

【経年比較】

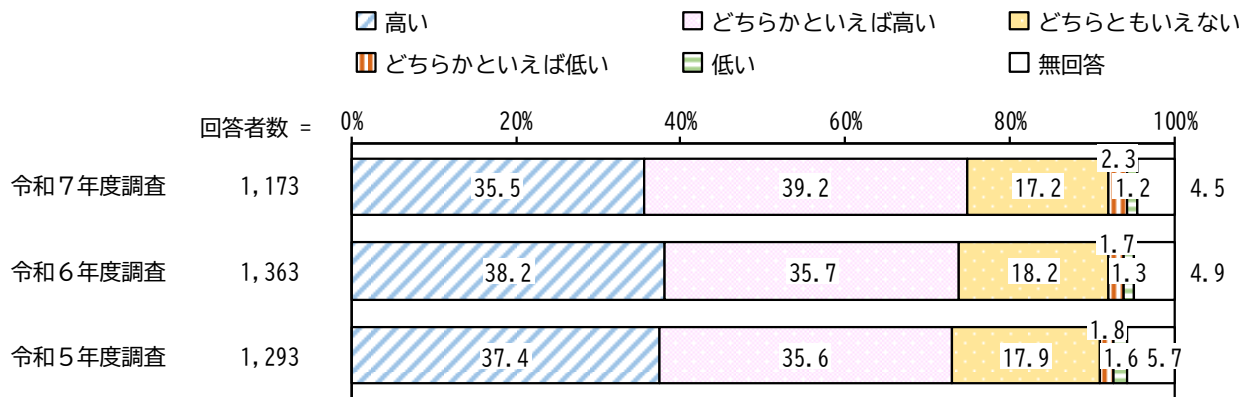
過去調査と比較すると、大きな変化はみられません。



4-3 地域医療体制の充実

【経年比較】

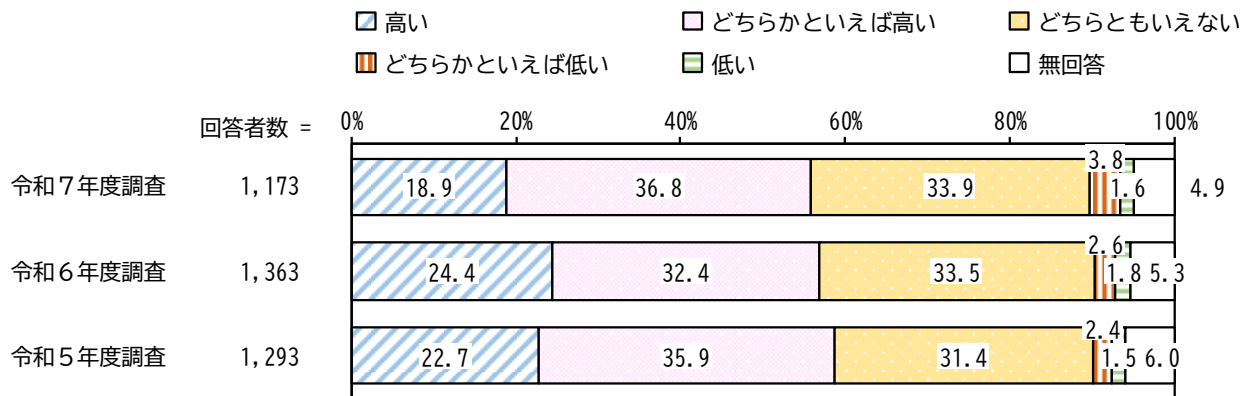
過去調査と比較すると、大きな変化はみられません。



4-4 心かよう地域福祉の充実

【経年比較】

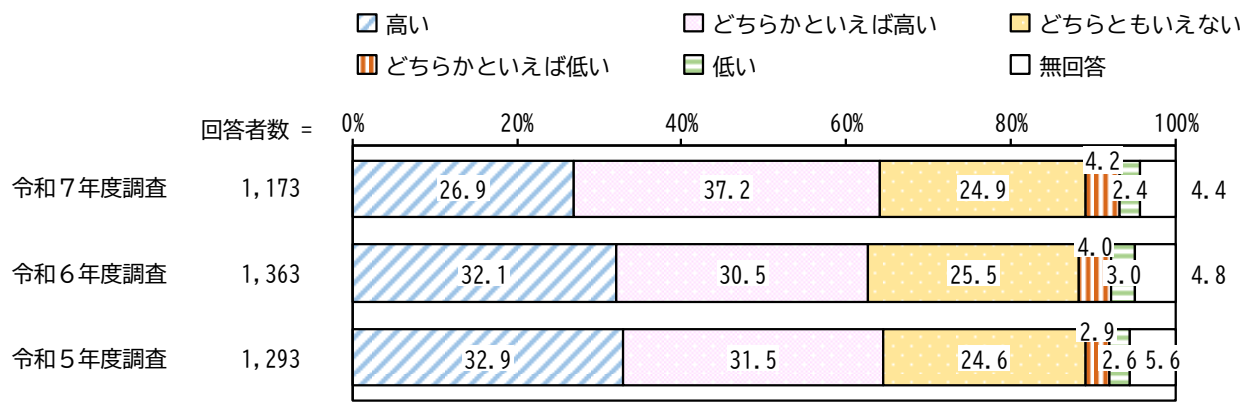
過去調査と比較すると、令和6年度調査から「高い」の割合が減少しています。



4－5 高齢者福祉の充実

【経年比較】

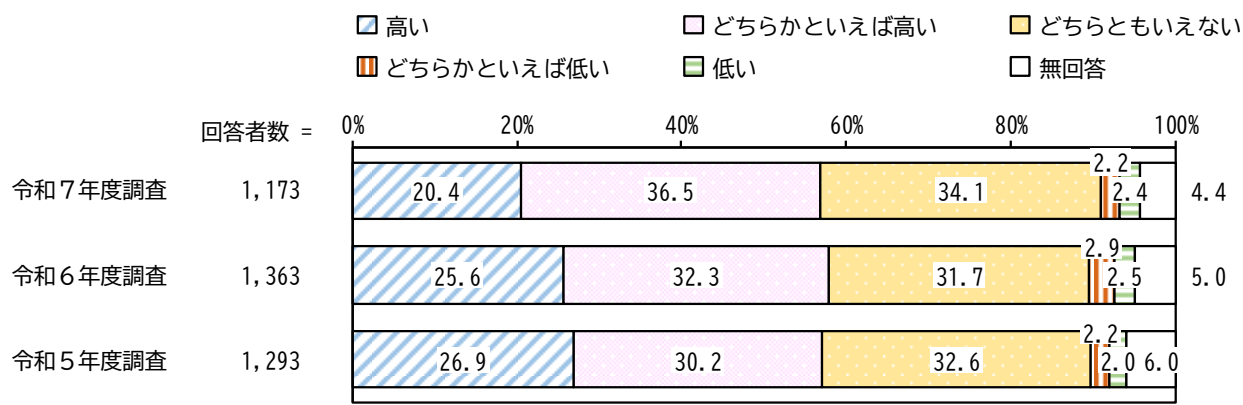
過去調査と比較すると、令和5年度調査から「どちらかといえば高い」の割合が増加傾向にあります。一方、「高い」の割合が減少しています。



4－6 障害者（児）福祉の充実

【経年比較】

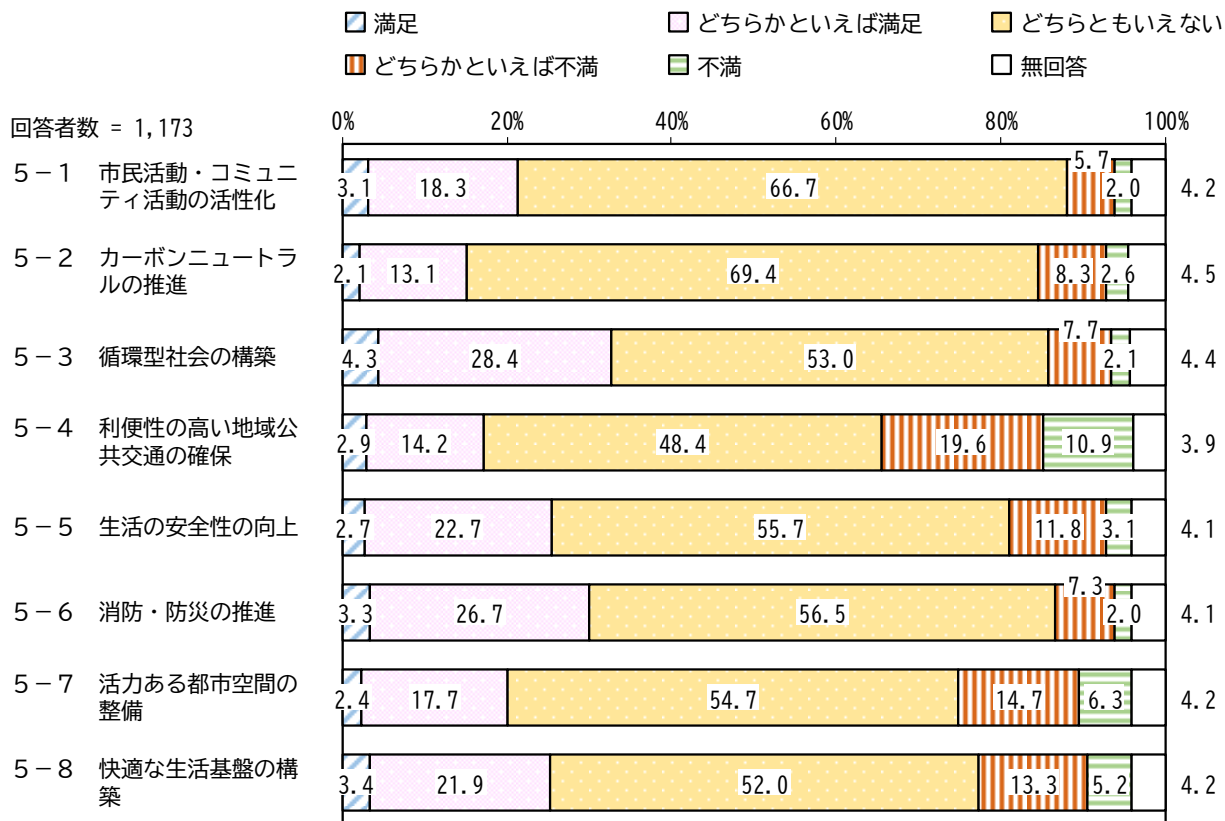
過去調査と比較すると、令和5年度調査から「どちらかといえば高い」の割合が増加しています。一方、「高い」の割合が減少しています。



5 安心・安全で快適に暮らせるまち

【現在の満足度】

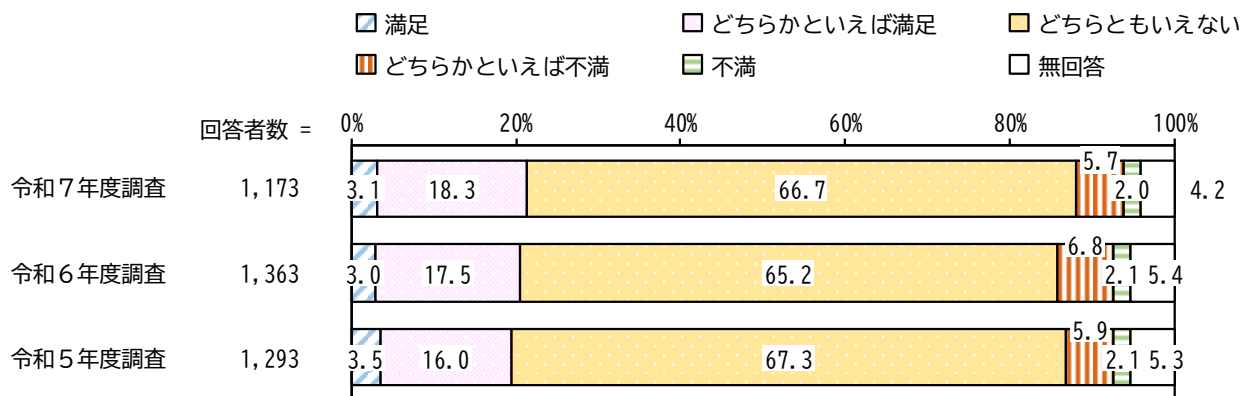
『5-3 循環型社会の構築』で「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせた“満足”が高くなっています。一方、『5-4 利便性の高い地域公共交通の確保』で「どちらかといえば不満」と「不満」を合わせた“不満”が高くなっています。



5-1 市民活動・コミュニティ活動の活性化

【経年比較】

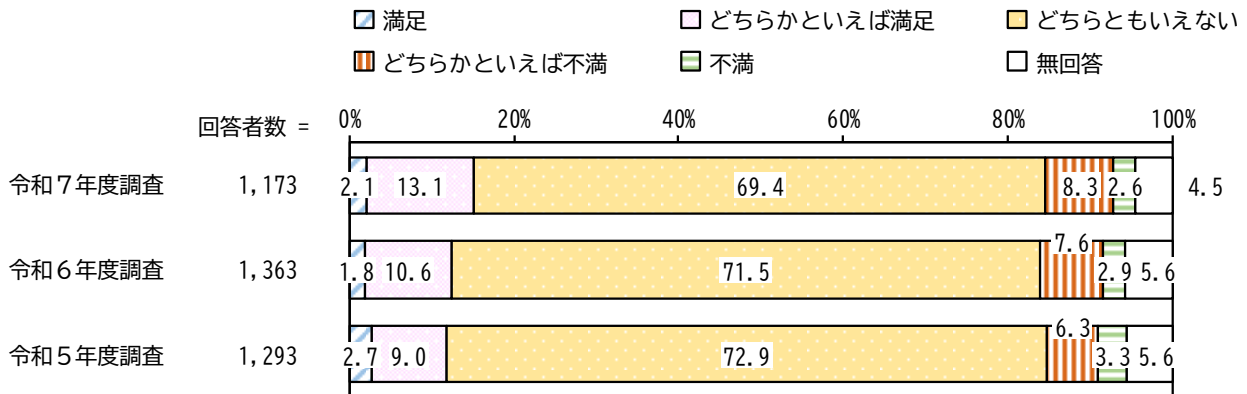
過去調査と比較すると、大きな変化はみられません。



5-2 カーボンニュートラルの推進

【経年比較】

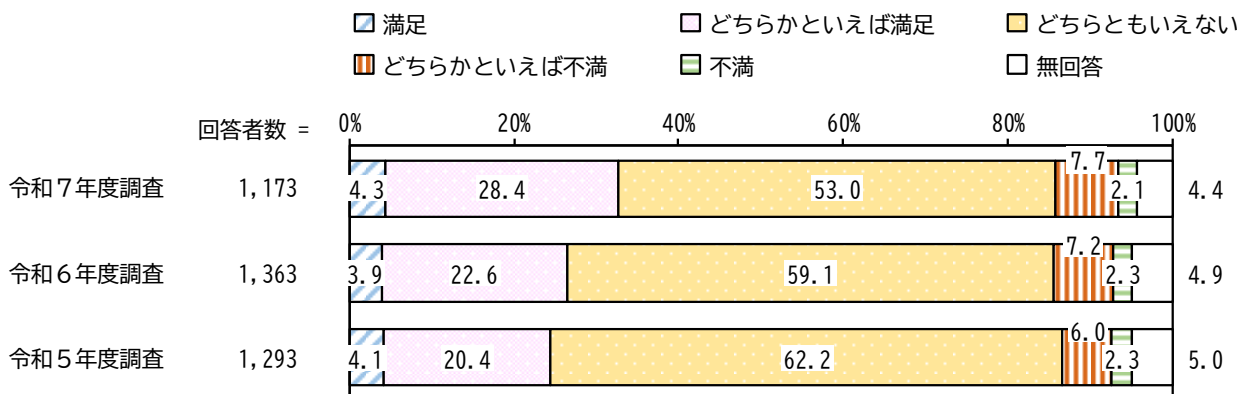
過去調査と比較すると、令和5年度調査から「どちらかといえば満足」の割合が増加しています。



5-3 循環型社会の構築

【経年比較】

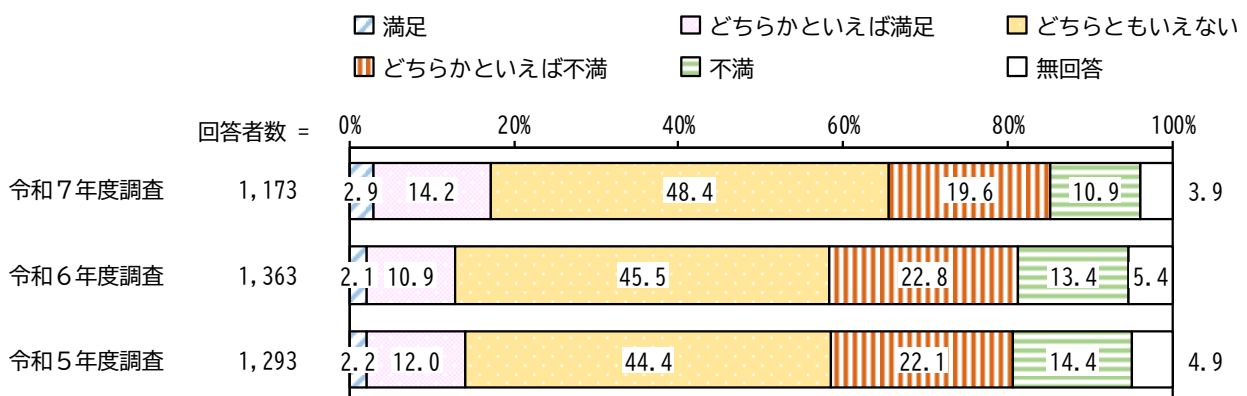
過去調査と比較すると、令和5年度調査から“満足”の割合が増加しています。



5-4 利便性の高い地域公共交通の確保

【経年比較】

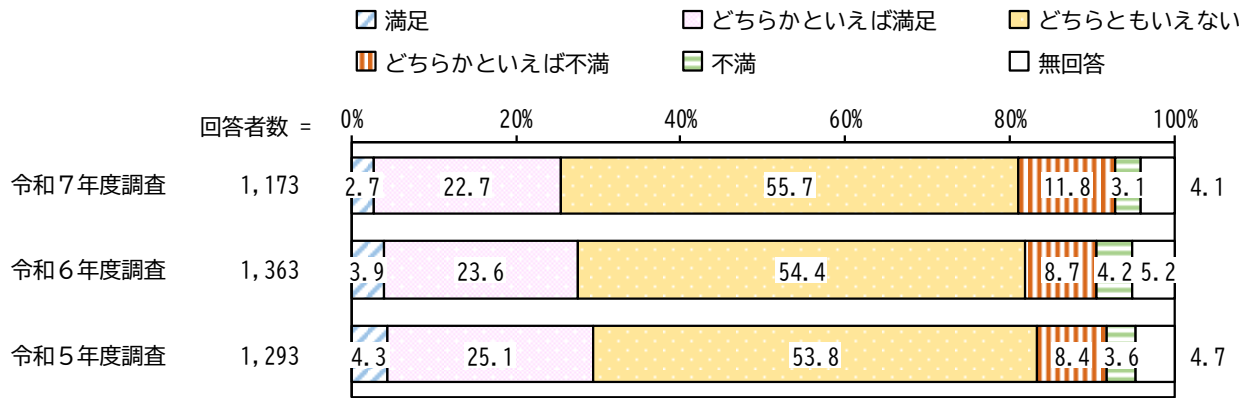
過去調査と比較すると、令和5年度調査から“不満”の割合が減少しています。



5-5 生活の安全性の向上

【経年比較】

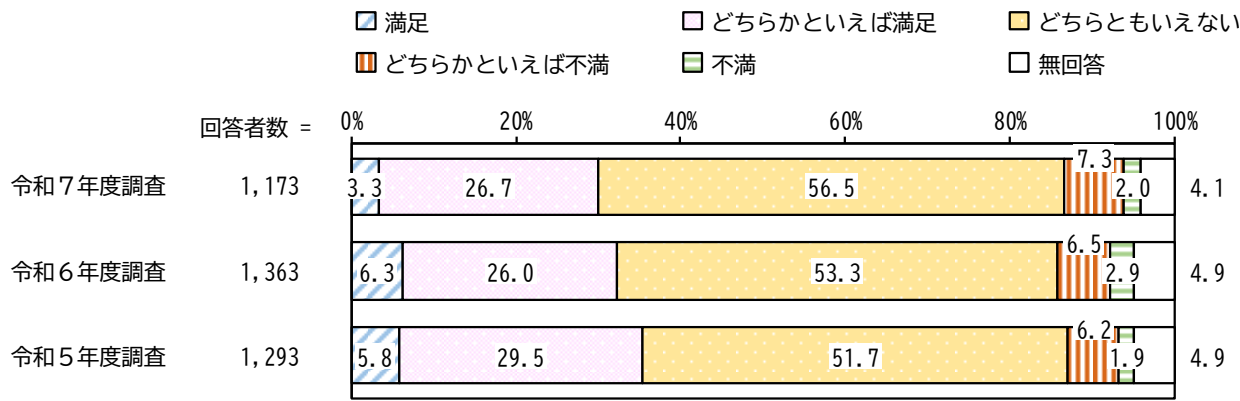
過去調査と比較すると、令和5年度調査から“満足”の割合が減少しています。



5-6 消防・防災の推進

【経年比較】

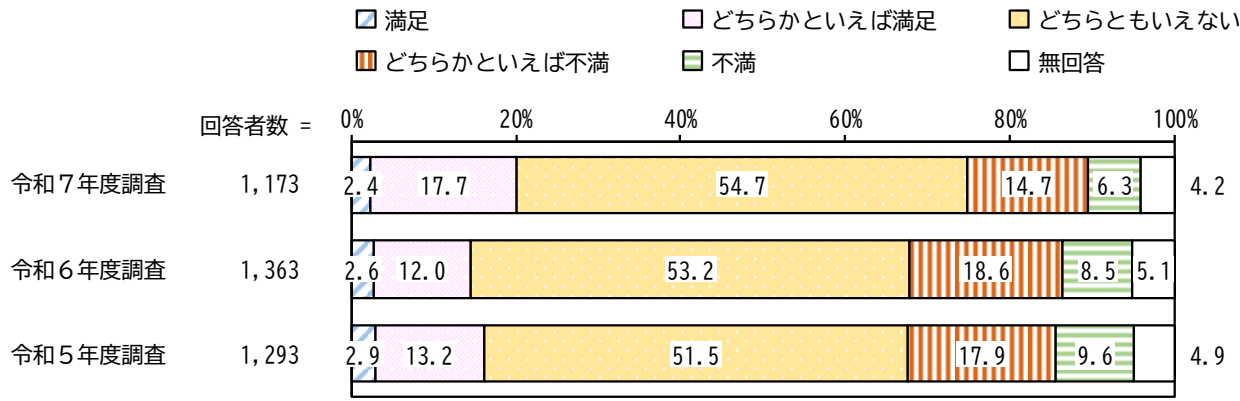
過去調査と比較すると、令和5年度調査から“満足”の割合が減少しています。



5-7 活力ある都市空間の整備

【経年比較】

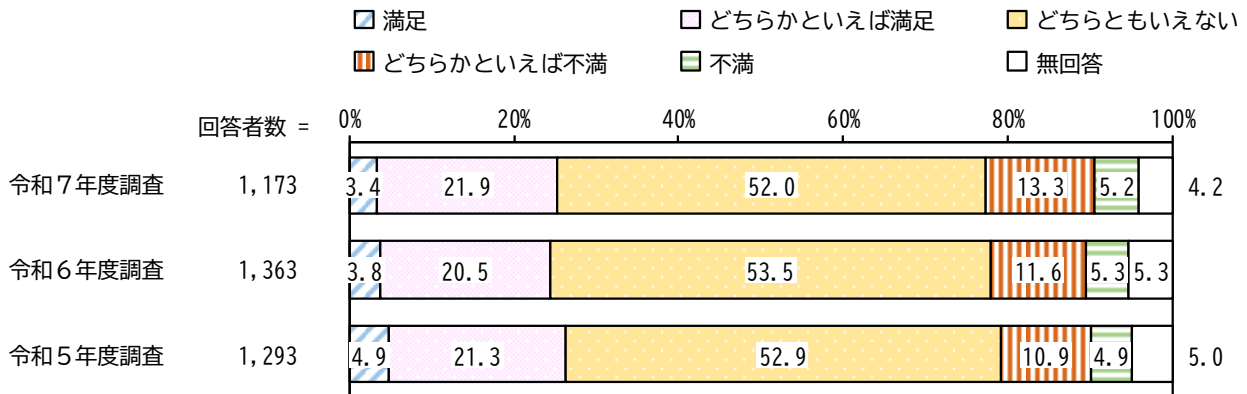
過去調査と比較すると、令和5年度調査から“不満”の割合が減少しています。



5-8 快適な生活基盤の構築

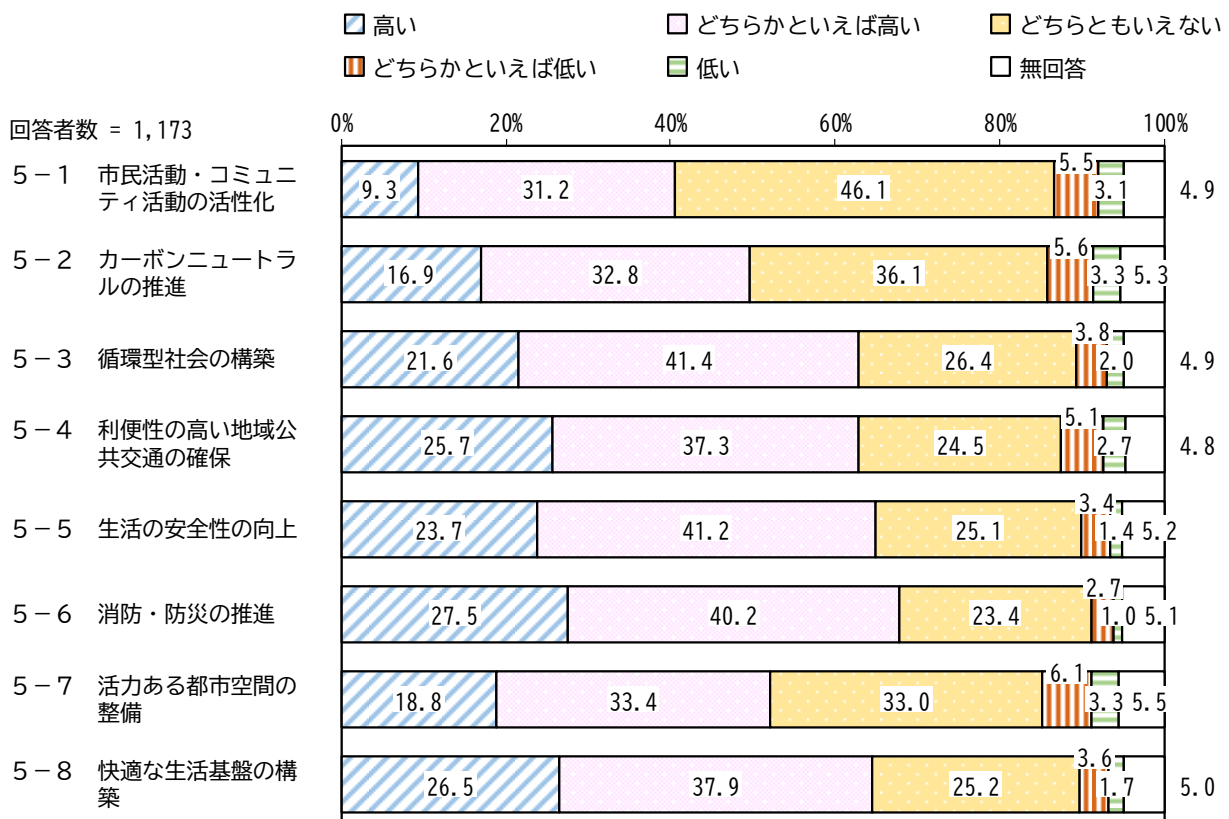
【経年比較】

過去調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【今後の重要度】

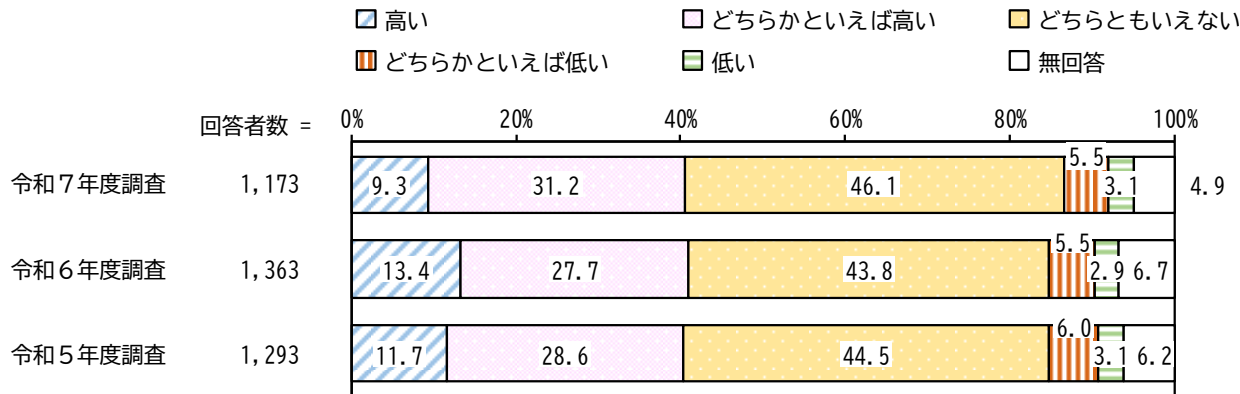
『5-6 消防・防災の推進』で「高い」と「どちらかといえば高い」を合わせた“高い”が高くなっています。一方、『5-7 活力ある都市空間の整備』で「どちらかといえば低い」と「低い」を合わせた“低い”が高くなっています。



5-1 市民活動・コミュニティ活動の活性化

【経年比較】

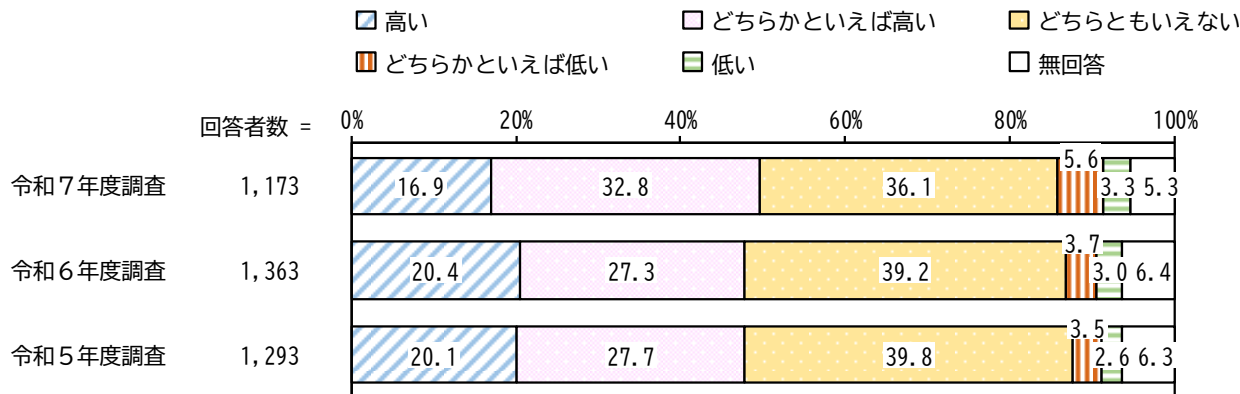
過去調査と比較すると、大きな変化はみられません。



5-2 カーボンニュートラルの推進

【経年比較】

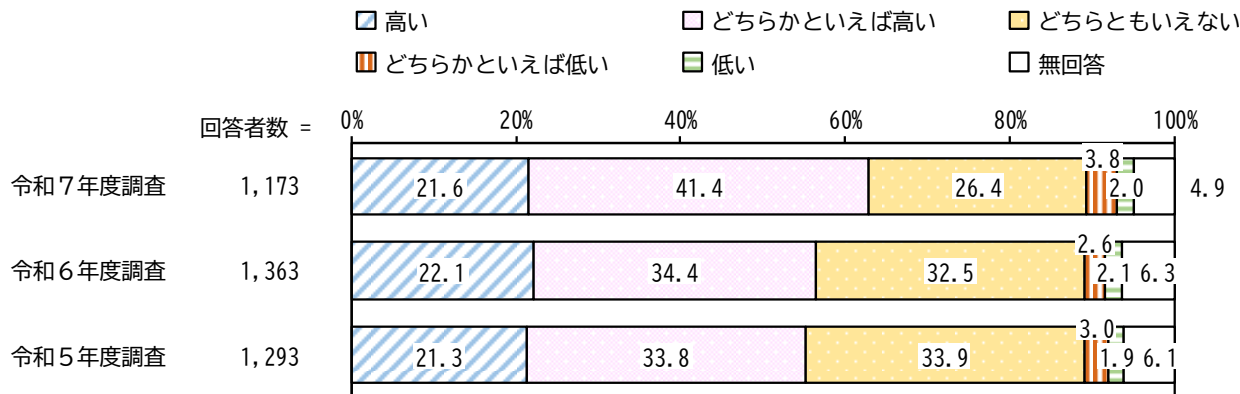
過去調査と比較すると、令和5年度調査から「どちらかといえば高い」の割合が増加傾向にあります。



5-3 循環型社会の構築

【経年比較】

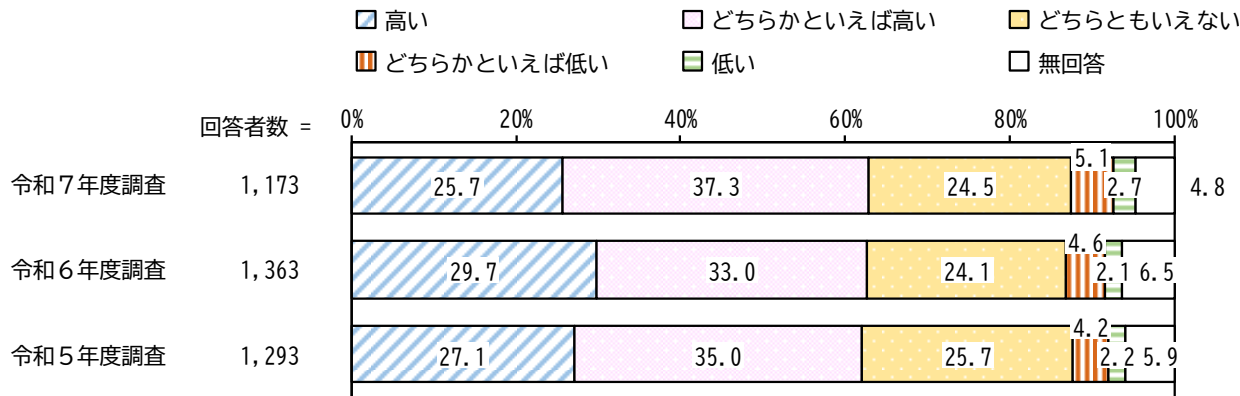
過去調査と比較すると、令和5年度調査から“高い”の割合が増加しています。



5－4 利便性の高い地域公共交通の確保

【経年比較】

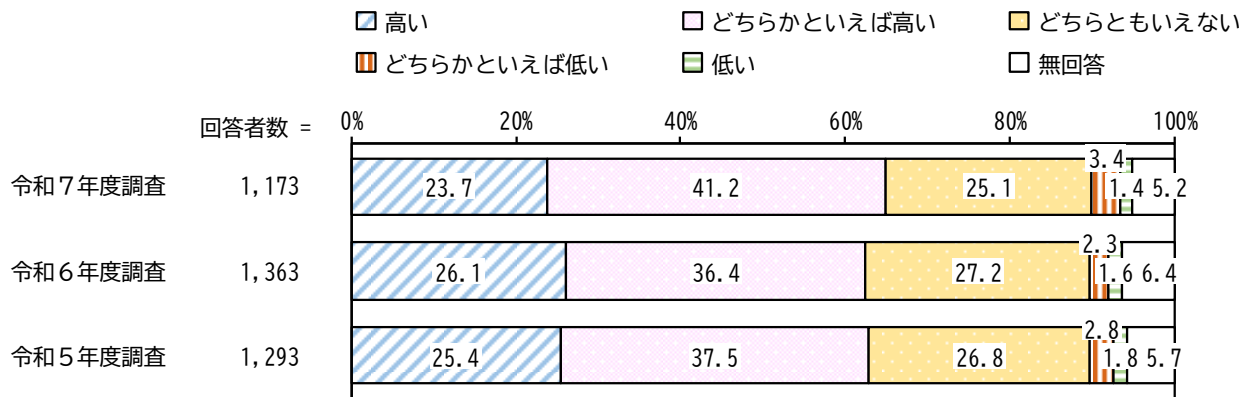
過去調査と比較すると、大きな変化はみられません。



5－5 生活の安全性の向上

【経年比較】

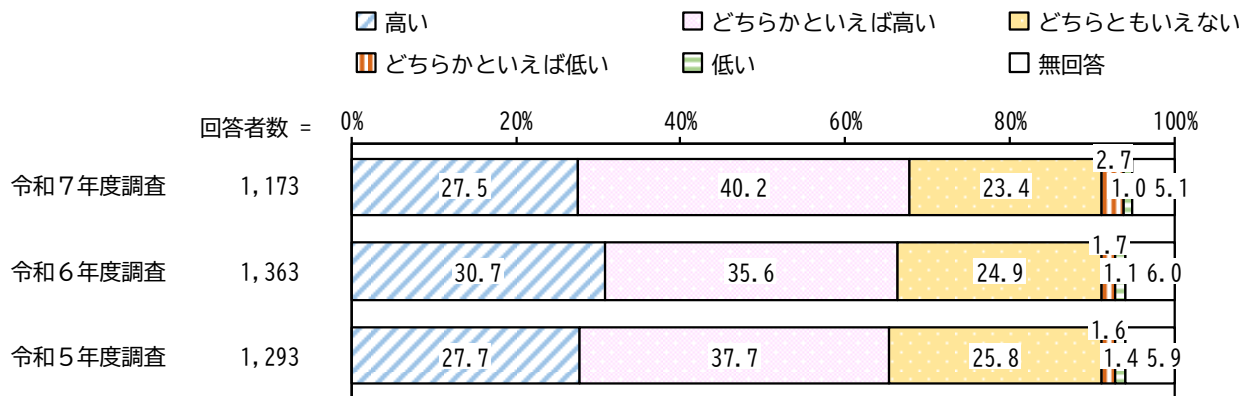
過去調査と比較すると、大きな変化はみられません。



5－6 消防・防災の推進

【経年比較】

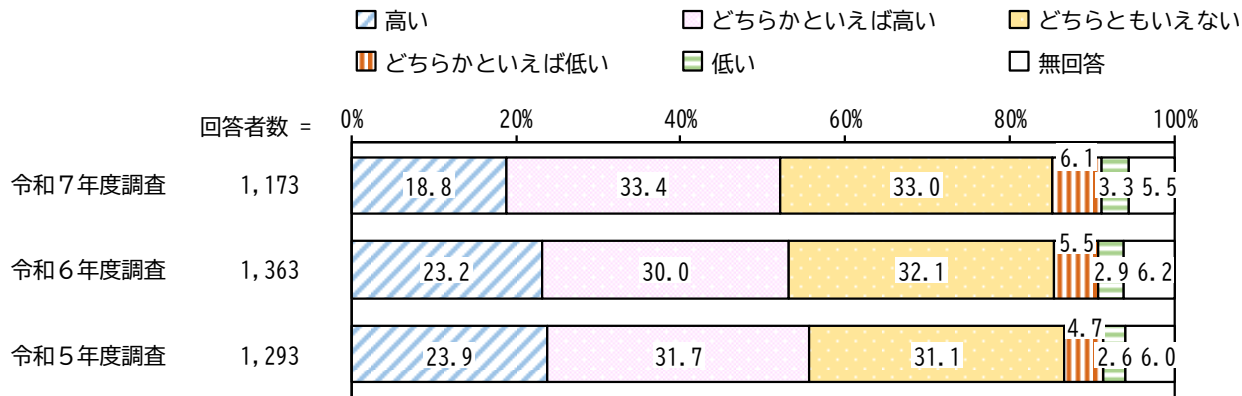
過去調査と比較すると、大きな変化はみられません。



5－7 活力ある都市空間の整備

【経年比較】

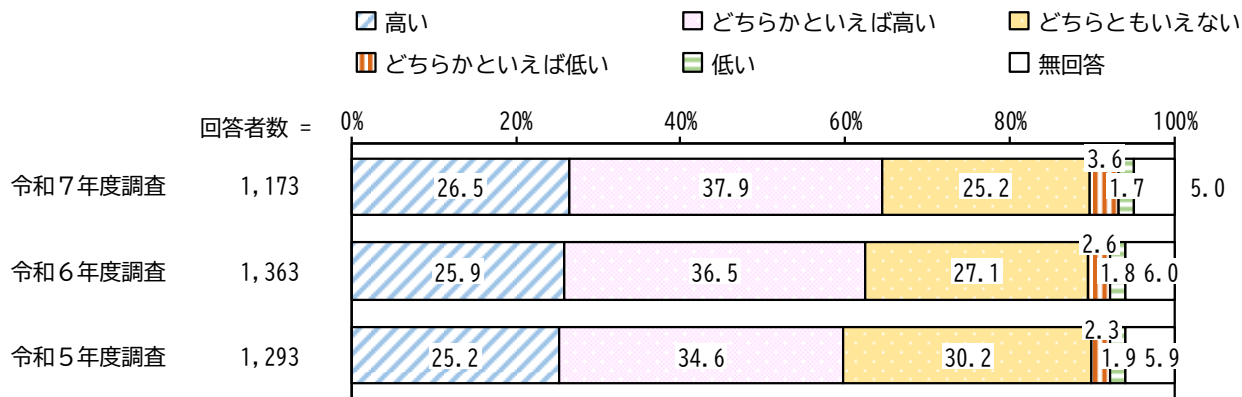
過去調査と比較すると、令和5年度調査から「高い」の割合が減少しています。



5－8 快適な生活基盤の構築

【経年比較】

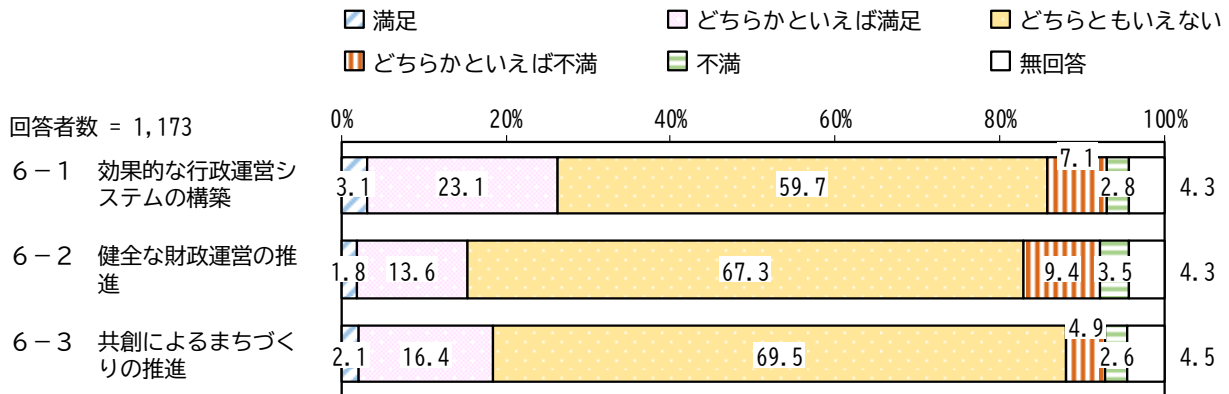
過去調査と比較すると、令和5年度調査から“高い”の割合が増加しています。



6 まちづくりの推進に向けて

【現在の満足度】

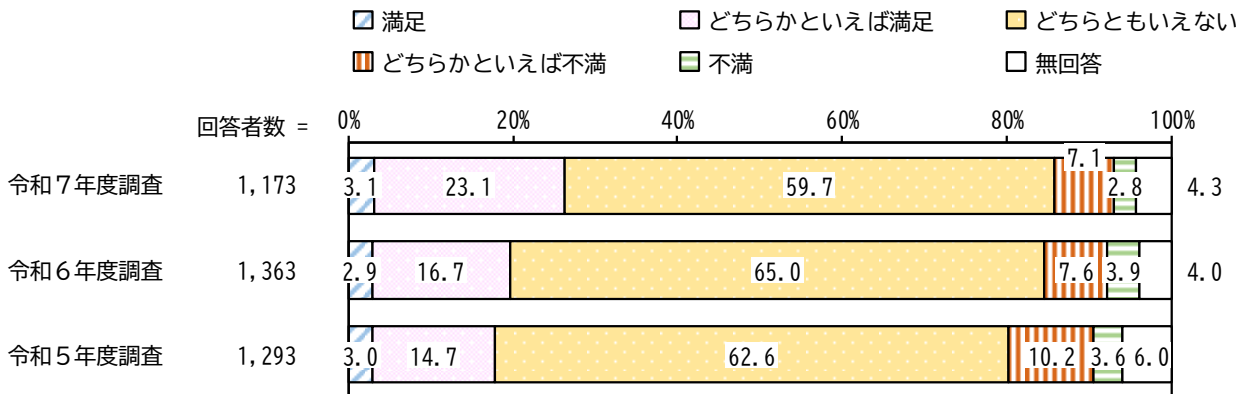
『6-1 効果的な行政運営システムの構築』で「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせた“満足”が高くなっています。一方、『6-2 健全な財政運営の推進』で「どちらかといえば不満」と「不満」を合わせた“不満”が高くなっています。



6-1 効果的な行政運営システムの構築

【経年比較】

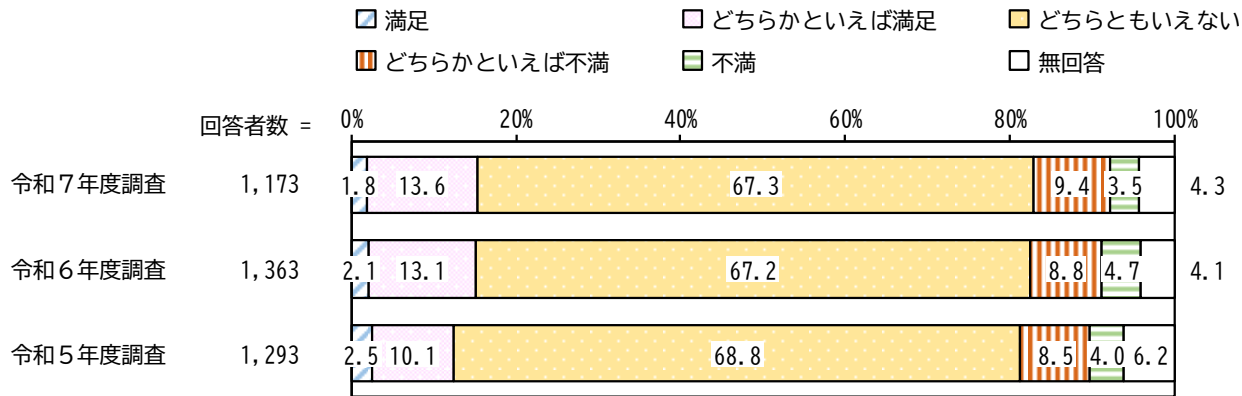
過去調査と比較すると、令和5年度調査から“満足”の割合が増加しています。



6－2 健全な財政運営の推進

【経年比較】

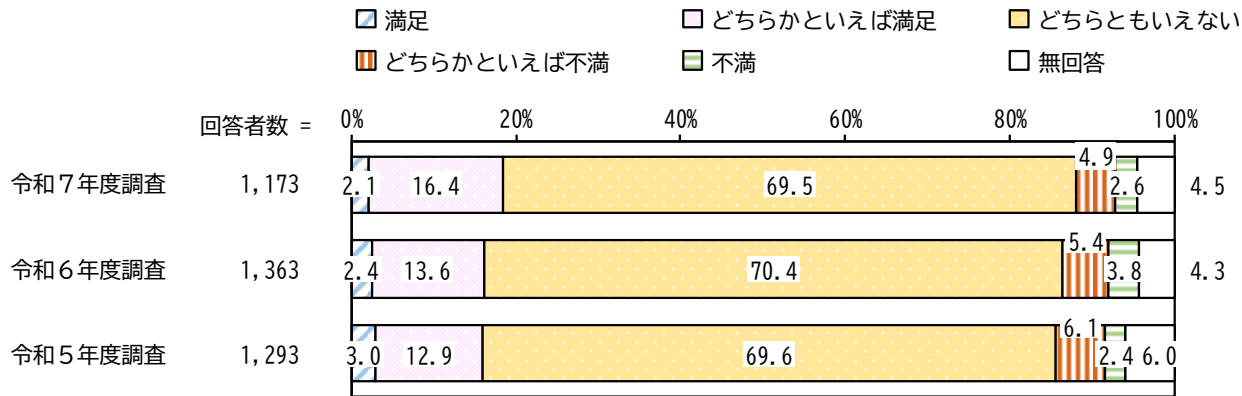
過去調査と比較すると、大きな変化はみられません。



6－3 共創によるまちづくりの推進

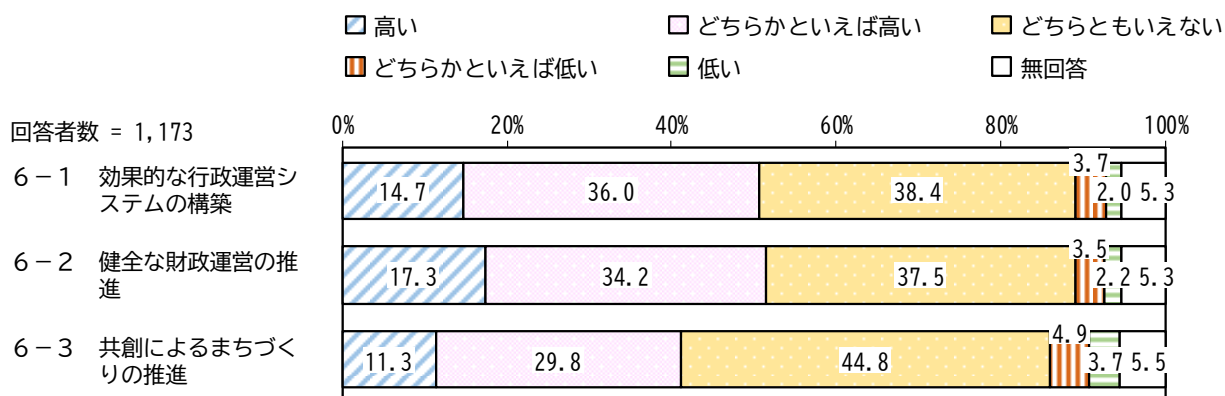
【経年比較】

過去調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【今後の重要度】

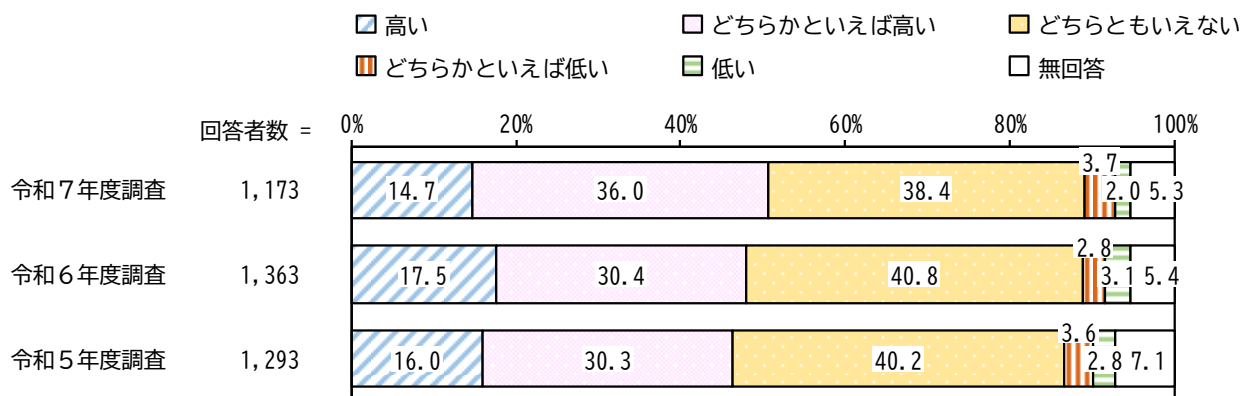
『6-2 健全な財政運営の推進』で「高い」と「どちらかといえば高い」を合わせた“高い”が高くなっています。一方、『6-3 共創によるまちづくりの推進』で「どちらかといえば低い」と「低い」を合わせた“低い”が高くなっています。



6-1 効果的な行政運営システムの構築

【経年比較】

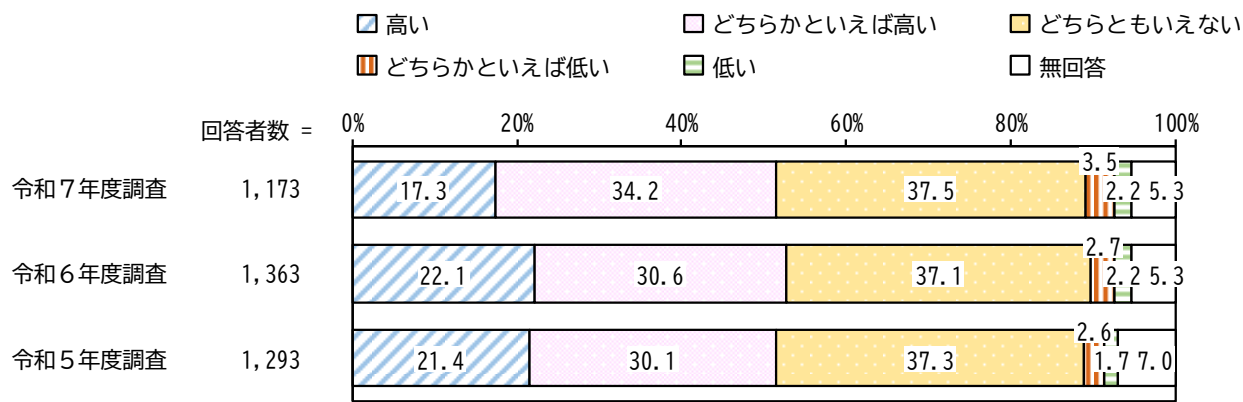
過去調査と比較すると、令和5年度調査から“高い”の割合が増加しています。



6-2 健全な財政運営の推進

【経年比較】

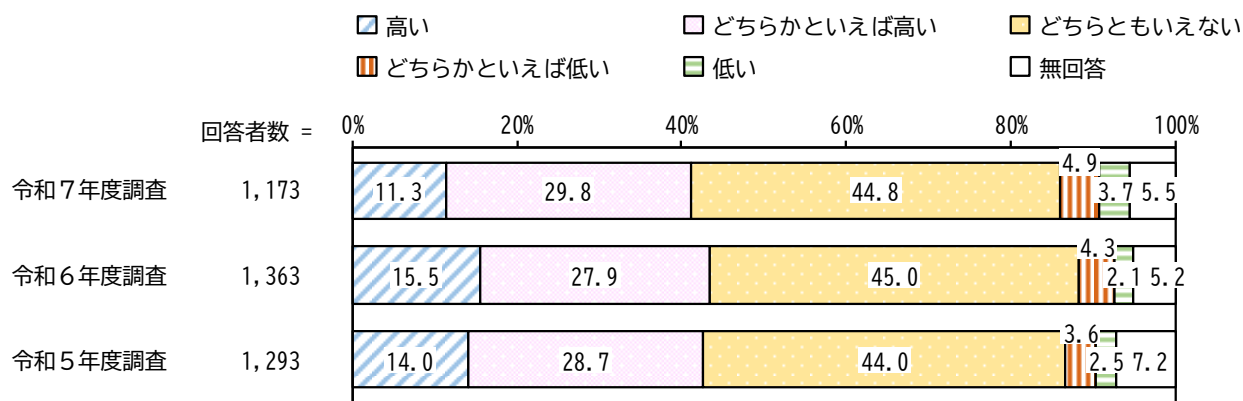
過去調査と比較すると、令和5年度調査から「どちらかといえば高い」の割合が増加しています。一方、「高い」の割合が減少傾向にあります。



6-3 共創によるまちづくりの推進

【経年比較】

過去調査と比較すると、大きな変化はみられません。



(2) ライフステージ別の満足度

市政に関する関心や満足の度合いは、その市民の置かれているライフステージ（年齢や家族構成、同居家族の有無などによって定義される人生の段階）によって異なるものと考えられます。

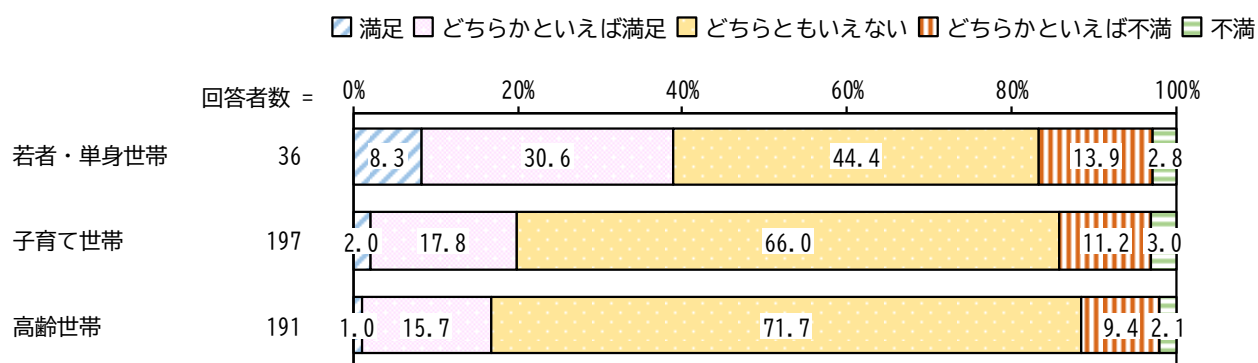
本調査では「年齢」、「家族構成」、「同居家族」の3つの属性に関する回答から、人生における様々なライフステージにおいて、下記の3パターンに絞って分析を行うことにより、ライフステージによって異なる市民の施策満足度の傾向を明らかにします。

ライフステージ (世帯構成のパターン)	本調査での定義		
	年齢	家族構成	同居家族
パターンⅠ 若者・単身世帯	10 歳代～20 歳代	単身	—
パターンⅡ 子育て世帯	10 歳代～40 歳代	2 世代世帯（親子）、 3 世代世帯（親・子・孫）	就学前の乳幼児、 小学生、中学生
パターンⅢ 高齢世帯	70 歳以上	単身、 1 世代世帯（夫婦のみ）	—

1 活気に満ちた強い産業のまち

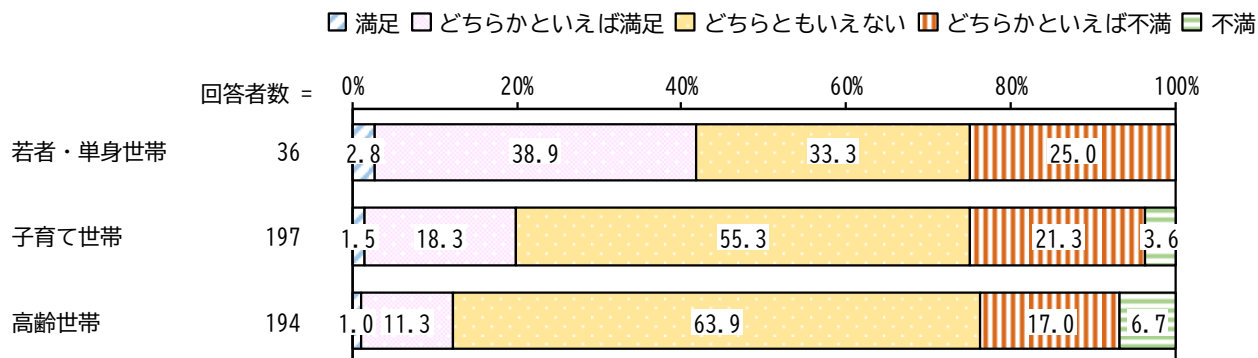
1-1 未来を支える成長産業の創出

若者・単身世帯で「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせた“満足”の割合が38.9%と、他のライフステージに比べて高くなっていますが、ライフステージの進行に伴って、“満足”の割合が低くなる傾向がみられます。



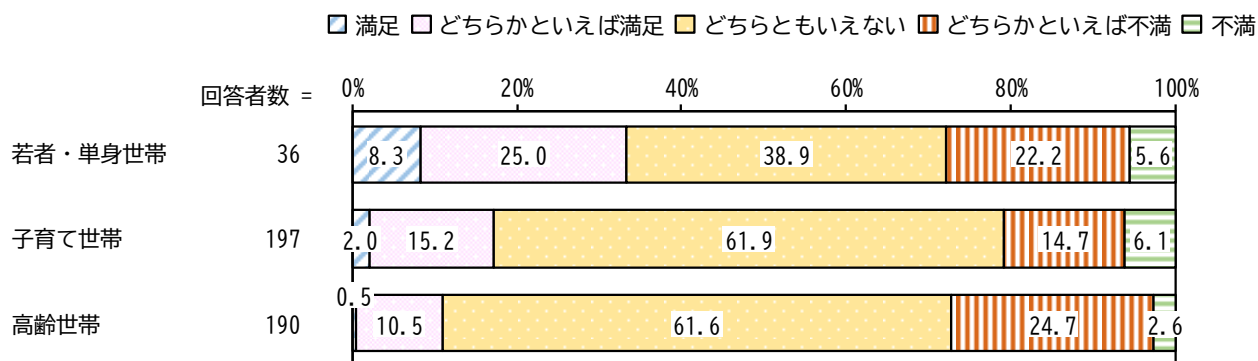
1-2 地域を支える商工業の振興

若者・単身世帯で“満足”の割合が41.7%となっていますが、ライフステージの進行に伴って、“満足”の割合が低くなる傾向がみられます。



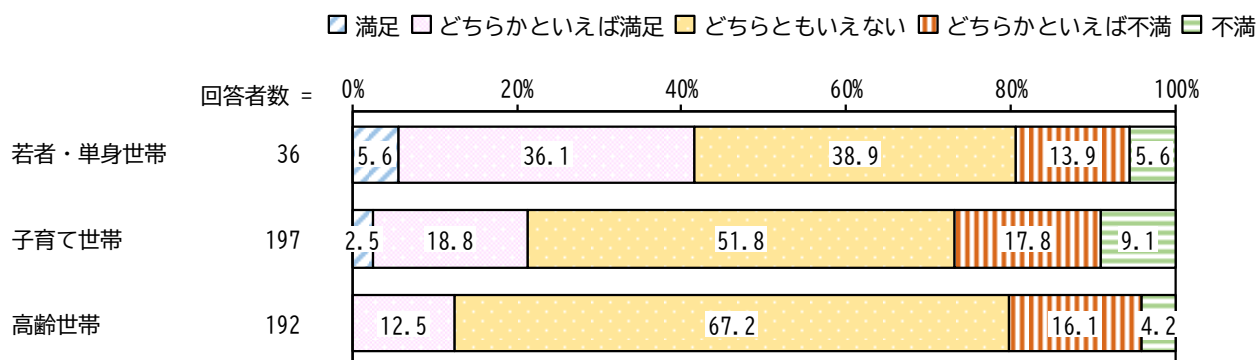
1-3 強くて稼げる農林水産業の振興

若者・単身世帯で“満足”の割合が33.3%となっていますが、ライフステージの進行に伴って、“満足”の割合が低くなる傾向がみられます。



1-4 安定した雇用の創出と産業人材の育成

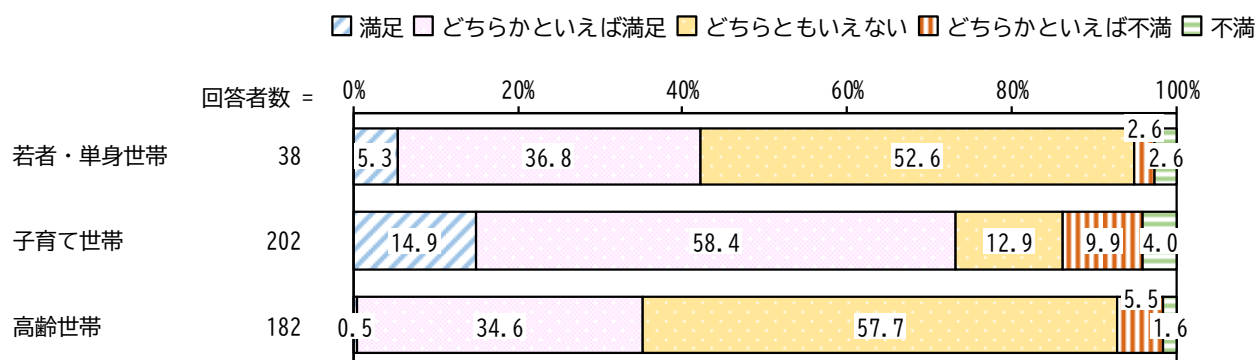
若者・単身世帯で“満足”の割合が41.7%となっていますが、ライフステージの進行に伴って、“満足”の割合が低くなる傾向がみられます。



2 未来を拓くひとを育むまち

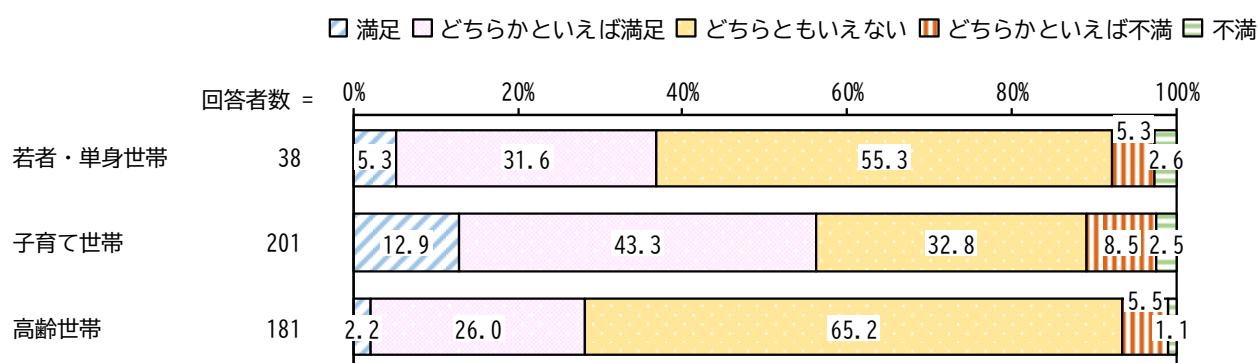
2-1 子どもを生み育てやすい環境の充実

子育て世帯で“満足”の割合が7割を超えています、一方で「どちらかといえば不満」と「不満」を合わせた“不満”の割合が13.9%と、他のライフステージに比べて高くなっています。



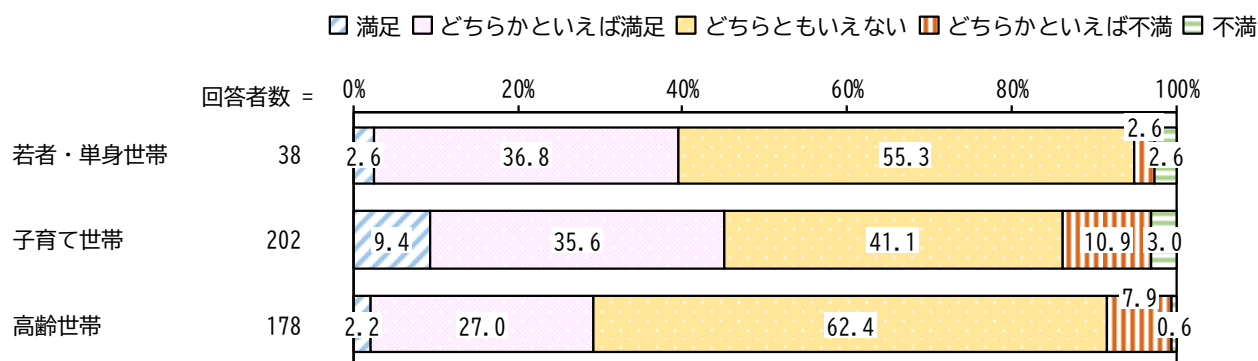
2-2 子どもが健やかに育つ環境の整備

子育て世帯で“満足”の割合が56.2%となっている一方で、“不満”の割合も11.0%と、他のライフステージに比べて高くなっています。



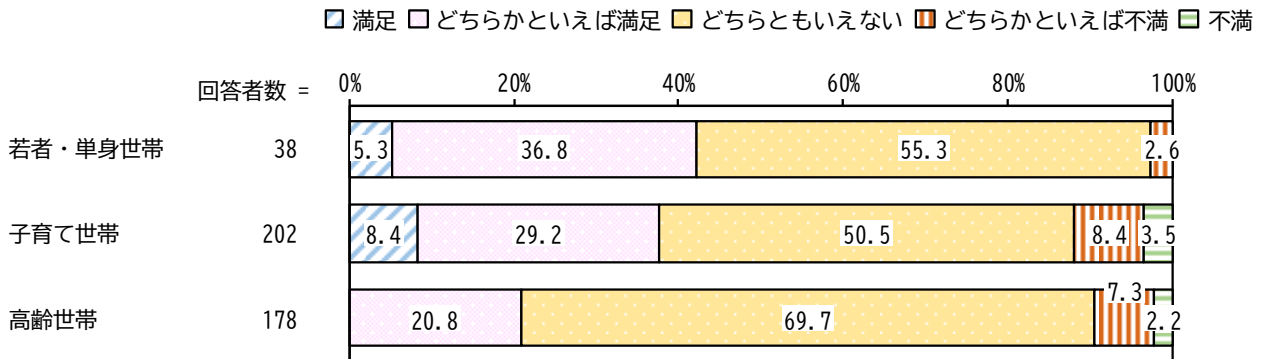
2-3 子どもの学びの充実と学力の向上

子育て世帯で“満足”の割合が4割を超えている一方で、“不満”の割合が13.9%と、他のライフステージに比べて高くなっています。



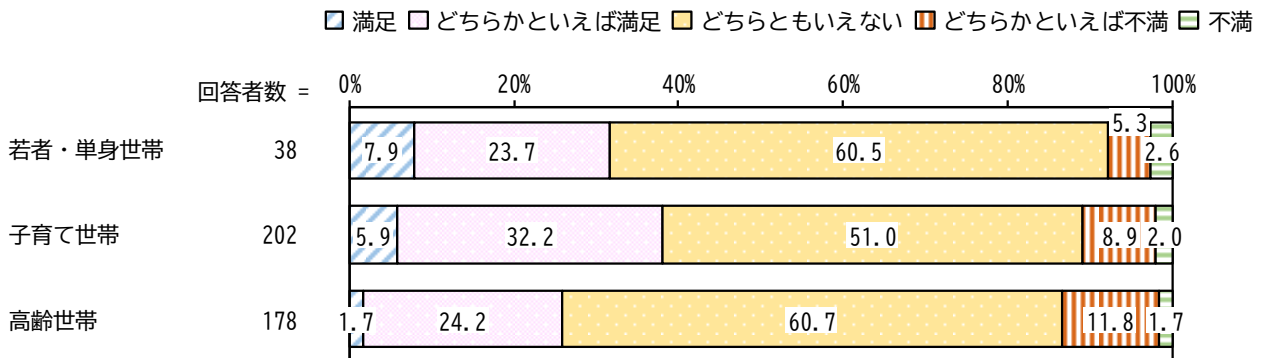
2-4 一人ひとりを大切にする教育の推進

若者・単身世帯で“満足”の割合が42.1%と、他のライフステージに比べて高くなっていますが、ライフステージの進行に伴って、“満足”の割合が低くなる傾向がみられます。



2-5 いつでも いつまでも学べる環境の充実

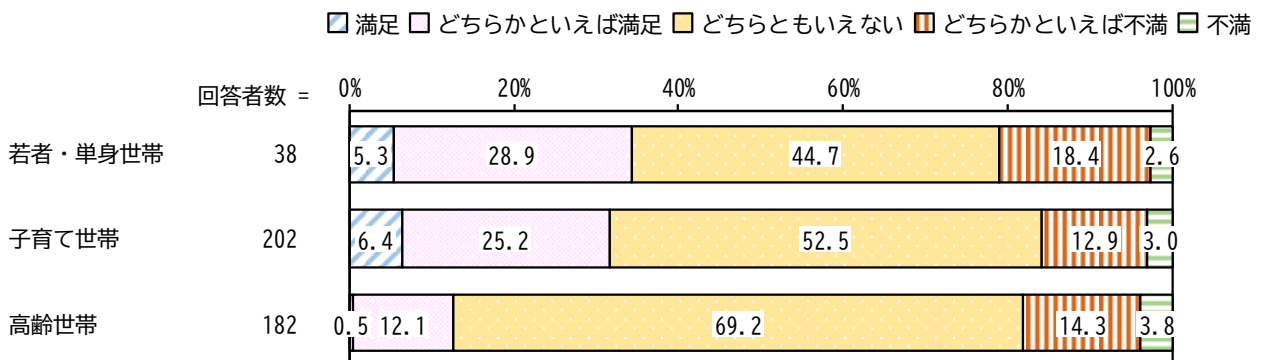
子育て世帯で“満足”の割合が38.1%と、他のライフステージに比べて高くなっています。また、“不満”の割合はライフステージの進行に伴って、高くなる傾向がみられます。



3 魅力と賑わいにあふれるまち

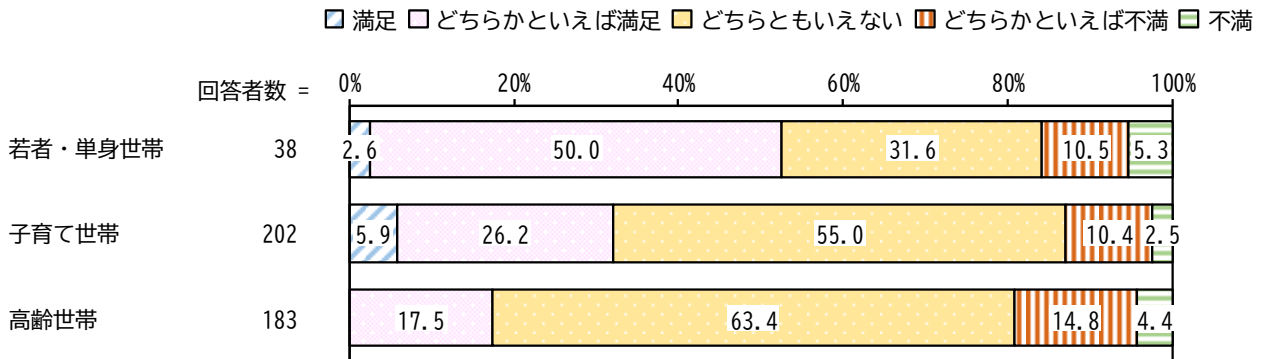
3-1 宇部の魅力を高めるシティプロモーションの推進

若者・単身世帯と子育て世帯の3割超が“満足”と回答していますが、ライフステージの進行に伴って、“満足”の割合が低くなる傾向がみられます。



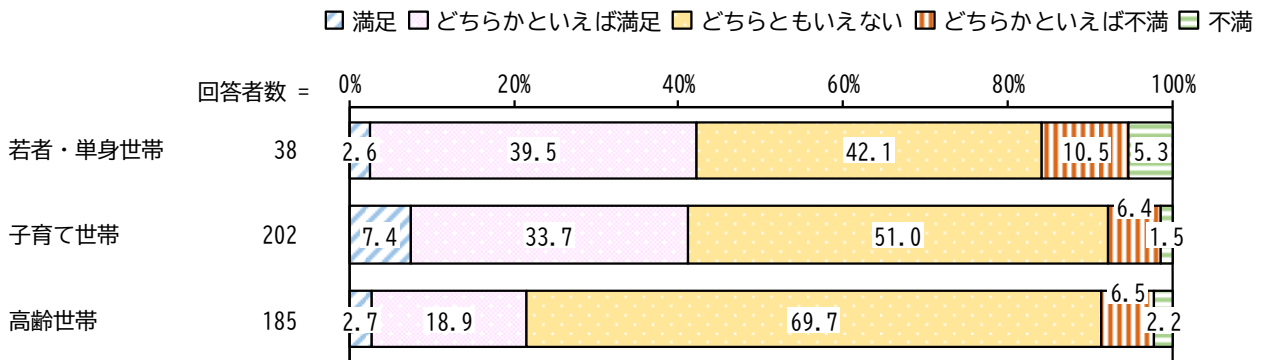
3-2 地域の魅力を活かした観光振興・MICE誘致の推進

若者・単身世帯で“満足”の割合が52.6%となっていますが、ライフステージの進行に伴って、“満足”の割合が低くなる傾向がみられます。



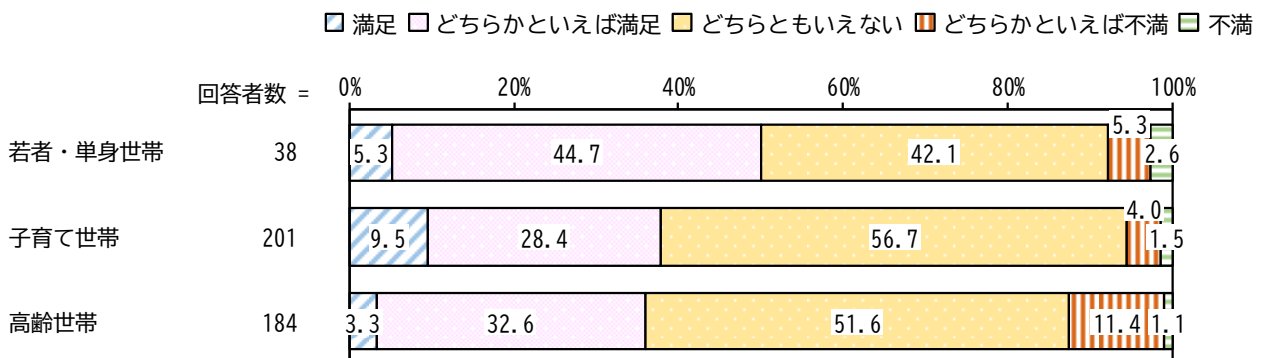
3-3 「する」「みる」「ささえる」スポーツの振興

若者・単身世帯と子育て世帯の4割超が“満足”と回答していますが、ライフステージの進行に伴って、“満足”の割合が低くなる傾向がみられます。



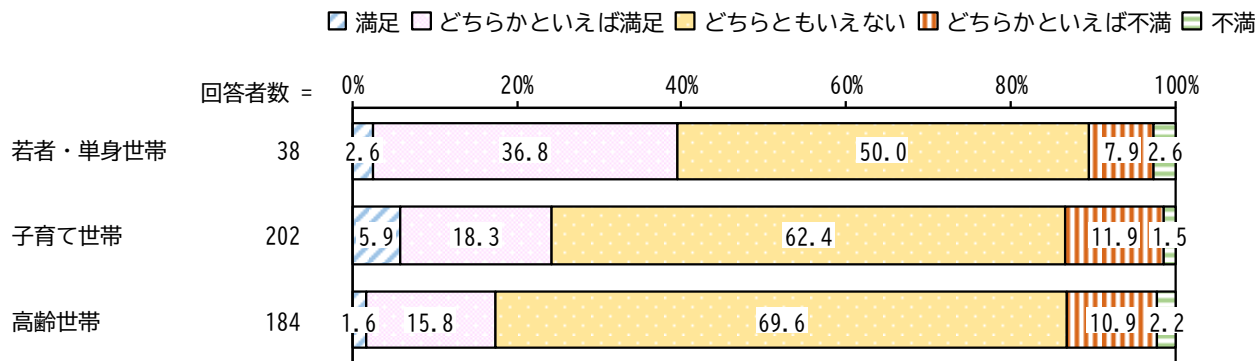
3-4 人と地域がきらめく文化の振興

若者・単身世帯で“満足”の割合が高く、50.0%となっている一方で、高齢世帯では“不満”の割合が12.5%と高くなっています。



3-5 移住・定住の推進

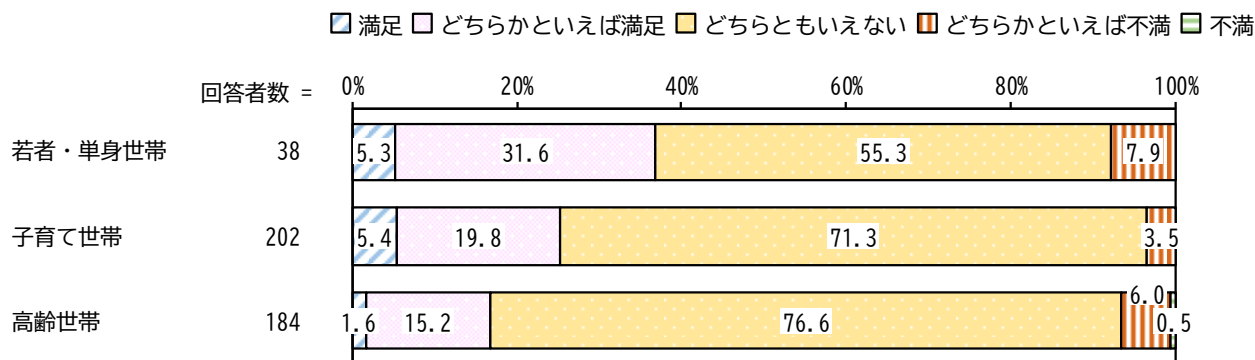
若者・単身世帯で“満足”の割合が39.4%となっていますが、ライフステージの進行に伴って、“満足”の割合が低くなる傾向がみられます。



4 誰もが健康で自分らしく暮らせるまち

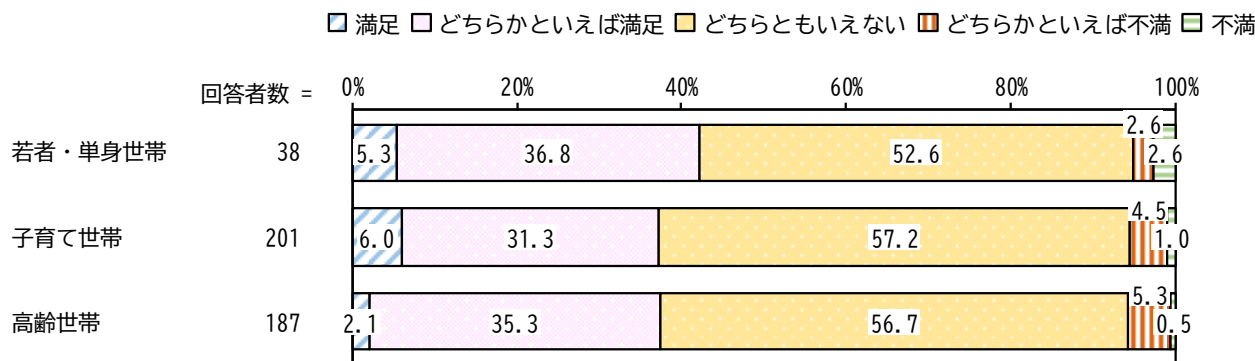
4-1 多様性を尊重する社会の構築

若者・単身世帯で“満足”の割合が36.9%となっていますが、ライフステージの進行に伴って、“満足”の割合が低くなる傾向がみられます。



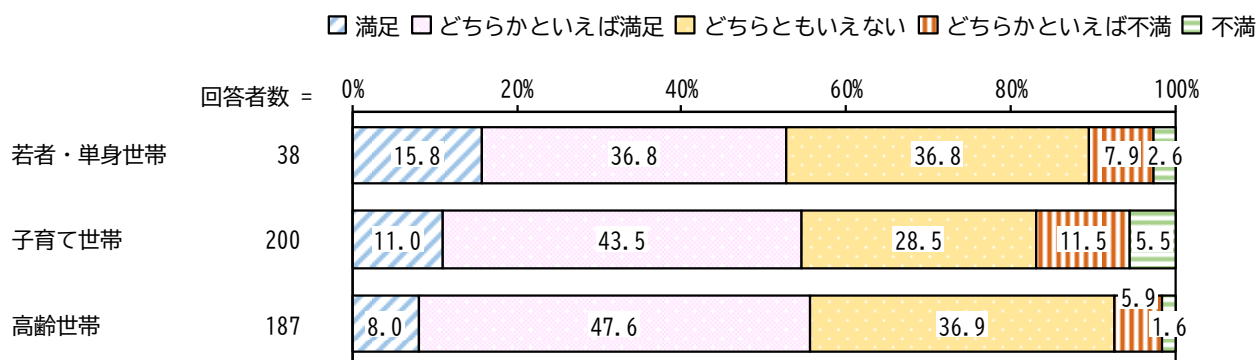
4-2 生涯を通じた健康づくりの推進

若者・単身世帯で“満足”の割合が42.1%となっていますが、ライフステージの進行に伴って、“満足”の割合が低くなる傾向がみられます。



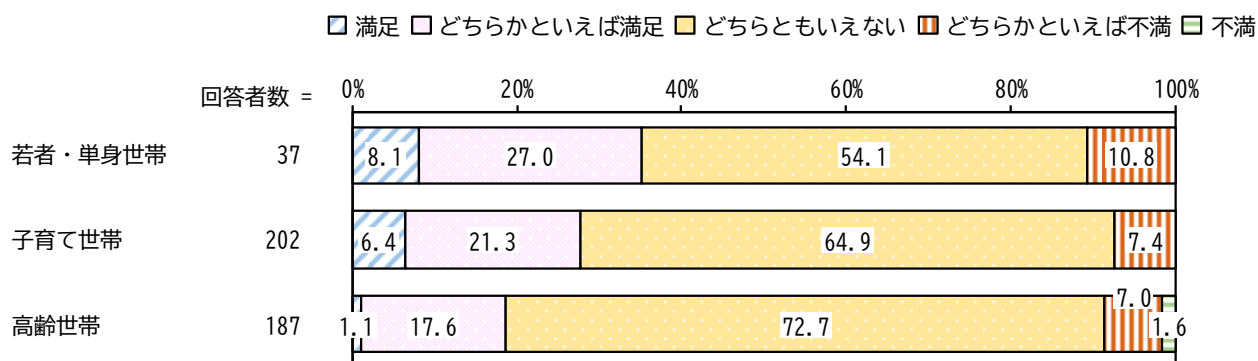
4-3 地域医療体制の充実

高齢世帯で“満足”の割合が55.6%と、他のライフステージに比べて高い一方で、子育て世帯では“不満”の割合が17.0%と高くなっています。



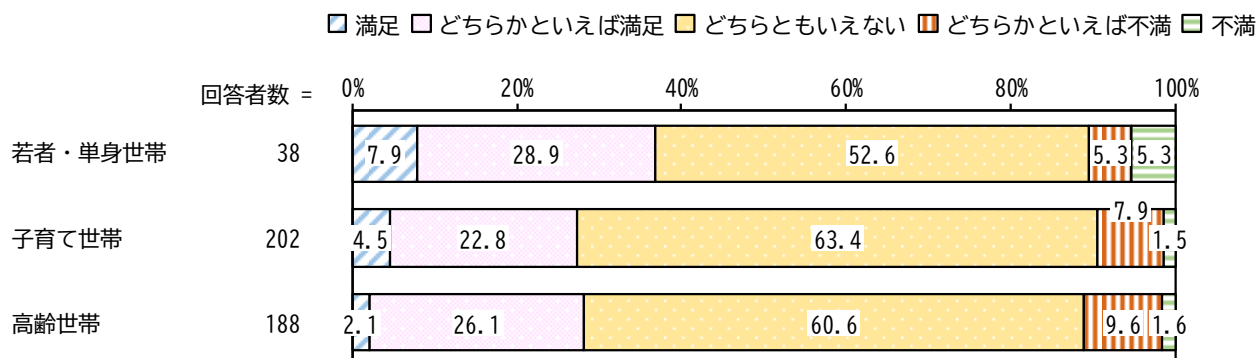
4-4 心かよう地域福祉の充実

若者・単身世帯で“満足”の割合が35.1%となっていますが、ライフステージの進行に伴って、“満足”の割合が低くなる傾向がみられます。



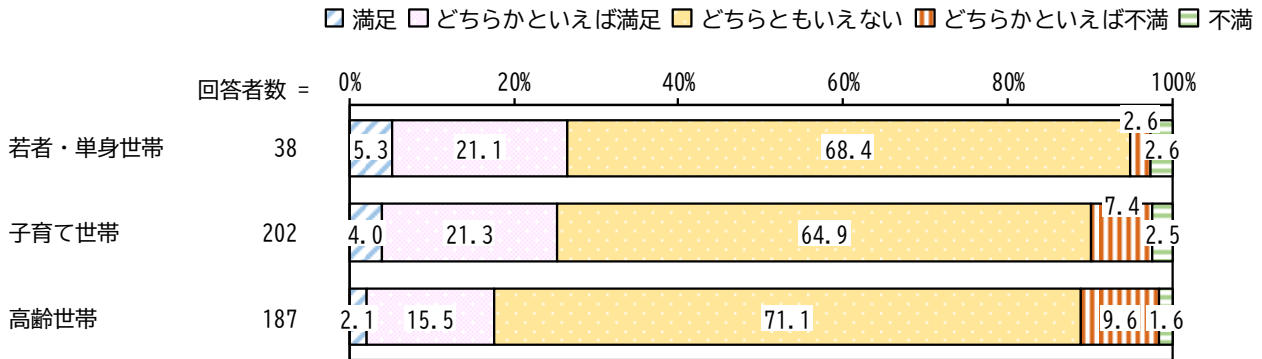
4-5 高齢者福祉の充実

若者・単身世帯で“満足”の割合が36.8%となっていますが、ライフステージの進行に伴って、“満足”の割合が低くなる傾向がみられます。



4-6 障害者（児）福祉の充実

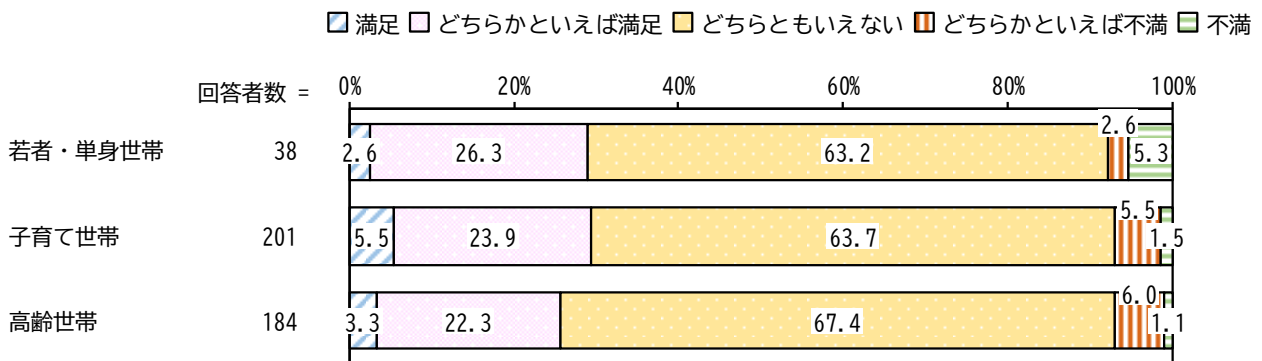
若者・単身世帯と子育て世帯の2割超が“満足”と回答していますが、ライフステージの進行に伴って、“満足”の割合が低くなる傾向がみられます。



5 安心・安全で快適に暮らせるまち

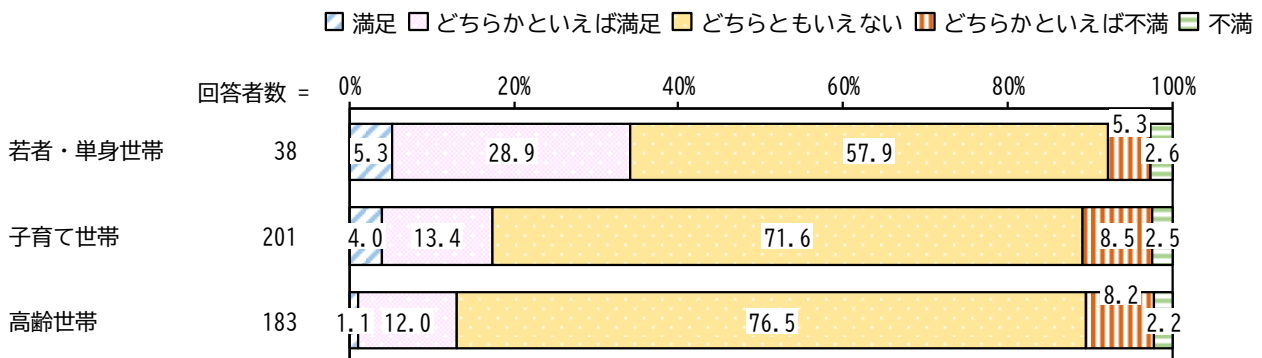
5-1 市民活動・コミュニティ活動の活性化

子育て世帯で“満足”の割合が29.4%と、他のライフステージに比べて高くなっています。



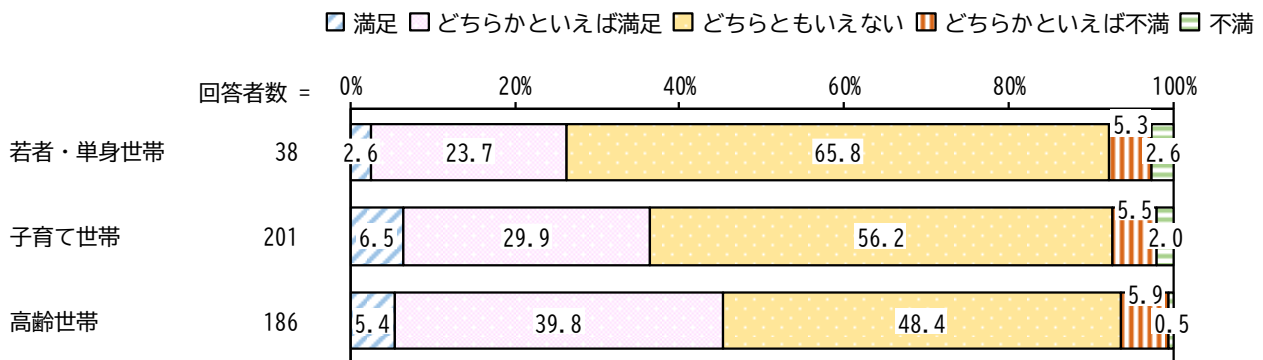
5-2 カーボンニュートラルの推進

若者・単身世帯で“満足”の割合が34.2%となっていますが、ライフステージの進行に伴って、“満足”の割合が低くなる傾向がみられます。



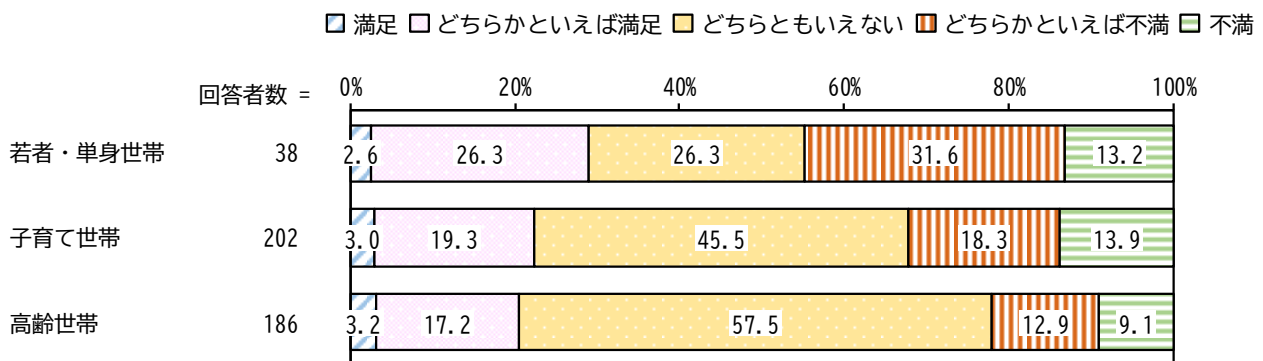
5-3 循環型社会の構築

高齢世帯で“満足”の割合が45.2%と、他のライフステージに比べて高くなっています。



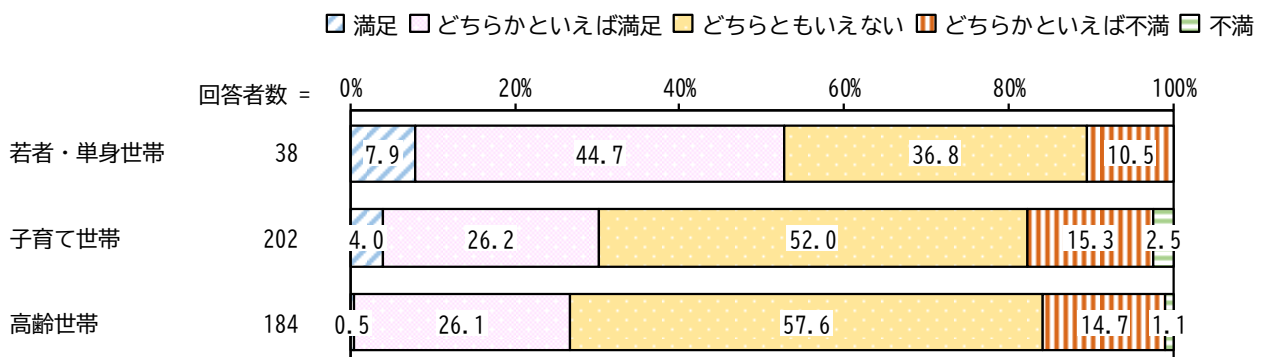
5-4 利便性の高い地域公共交通の確保

若者・単身世帯で“満足”の割合が28.9%と、他のライフステージに比べて高い一方で、“不満”の割合は4割を超えています。



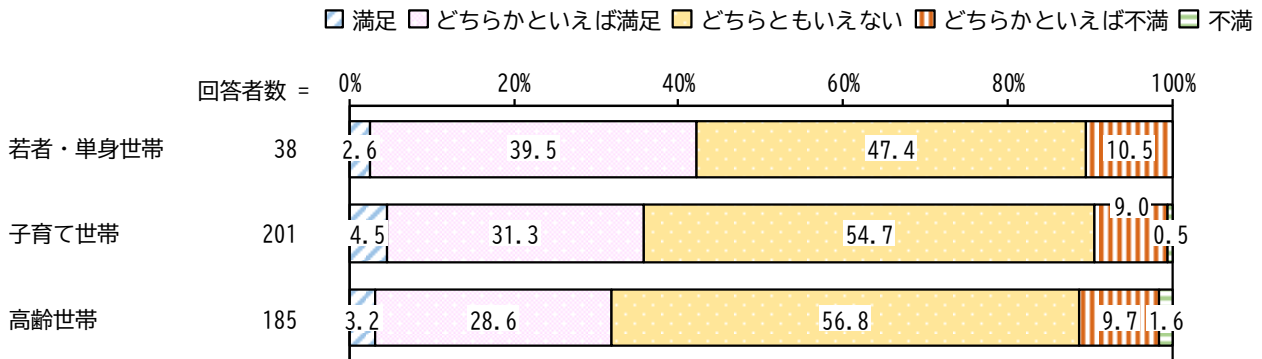
5-5 生活の安全性の向上

若者・単身世帯で“満足”の割合が52.6%となっていますが、ライフステージの進行に伴って、“満足”の割合が低くなる傾向がみられます。



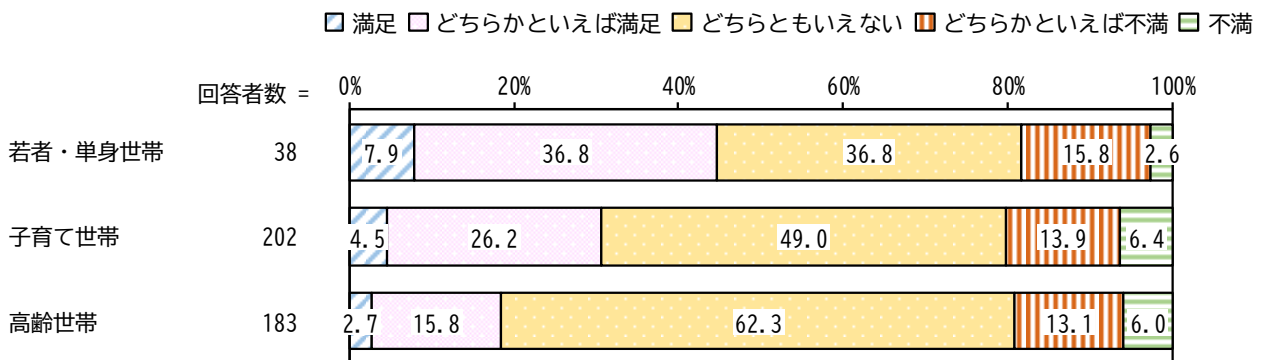
5-6 消防・防災の推進

若者・単身世帯で“満足”の割合が42.1%となっていますが、ライフステージの進行に伴って、“満足”の割合が低くなる傾向がみられます。



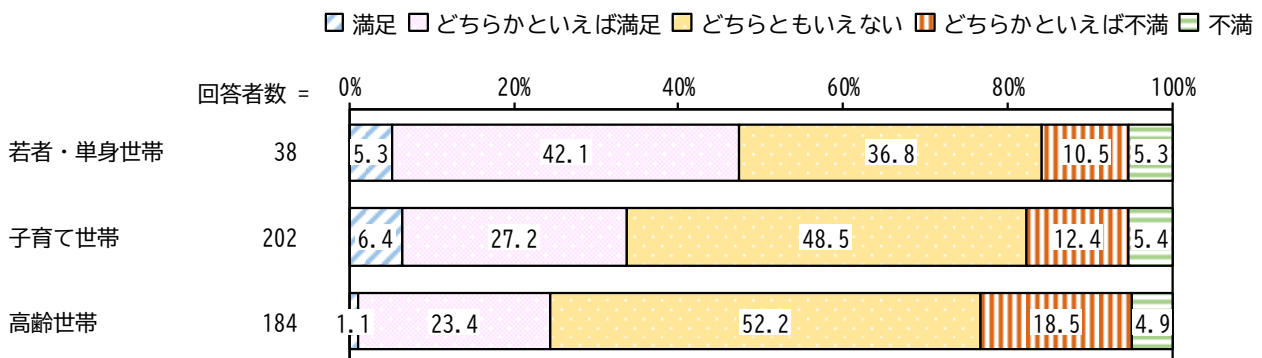
5-7 活力ある都市空間の整備

若者・単身世帯で“満足”の割合が44.7%となっていますが、ライフステージの進行に伴って、“満足”の割合が低くなる傾向がみられます。



5-8 快適な生活基盤の構築

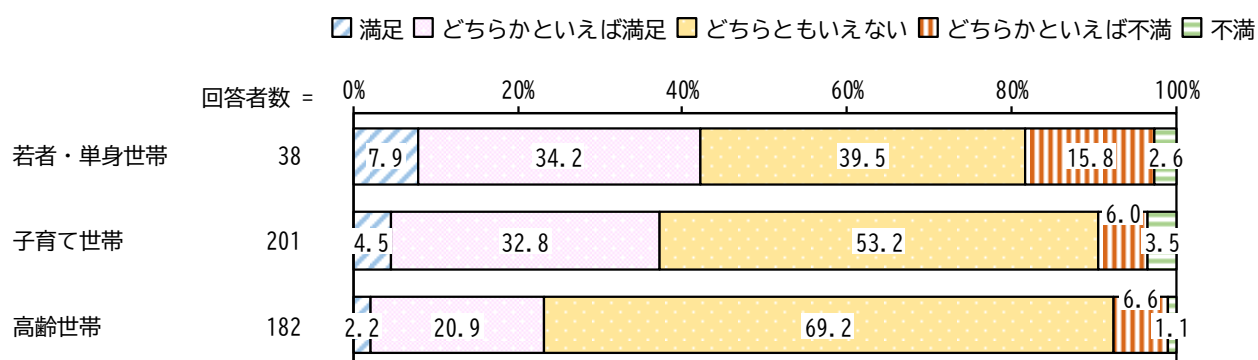
若者・単身世帯で“満足”の割合が47.4%となっていますが、ライフステージの進行に伴って、“満足”の割合が低くなる傾向がみられます。



6 まちづくりの推進に向けて

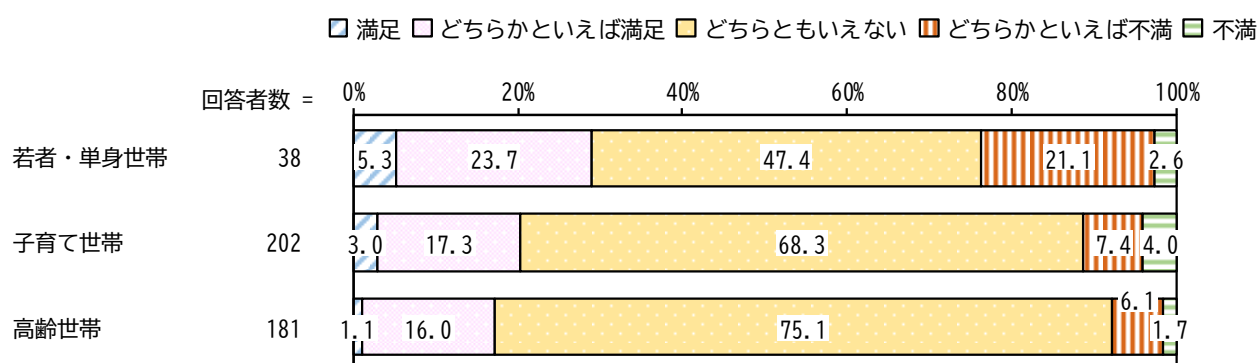
6-1 効果的な行政運営システムの構築

若者・単身世帯で“満足”の割合が42.1%となっていますが、ライフステージの進行に伴って、“満足”の割合が低くなる傾向がみられます。



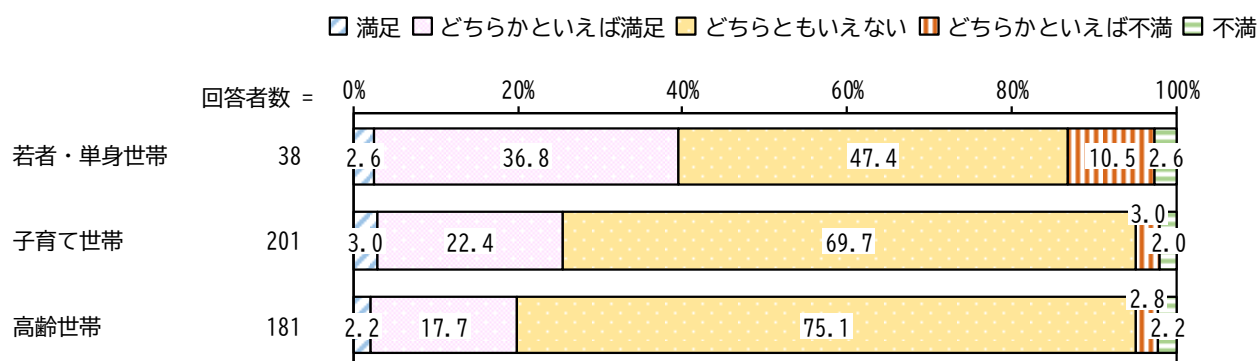
6-2 健全な財政運営の推進

若者・単身世帯で“満足”の割合が29.0%となっていますが、ライフステージの進行に伴って、“満足”の割合が低くなる傾向がみられます。



6-3 共創によるまちづくりの推進

若者・単身世帯で“満足”の割合が39.4%となっていますが、ライフステージの進行に伴って、“満足”の割合が低くなる傾向がみられます。



(3) ポートフォリオ分析

〔満足度・重要度の得点化〕

第五次宇部市総合計画 前期実行計画に位置付けた各施策に対して、「現状の満足度」と「今後の重要度」について、回答された5つの選択肢を下記の手順で得点化し、分析を行いました。

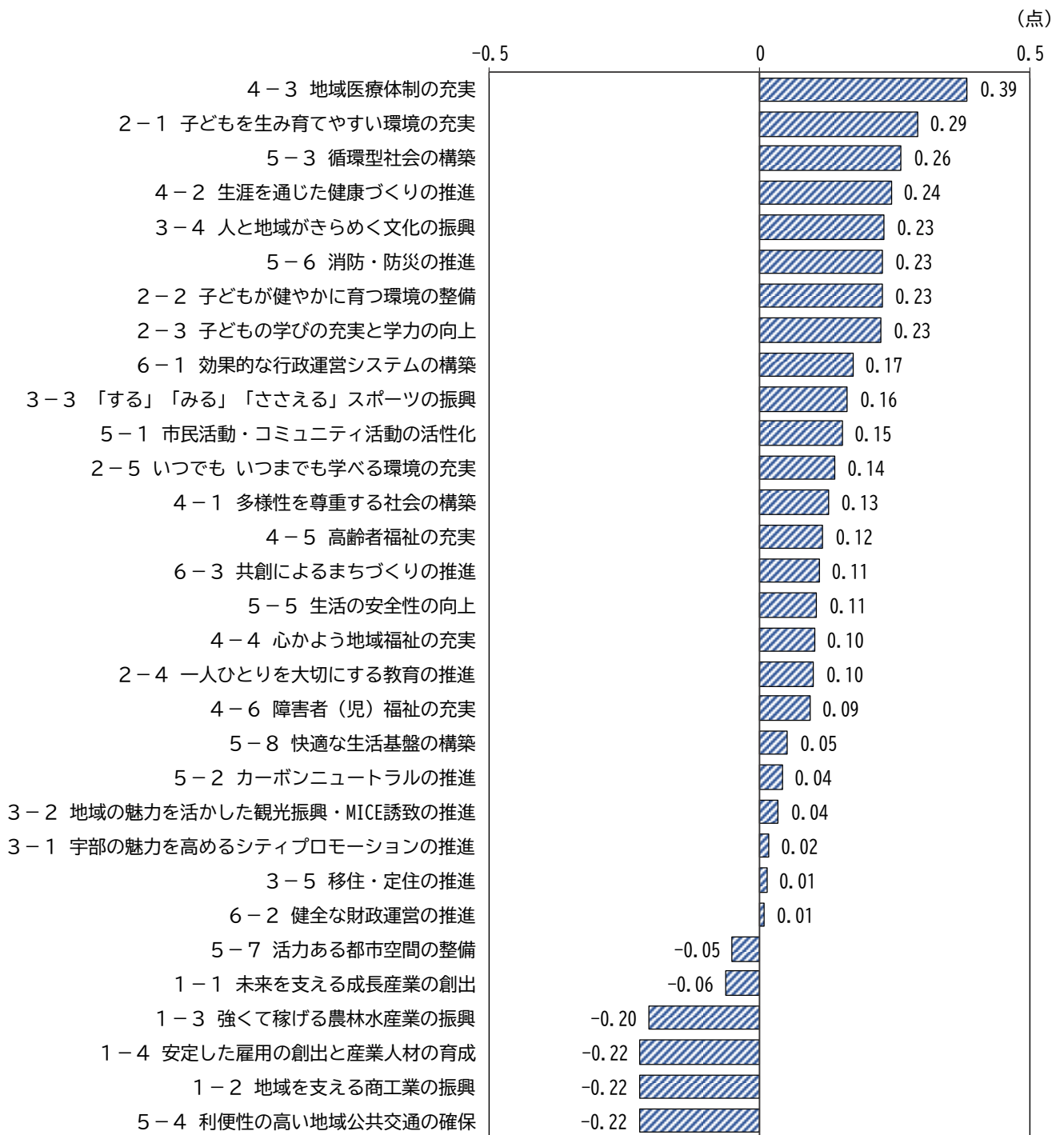
●満足度・重要度の得点化の手順

満足度		得点		重要度		得点
不満	→	-2点		低い	→	-2点
どちらかといえば不満	→	-1点		どちらかといえば低い	→	-1点
どちらともいえない	→	0点		どちらともいえない	→	0点
どちらかといえば満足	→	1点		どちらかといえば高い	→	1点
満足	→	2点		高い	→	2点
無回答	→	計算対象外		無回答	→	計算対象外

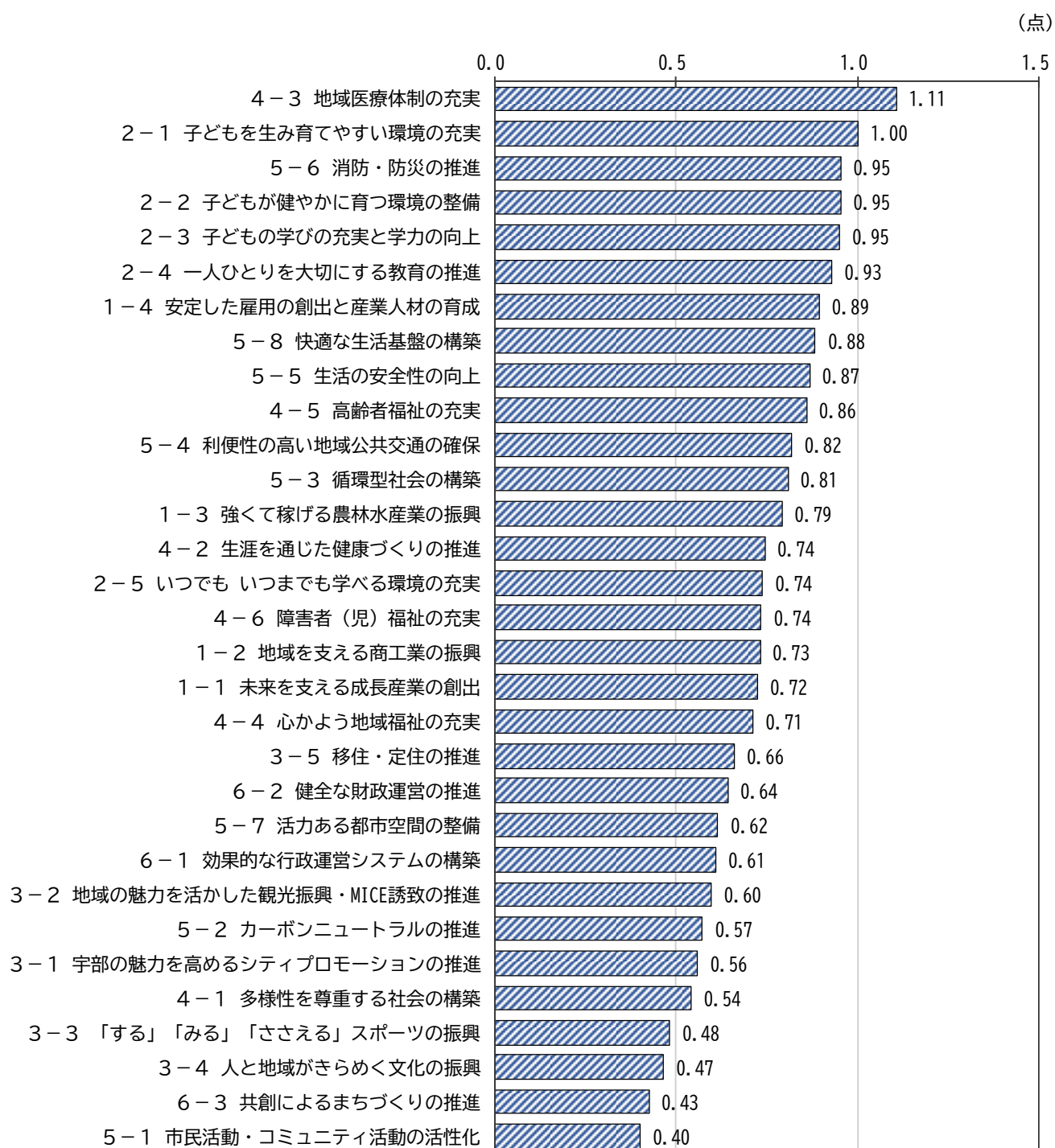
●得点の算出式

2点×「満足（高い）」の回答数
+1点×「どちらかといえば満足（どちらかといえば高い）」の回答数
+0点×「どちらともいえない」の回答数
-1点×「どちらかといえば不満（どちらかといえば低い）」の回答数
-2点×「不満（低い）」の回答数／無回答を除く回答数

◆施策の満足度について

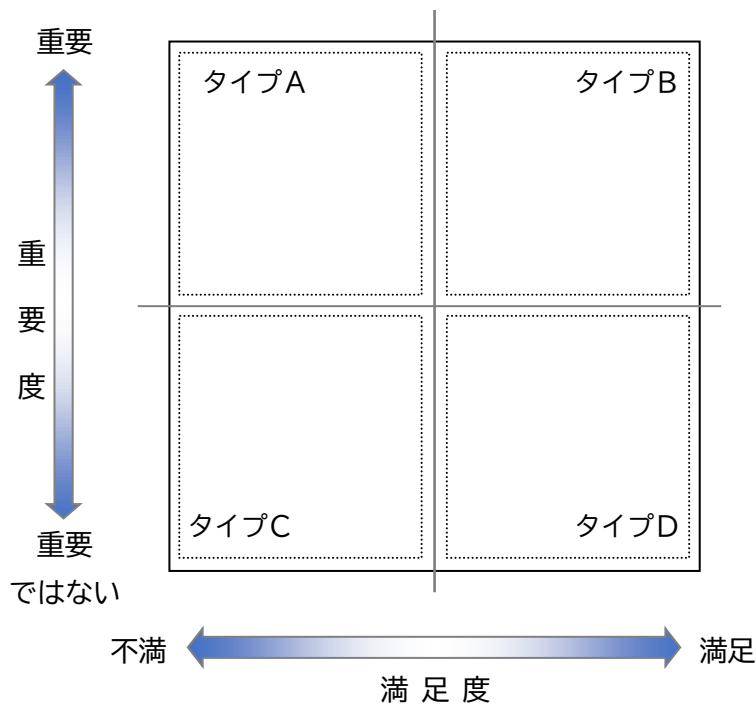


◆施策の重要度について



〔満足度・重要度の相対評価〕

各施策の満足度・重要度をそれぞれ縦軸と横軸にとり、得点の平均値を境界として、4つの領域に区分した散布図を作成しました。



◆タイプA：重点的に取り組むべき施策

→今後の重要度は高いものの、現在の取組に対する満足度が低い施策と考えられます。

施策の改善や新たな施策の検討など、他のタイプの施策より優先して取り組む必要があります。

◆タイプB：充実が望まれる施策

→今後の重要度と現在の取組に対する満足度ともに高い施策と考えられます。今後も現在の水準を下げることなく、着実に取り組んでいく必要があります。

◆タイプC：関心の低い施策

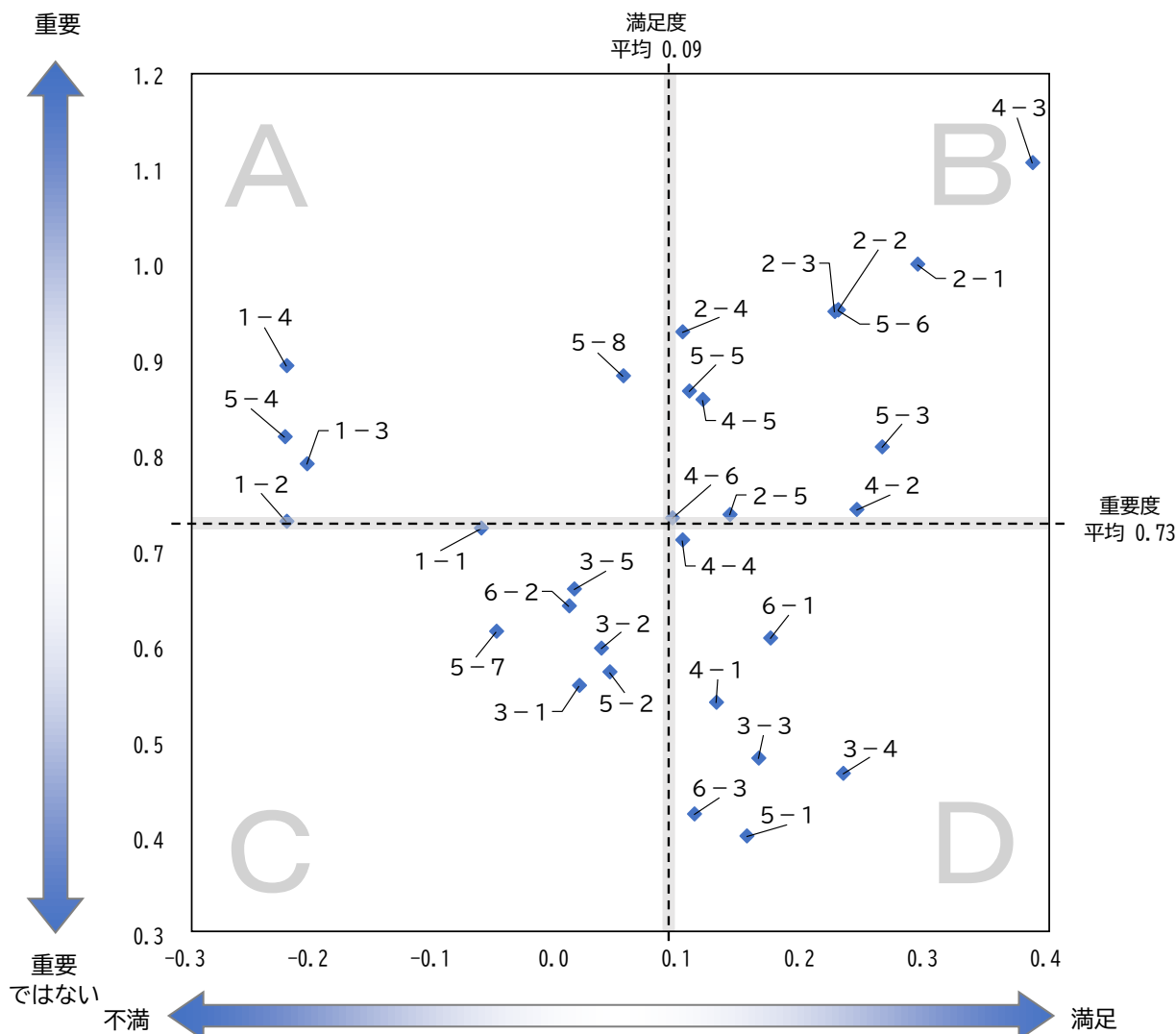
→今後の重要度と現在の取組に対する満足度がともに低い施策と考えられます。施策の方向性や取組の見直しについて検討する必要があります。また、施策の状況が市民に見えにくいと考えられるため、認知度向上に向けた取組も必要です。

◆タイプD：維持が望まれる施策

→今後の重要度は低いものの、現在の取組は満足している施策と考えられます。今後も満足度の水準を下げることなく、着実に取り組んでいく必要があります。

①全体集計

全体的には、「4－3 地域医療体制の充実」「2－1 子どもを生み育てやすい環境の充実」「2－2 子どもが健やかに育つ環境の整備」等の分野において満足度・重要度ともに高い結果が出ています。一方で、「1－4 安定した雇用の創出と産業人材の育成」「5－4 利便性の高い地域公共交通の確保」については、重要度が高いにもかかわらず、満足度が低い結果となっています。

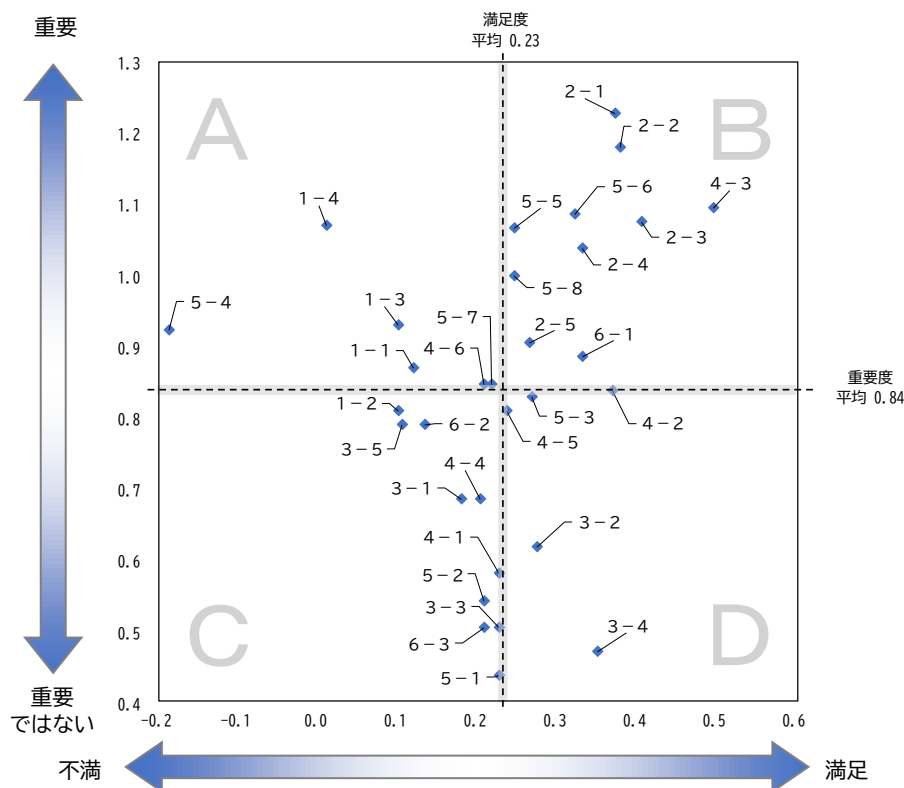


項目	
1－1 未来を支える成長産業の創出	4－3 地域医療体制の充実
1－2 地域を支える商工業の振興	4－4 心かよう地域福祉の充実
1－3 強くて稼げる農林水産業の振興	4－5 高齢者福祉の充実
1－4 安定した雇用の創出と産業人材の育成	4－6 障害者（児）福祉の充実
2－1 子どもを生み育てやすい環境の充実	5－1 市民活動・コミュニティ活動の活性化
2－2 子どもが健やかに育つ環境の整備	5－2 カーボンニュートラルの推進
2－3 子どもの学びの充実と学力の向上	5－3 循環型社会の構築
2－4 一人ひとりを大切にする教育の推進	5－4 利便性の高い地域公共交通の確保
2－5 いつでもいつまでも学べる環境の充実	5－5 生活の安全性の向上
3－1 宇部の魅力を高めるシティプロモーションの推進	5－6 消防・防災の推進
3－2 地域の魅力を活かした観光振興・MICE 誘致の推進	5－7 活力ある都市空間の整備
3－3 「する」「みる」「ささえる」スポーツの振興	5－8 快適な生活基盤の構築
3－4 人と地域がきらめく文化の振興	6－1 効果的な行政運営システムの構築
3－5 移住・定住の推進	6－2 健全な財政運営の推進
4－1 多様性を尊重する社会の構築	6－3 共創によるまちづくりの推進
4－2 生涯を通じた健康づくりの推進	

②世代別集計

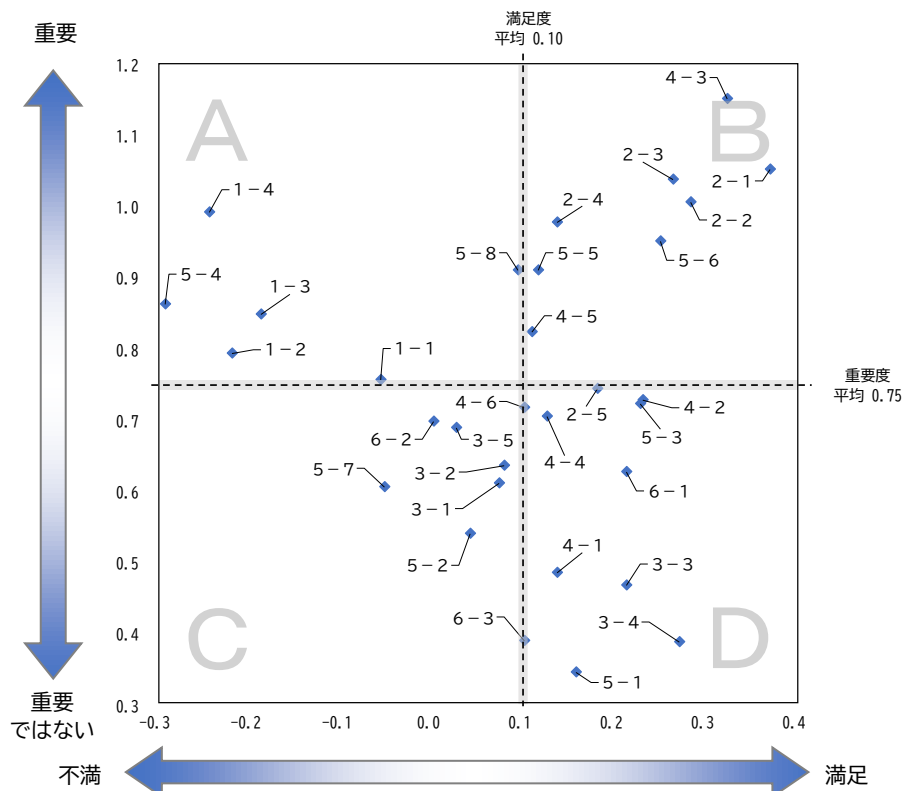
◆若者世代(10～20 歳代)

「1－4 安定した雇用の創出と産業人材の育成」「5－4 利便性の高い地域公共交通の確保」「1－3 強くて稼げる農林水産業の振興」等が、重要度が高い一方で満足度が低い状況です。



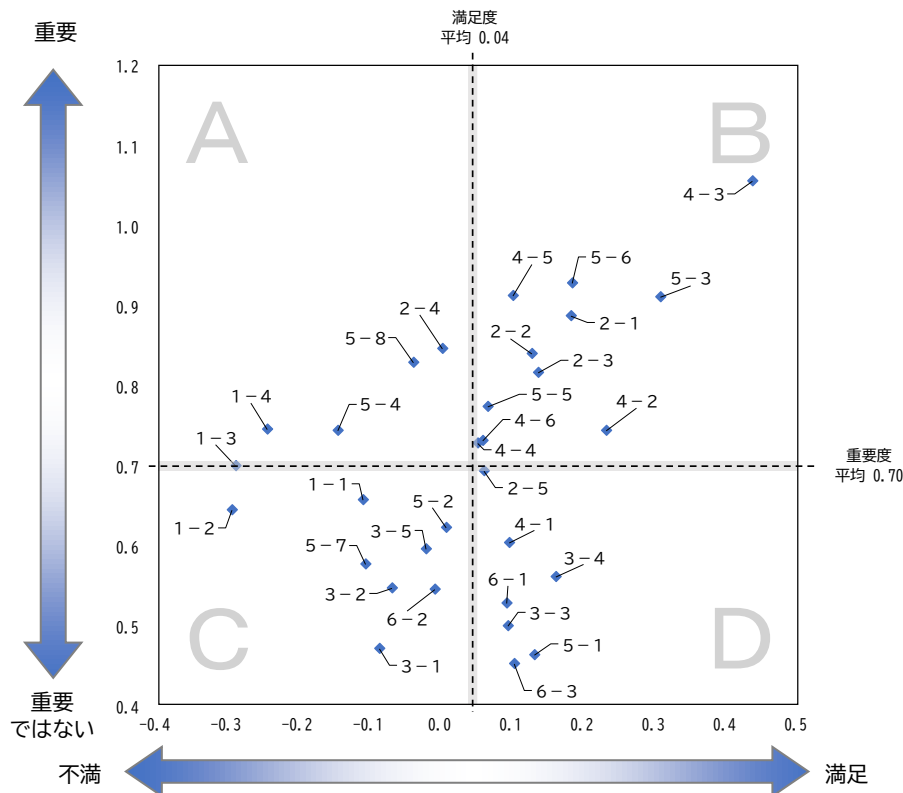
◆ミドル世代(30～50 歳代)

「1－4 安定した雇用の創出と産業人材の育成」「5－4 利便性の高い地域公共交通の確保」「1－3 強くて稼げる農林水産業の振興」等が、重要度が高い一方で満足度が低い状況です。



◆シニア世代(60 歳以上)

「1－3 強くて稼げる農林水産業の振興」「1－4 安定した雇用の創出と産業人材の育成」が、重要度が高い一方で満足度が低い状況です。

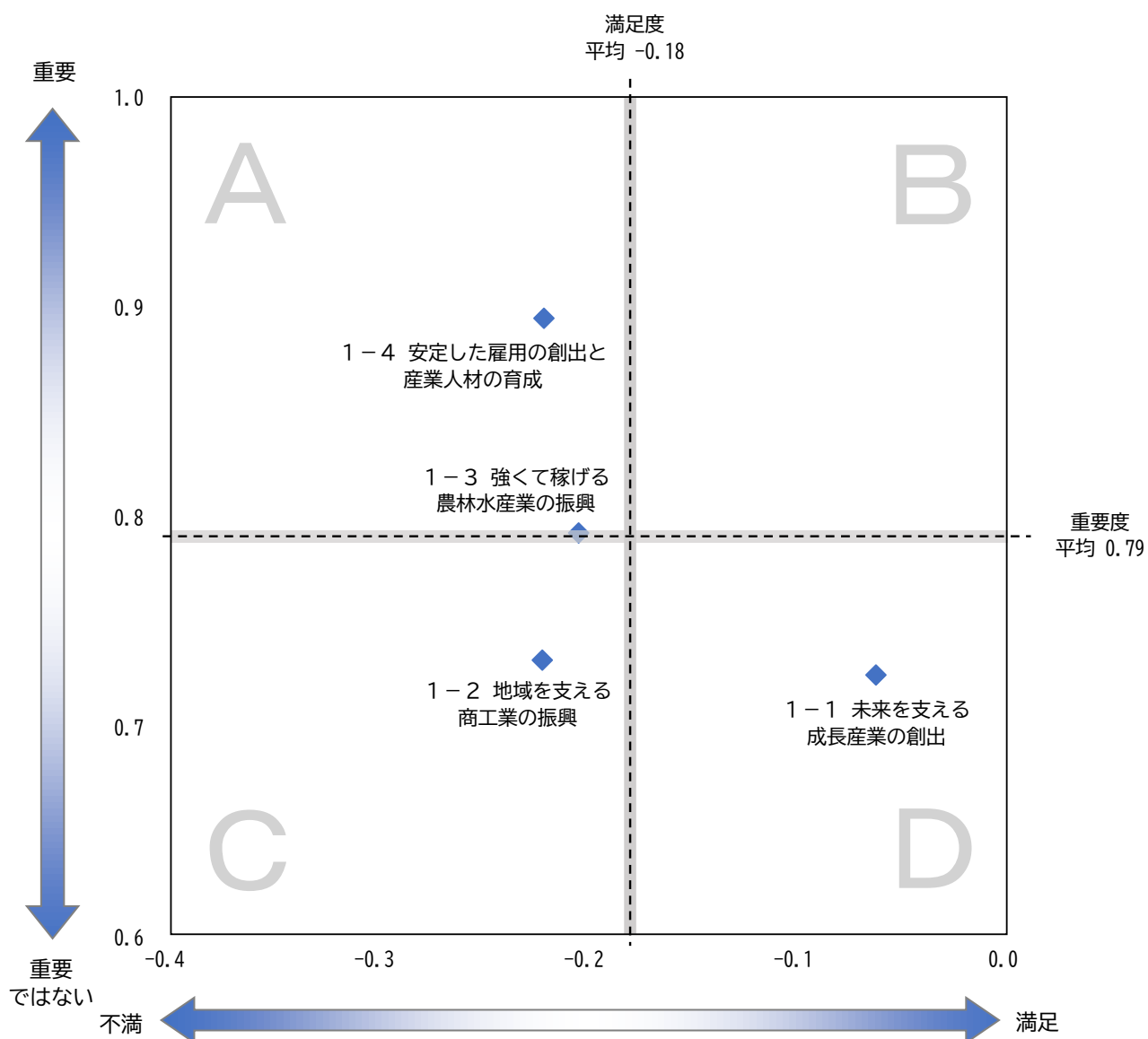


項目	
1－1 未来を支える成長産業の創出	4－3 地域医療体制の充実
1－2 地域を支える商工業の振興	4－4 心かよう地域福祉の充実
1－3 強くて稼げる農林水産業の振興	4－5 高齢者福祉の充実
1－4 安定した雇用の創出と産業人材の育成	4－6 障害者（児）福祉の充実
2－1 子どもを生き育てやすい環境の充実	5－1 市民活動・コミュニティ活動の活性化
2－2 子どもが健やかに育つ環境の整備	5－2 カーボンニュートラルの推進
2－3 子どもの学びの充実と学力の向上	5－3 循環型社会の構築
2－4 一人ひとりを大切にする教育の推進	5－4 利便性の高い地域公共交通の確保
2－5 いつでもいつまでも学べる環境の充実	5－5 生活の安全性の向上
3－1 宇部の魅力を高めるシティプロモーションの推進	5－6 消防・防災の推進
3－2 地域の魅力を活かした観光振興・MICE 誘致の推進	5－7 活力ある都市空間の整備
3－3 「する」「みる」「ささえる」スポーツの振興	5－8 快適な生活基盤の構築
3－4 人と地域がきらめく文化の振興	6－1 効果的な行政運営システムの構築
3－5 移住・定住の推進	6－2 健全な財政運営の推進
4－1 多様性を尊重する社会の構築	6－3 共創によるまちづくりの推進
4－2 生涯を通じた健康づくりの推進	

③前期実行計画・基本目標ごとの集計

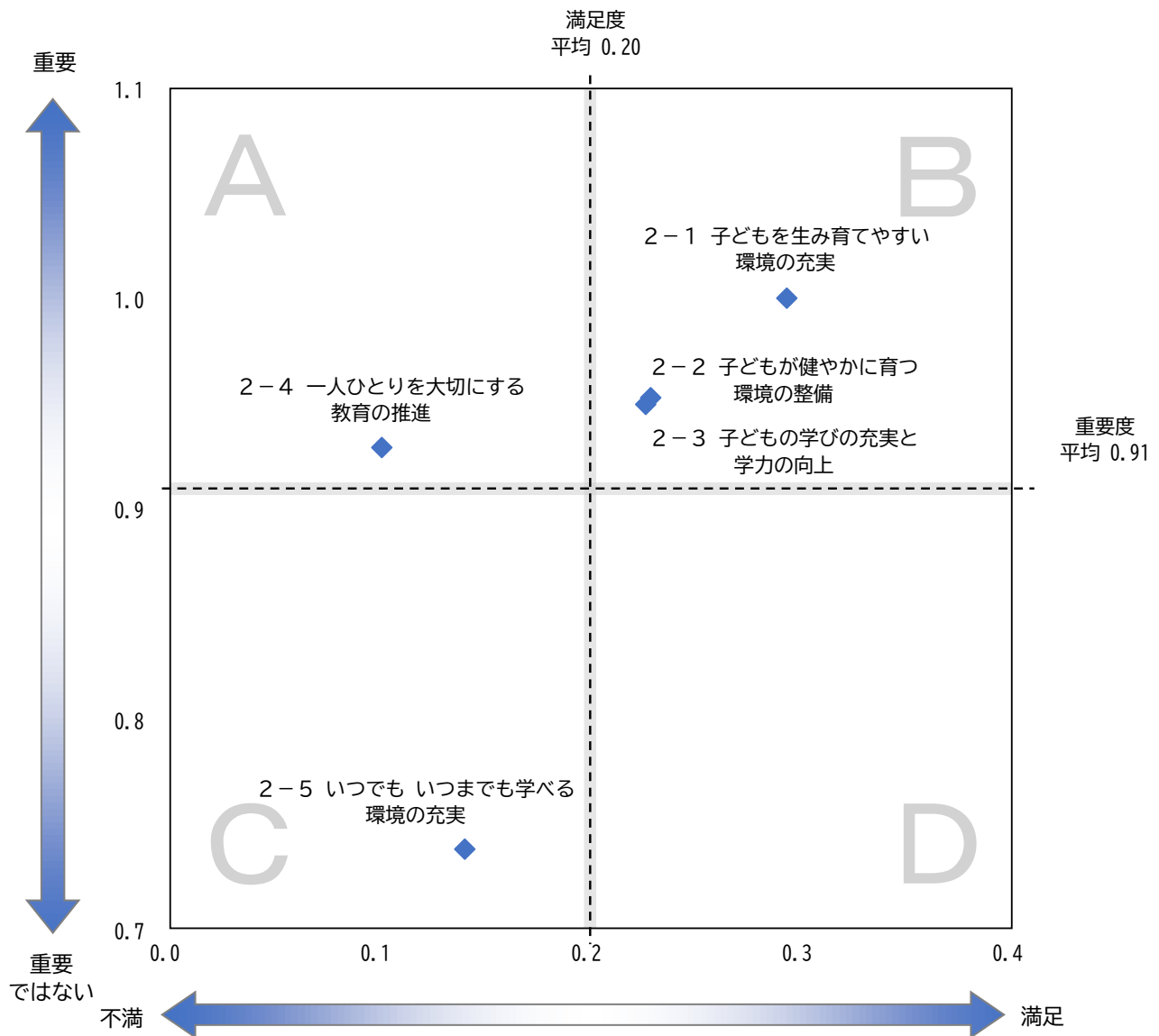
1 活力に満ちた強い産業のまち

この分野では、「1－3 強く稼げる農林水産業の振興」「1－4 安定した雇用の創出と産業人材の育成」が、重要度が高い一方で満足度が低く、また、「1－2 地域を支える商工業の振興」は、重要度・満足度ともに低い状況です。



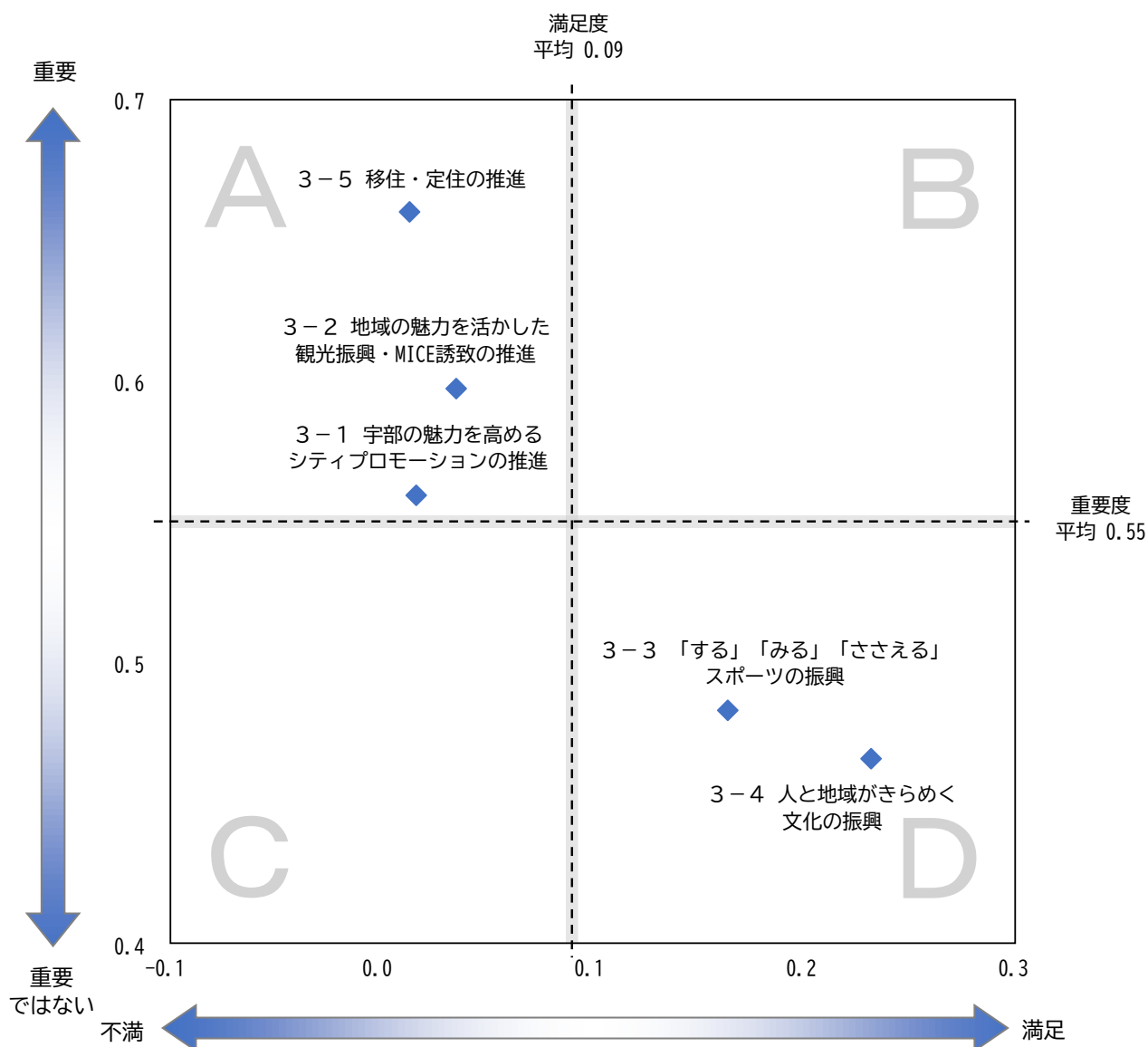
2 未来を拓くひとを育むまち

この分野では、「2-1 子どもを生み育てやすい環境の充実」が重要度・満足度ともに高く、また、「2-5 いつでもいつまでも学べる環境の充実」は重要度・満足度ともに低い状況です。



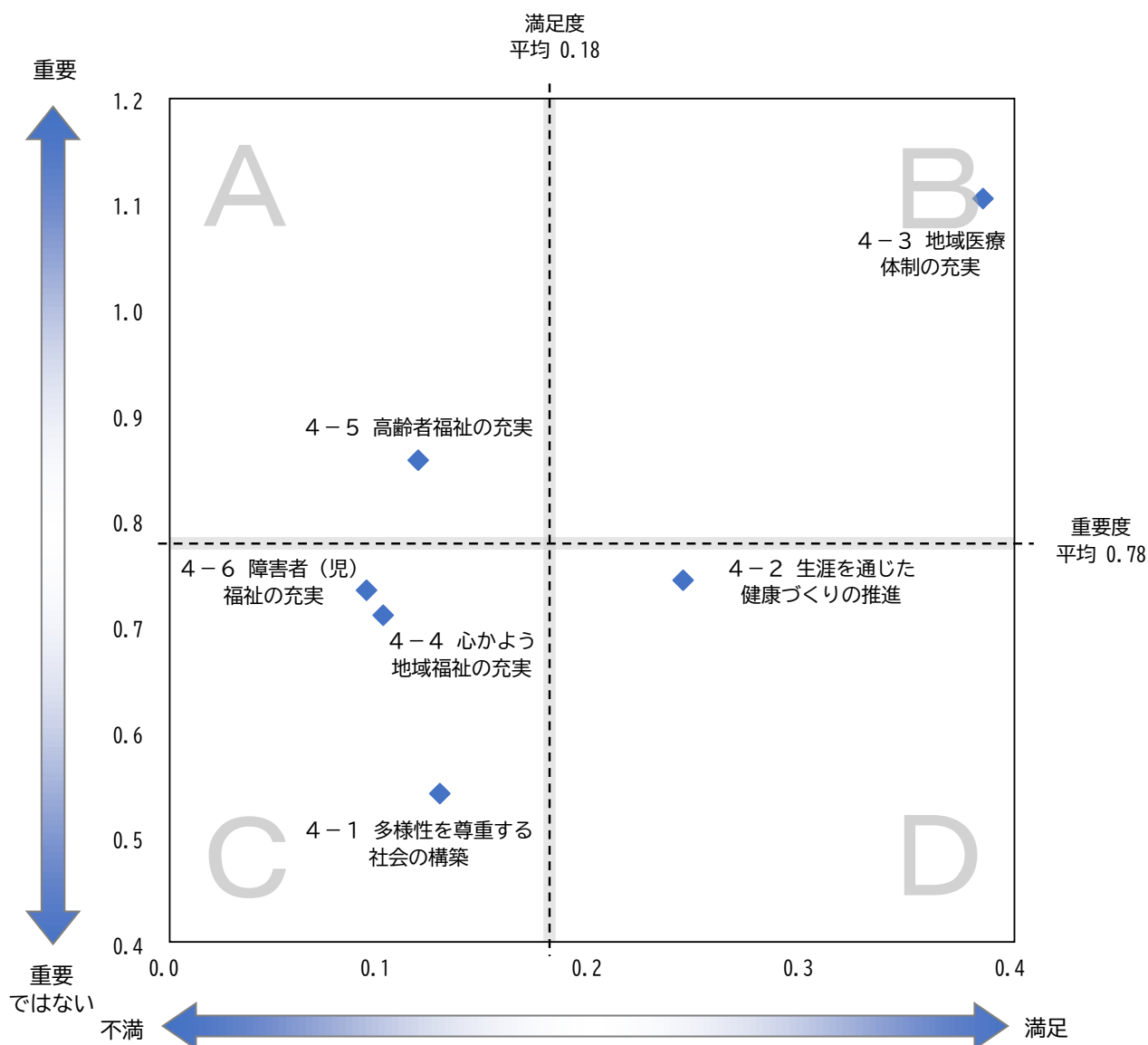
3 魅力と賑わいにあふれるまち

この分野では、「3-1 宇部の魅力を高めるシティプロモーションの推進」「3-2 地域の魅力を活かした観光振興・MICE誘致の推進」「3-5 移住・定住の推進」が、重要度が高い一方で満足度が低い状況です。



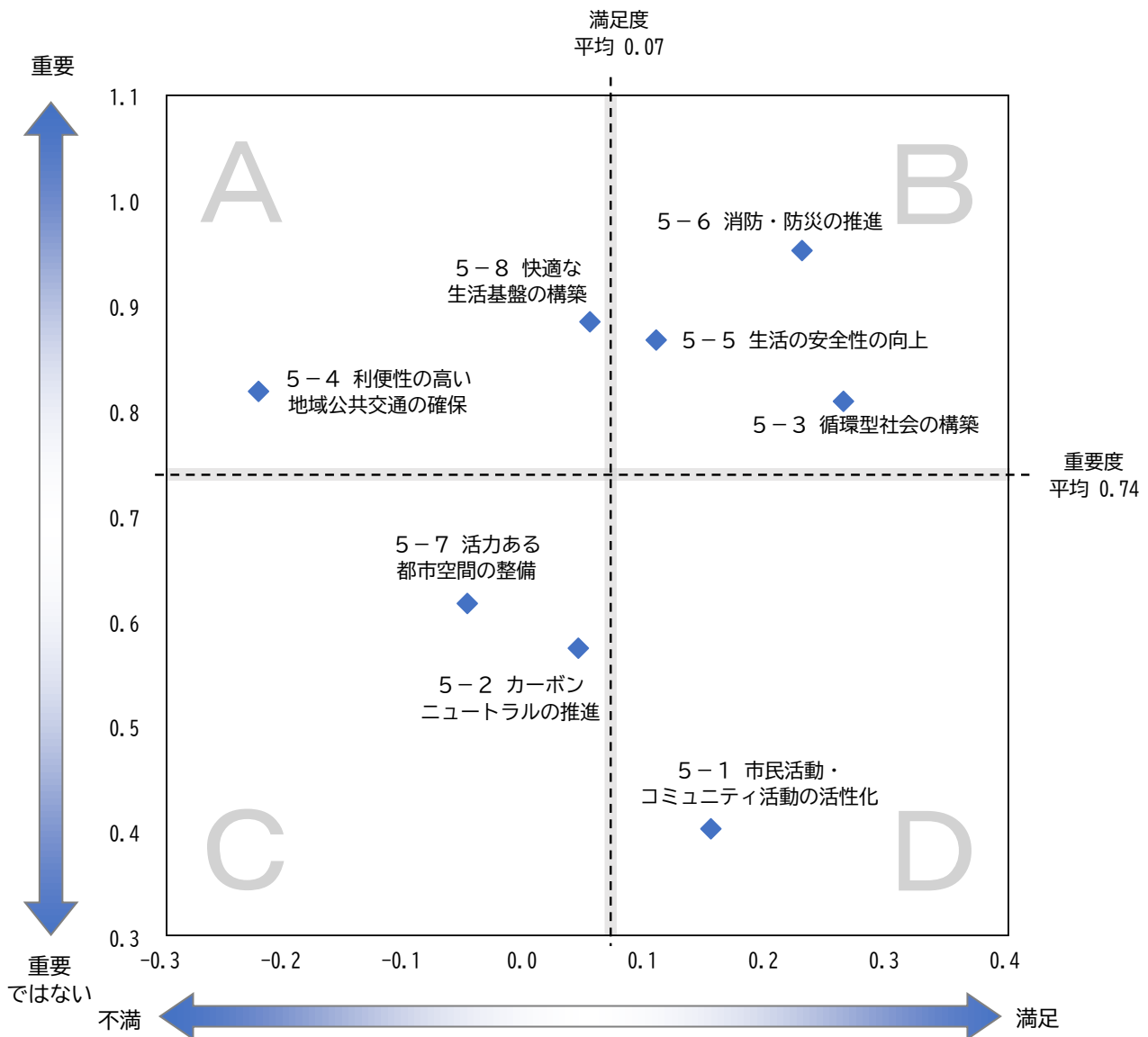
4 誰もが健康で自分らしく暮らせるまち

この分野では、「4－5 高齢者福祉の充実」が、重要度が高い一方で満足度が低く、また、「4－1 多様性を尊重する社会の構築」「4－4 心かよう地域福祉の充実」「4－6 障害者（児）福祉の充実」は、満足度・重要度ともに低い状況です。



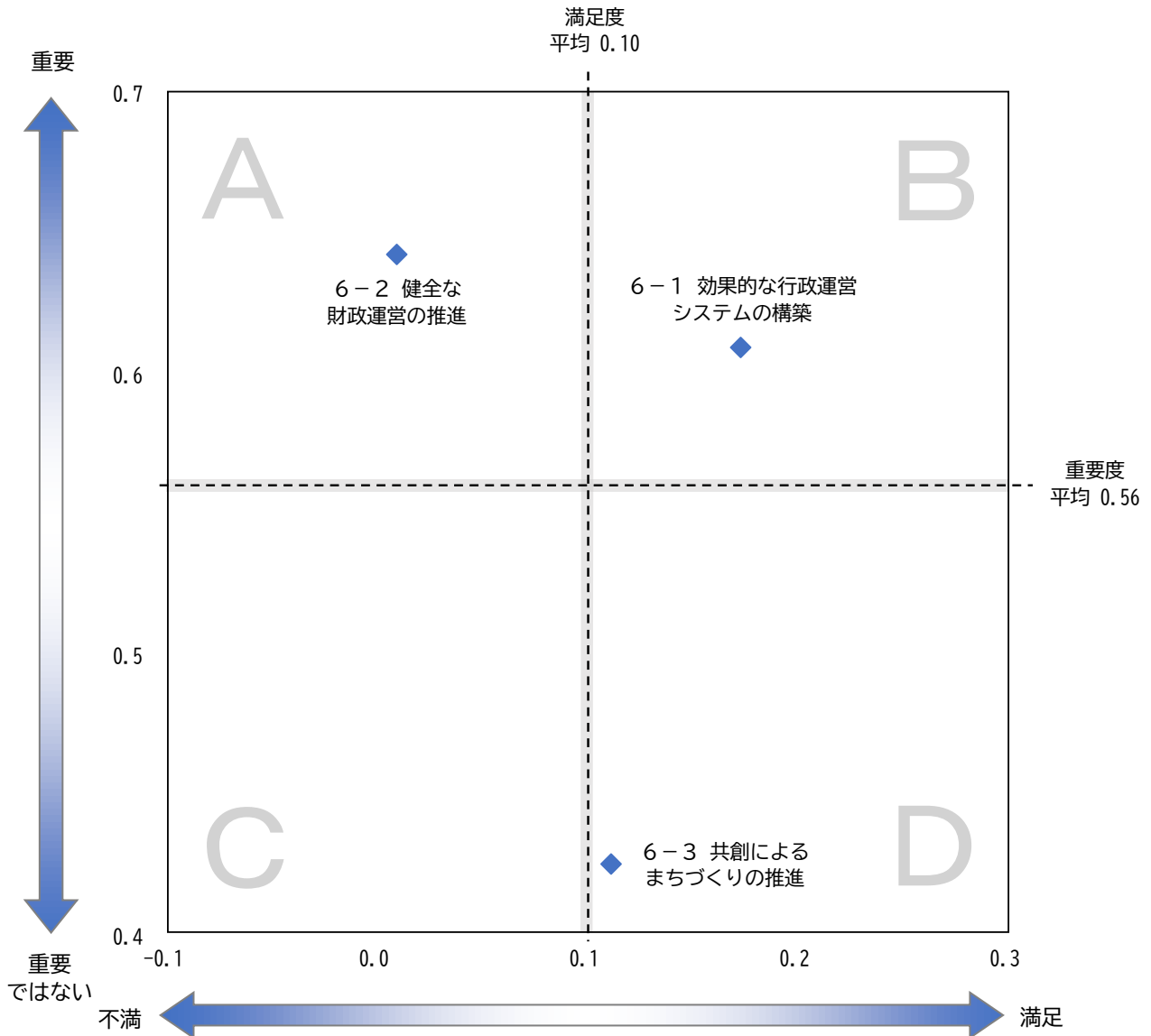
5 安心・安全で快適に暮らせるまち

この分野では、「5－4 利便性の高い地域公共交通の確保」「5－8 快適な生活基盤の構築」が、重要度が高い一方で満足度が低く、また、「5－2 カーボンニュートラルの推進」「5－7 活力ある都市空間の整備」は、満足度・重要度ともに低い状況です。

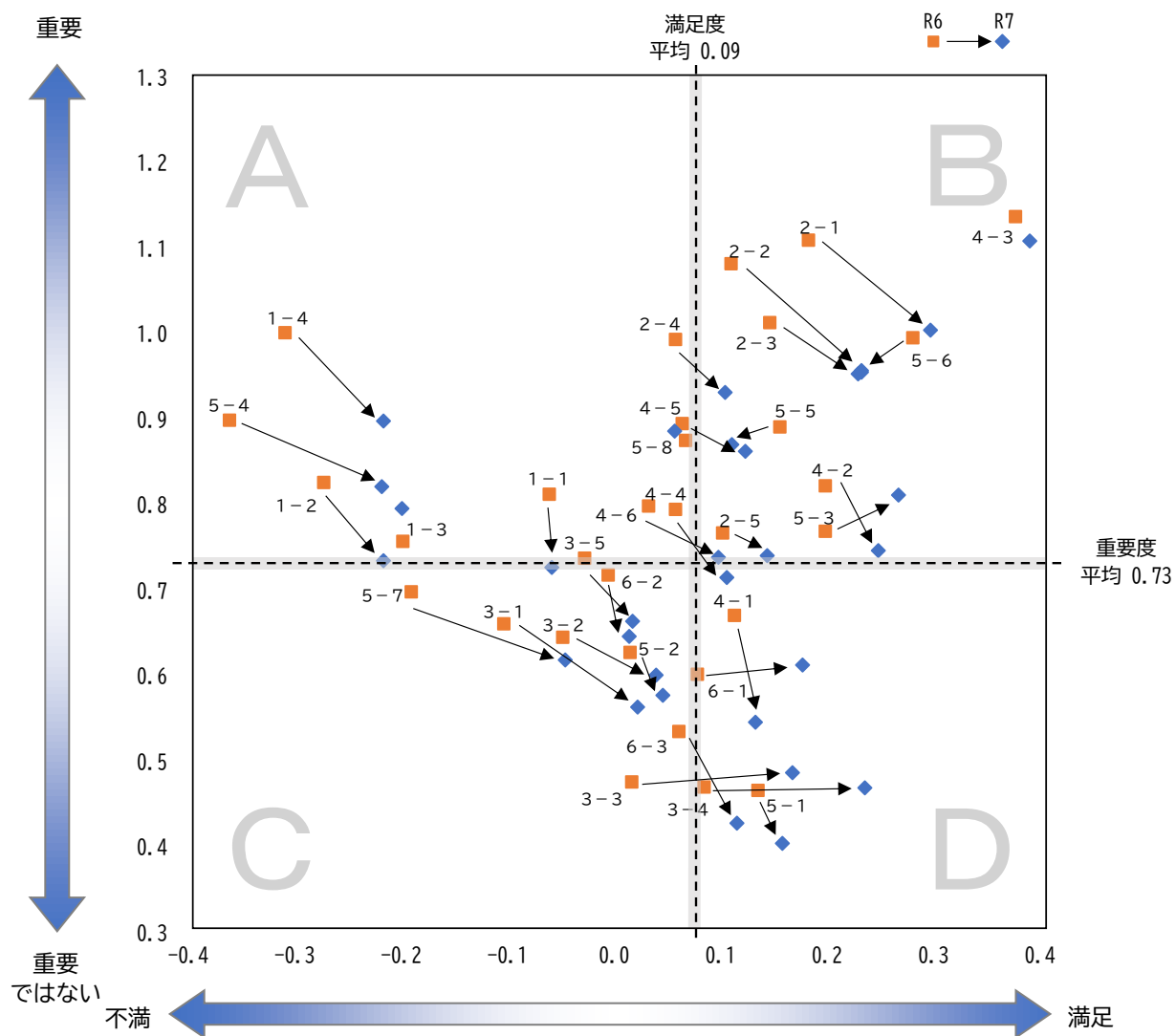


6 まちづくりの推進に向けて

この分野では、「6－2 健全な財政運営の推進」が、重要度が高い一方で満足度が低い状況です。

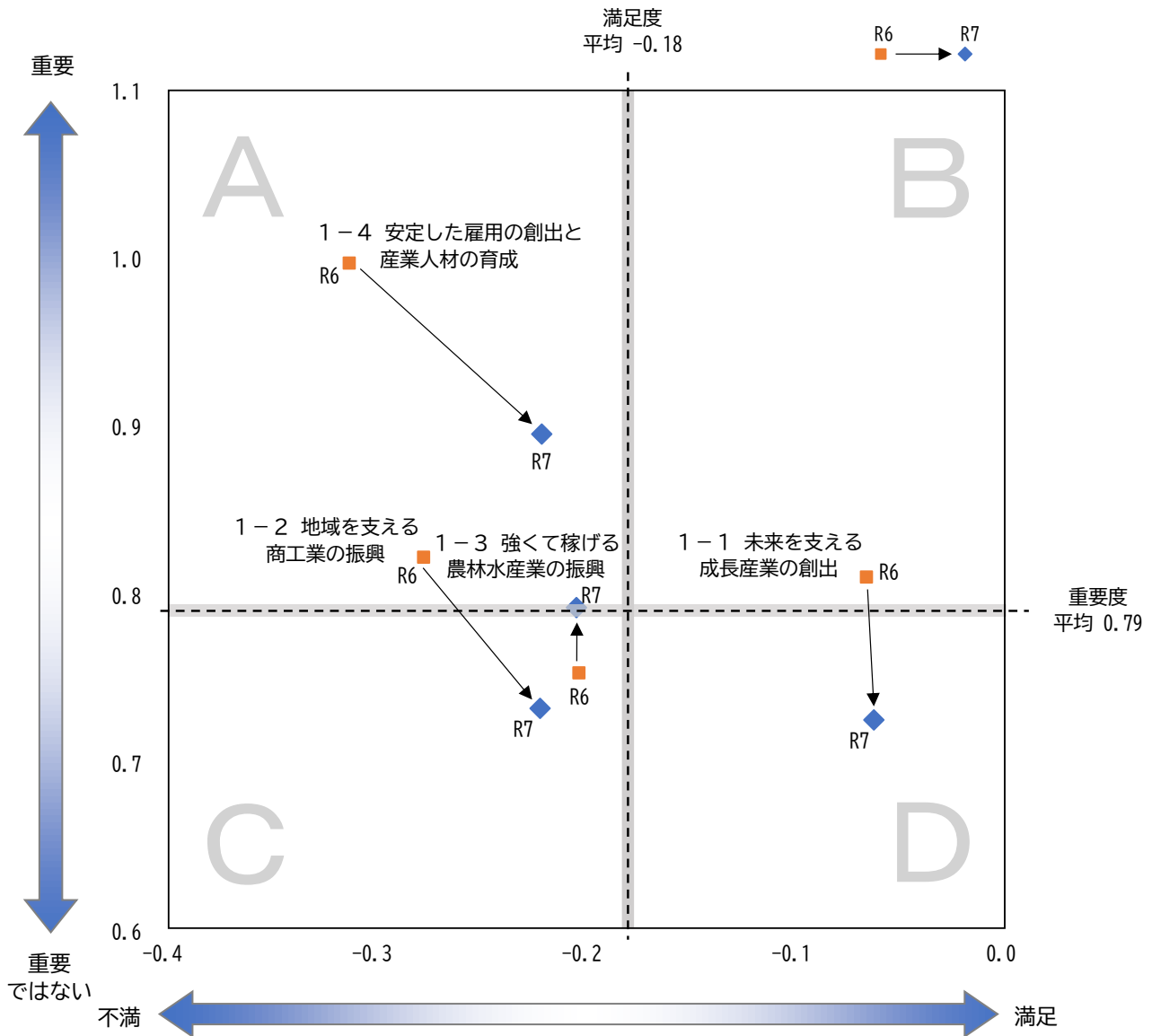


④経年比較 (R 6 → R 7)



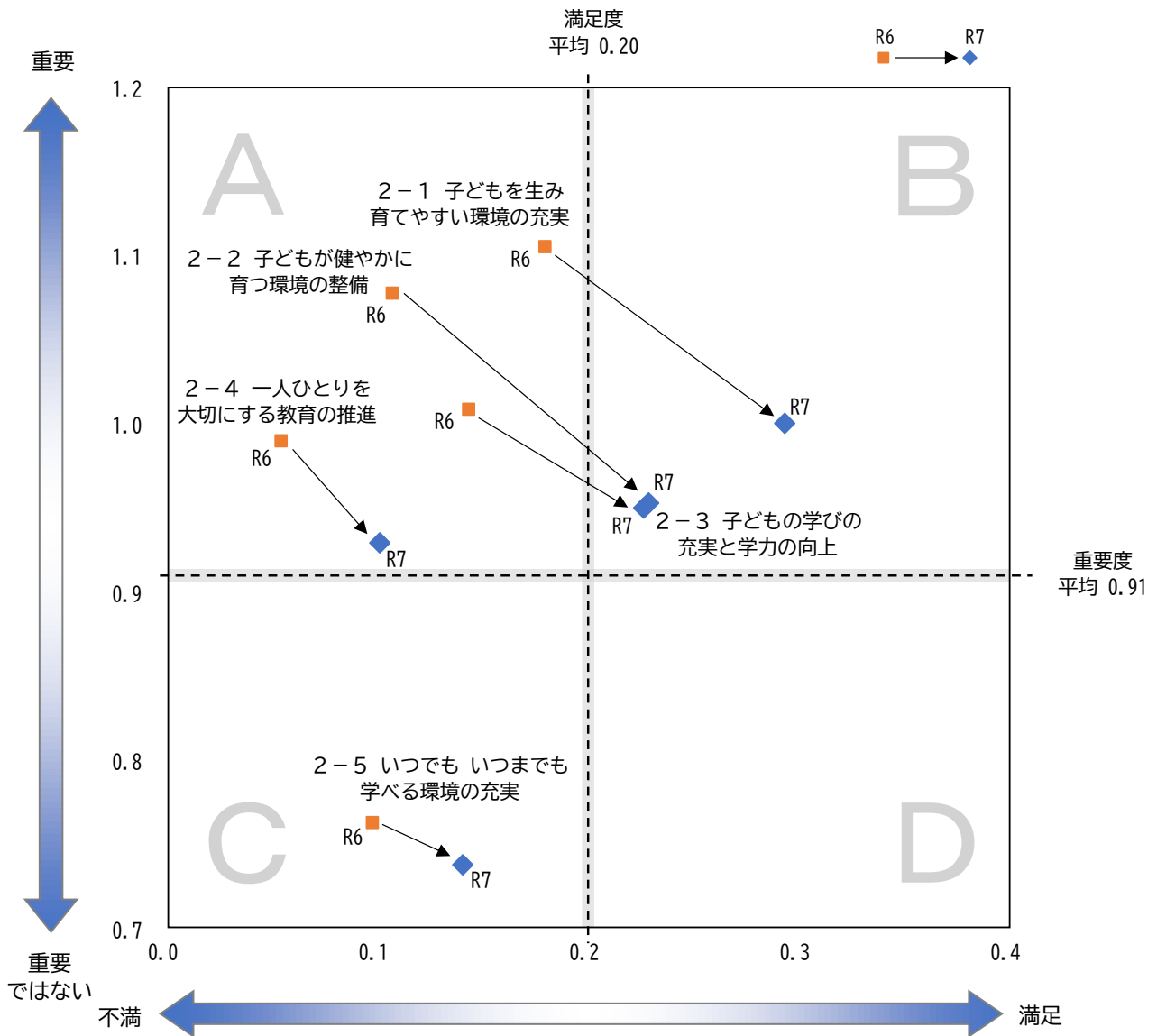
1 活力に満ちた強い産業のまち

令和6年度調査と比較すると、「1-1 未来を支える成長産業の創出」「1-2 地域を支える商工業の振興」「1-4 安定した雇用の創出と産業人材の育成」において、重要度が低下しています。また、「1-3 強くて稼げる農林水産業の振興」では、重要度が高まっています。



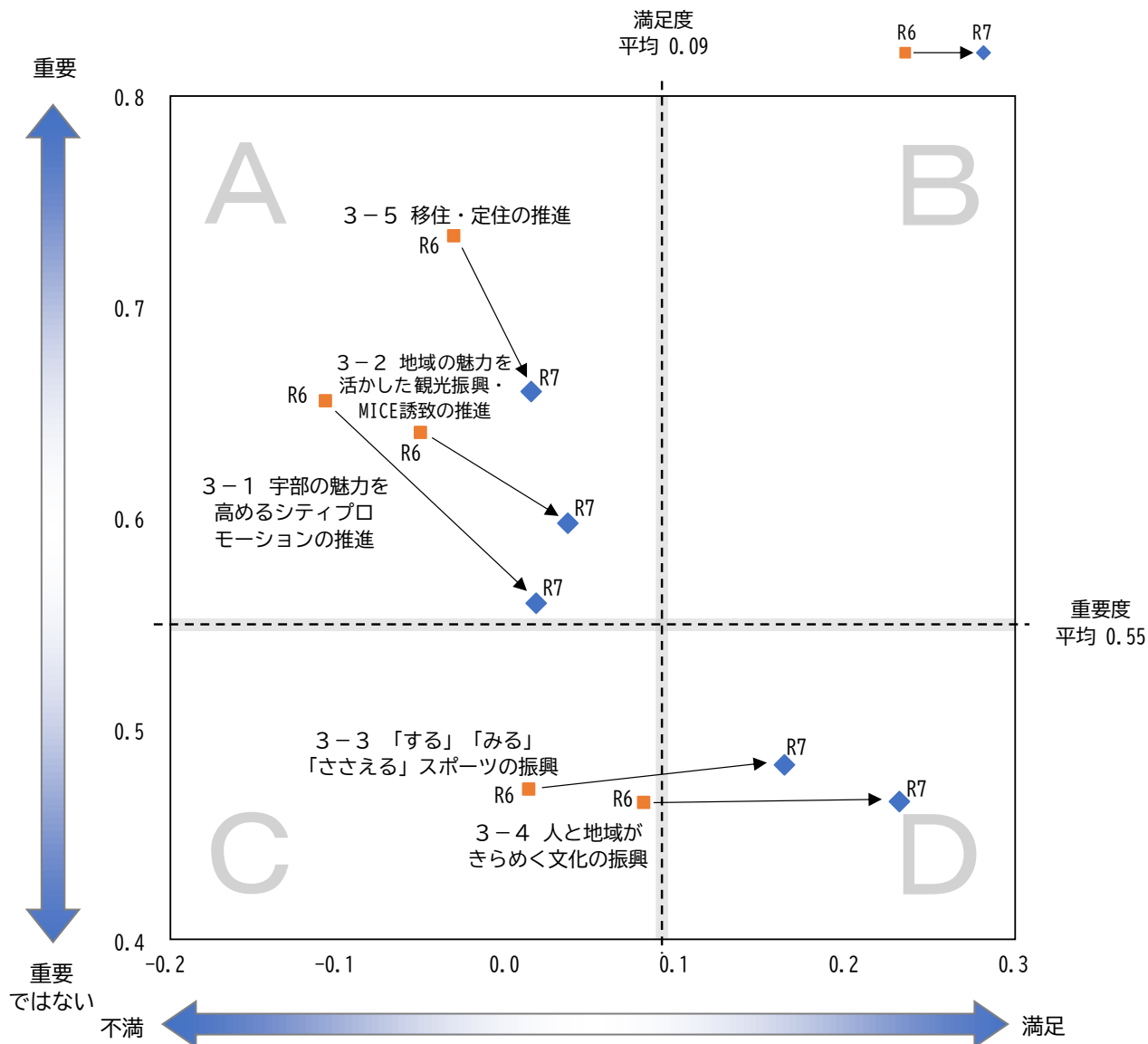
2 未来を拓くひとを育むまち

令和6年度調査と比較すると、すべての取組で重要度が低下しています。



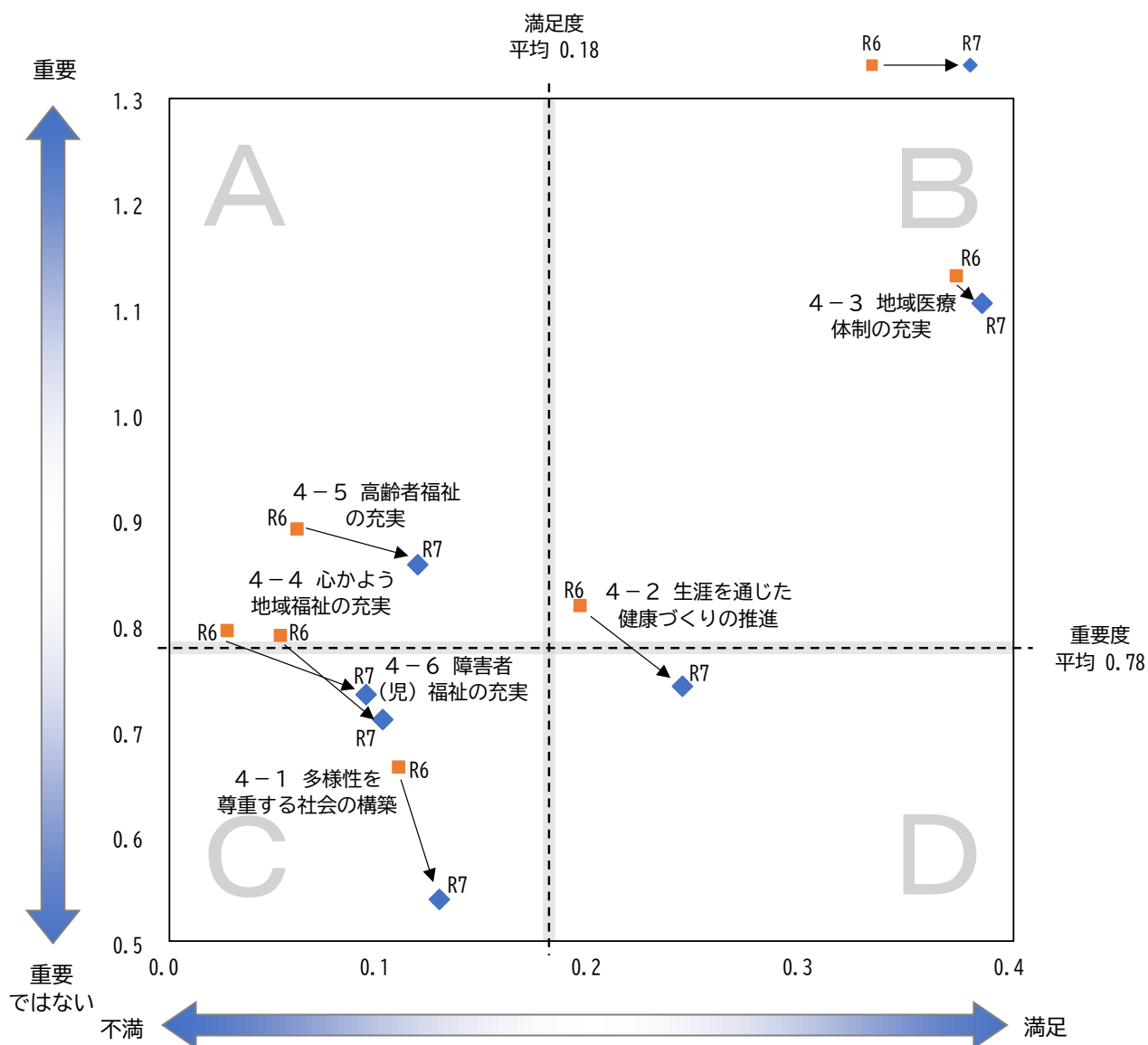
3 魅力と賑わいにあふれるまち

令和6年度調査と比較すると、「3-3 「する」「みる」「ささえる」スポーツの振興」「3-4 人と地域がきらめく文化の振興」において、重要度が高まっています。また、「3-1 宇部の魅力を高めるシティプロモーションの推進」「3-2 地域の魅力を活かした観光振興・MICE誘致の推進」「3-5 移住・定住の推進」では、重要度が低下しています。



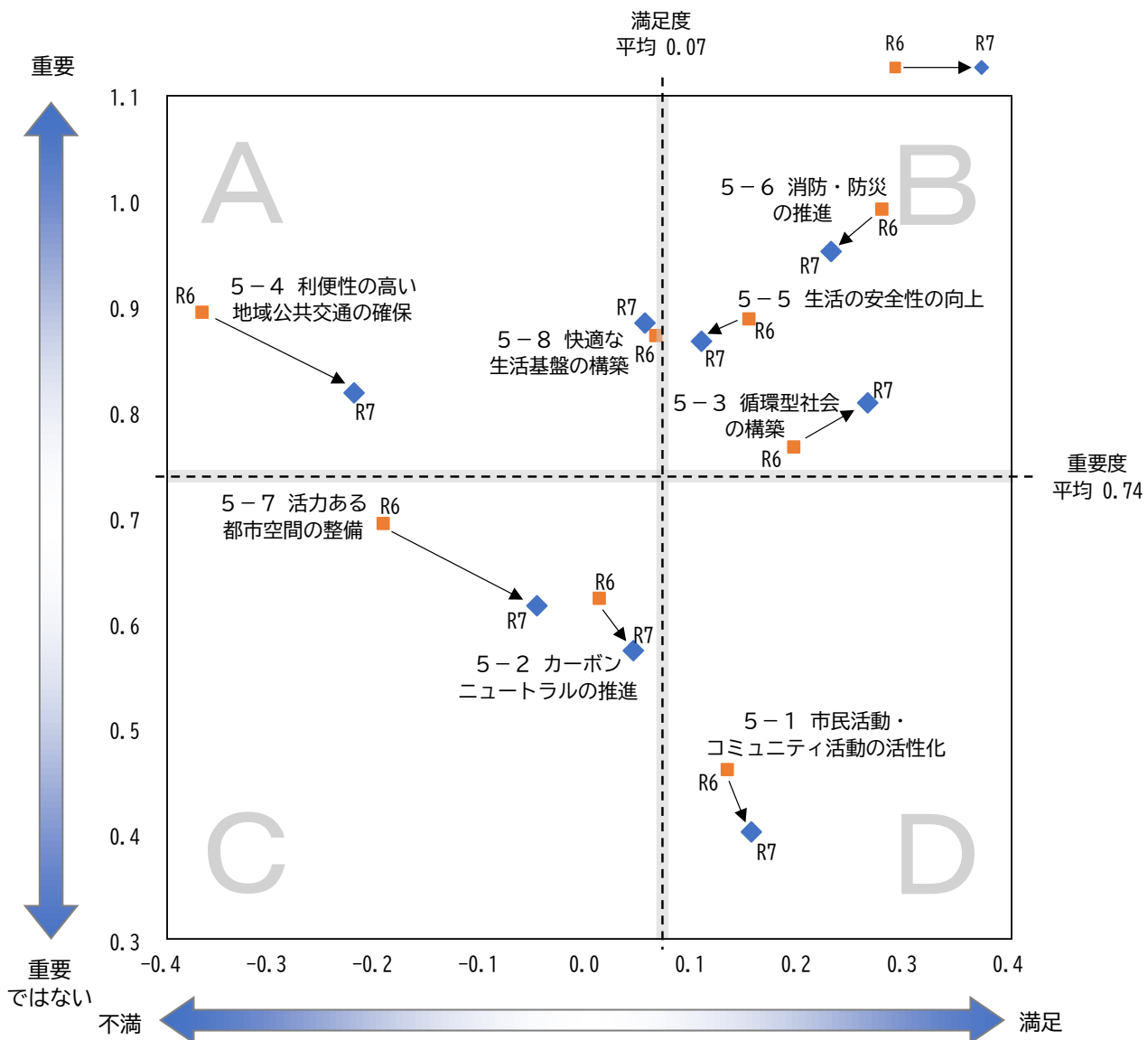
4 誰もが健康で自分らしく暮らせるまち

令和6年度調査と比較すると、すべての取組で重要度が低下しています。



5 安心・安全で快適に暮らせるまち

令和6年度調査と比較すると、「5－3 循環型社会の構築」「5－8 快適な生活基盤の構築」において、重要度が高まっています。また、「5－1 市民活動・コミュニティ活動の活性化」「5－2 カarbonニュートラルの推進」「5－4 利便性の高い地域公共交通の確保」「5－5 生活の安全性の向上」「5－6 消防・防災の推進」「5－7 活力ある都市空間の整備」では、重要度が低下しています。



6 まちづくりの推進に向けて

令和6年度調査と比較すると、「6-1 効果的な行政運営システムの構築」において、満足度・重要度ともに高まっています。また、「6-2 健全な財政運営の推進」「6-3 共創によるまちづくりの推進」では、重要度が低下しています。

